

令和3年度

佐賀大学授業アンケート・授業改善に関する報告書

令和5年2月

佐賀大学教育委員会

教育質保証専門委員会

## 目次

はじめに	2
I. 経過	3
II. 回答状況	4
III. 授業アンケートの結果と分析	
III- (1) 学生から高い評価を得ている授業科目の 選考基準（とその活用方法）	8
III- (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点 及び改善を要する点	10
III- (3) 次年度の授業改善目標	15
III- (4) 教育学部・学校教育学研究科の結果と分析	18
III- (5) 芸術地域デザイン学部の結果と分析	37
III- (6) 経済学部の結果と分析	45
III- (7) 理工学部・理工学研究科・工学系研究科 の結果と分析	60
III- (8) 農学部・農学研究科の結果と分析	100
III- (9) 地域デザイン研究科の結果と分析	115
III- (10) 先進健康科学研究科の結果と分析	123
III- (11) 全学教育機構の結果と分析	131
おわりに	141
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要項	142
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要項	144
資料3 学生による授業アンケート様式	145
資料4 項目の基礎集計表	147

## はじめに

平成 18 年 10 月 1 日に施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要項」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業アンケートが実施され今年で 15 年目となりました。オンラインによるアンケートであるにも関わらず、履修者総数 112,445 名に対し総回答者数 62,416 件、回答率 55.5%と高い水準を保っております。また、回答のあった科目の割合である回答科目率も 84.5%と高い水準を保っています。さらに、本年度の教員による授業アンケートの結果を用いた授業点検・改善報告の実施率は 100%に到達し、授業アンケートの実施とその結果を用いた授業点検と改善のプロセスが本学の全ての教員に浸透したことが伺えます。

また、本学は平成 18 年度より授業アンケートの結果を用いた組織的な授業改善を実施するために、各部局に組織別授業評価を行うことを義務付け、評価の高い科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを組織別授業点検評価報告書にまとめ教育委員会において報告することとしました。

さらに、平成 23 年度にはポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ (TP) 作成機能も組み込みました。平成 27 年度には簡易版 TP の作成率 100%を達成し、平成 28 年度からは本学のすべての教員公募要領において教育業績評価に標準版 TP を活用することを明記してきました。

これらの教員個人の教育改善を支援するシステムの整備に加え、平成 27 年度には「佐賀大学学生による授業評価実施要項」を改訂し、授業アンケートの目的を「授業の評価」から「教育の質の改善・向上」のために実施するものと明示しアンケート項目も大幅に見直すとともに、名称も「授業評価アンケート」から「授業アンケート」とし、授業アンケートの目的や質問項目そのものの改善も進めてきました。

このように全学的な教育改善システムは整って参りました。今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

佐賀大学教育委員会委員長

山下 宗利

## I. 経過

佐賀大学では平成12年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成13年度より授業アンケートが本格導入された。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成15年11月26日開催）において「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に授業アンケートを実施する体制が整えられた。法人化後の平成17年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目を対象に授業アンケートの100%実施を目標に定めた。翌平成18年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することを定めた「佐賀大学学生による授業評価実施要項」（以下、授業評価実施要項とする）（平成18年10月1日施行）（資料1）が新たに制定され、佐賀大学の全ての授業科目において、授業アンケートもしくは独自アンケートにより学生の意見を聴く機会が設けられた。

さらに、収集されたアンケート結果に基づき教員自らが授業改善に利用できる仕組みも構築した。アンケート結果は自動的に集計され全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し教員へフィードバックすることで、自らの授業改善に活かせる工夫が施された。その後、「授業評価結果を用いた授業改善実施要項」（平成18年12月22日施行）（資料2）が制定され、この授業アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・改善報告書を提出することが義務づけられた。平成27年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを授業評価実施要項に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」に変更した。

また、アンケートの収集方法の改善やアンケートの多角化も試み、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を進めた。平成22年度後学期以降には、アンケート用紙への直接記入方式から、LiveCampus を利用したアンケートのオンライン回答方式を導入した。一方、この授業アンケートと並行して佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたり広く学生の声を取り入れるための学生対象アンケートも試行した。さらに、教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施した。これらのアンケート等の実施により佐賀大学の教育活動を多方面から分析し、教育活動を改善する準備を整備しつつある。

本報告では令和3年度に実施した授業アンケートの結果および結果を用いた授業改善実施要項に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部およびeラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

## II. 回答状況

令和 3 年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、本学の統合型オンラインコミュニケーションシステム LiveCampus 上の共通アンケートシステムを用いて行った。また、科目によっては共通アンケートシステムを用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、まずアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業アンケートは以下の 2 つに大別される。

- 1) 授業アンケートシステム (資料 3)
- 2) 独自形式アンケート

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているため本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なるため別項とし、概要をまとめ分析した。

表 1 に部局毎の回答率をまとめた。回答率の高い部局は、学部課程では全学教育機構、経済学部で、研究科では学校教育学研究科、理工学研究科であった。

表1 部局別の授業アンケート回答科目率(独自形式アンケートは除く)

	令和3年度前学期			令和3年度後学期			合計
	回答している科目数	対象科目数	回答科目率	回答している科目数	対象科目数	回答科目率	回答科目率
文化教育学部	2	8	25.0%	2	2	100.0%	40.0%
教育学部	192	208	92.3%	197	212	92.9%	92.6%
芸術地域デザイン学部	81	94	86.2%	80	86	93.0%	89.4%
経済学部	106	114	93.0%	148	154	96.1%	94.8%
理工学部	301	368	81.8%	297	347	85.6%	83.6%
農学部	117	146	80.1%	123	149	82.6%	81.4%
全学教育機構	259	268	96.6%	229	243	94.2%	95.5%
学士課程全体	1,058	1,206	87.7%	1,076	1,193	90.2%	89.0%
学校教育学研究科	83	89	87.7%	32	32	100.0%	95.0%
地域デザイン研究科	32	51	62.7%	37	51	72.5%	67.6%
先進健康科学研究科	86	130	66.2%	101	124	81.5%	73.6%
理工学研究科	122	149	81.9%	109	149	73.2%	77.5%
工学系研究科	5	11	45.5%	9	10	90.0%	66.7%
農学研究科	58	109	53.2%	68	105	64.8%	58.9%
自然科学系研究科共通科目	8	9	88.9%	12	12	100.0%	95.2%
大学院教養教育プログラム	7	7	100.0%	5	5	100.0%	100.0%
大学院課程全体	401	555	72.3%	373	488	76.4%	74.2%
全体	1,459	1,761	82.9%	1,449	1,681	86.2%	84.5%

※通年の講義については後期に含めている。

※受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

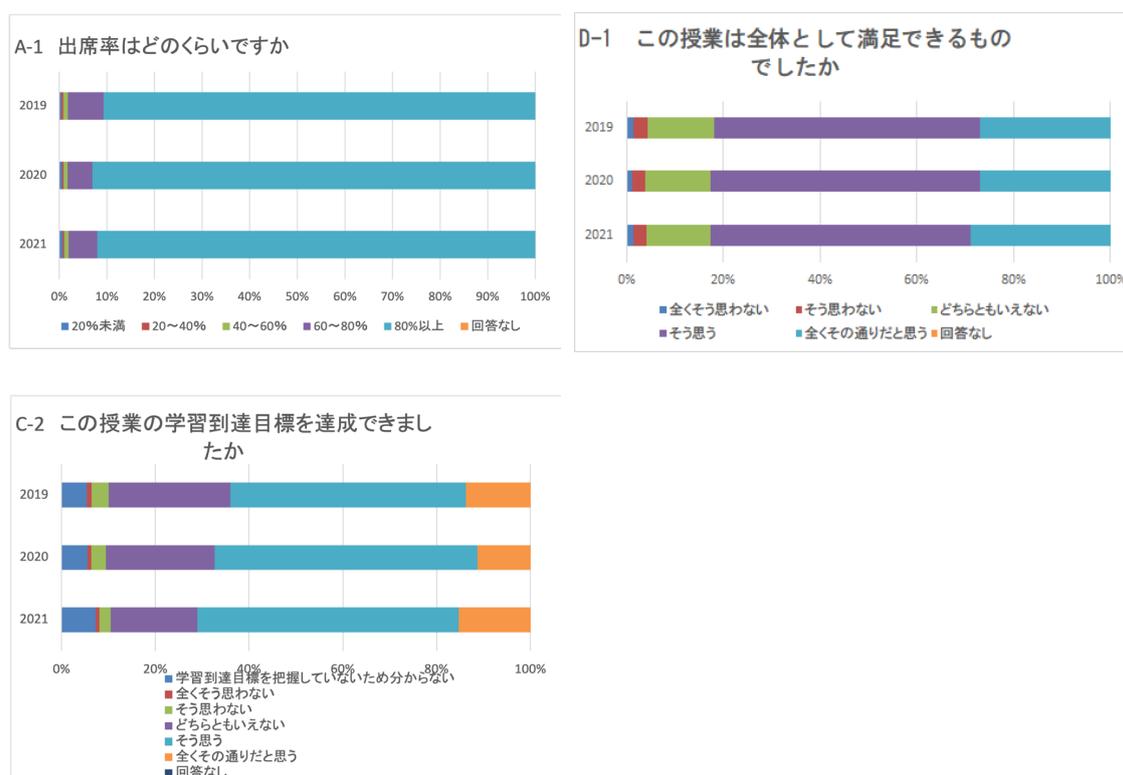
表2 部局別の独自形式アンケート実施科目数

	令和3年度
経済学部	2
理工学部	4
工学系研究科	4
理工学研究科	3
全体	13

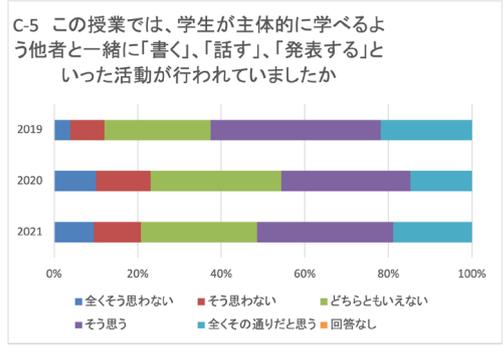
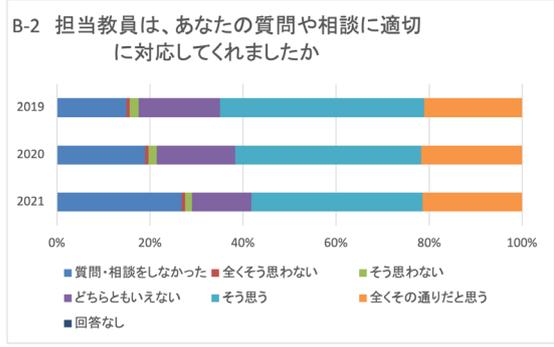
## 大学全体の傾向

### (1) 経年変化の分析

A-1（出席率はどのくらいでしたか）における「80%以上」の回答が90%以上を占め、D-1（この授業は全体として満足できるものでしたか）における「そう思う」と「全くその通りだと思う」の合計の回答が80%以上を3年間通して継続される中で、C-2（この授業の学習目標を達成できましたか）の回答の中の「そう思う」と「全くその通りだと思う」の合計の回答率が増加傾向にあることを総合的に判断すると佐賀大学における授業は全体として健全に実施されていると判断できる。



一方で、B-2（担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか）における「質問・相談をしなかった」の回答率が令和3（2021）年度から増加し、C-5（この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか）における「全くそう思わない」と「そう思わない」の回答率が令和2（2020）年度から増加した。この結果は、教員とも学生同士でも授業内容における情報共有等が行われなくなる傾向にあることを示唆している。授業のアクティブラーニング導入100%を目指す佐賀大学において、このようなコミュニケーション量の低下を示唆する結果は見過ごすことのできない結果である。



### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準 (とその活用方法)

学部・研究科	学科(課程)・専攻	コース等	内容	
教育学部			教育学部は教科によって数名だったりする科目が大半を占めているため、統計量として取り扱うことができない。したがって高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。	
芸術地域デザイン学部			特に実施していない。	
経済学部			特になし	
理工学部	数理学科		以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。	
	物理学科		履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。	
	知能情報システム学科		以前は、授業評価アンケートのD-1(満足度)を主に利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪いので、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。	
	機能物質化学科		満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。	
	機械システム工学科		特に実施していない	
	電気電子工学科		特に実施していない	
	都市工学科		特に実施していない	
	理工学科	共通教育		初年次共通教育においては、学生から高い評価を得ることよりも、基礎学力を涵養するための工夫に重点をおいているため、特に実施していない。
	理工学科	数理サイエンスコース		特に実施していない
	理工学科	知能情報システム工学コース		特に実施していない
	理工学科	情報ネットワーク工学コース		特に実施していない
	理工学科	生命科学コース		満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。
	理工学科	応用化学コース		満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。
	理工学科	物理学コース		履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。
	理工学科	機械エネルギー工学コース		特に実施していない
	理工学科	メカニカルデザインコース		特に実施していない
	理工学科	電気エネルギー工学コース		アンケート回答数が20以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-4(学生自身が考えることを促す配慮)、D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム3年目のため、上位評価科目に変えて、必修科目の授業参観を実施した。
	理工学科	電子デバイス工学コース		アンケート回答数が20以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-4(学生自身が考えることを促す配慮)、D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム3年目のため、上位評価科目に変えて、必修科目の授業参観を実施した。
	理工学科	都市基盤工学コース		特に実施していない
	理工学科	建築環境デザインコース		特に実施していない
農学部			選考基準の1つとして、教員の対応に関する質問事項(B-1,B-2)、授業内容および授業方法に関する質問事項(C-4、C-5、C-6)、授業の満足度に関する質問事項(D-1)において高い評価を得ている科目が挙げられる。一方、各授業の性質(必須科目、選択科目、座学中心または実習・実験中心の違いなど)や受講生数の違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際は、これらの点について考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えられる。	
全学教育機構			全学教育機構では、この項目に対する科目の選考は行っていない。	
学校教育学研究科			学校教育学研究科においては、そもそもの対象科目が少ないこと、共通必修科目であっても受講人数が20名と非常に少数であること、また対象となっている科目がいずれも高い評価を見せていること(4.の別添資料を参照)から、高い評価を得ている科目の選定は行わなかった。以上のことから選定基準も設けていない。	
地域デザイン研究科			地域デザイン研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。	
先進健康科学研究科			「学生から高い評価を得ている授業科目」については、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難と考えられる。先進健康科学研究科では、コースにより授業内容、授業方法が大幅に異なるため、統一的な比較は適切ではないと考えられる。	
工学系研究科	数理科学専攻		以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。	
	物理科学専攻		履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。(ただし、昨年度は受講者はいなかった。)	
	知能システム専攻		特に実施していない	
	循環物質科学専攻		満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。	

### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
	機械システム工学専攻		特に実施していない
	電気電子工学専攻		特に実施していない
	都市工学専攻		特に実施していない
理工学研究科	理工学専攻	数学コース	Webで収集する授業評価アンケートは、回収率が悪く参考にしにくいいため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。
	理工学専攻	物理学コース	履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する
	理工学専攻	データサイエンスコース	特に実施していない
	理工学専攻	知能情報工学コース	特に実施していない
	理工学専攻	機能材料化学コース	満足度を中心にアンケートしている。修了予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に終了後に役に立つと思う授業を調査している。コース会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。
	理工学専攻	機械エネルギー工学コース	特に実施していない
	理工学専攻	電気電子工学コース	特に実施していない
	理工学専攻	都市基盤工学コース	特に実施していない
	理工学専攻	建築環境デザインコース	特に実施していない
工学系研究科博士後期課程			博士後期課程については、講座単位では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。
農学研究科			選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項B～Dにおいて高い評価を得ている科目が挙げられる。一方で、大学院のほぼすべての授業において、これらの項目は高い水準を維持しており、全体として質の高い授業を提供できている状況にある。しかし、どの授業がとりわけ高い評価を得ているのかということ判断するのは困難である。そのため、今後も、すべての授業において高い水準を維持し続けるよう教員一同、努力することが重要であると考え。

### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
教育学部			<p><b>【優れた点】</b></p> <p>1) ティーチングポートフォリオ作成・更新率の維持と向上</p> <p>R3年度の標準版ティーチングポートフォリオ作成・更新率は昨年度の20.4%であり目標の13%を達成している。簡易版ティーチングポートフォリオに関しても、R3年度も更新率を100%を維持できている。毎年標準版ティーチングポートフォリオワークショップに参加された教員に標準版ティーチングポートフォリオの作成や利用法、授業・研究での活用法を学部FD講演会にて、報告をしてもらっているが、今年度の講演会は行わなかった。</p> <p>ティーチングポートフォリオワークショップの参加やFD講演会を通して、教員が各自授業の見直し、授業改善を行っている。本年度は対面授業を実施することができるようになったが遠隔授業技術も向上し、遠隔授業の併用や遠隔授業だけで行うことも可能となり、多様な授業形態が可能となった。学生の授業アンケートの満足度は概して85～90%の高さの回答を得た。</p> <p><b>【改善を要する点】</b></p> <p>1) 学生による授業評価アンケートの回答率</p> <p>毎年、教員は講義で学生にアンケートの記入するようにアナウンスしているが、回答率は上昇していないが問題点であった。R2年度においては前期59%、後期55%であったのが、R3年度の回答率は前期70%、後期62%と上昇している。アナウンスした成果とリモート授業が増え指示が徹底されたのではないだろうか？引きつづき過半数以上の回答率を維持したい。</p>
芸術地域デザイン学部			<p>芸術地域デザイン学部では、佐賀大学の特色であるラーニング・ポートフォリオを学生の学習進行の基本システムとして活用し、自主的な学習計画と振り返り、チューターの学修・生活指導の一助として役立てている。地域デザイン研究科では、研究指導実施計画書を学生と指導教員が作成し、学生と教員双方に関わる研究計画と振り返りのサイクルとして活用している。副指導教員2名はそれをチェックし、研究進捗を把握している。</p> <p>また、数年前からカリキュラム検討委員会が中心となり、カリキュラムにおける課題抽出をおこない、令和元年からカリキュラム改定に取り組んでいる。そこで検討すべき主な内容として上がったのは、1年次と3年次に開講されているコア科目の運営方法や内容についてである。令和2年春からは1年次コア科目のスリム化が実施され、さらにその後は教員の負担軽減と負担の平均化を目的とする改善策を講じている。それにより、その他の科目への注力が可能になり学部の活性化が期待できる。</p> <p>コア科目の運営検討において、1年次コア科目は、これ以上変えることは教育上の不利益をもたらすことになることが予想され、現状の方法で数年動かしてみたいと考える。3年次コア科目は、改善が望まれている。しかし、3年次コア科目は、地域創生フィールドワーク、有田キャンパスプロジェクト、国内外芸術研修の3科目から1科目の選択必修で、どれも設定された目的が違うため統一する運営や動きが難しい。また、学部の取り組みとして上げたい成果と教育効果、担当教員の負担軽減と、考慮すべき観点が多いのも手を付けるのが難しい要因である。</p>
経済学部			<p>アンケート全体から気になった2点につき若干の検討を行う。1つは、「基礎科目・後学期」のアンケート結果から見て取れる資料配布型、授業録画型授業の問題、2つに、シラバスの活用のありかた、についてである。</p> <p>(1) 「基礎科目・後学期」のアンケート結果から見て取れる資料配布型、授業録画型授業の問題</p> <p>「後学期」の「基礎科目」については、他の学期、他の科目の授業満足度が85%前後あるのに対して、10ポイントほど低い(D-1)。その原因として、「授業形態」が考えられる。令和3年度後学期・基礎科目は資料配布型・授業録画型が授業全体の70%を占めている(C-1)。また「授業満足度」を構成する要素と考えられる「学習目標到達」について、到達できたとする者は55%(C-2)にすぎなかった(他の科目は70%)。また、「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていなかったとする者が比較的多いこと(C-5)も授業形態による結果と考えられる。</p> <p>対面授業でこれまで培われてきた教育上の工夫が利用できなかったことが、他の科目(対面を主とする科目)と比較して、工夫しているとの評価が低くなった一因であろうが、他方で、資料型、録画型を採用する場合には、受講者との関係を密にするような教育上の工夫が間に合わなかったと思われる。</p> <p>資料型、録画型授業は、レポート等の課題が多く出され、自学時間が必要となる(A-2)。課題等に対して適切なフィードバックがあったとする割合は、コア科目、展開科目と「基礎科目」とでは大差はない。しかし、授業満足度では、10ポイントほど「基礎科目」のほうが低く、また適切なフィードバックが「全くない」とする者の割合が5ポイントほどあることなどから考えると、多くの課題(自学時間)を要求される一方、それのみあうだけの適切なフィードバックが不足しているとも考えられる。「基礎科目・後学期」に対する満足度が低くなっている原因は、より丁寧なフィードバックが欠けていたことにあるかもしれない。</p> <p>以上、基礎科目の問題というより、資料配布型、授業録画型の問題として、授業改善の余地が多分にあり、この形態授業を実施する場合には十分気を付けねばならない問題であると考えられる。</p> <p>(2) シラバスの活用</p> <p>シラバス点検等を通して、全学的に学生の修学にとって役立つシラバスの改善が行われており、記載内容に問題のあるシラバスはほぼないと考えられる。これに対して、授業選択、予習、復習などのためにシラバスを活用していないと40%の受講者が答えており(A-3)、シラバス内容を把握していないため授業内容がシラバスに基づいていることを把握していない受講者も10%ほど存在する(C-3)。</p> <p>他方で、「教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明」(B-1)について、80%以上の学生が有益であると答えている。教育理念、方法、成績評価はシラバス記載事項であることからすると、シラバス、または口頭により教員の授業メッセージは伝わっていると考えられる。</p> <p>シラバスの活用については、教員(あるいは教育課程)がシラバスを通してどのようなメッセージを受講者に伝えようと考えているのか、何のためにシラバスの充実が求められているかの検討が重要である。シラバスは、当該科目の受講選択に際しての基礎資料であるのか、授業進行の「道しるべ」であるのか、それとも教育理念、方法、到達目標の提示なのか、はたまたこれらすべてを含むものかについて共通の意識をもったうえで、学部教育におけるシラバスの活用を考えていく必要がある。</p>

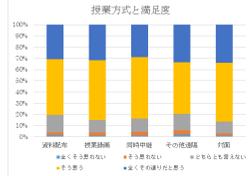
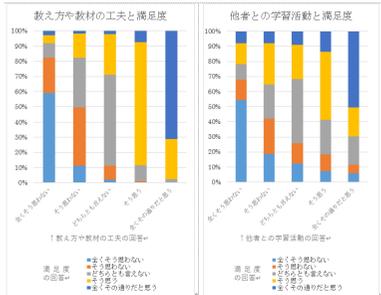
### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学部	数理学科		学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。
	物理学科		学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。
	知能情報システム学科		理工学科知能情報システム工学コースに準じる。
	機能物質化学科		学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成19年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成23年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でその妥当性についてチェックしている。
	機械システム工学科		各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては、改善への取り組みを促している。
	電気電子工学科		JABEEの基準に従い、定期的に教育改善委員会・カリキュラム検討委員会（科目別会議を含む）・学生実験委員会を開催し、教育改善に取り組んでいる。教員各自は、共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。
	都市工学科		教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学科	共通教育	初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において改善点の抽出を行い、共通教育委員会で共有している。必要であれば、教務委員会、質保証委員会、組織運営委員会と連携して改善案の策定および実施のプロセスを踏むことにしている。具体的に理エリテラシーS1はe-learningサイトをポータルとして設けるなど学生が取り組みやすいような改善を行った。また、数理AIデータサイエンス教育の充実化のため理エリテラシーS2などのシラバス設計の見直しを行った。大学入学初年度のため、前期では出席課題提出状況をチェックし、組織運営委員会と情報共有してチューター指導に結びつけている。 なお、JABEEを実施しているコースもあるため、共通教育でもJABEEの基準に従った教育改善を進めている。
	理工学科	数理サイエンスコース	学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。
	理工学科	知能情報システム工学コース	<p>(取り組み状況)</p> <p>各教員が、以下に示すような様々な授業改善に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面授業、ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業の特長を組み合わせることで、学生が対面・遠隔の受講方式を自由に選択でき、かつ、教員の手間が抑えられる改良型ハイフレックス方式を導入した。学生からも高い評価を得た。(掛下)</li> <li>・学生の細かいケアを行うため、自作の教務判定システムを活用している。</li> <li>・オンライン授業用や予習・復習用の教材、オンデマンド視聴できる授業ビデオを作成し、学生に公開した。プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習環境を整備した。(福田、中山)</li> <li>・毎回の授業後にMoodle小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映されている。(掛下)</li> <li>・Moodle小テストを活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。(掛下)</li> <li>・学習アドバイザーやTAを活用し、成績不振の学生を優先した学習支援を行った。(上田、皆本、福田)</li> </ul> <p>(優れた点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブ・オンライン授業の実施により授業への学生の出席率が向上した。遅刻も減少した。また、チャットを活用することで、学生からの質問も増加した。(掛下)</li> <li>・同期型のライブ・オンライン授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶学生のPC画面を共有した指導は、他の学生も見ることができ、学びが得られた。</li> <li>▶ブレイクアウトセッションを活用することで小グループに分けて演習等ができた。</li> </ul> </li> <li>・非同期型のオンデマンド授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下、中山他) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶オンデマンドビデオの繰り返し視聴や、一時停止、倍速再生等により効率化ができた。</li> <li>▶インターネットが低速な環境でも、各自のPCにダウンロード視聴できる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(改善を要する点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業が続く中で学生同士のコミュニケーションが減少した結果、孤独を感じる学生が増えたように感じる。今後、対面でも受講できる授業を提供するとともに、学生に対する精神的ケアを充実させることが望まれる。(掛下)</li> <li>・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていききたい。</li> <li>・グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。</li> </ul>
理工学科	情報ネットワーク工学コース	理工学科知能情報システム工学コースに準じる。	

III. 授業アンケートの結果と分析

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学部	理工学科	生命科学コース	学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している・教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。
	理工学科	応用化学コース	学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している。教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。
	理工学科	物理学コース	学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。
	理工学科	機械エネルギー工学コース	各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえて、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては、改善への取り組みを促している。
	理工学科	メカニカルデザインコース	各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえて、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては、改善への取り組みを促している。
	理工学科	電気エネルギー工学コース	JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。
	理工学科	電子デバイス工学コース	JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。
	理工学科	都市基盤工学コース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学科	建築環境デザインコース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
農学部			アンケートのほぼ全ての項目で前年度と同程度もしくはそれ以上の高い評価を得ており、とりわけ、授業の内容はシラバスに基づくものか、教員の授業内容の工夫、及び学生の授業全体の満足度を回答するC-3、C-4及びD-1においても前後期を通じて7~9割程度の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答しており、学生にとってシラバスに基づいた質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れていると言える。一方、授業の選択・予習・復習などのシラバスの活用は平均4割程度にとどまっており、また、シラバスを見ていない学生は平均2割程度見られ、改善を要する点と言える。
全学教育機構			<p>・優れた点</p> <p>コロナウイルス発生から2年目となる2021年度は対面授業を実施することを原則として状況に応じて遠隔授業も認める形で授業が実施された。下記の図は授業アンケートのC-1「この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか」とD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」との回答を分析し、授業形態の違いが授業満足度に与える影響を検じた結果である。どのような形式の遠隔授業であっても対面授業と大きくは変わらない満足度であった。コロナウイルスの感染拡大の影響で遠隔授業を実施せざるを得なかった2020年度を経て、遠隔授業でも対面授業と変わらない満足度を得られる授業方法を各教員が習得した結果であると考えられる。この点が優れた点である。</p>  <p>・改善を要する点</p> <p>A-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の分析から外国語科目以外の科目群で時間外学習の時間増をすることが明らかとなった。また、D-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の回答において少なからず「全くどうは思わない」の回答があることは改善すべき点である。次ページの左図がC-4「理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていませんか」とD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の関係を分析した結果で、右図がC-5「この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていませんか」とD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の関係を分析した結果である。これらの結果からの明らかのように教え方や教材の工夫を学生が感じる程、また他者との学習活動が行われたと感じる程、授業への満足度が高まる傾向になる。履修登録をした学生が全く満足しなかったというネガティブな評価を減少させるためにも教え方や教材の工夫や他者との学習活動を各授業で積極的に実施することが改善を要する点である。</p> 

### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
学校教育学研究科			<p>【優れた点】</p> <p>1) 毎学期の意見交換会の実施 学校教育学研究科では、大学院生の要望を直接聞き取ることを重視し、3)の授業評価アンケート以外に、毎学期にそれぞれのコースにおいて大学院生と教員の意見交換会を実施している。意見交換会では、講義・演習における改善点や、大学院生活（施設・環境面も含む）における課題の聞き取りを行なっている。 令和3年度も前学期、後学期の聞き取りを行い、改善点について検討した。授業面に関する改善点の例として、前学期は授業中のネット環境の悪さが指摘されたので教育総務とも相談して改善を図った。また、コース内のカンファレンスの意義が不明瞭であるという指摘があったので、オリエンテーションで丁寧に説明を行うこととした。後学期では、研究成果発表会の内容をより充実させることに関する指摘があったため、令和4年度より開催方式を一部変更して対応することにした。</p> <p>2) 修了生調査の実施 学校教育学研究科では令和2年度より、前年度の修了生とそれぞれの勤務校の管理職に対して、カリキュラム全体の評価、及び、2年間の各講義科目・実習科目の成果を尋ねる修了生調査（アンケート調査）を実施している。 令和3年度は、令和2年度（3期生対象）に実施した調査結果を受けて、カリキュラムの改善点を検討した。その結果、特にストレートマスターにおいて学級経営に関するニーズの高さが明らかになったため、令和3年度は共通必修科目の「教職キャリアデザインの基礎と課題」等の科目において、学級経営のトピックを随時取り扱うこととした。修了生調査の内容については、以下で公開を行なっている。 <a href="http://doi.org/10.34551/00022990">http://doi.org/10.34551/00022990</a></p> <p>3) 授業評価アンケートの振り返り 毎学期実施される授業アンケートについて、各項目の詳細な分析を行い、各教員に回覧し、授業改善への意欲を高めることを促している。令和3年度の分析については4.で別紙資料を添付する。</p> <p>【改善を要する点】</p> <p>1)の意見交換会については、これまで教育学生専門部会を中心に改善案を検討してきたが、学校教育学研究科で統一した対応方針を取る必要があることから、令和4年度からFDの一つに位置付け、全教員で改善策を検討する。 同じく、2)の修了生調査の結果についても、授業改善に関する重要な意見があることから、調査結果を振り返るFDを実施する。すでに令和3年度中に、4期生への修了生調査を実施しており、この結果をFDでの検討素材とする。</p>
地域デザイン研究科			<p>授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第1に、修士論文最終試験である。コロナ感染症防止対策で対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド形式で行ない、主査・副査に限らない多くの教員の参加を実現し、専門外の視点からの口頭試問を行った。</p> <p>第2に、修士1年第2学期（4月入学生は後期、10月入学生は前期）に行っている研究進捗状況報告会である。入学から短期間であるので研究成果は期待されていないが、早期から研究プレゼンテーションを行うことによる、締め切りに合わせた研究の取りまとめとプレゼンテーションへの習熟を指導できる。また、授業評価アンケートでわかるように少数であるが受け身の学習態度の学生が存在する。こういった学生の学習態度の改善に研究進捗状況報告会が役立っている。</p> <p>改善すべき点としては、第1に研究指導体制の不足への対応である。修了予定者アンケートで研究指導体制に不足という回答があった。大学院教育の大きな問題として改善しなくてはならない。第2に研究設備への不足への対応である。同じく、修了予定者アンケートで図書等資料の不足の回答があった。他大学や研究機関等の各種資料を学生自ら発見し、取り寄せたり閲覧したりする研究手法の指導不足が2つ目の改善すべき点である。</p>
先進健康科学研究科			<p>授業の満足度が高く、概ね良好に授業が実施されていると考えられる。</p> <p>一方、シラバスを見ておらず学習到達目標や成績評価の方法を把握していない学生、質問や相談をしなかった学生もいるため、改善を要すると思われる。</p>
工学系研究科	数理学専攻		学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。
	物理学専攻		専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。（ただし、昨年度は受講者がいなかった。）
	知能上システム専攻		学士課程（知能情報システム学科）での工夫は博士前期課程でも用いられている。
	循環物質科学専攻		学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門に近い教員グループにより授業の改善を続けている。
	機械システム工学専攻		各教員は、担当する科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告している。
	電気電子工学専攻		教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。
	都市工学専攻		教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。また、教育システム委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学専攻	数学コース	コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
理工学研究科	理工学専攻	物理学コース	専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。
	理工学専攻	データサイエンスコース	知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。
	理工学専攻	知能情報工学コース	知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。
	理工学専攻	機能材料化学コース	学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。
	理工学専攻	機械エネルギー工学コース	各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告している。
	理工学専攻	電気電子工学コース	教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。
	理工学専攻	都市基盤工学コース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
	理工学専攻	建築環境デザインコース	教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。
工学系研究科博士後期課程			優れた点として、授業アンケートに対する回答があった科目に関しては良好な評価を得ていることが挙げられる。一方、改善すべき点としては、回答率が低いことが挙げられる。
農学研究科			アンケートのほぼ全ての項目で高い評価を得ており、理解しやすい教え方・工夫を回答する質問C-4や授業全体の満足度を回答する質問D-1において、前後期通じて90%以上の学生が「満足している」と回答しており、学生にとって質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れているといえる。一方で、シラバスの活用度を回答する質問A-3は前年度より増加したが、以前「全く活用していなかった」、「シラバスを見ていない」学生の割合は2割程度であることから、シラバス活用度の促進は改善を要する点といえる。

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 次年度の授業改善目標

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
教育学部			TPについては対象者に確実にワークショップに参加してもらい、目標の更新率を維持していきたい、アンケートの回答についても今年度の回答率を下げないようにアナウンスを積極的に行っていく予定である。
芸術地域デザイン学部			手の付けられるいくつかのカリキュラム改善を終え、現在は次の改善を見定める期間である。しかし、令和4年度の現状は、芸術表現コースにおける定年及び中途退職による教員不在の科目を賄う非常勤講師の手配や退職教員が担当していた学生への指導などの喫緊の課題に追われ、それ以上の改善目標は無いといえる状態である。学部全体においても、非常勤講師によって賄われている科目などについて検討課題が多く、積極的な改善に手が付けられる状況ではない。新任が着任することでこれまでとは異なった方向性が見えることもあるだろう。次の授業改善は来年度以降に検討するのが良いと考える。
経済学部			1) 遠隔授業に対する学生の満足度の向上のための授業方法の検討 今後、新型コロナウイルス等の蔓延時に、授業形態として資料型や録画型を用いるべきかどうか、用いるとして、より満足度の高い授業を提供するには何が必要かの検討を行う必要がある。  2) シラバスの活用の検討 学生に活用されないシラバスの作成に時間をかけても意味がない。授業改善のために、シラバスが果たす役割と活用を検討する必要がある。
理工学部	数理学科		学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。
	物理学科		定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。
	知能情報システム学科		学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。 また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。
	機能物質化学科		教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、学科全体で継続的に行う。
	機械システム工学科		各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」と担当科目のFDレポートに、授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、学科全体の教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	電気電子工学科		教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。
	都市工学科		各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。
	理工学科	共通教育	初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において不断に改善点の抽出と点検を行っており、部会にて適切に授業改善の対応を行う。次年度は大学入門科目において課題設定・探求能力を培い、かつ、その能力をアセスメントするようルーブリック評価を導入、その他の科目で数理・データサイエンス・AI教育プログラムに対応した科目運営を実施する。2年次以上の専門教育において、基礎学力としての初年次共通教育の教育効果について、各部門・コースのフィードバックを教務委員会および教育質保証委員会にて検証し、必要であれば、共通教育委員会において改善策を実施する。
	理工学科	数理サイエンスコース	学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。
	理工学科	知能情報システム工学コース	知能情報システム学科に準じる。
	理工学科	情報ネットワーク工学コース	知能情報システム学科に準じる。
	理工学科	生命科学コース	教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、コース全体で継続的に行う。
	理工学科	応用化学コース	教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、コース全体で継続的に行う。
	理工学科	物理学コース	定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。
	理工学科	機械エネルギー工学コース	各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」と担当科目のFDレポートに、授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、コース内および関連のメカニカルデザインコースと連携を取りながら教育改善課題を議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	理工学科	メカニカルデザインコース	各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」と担当科目のFDレポートに、授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、コース内および関連の機械エネルギーコースと連携を取りながら教育改善課題を議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
理工学科	電気エネルギー工学コース	教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。	
理工学科	電子デバイス工学コース	教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。	
理工学科	都市基盤工学コース	各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。	

III. 授業アンケートの結果と分析

(3) 次年度の授業改善目標

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
	理工学科	建築環境デザインコース	各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。
農学部			シラバスを見ていない回答の学生が平均2割程度見られる。授業初回などでシラバスを提示するとともに、履修中も適宜活用する資料であることを学生に周知、説明し、シラバスの活用度を促進する取り組みを行う。
全学教育機構			全学教育機構の授業評価の結果、時間外学習の時間の少なさが改善を要する点であることが明らかとなった。令和4年度の授業ではA-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の値を改善することを目標とする。
学校教育学研究科			令和4年度も、2で令和3年度の取り組みを継続し、意見交換会で聴取できた意見、修了生調査の結果、授業評価アンケートの結果について分析を行い、学校教育学研究科内へのフィードバックを随時行い、授業改善に努める。修了生調査については、改善点や成果をより明確にするための質的調査なども計画する。 この他、学校教育学研究科各コースのカリキュラムデザインを明確にするためのロードマップ作成にも着手する。令和3年度末に、試行的に教育経営探究コースでロードマップを作成したが、令和4年度は他コースでも作成を行い、大学院生にカリキュラムの目的や構造、各科目の位置付けを明確な形で示せるようにする。なおロードマップの例は、以下のリンクより参照可能である。 <a href="http://doi.org/10.34551/00023241">http://doi.org/10.34551/00023241</a>
地域デザイン研究科			上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。 第1の研究指導体制の不満足への対応として、2022年8月4日に大学院生ガイダンスを実施した。学位取得までのスケジュールを再確認し、入学時オリエンテーションでは話していない研究の遅れへの対応方法や指導教員との研究方針の不一致の場合の対応、アカデミック・ハラスメントへの対応を説明し、質疑応答を行った。 第2の研究設備への不満足への対応としては、研究科教員全員に対して基本的な研究手法の指導の再確認によって改善することを目標とする。
先進健康科学研究科			上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。すなわち、シラバスの周知徹底やオフィスアワーなどの活用を図る。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。
工学系研究科	数理学専攻		専攻として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。
	物理学専攻		定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。（ただし、昨年度は受講者がいなかった。）
	知能上システム学専攻		学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。 また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。
	循環物質科学専攻		教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。
	機械システム工学専攻		各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、専攻全体の教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	電気電子工学専攻		授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。
	都市工学専攻		各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、授業の問題点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。
理工学研究科	理工学専攻	数学コース	コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。
	理工学専攻	物理学コース	定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。
	理工学専攻	データサイエンスコース	理工学科知能情報システム学専攻に準じる。
	理工学専攻	知能情報工学コース	理工学科知能情報システム学専攻に準じる。
	理工学専攻	機能材料化学コース	教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。
	理工学専攻	機械エネルギー工学コース	各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りながら教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
	理工学専攻	機械システム工学コース	各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、コース内および関連の機械エネルギー工学コースと連携を取りながら教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。
理工学専攻	電気電子工学コース	授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。	

### III. 授業アンケートの結果と分析

#### (3) 次年度の授業改善目標

学部・研究科	学科（課程）・専攻	コース等	内容
	理工学専攻	都市基盤工学コース	各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。
	理工学専攻	建築環境デザインコース	各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。
工学系研究科博士後期課程			授業アンケートに基づいて授業改善を進める。
農学研究科			シラバス内容について講義中に周知し、シラバスの活用度を促進する。また、引き続き特別研究において、ルーブリック評価の導入・定着を図る。

**令和3年度  
組織別授業点検・評価報告書**

教育学部  
学校教育学研究科

FD委員会

令和4年9月

## ○ 教育学部

### 1 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

教育学部は教科によって数名だったりする科目が大半を占めているため、統計量として取り扱うことができない。したがって高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。学校教育学研究科においても対象科目が少ないのと少数のため選定を行わなかった。以上のことから選定基準を設けていない。

### 2 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

令和3年度は教育学部、学校教育学研究科、の2組織に対する組織別授業評価を実施した。その結果について報告する。

#### 【優れた点】

#### 1) ティーチングポートフォリオ作成・更新率の維持と向上

R3年度の標準版ティーチングポートフォリオ作成・更新率は昨年度の20.4%であり目標の13%を達成している。簡易版ティーチングポートフォリオに関しても、R3年度も更新率を100%を維持できている。毎年標準版ティーチングポートフォリオワークショップに参加された教員に標準版ティーチングポートフォリオの作成や利用法、授業・研究での活用法を学部FD講演会にて、報告をしてもらっているが、今年度の講演会は行わなかった。

ティーチングポートフォリオワークショップの参加やFD講演会を通して、教員が各自授業の見直し、授業改善を行っている。本年度は対面授業を実施することができるようになったが遠隔授業技術も向上し、遠隔授業の併用や遠隔授業だけで行うことも可能となり、多様な授業形態が可能となった。学生の授業アンケートの満足度は概して85~90%の高さの回答を得た。

#### 【改善を要する点】

#### 1) 学生による授業評価アンケートの回答率

毎年、教員は講義で学生にアンケートの記入するようにアナウンスしているが、回答率は上昇していないが問題点であった。R2年度においては前期59%、後期55%であったのが、R3年度の回答率は前期70%、後期62%と上昇している。アナウンスした成果とでリモート授業が増え指示が徹底されたのではないだろうか？引きつづき過半数以上の回答率を維持したい。

### 3 次年度の授業改善目標

TPについては対象者に確実にワークショップに参加してもらい、目標の更新率を維持していきたい。アンケートの回答についても今年度の回答率を下げないようにアナウンスを

積極的に行っていく予定である。

#### 4 授業評価アンケート結果と分析

回答結果としては概して肯定的回答が8割であった。回答率も昨年を上回っており、改善が見られた。引っかかる点としてはシラバスの内容を把握していないとか、活用していないとかいう回答が30%程度いた。せつかく教員が苦勞して公表をしているのでシラバス説明を授業の初回に説明し、授業内容の周知を行う必要がある。

## ○学校教育学研究科

### 1 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

学校教育学研究科においては、そもそもの対象科目が少ないこと、共通必修科目であっても受講人数が20名と非常に少数であること、また対象となっている科目がいずれも高い評価を見せていること（4.の別添資料を参照）から、高い評価を得ている科目の選定は行わなかった。以上のことから選定基準も設けていない。

### 2 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

令和3年度の学校教育学研究科の授業改善の取り組み状況に係る優れた点について報告する。

#### 【優れた点】

#### 1) 毎学期の意見交換会の実施

学校教育学研究科では、大学院生の要望を直接聞き取ることが重視し、3)の授業評価アンケート以外に、毎学期にそれぞれのコースにおいて大学院生と教員の意見交換会を実施している。意見交換会では、講義・演習における改善点や、大学院生活（施設・環境面も含む）における課題の聞き取りを行なっている。

令和3年度も前学期、後学期の聞き取りを行い、改善点について検討した。授業面に関する改善点の例として、前学期は授業中のネット環境の悪さが指摘されたので教育総務とも相談して改善を図った。また、コース内のカンファレンスの意義が不明瞭であるという指摘があったので、オリエンテーションで丁寧に説明を行うこととした。後学期では、研究成果発表会の内容をより充実させることに関する指摘があったため、令和4年度より開催方式を一部変更して対応することにした。

#### 2) 修了生調査の実施

学校教育学研究科では令和2年度より、前年度の修了生とそれぞれの勤務校の管理職に対して、カリキュラム全体の評価、及び、2年間の各講義科目・実習科目の成果を尋ねる修了生調査（アンケート調査）を実施している。

令和3年度は、令和2年度（3期生対象）に実施した調査結果を受けて、カリキュラムの改善点を検討した。その結果、特にストレートマスターにおいて学級経営に関するニーズの高さなどが明らかになったため、令和3年度は共通必修科目の「教職キャリアデザイン的基础と課題」等の科目において、学級経営のトピックを随時取り扱うこととした。修了生調査の内容については、以下で公開を行なっている。

<http://doi.org/10.34551/00022990>

#### 3) 授業評価アンケートの振り返り

毎学期実施される授業アンケートについて、各項目の詳細な分析を行い、各教員に回覧し、授業改善への意欲を高めることを促している。令和3年度の分析については4. で別紙資料を添付する。

#### 【改善を要する点】

1) の意見交換会については、これまで教育学生専門部会を中心に改善案を検討してきたが、学校教育学研究科で統一した対応方針を取る必要があることから、令和4年度からFDの一つに位置付け、全教員で改善策を検討する。

同じく、2) の修了生調査の結果についても、授業改善に関する重要な意見があることから、調査結果を振り返るFDを実施する。すでに令和3年度中に、4期生への修了生調査を実施しており、この結果をFDでの検討素材とする。

### 3 次年度の授業改善目標

令和4年度も、2で令和3年度の取り組みを継続し、意見交換会で聴取できた意見、修了生調査の結果、授業評価アンケートの結果について分析を行い、学校教育学研究科内へのフィードバックを随時行い、授業改善に努める。修了生調査については、改善点や成果をより明確にするための質的調査なども計画する。

この他、学校教育学研究科各コースのカリキュラムデザインを明確にするためのロードマップ作成にも着手する。令和3年度末に、試行的に教育経営探究コースでロードマップを作成したが、令和4年度は他コースでも作成を行い、大学院生にカリキュラムの目的や構造、各科目の位置付けを明確な形で示せるようにする。なおロードマップの例は、以下のリンクより参照可能である。

<http://doi.org/10.34551/00023241>

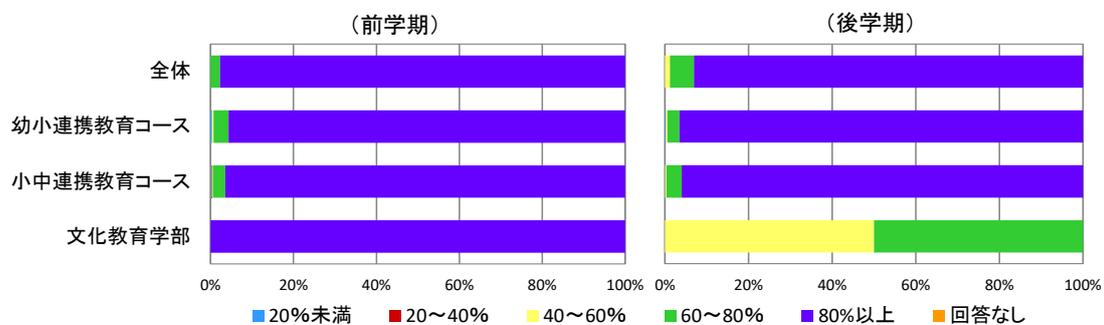
### 4 授業評価アンケート結果と分析

別添資料の通り、各項目について非常に高い評価を得ている。

このデータは R3 年度在籍した教育学部全学年のすべての科目を対象に 4 学年の学生からのアンケートを集計したものである。データ区分が 4 つある。“全体”，“幼小連携教育”，小中連“携教育コース”，“文化教育学部”と区分けをしており，全体の区分の科目は小中連携教育学や小中連携教育内容研究であり，実施時期が教員により異なるために一般科目と分離し，前期と後期に分けることに意味はないので分析の対象とはしない。また，文化教育学部のデータも回答人数が 1 名であるので参照しない。したがって今回は”幼小連携教育コース”と“小中連携教育コース”のみ言及したいと行う。前期においては幼小連携教育コースは延べ数 2722 人分，小中連携教育コースでは 1514 人分の回答数である。後期においては幼小連携教育コース 3130 人分，小中連携教育コースでは 1765 人分の回答数である。

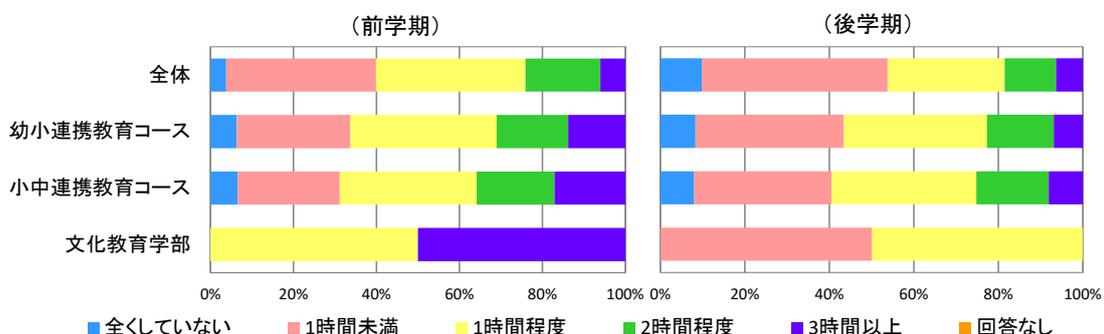
## A. あなた自身について

### A-1 出席率はどのくらいですか



95%が 80%以上の出席をしており，残り 5%が 60~80%以上の出席率となっている。コースによる違いは見あたらない。5%の内訳では 80%近い出席率か 60%に近い出席率かで大きく異なるが，休みが多くなると成績不振や不登校になる可能性があり注意を要する。

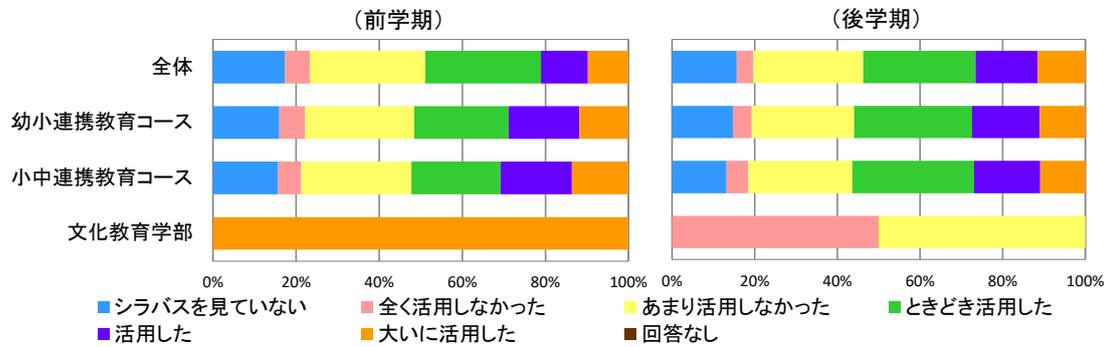
### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



“全くしていない”の科目が前期，後期ともに 10%弱あり，コースによる違いは全くない。全くしていない科目は課題がなく，比較的授業時間だけで理解できる内容であると推察する。前期の方が時間外の学習時間は長くなっている。後期は慣れてくるのか？実習系科目が

多いのかもしれない。

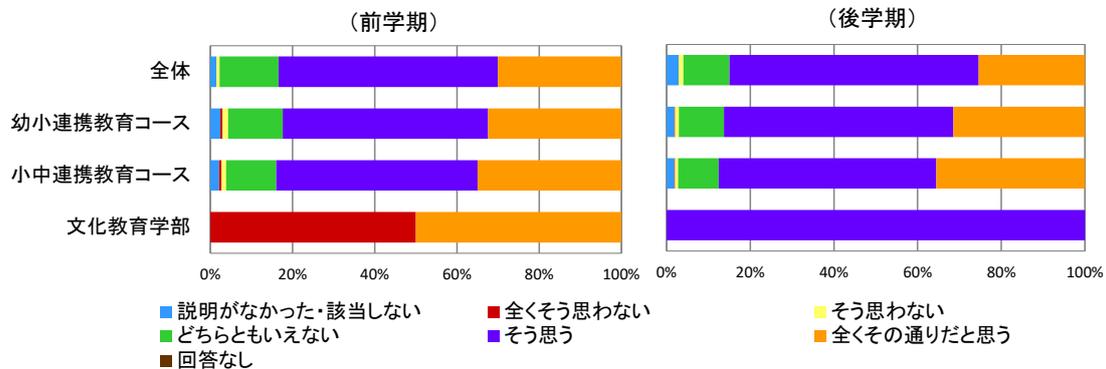
### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



前期・後期ともに“シラバスを見ていない”と“全く活用していない”と15%弱ある。自発的に閲覧してもらうのはなかなか難しい。“全く活用しなかった”を含めると約20%程度は閲覧されていないことになる。シラバスの入力をかなり詳しくやっているのに残念であるので是非授業の初回の時にシラバスの説明を行ってほしい。

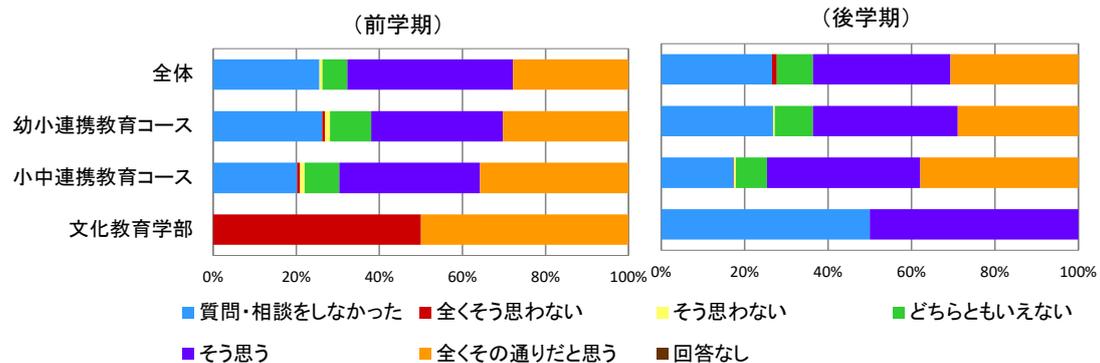
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



前期の“説明がなかった・該当しない”，“全くそう思わない”の否定的な意見と“どちらともいえない”を除いた肯定的意見は85%程度である。否定的回答は5%程度であり，妥当であると考えられる。後期においては幼小連携教育コースと小中連携教育コースは90%弱を超える肯定的回答である。ほぼコースによる違いはない。前期はシラバスの説明を聞いたと印象が少なかったのかもしれない。

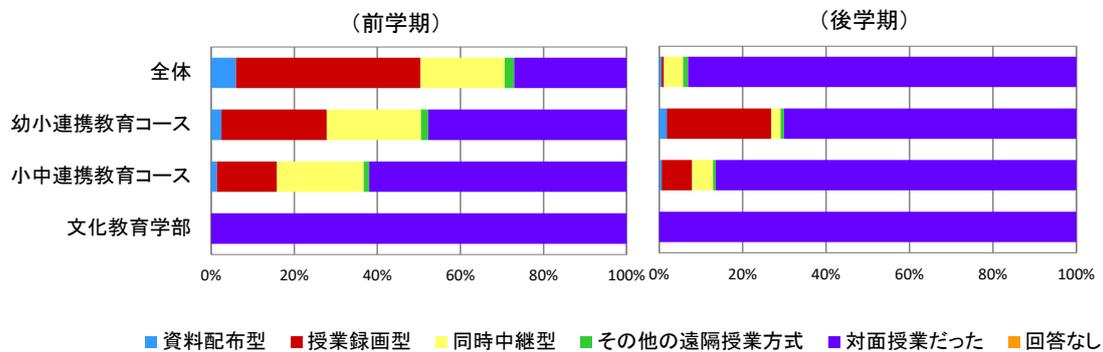
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は，幼小連携教育コースで60%強，小中連携教育コースで70%程度が教員から適切に対応を受けている。後期においても幼小連携教育コースは65%程度，小中連携教育コースは75%越えの教員が学生に適切に対応をしていることになる。両学期において小中連携教育コースの方が10%程度肯定的回答になっているが，実は幼小連携教育コースの方が“質問・相談をしなかった”が多いだけであるので設問の仕方を変えた方が良い。

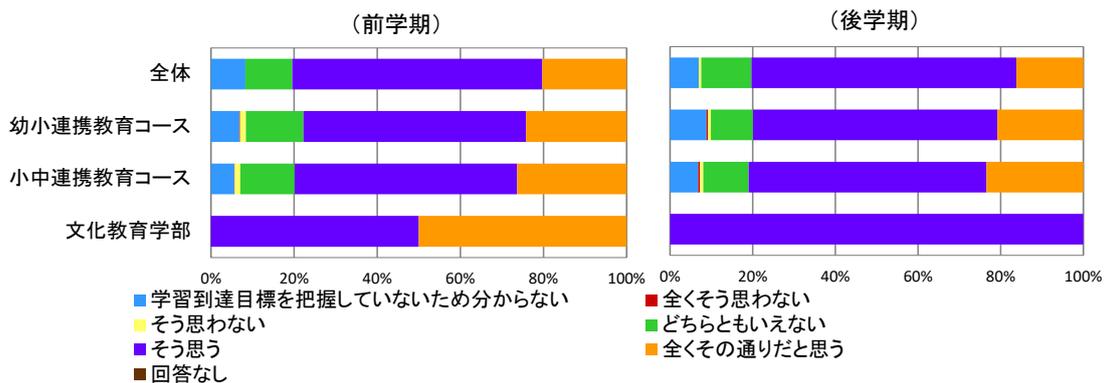
## C. 授業内容および授業方法について

## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



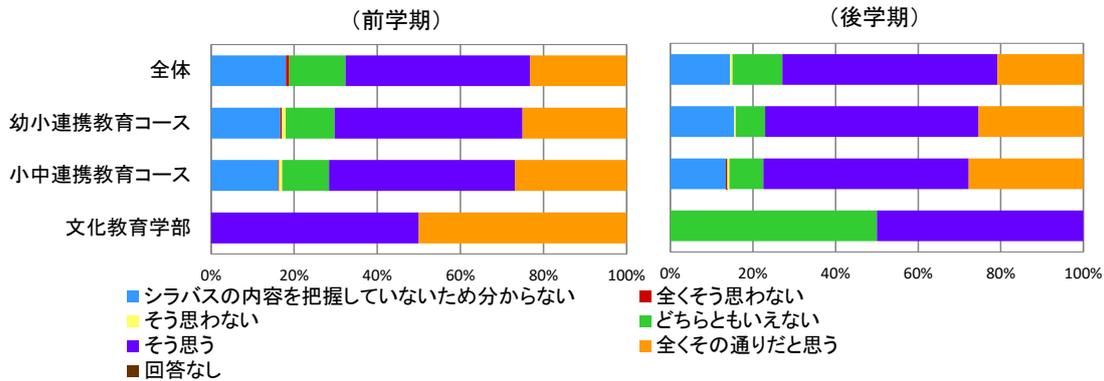
前期はコロナ禍の警戒レベルが高かったため対面を避ける傾向があり強かったものだとされる。幼小連携教育コースの方より小中連携教育コースの方が前期後期にかかわらず、対面授業の比率が高い。授業科目の性質によるものだと考えられる。

## C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



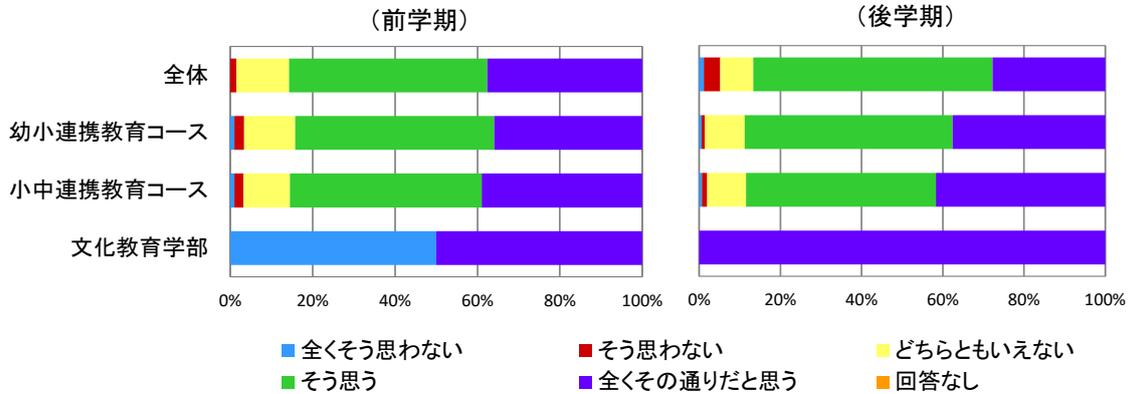
前・後学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和はどちらも80%程度が学習目標が達成できたと感じている。否定的回答は“学習到達目標を把握していないため分からない”, “全くそう思わない”と“そう思わない”を合わせて10%程度あり、特に“学習到達目標を把握していないため分からない”が5%以上あり顕著である。シラバスをちゃんと説明していないことが原因であるかもしれない。

## G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



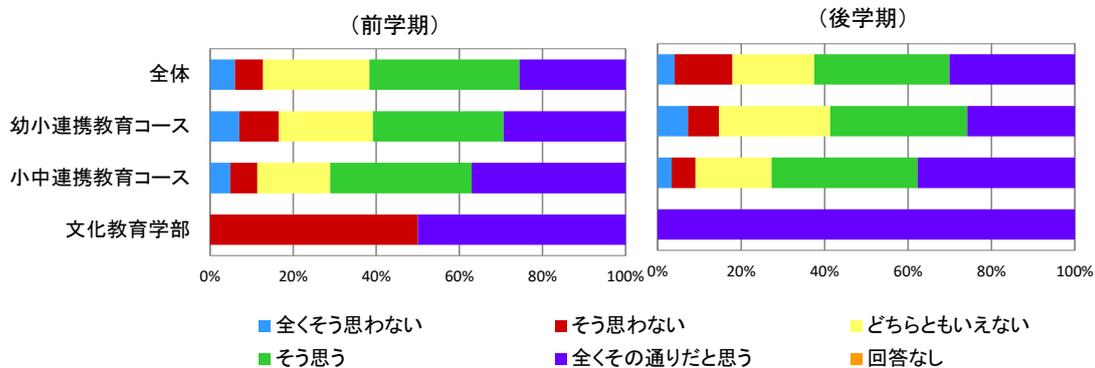
前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は70%程度である。後期はやや上がっている。もともとA-3項でシラバスを“見ていない”と“全く活用しなかった”という回答が15%程度あったので、それに対応する結果がでていると思う。少なくとも70%の科目は確実にシラバスとおりに授業がやられている。この場合“全くそう思わない”と“そう思わない”が2%程度おり、シラバスどおりにやっていない教員もわずかながらいるということで該当者は改善を要する。

## G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



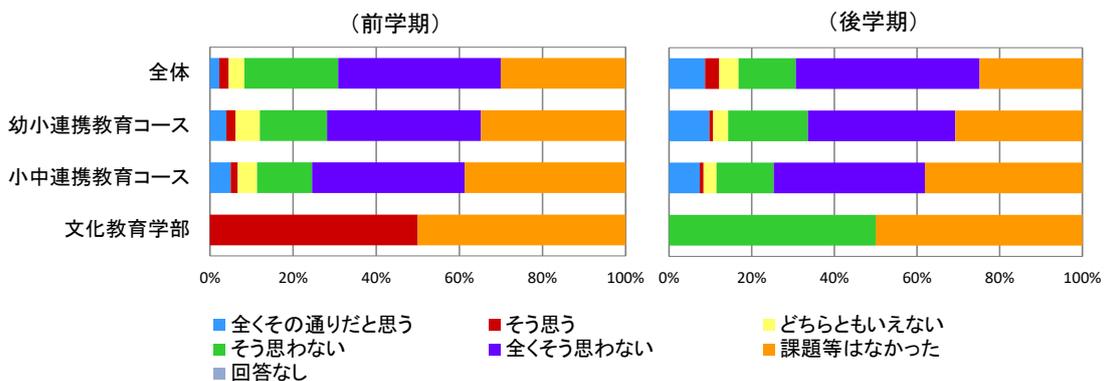
前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は85%程度である。後期は90%近くに上昇している。後期の方が工夫がなされ改善が行われている。コースによる違いは認められない。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



前・後学期ともに構成の比率は学期の違いはない。幼小連携教育コースでは、肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は60%程度、一方、小中連携教育コースの方が70%となっている。このことは設問が「書く」「話す」「発表する」と言った授業の形態によってほぼ決まるので小中連携教育コースの方がその傾向が強い科目が多いのであろう。アンケートの意図がよくわからない。「書く」「話す」「発表する」も OR(または)なのか AND(かつ)もはっきりしない。

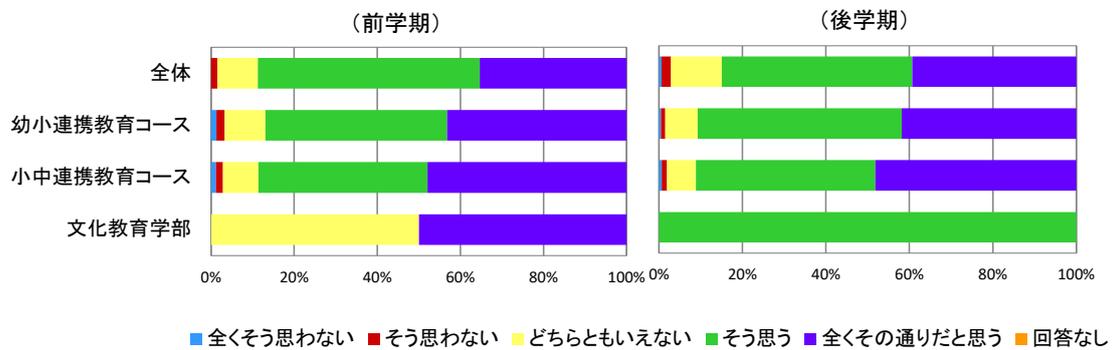
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



設問と回答の関係があまり明確ではないが肯定的回答は“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は10%程度、前期後期を比較してそれほど変化はない。コース別に関してもそれ以外の回答要素にはまったく意味がない。10%程度の教科が提出物に対してフィードバックをしていることがわかる。

## D. 満足度

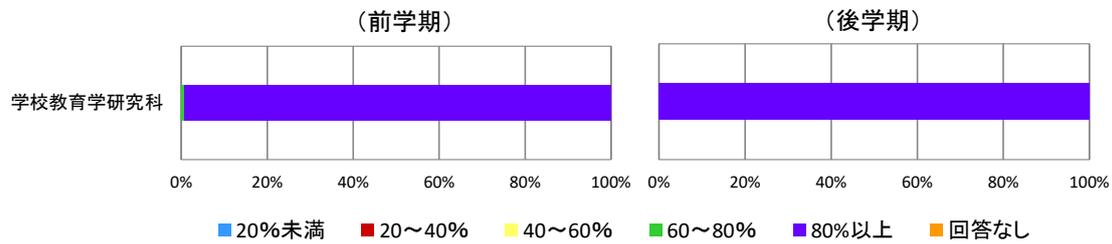
### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前期において満足度は各コースおよび全体をみても、肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和はほぼ90%に近く、後期では90%を超えている。ほぼ良好な授業が行われていることが読み取れた。否定的意見がどちらも5%程度はいるようである。

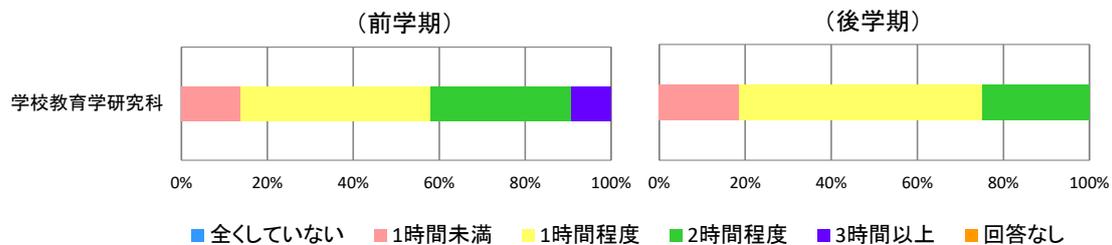
## A. あなた自身について

## A-1 出席率はどのくらいですか



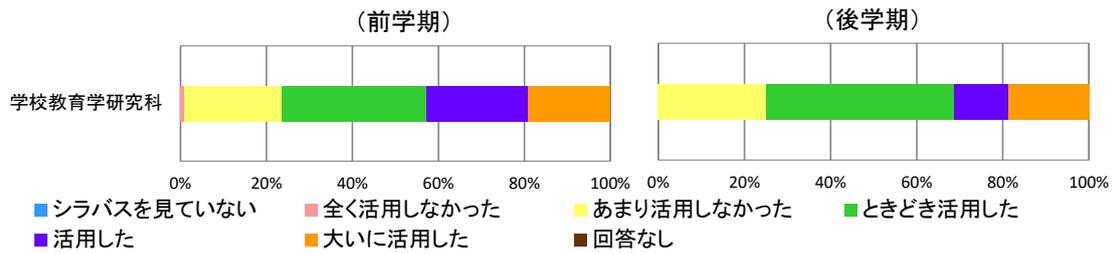
前学期は99%以上、高学期は100.0%の出席率であり、院生数が少ないということを除いても、非常に良好な出席率となっている。

## A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前学期の授業時間外学習は1時間未満が13.7%（前年度15.3%、以下同）、1時間程度が44.3%（28.7%）、2時間程度が32.8%（28.0%）、3時間以上が9.2%（28.0%）であった。後期はそれぞれ18.8%（21.4%）、56.3%（50.0%）、25.0%（23.8%）、0.0%（4.8%）であった。今年度は、前後学期共に1時間から2時間程度の授業時間外学習が増加し、1時間以下、3時間以上の回答率が減少していた。各科目において、適切な課題設定がなされていたものと考えられる。

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

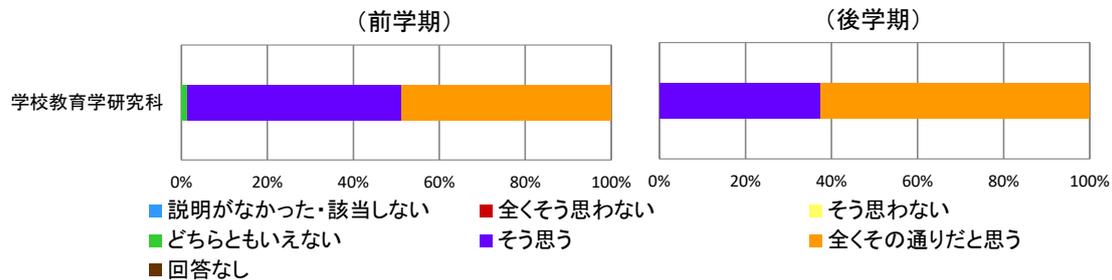


シラバス活用率に関して、前学期 76.3%・後学期 75.0%であり、前後学期共に肯定的回答の割合が高かった。教職大学院において、共通必修の授業が開講されており、所属コースの教員ではない科目を履修することから、シラバスが積極的に参照されているものと考えられる。

一方、1/4程度の学生はシラバスをあまり活用していなかった。選択必修などの科目が少なく、選択の際に活用する必要がないことに起因することが推察される。

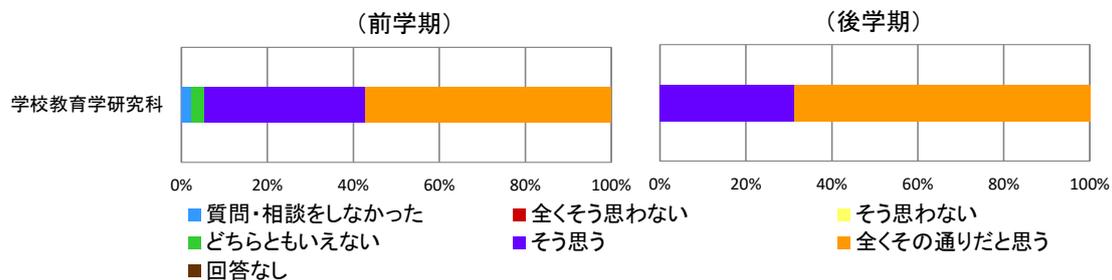
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であったと回答をしているものが、前学期は98.5%（前年度94.3%）、後学期は100.0%（同じく100.0%）であった。前年度前学期も高く評価されていたが、今年度はさらに上昇が見られた。各科目において教育方法や成績評価方法について十分な説明がなされ、それによって学習が充実したと感じていることが推察される。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

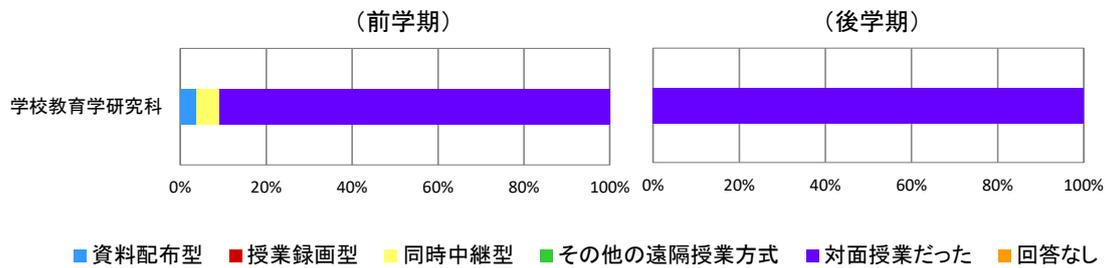


この質問項目に対しては、前学期が94.7%（前年度97.1%）、後学期100.0%（同じく100.0%）が肯定的な回答をしており、適切な対応が十分できていると考えられる。昨年度と同様に、後学期には肯定的な回答が目立つ。前学期は入学して間もなく、担当教員の入れ替わりがあったことの影響が推察される。

教職大学院には学期ごとに授業や大学生活に関する大学院生の意見を聴取する機会を設けており、そのことも一因であると推察される。また、コースごとにオリエンテーションを開催し、大学生活について説明したり、質問や相談を行う機会を設けたり、授業を通じて関係性が築かれ、学生が直接研究室を訪れることができるようになったりしたことが、その要因になっていると考えられる。

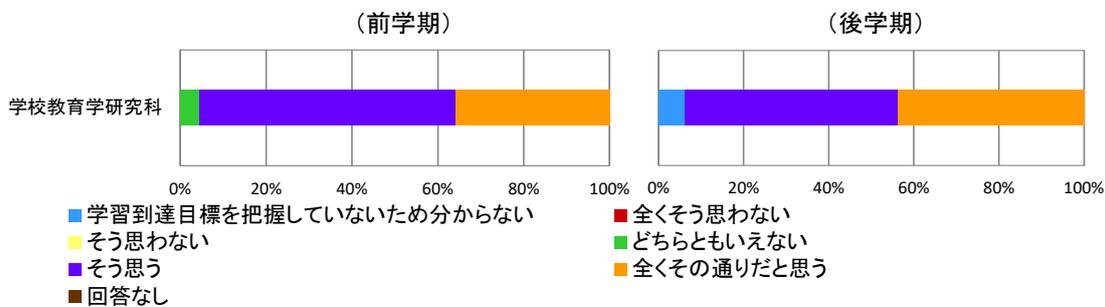
## C. 授業内容および授業方法について

## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



感染症対策のために、前学期には一部授業で資料配布型 3.8%、同時中継型 5.3%の授業が行われていた。前学期には 90.8%、後学期には 100.0%が対面授業であった。学校教育学研究科の学修内容としてグループワークなど対面での活動が多く、感染状況の落ち着き等もあり、このような結果になったと考えられる。

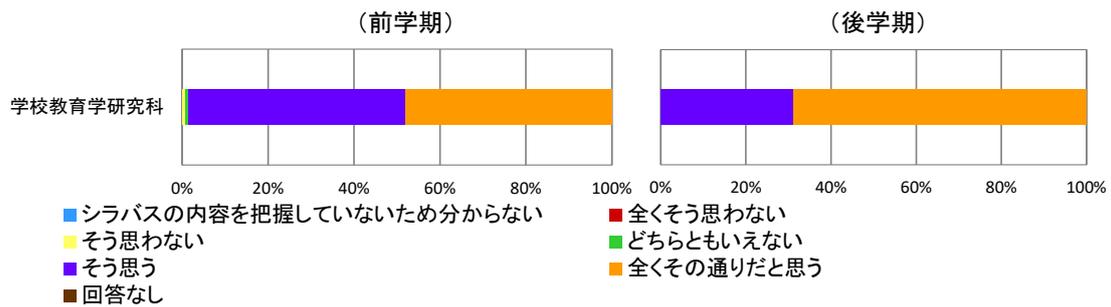
## C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



学習到達目標達成に関する自己認識に関して、肯定的な回答が前学期は 95.4%（前年度 95.5%）、後学期は 93.8%（同じく 100.0%）と高い比率を示している。

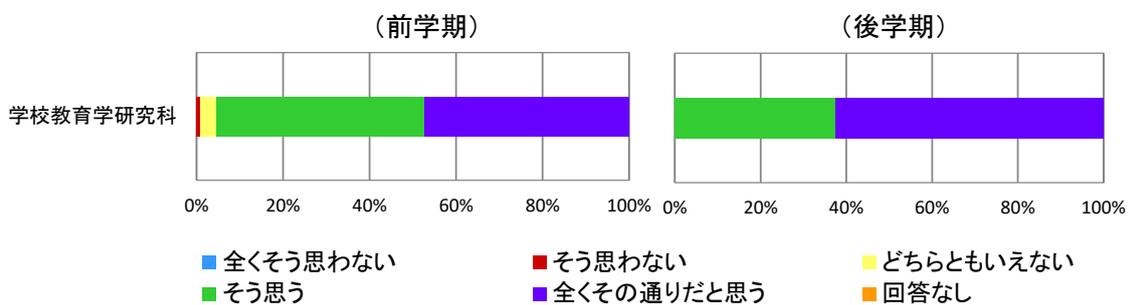
ごく少数ではあるが、後期に学修到達目標を把握していないためわからないと回答する学生がいた（6.3%）。共通必修科目であるが故に自分の専門とは異なる領域の学修に従事することとなり、到達目標達成に関する自己認識が低かったと考えられる。

## C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



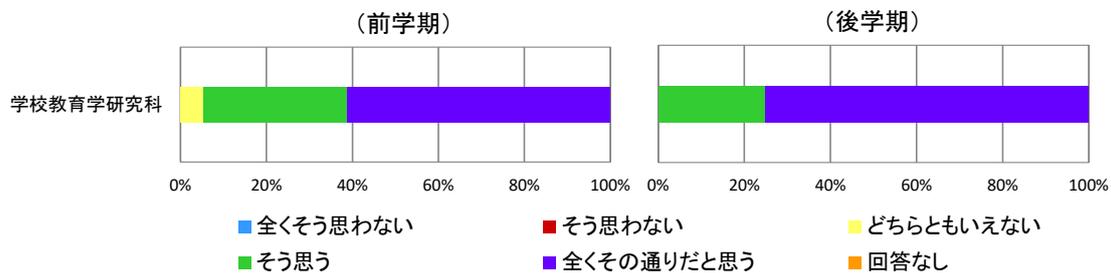
授業内容がシラバスに基づいているかに関しては、前学期は98.5%、後学期は100.0%となっており、肯定的回答が98.0%を越えている。授業内容がシラバスに基づいていたとほぼ全ての学生が認識していたといえる。教職大学院も6年目に入り、各授業の内容が体系化され、シラバスに反映されており、概ねそのシラバスに沿った授業が行われていると見ることができる。

## C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



理解しやすいように教え方や教材の工夫がなされていたという回答が前学期95.4%、後学期100.0%となっており、肯定的回答が95%を超えている。

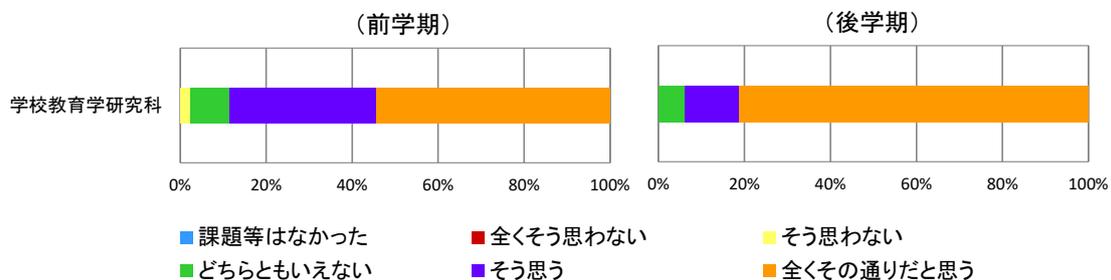
C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていたという回答が前学期 94.7%、後学期 100.0%となっており、肯定的回答が非常に高くなっている。この質問項目でも後学期の方が高い結果となった。

教職大学院の授業では、現職院生とストレートマスターのペアでの発表やグループワークを実施し、現職院生は現任校の課題分析も行うなど、ほぼ全ての授業で、アクティブ・ラーニングの手法を導入しているためと考えられる。

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



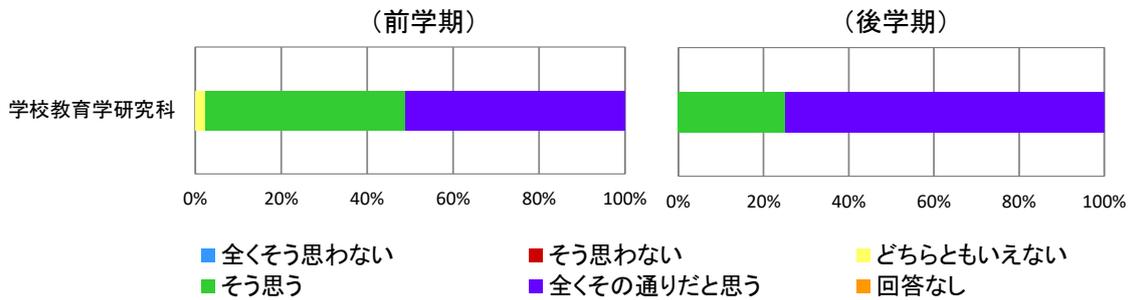
課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説があったという回答が前学期 88.5%、後学期 93.8%となっており、肯定的回答が高くなっている。

適切なフィードバックが行われていたことで、目標達成や教え方・教材の工夫、主体的・対話的に学ぶ活動等の高評価に関連していたと推察される。

一方で、前後学期共に1割程度「どちらとも言えない」「そう思わない」と回答する学生がおり、教員のフィードバックが適切に受け止められていないことが考えられる。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業の満足度に関しては、前学期 97.7% (昨年度 92.4%)、後学期 100.0% (97.6%) となっており、非常に満足度が高い。昨年度も高評価であったが、前後学期とも上昇が見られた。

対面授業で実施されたこと、教員の丁寧な指導・支援、主体的・対話的な学修活動の充実など授業改善の取組の成果として捉えることができるであろう。

**令和3年度  
組織別授業点検・評価報告書**

**令和4年**

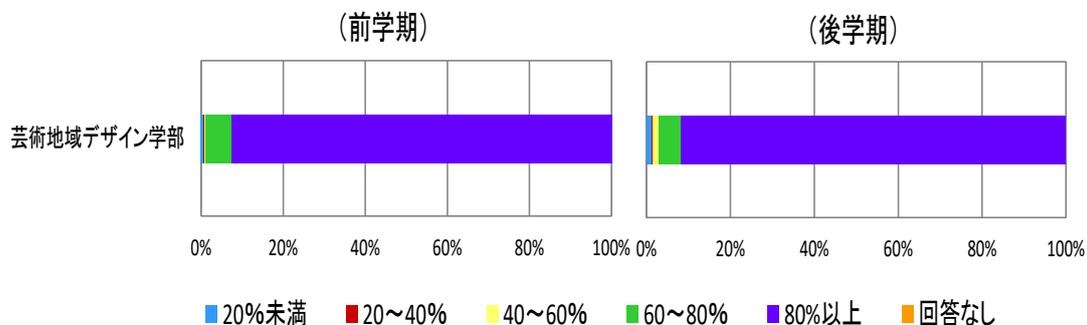
**佐賀大学芸術地域デザイン学部**

**教育質保証委員 井川健**

## (1) 授業評価アンケート結果と分析

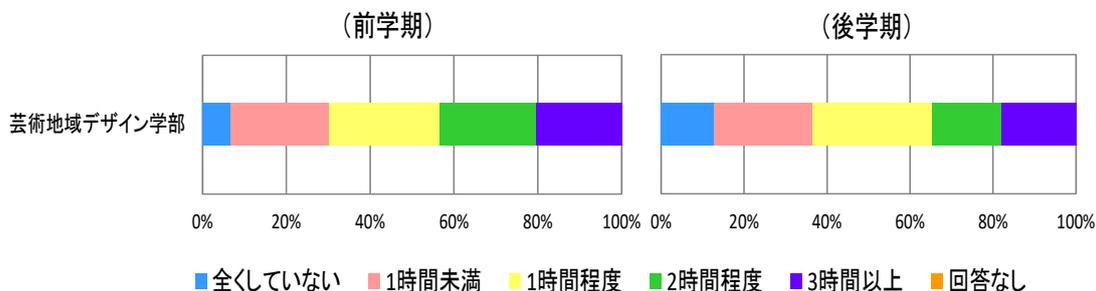
## A. あなた自身について

## A-1 出席率はどのくらいですか



前後期ともに約9割の学生が出席率80%以上と良好である。

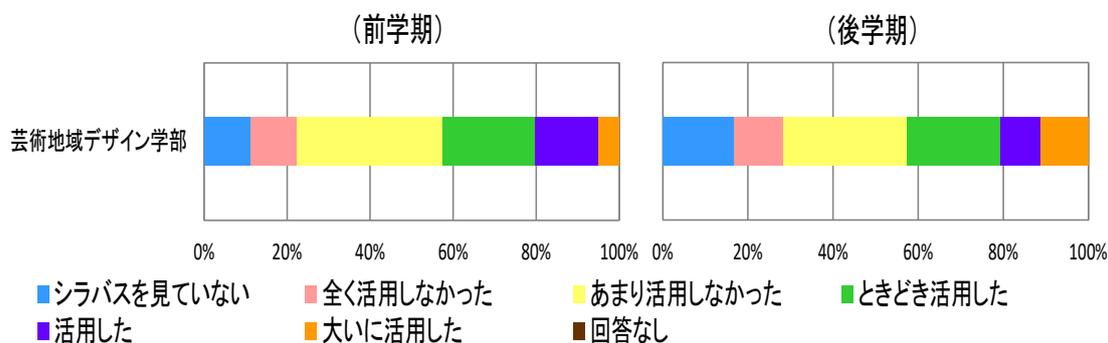
## A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



2時間以上の時間外学習で十分と捉えるのであれば、その数が4割前後というのはいちどいえるであろう。ただ、学部の特性上、課外において自主的な制作（研究）活動を行うことも自力で作品を制作できるようになるためには重要であり、課題以外の個々の制作（研究）活動に時間を割いているとも言える。そのため、「1回の授業ごとの予習復習」という設問に対する本結果が正しい状況を示していると言い切れないところがある。

そうした学部の特性を踏まえると、約9割の学生が1回の授業ごとに何らかの予習復習をしていることは悪くない結果と捉えている。学生は授業ごとに時間外学習が必要であることを理解して取り組んでいるということである。また、教員は先述のような学部の特性を考慮してバランスを意識した時間外の課題配分をしていることである。ただ、全くしていない1割の層は問題で、さらに後期に数値が上がっている点も気付きである。

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

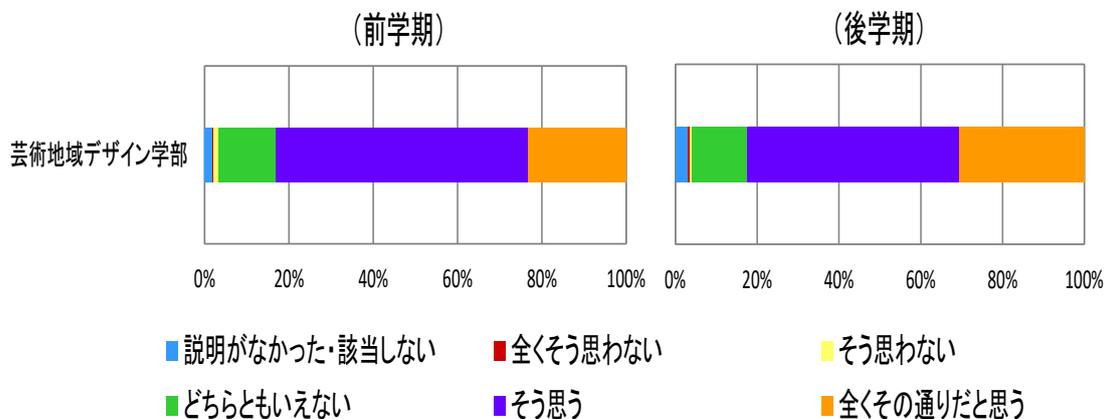


芸術地域デザイン学部では例年シラバスを活用する学生が多くない。表が表す活用の比率も例年と同様である。だがこの数字はシラバスが不十分であることを示すものではない。2016年の学部設置段階において、シラバスの内容については厳しいチェックがあり学部内である程度統一され水準の揃ったシラバスが用意されていた。さらに、それ以降も全学のシラバス点検に伴いその方針に従う形で変更が行われ、充実した内容と的確な内容記述は設置段階よりも向上し、教員の意識にも変化をもたらしているように思う。それにも関わらず活用する学生が伸びないのは、実習科目多いという点も一因として上げられるが、「ゼミの教員の授業」を受けることが増えてきていたり、先輩などからの情報によりある程度授業の全容が掴める、ということも大きいように思える。

いずれにせよ、この結果に関わらず、引き続き教員側はしっかりとしたシラバスを作成し、方針、計画を明示しておくことに変わりはない。

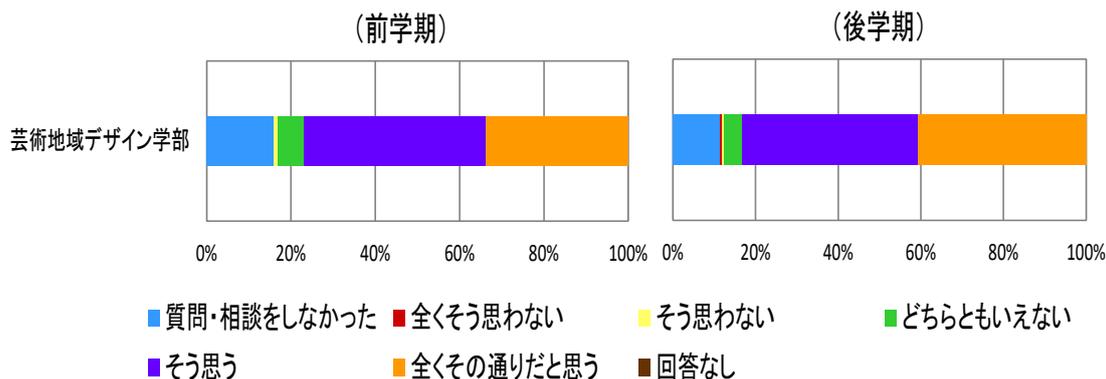
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の合計が8割以上あり、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は学生に評価されている。評価は良好である。

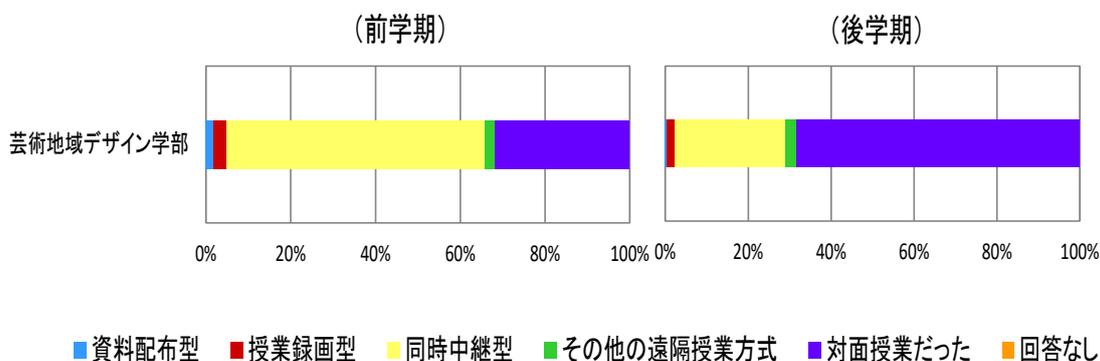
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、担当教員は学生に対して適切に相談に応じていると言って良い。評価は良好である。

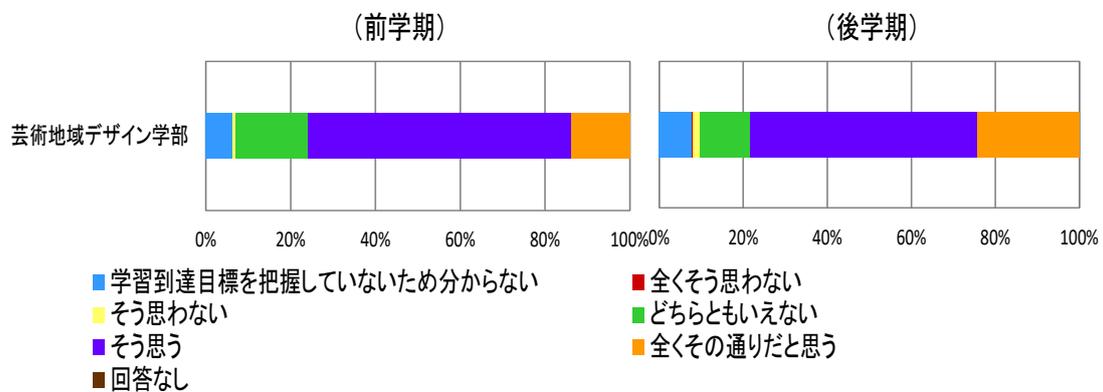
## G. 授業内容および授業方法について

### G-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



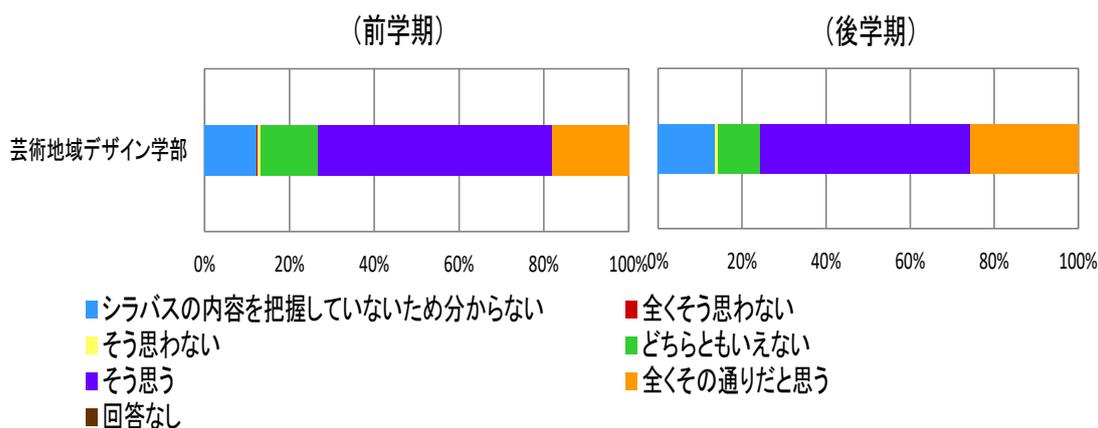
前期はまだ6割を超える場合で遠隔での開講だったことが伺えるが、多くの教員が教育効果を望める同時中継型を行い、学生への教育の質の担保を努力した点は評価できる。また、遠隔を中心に対面授業も認められるという中で、対面授業が3割5分程度の割合に達しているのは対面を必要とする実習科目の多い学部の特性を反映している。対面授業中心に方針が変更された後期には、学部の授業全体がそれに従い対面授業中心に変わったことが分かる。対面授業の実施を実現する上では、教室への入室者数を半減させ2教室で開講するなど、さまざまな工夫と努力を行っている。

## G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



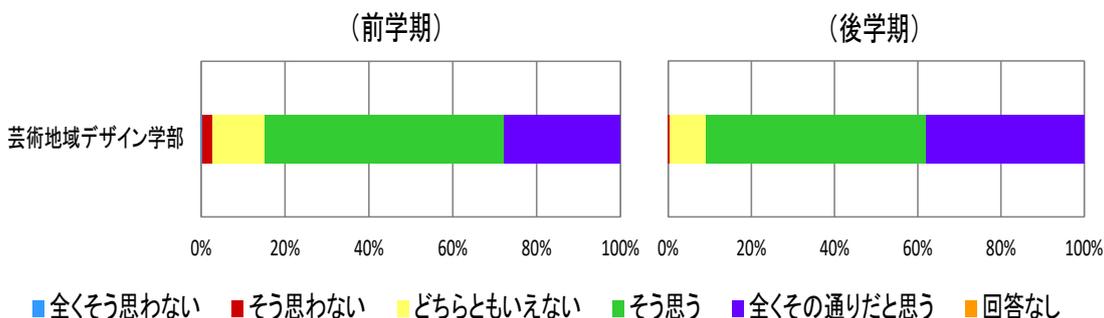
前後期ともに8割近くが「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好と言える。ただし、把握していない学生も一定数いる。シラバス活用の低さとリンクしているようにも思え、改善の余地はありそうだ。

## C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



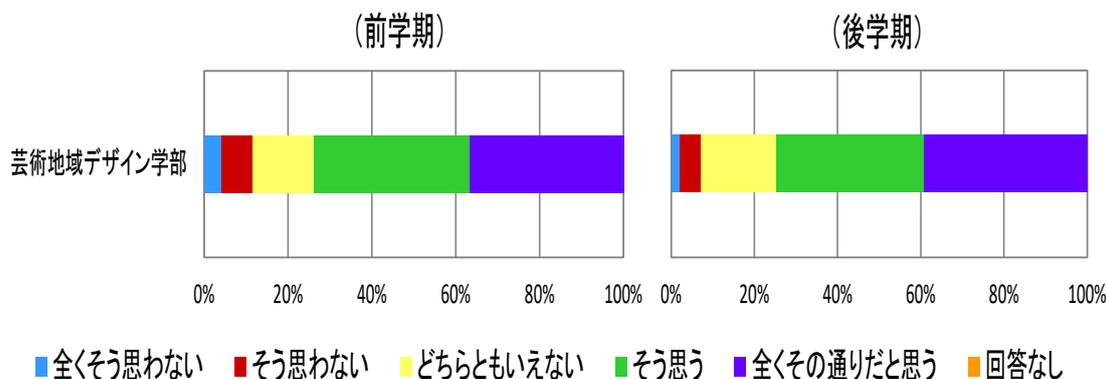
前後期ともに、8割～9割近くの学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好と言える。ただし、このグラフは「シラバスの内容を把握していないので分からない」と回答した相当数の比率が入っていない。シラバスを把握せずに受講する一定数いる学生に対し対策の余地がある。

## C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



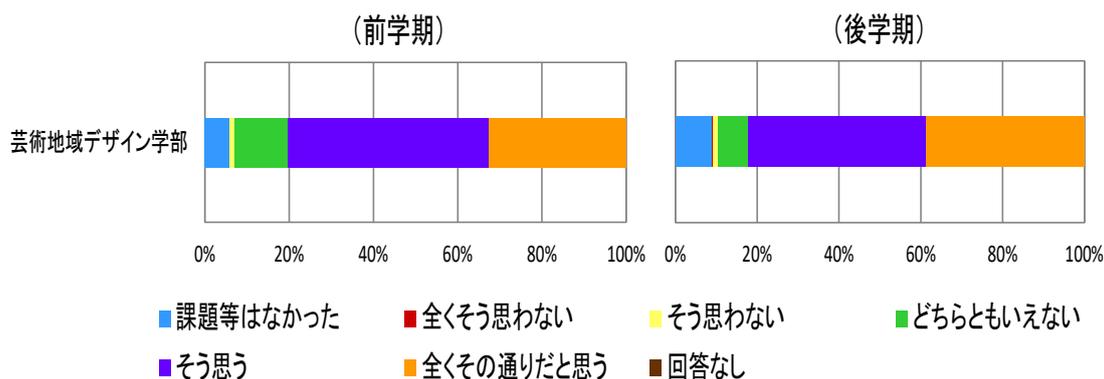
前後期ともに、8割～9割近くの学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好である。しかし、「そうは思わない」「全くそうは思わない」と答えた学生も居ることを忘れずに、教え方や教材の工夫には毎年取り組む必要がある。

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



「そう思わない」「全くそう思わない」の回答が1割程度あるが、前後期ともに、7割5分以上の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。学生の主体性が発露できるような授業運営の割合としては高いと言ってよいのではないだろうか。学部の特色である実技実習は学生が主体的に取り組む個人作業も多いことから「そう思う」割合が高くなるのだが、ここで示される比率はそれ以上のものであり講義系の科目においても工夫がなされていることが伺える。

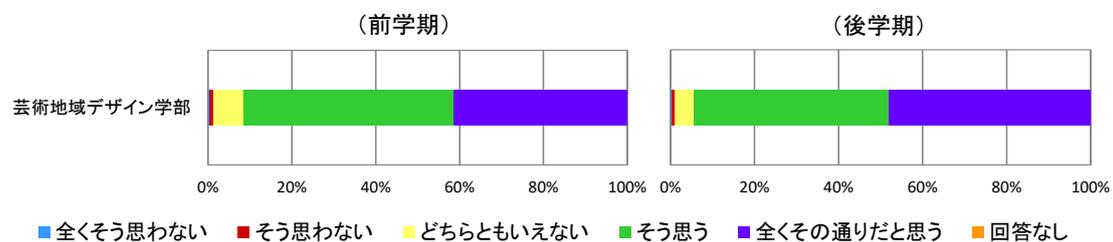
C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前後期ともに8割の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。評価は良好と言え、教員が丁寧に学生に接している結果である。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前学期ともに 9 割を超える学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答しており、良好である。

# 令和3年度 組織別授業点検・評価報告書

経済学部

## 授業評価アンケートの結果と分析（経済学部）

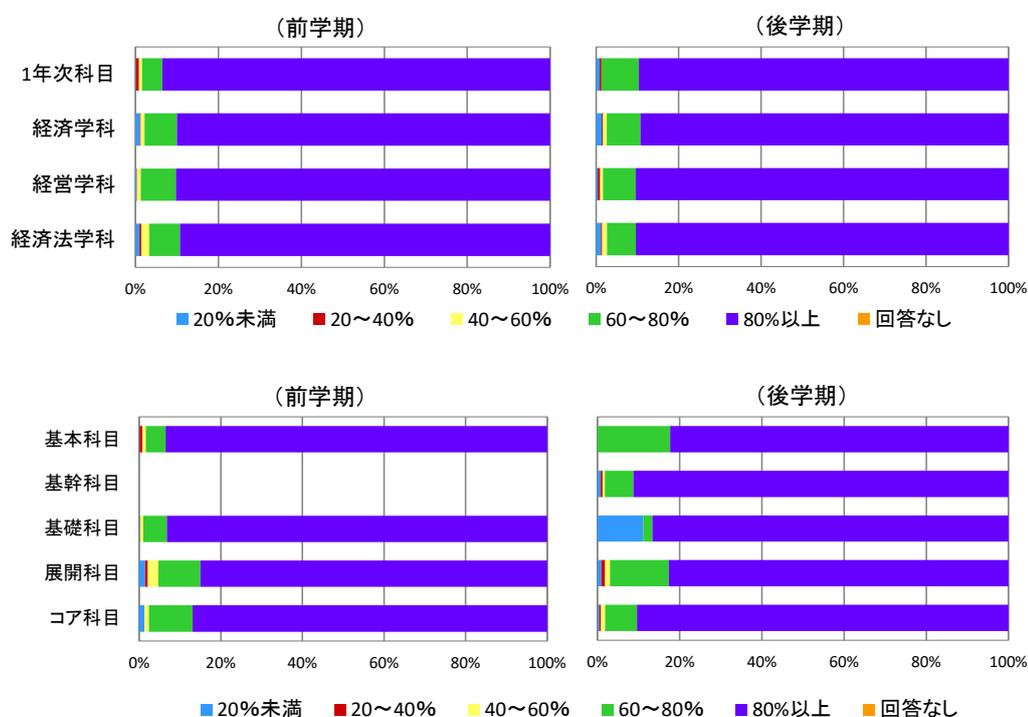
令和3年度前学期と同後学期のアンケート結果を以下の手順で検討する。

まず「1」で個々のアンケート結果について「コメント」を行う。次に「2」においてコメントで指摘した事項につき若干の考察を行い、「3」において次年度以降の課題を提示し、教育の改善につなげたい。

### 1 アンケート結果とコメント

#### A. あなた自身について

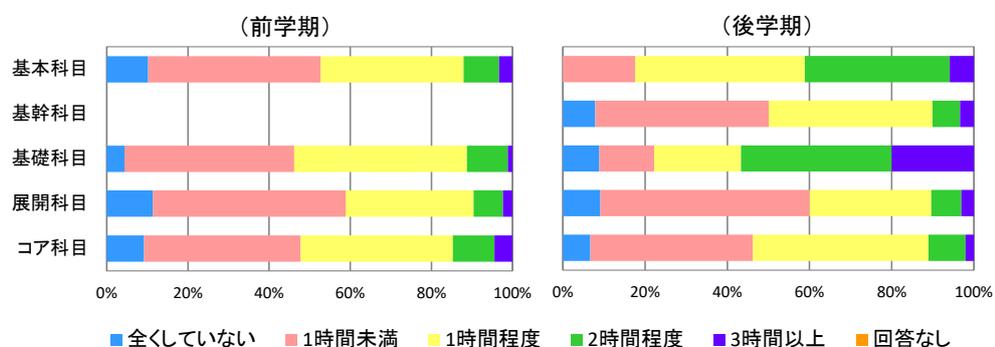
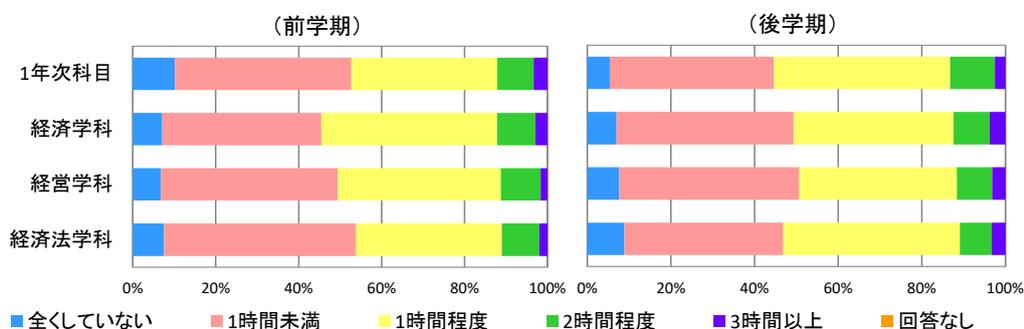
##### A-1 出席率はどのくらいですか



#### 【コメント】

学科別授業科目出席率80%以上の者はおよそ9割であり出席については、特記すべき点はない。ただし、「**基礎科目・後学期**」に出席率20%未満が1割近くある。

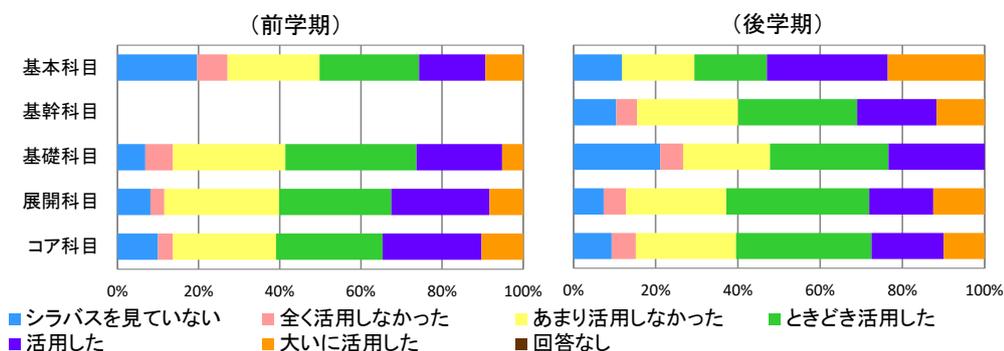
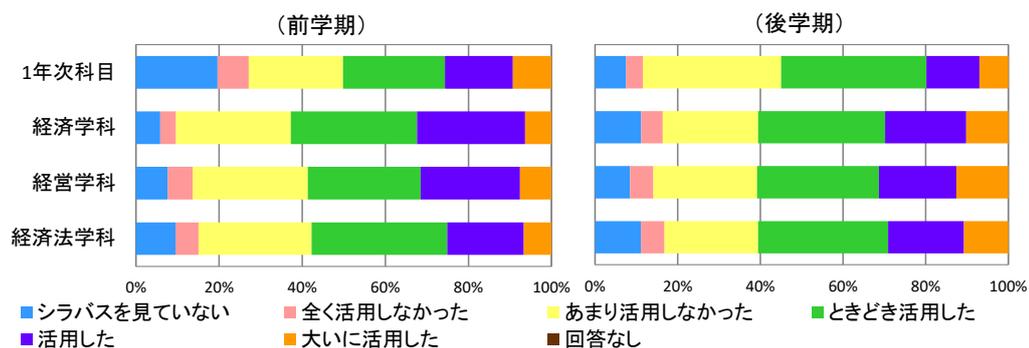
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



【コメント】

予習・復習、レポート作成に費やした時間は50%前後の学生が1時間未満である。学科別による有意差は見られない。逆に、「基礎科目・後学期」については60%近くの学生が2時間程度以上と答えており突出している。

### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

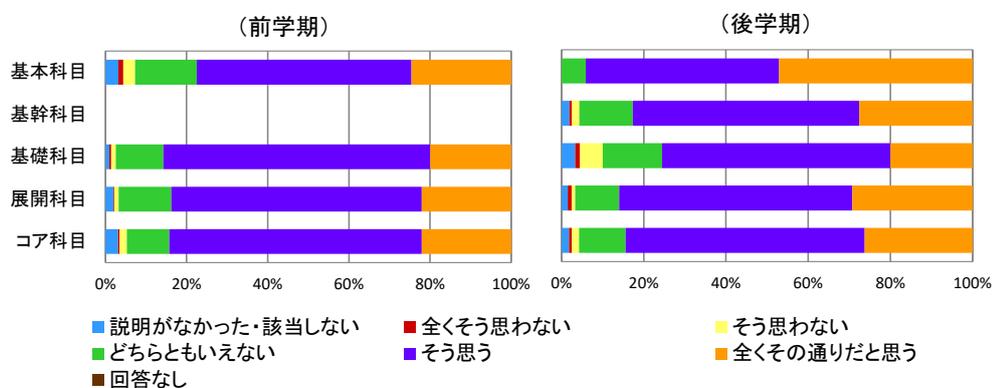
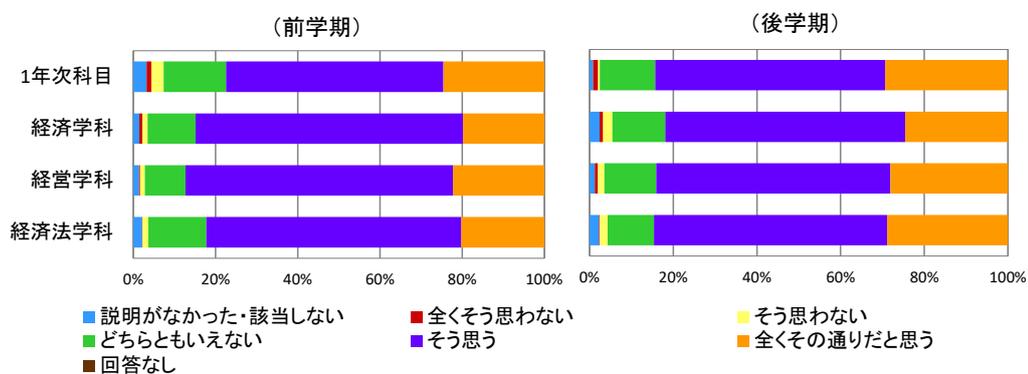


#### 【コメント】

シラバスを全く活用していない（見ていない）学生が1割程度おり、あまり活用しなかったという学生を含めると約4割の学生はシラバスを活用していない。前学期、後学期で特段の変化は見られない。

## B. 教員の対応

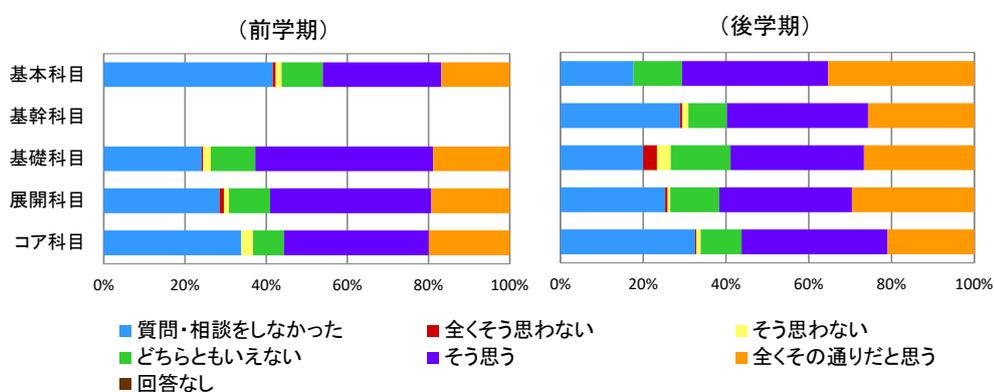
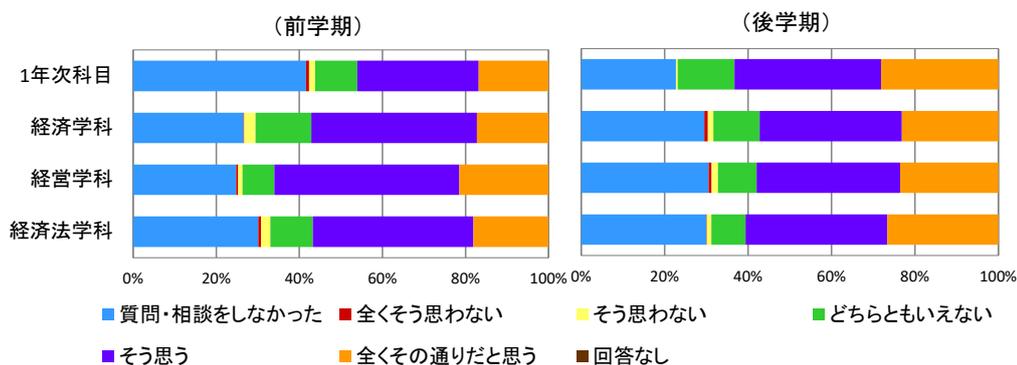
### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



#### 【コメント】

教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は、ほぼ8割の学生は有益であると答えている。前学期、後学期、科目別でも変わらない。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



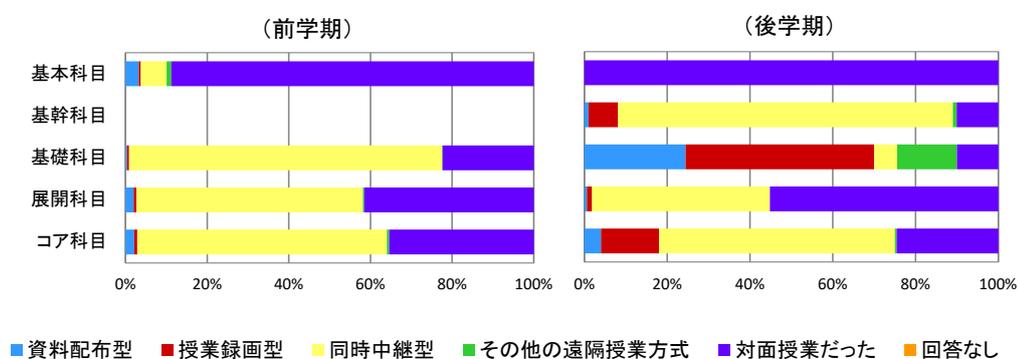
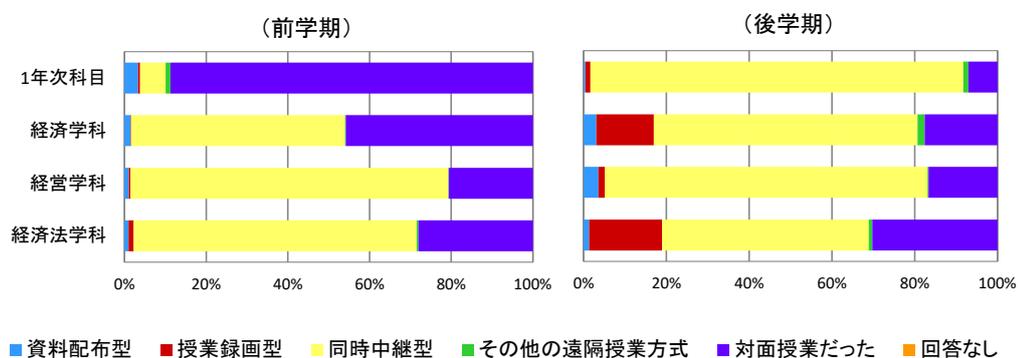
## 【コメント】

担当教員の質問や相談に対する適切な対応については「質問・相談をしなかった」「そう思う」「まったくその通り」との回答を合わせると8割程度が肯定的であった

「基礎科目・後学期」において、「まったくそう思わない」「そう思わない」5%ほどあるが目立つ。

## C. 授業内容および授業方法について

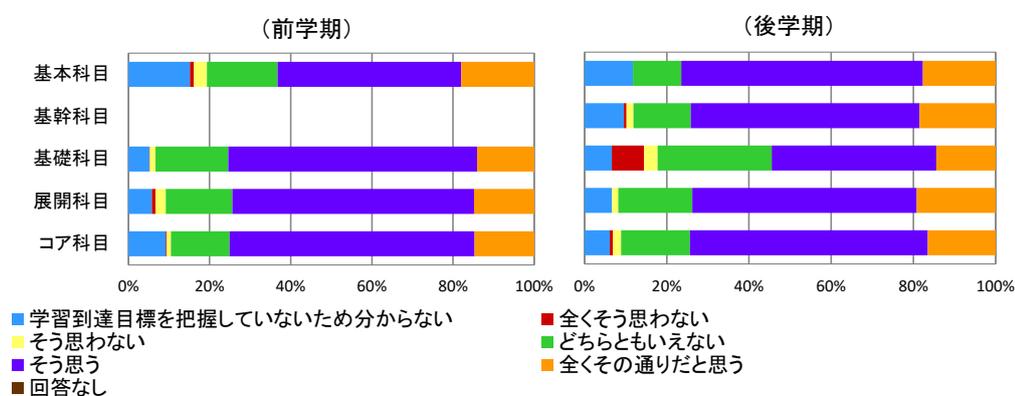
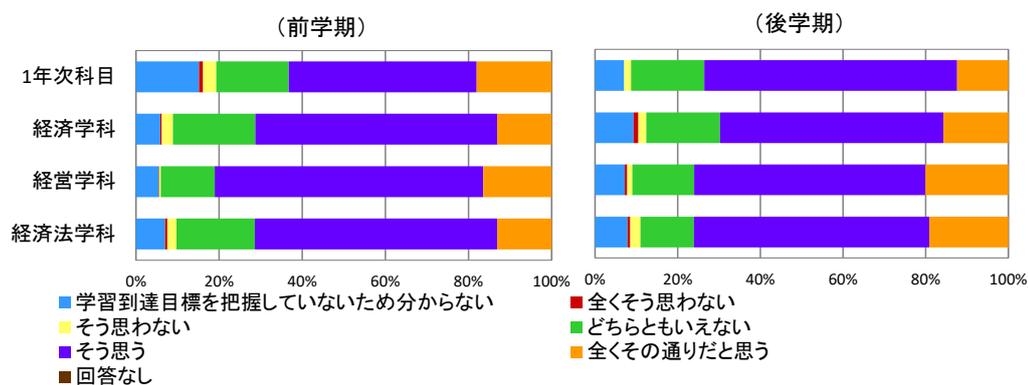
## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



## 【コメント】

前学期は、原則対面授業との方針であり、対面（同時中継型を含む）授業を合わせると各学科ともほぼ100%に対面に近い授業であった。これに対して、後学期は、資料配布型、録画型の授業形態が若干増えている。この形態は「基礎科目・後学期」に集中しており、70%を占めている。

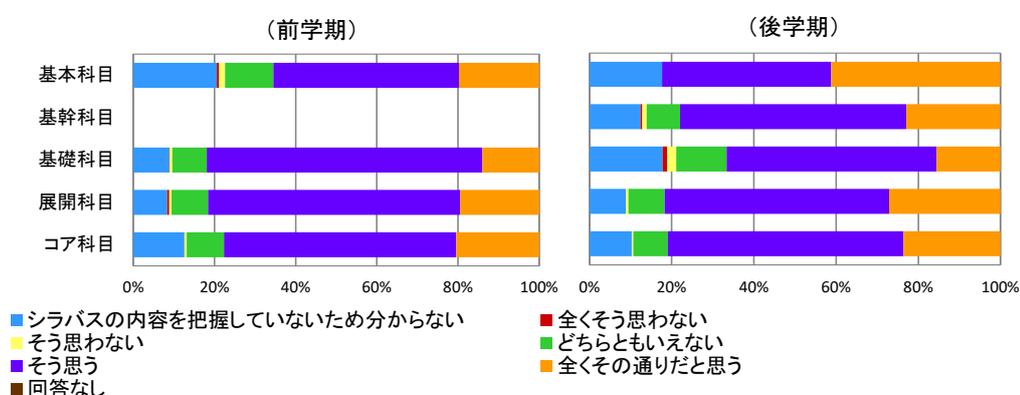
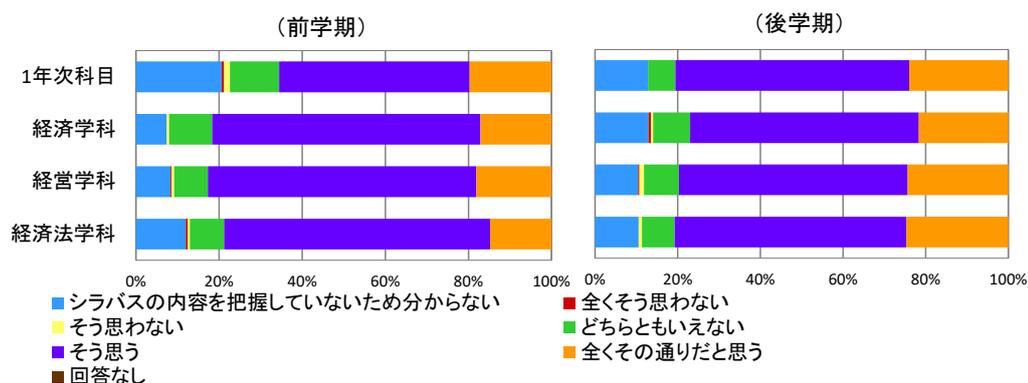
## C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



## 【コメント】

学習の到達目標については、前学期 70%程度の学生は達成できたと答えている。後学期も同様であり、学科間で大差はない。科目別では、後学期の「基礎科目」が55%と低調で、「全くそう思わない」とする回答が8%ほど見られたのが特記すべき事項である。全くそう思わないという回答は他の部分ではほとんど見られない。

## C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

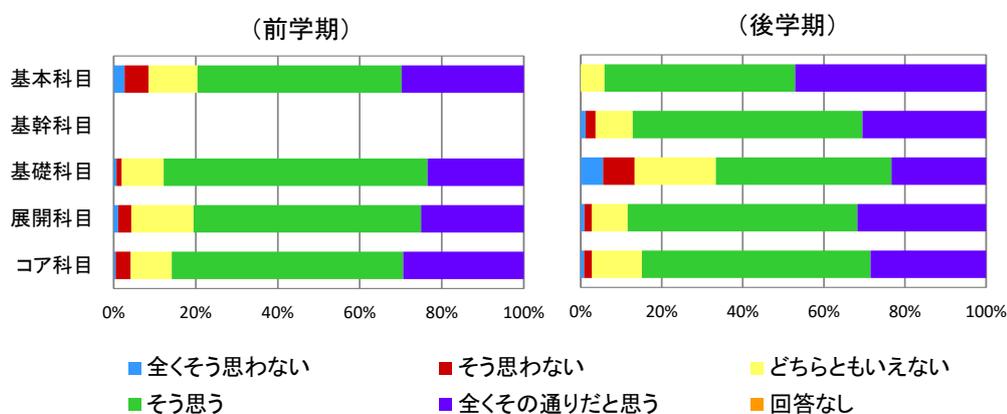
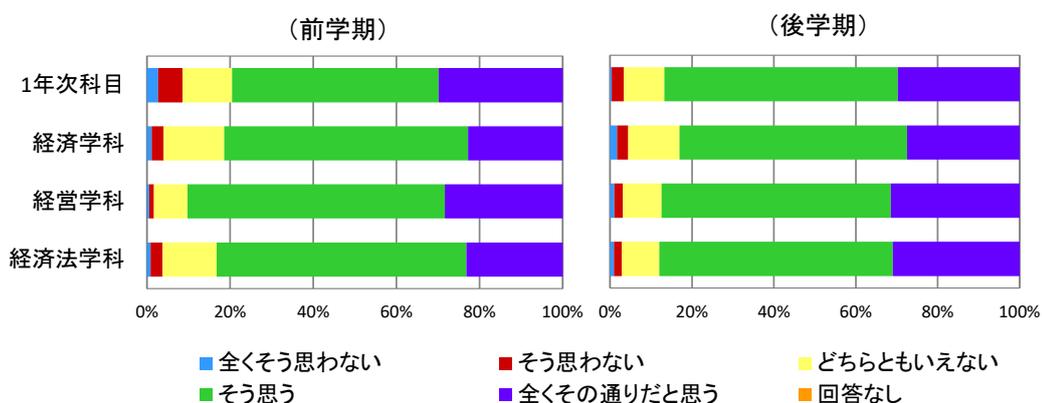


## 【コメント】

80%ほどの学生が肯定的回答を行っている。科目によってばらつきがあるが、後学期「基礎科目」は7割ほどに落ちている。

前学期の1年次科目で20%を超える学生がシラバスの内容を把握していないためわからないとしている。後学期は若干その比率は下がるものの10%程度の学生はシラバスを読んでいない。

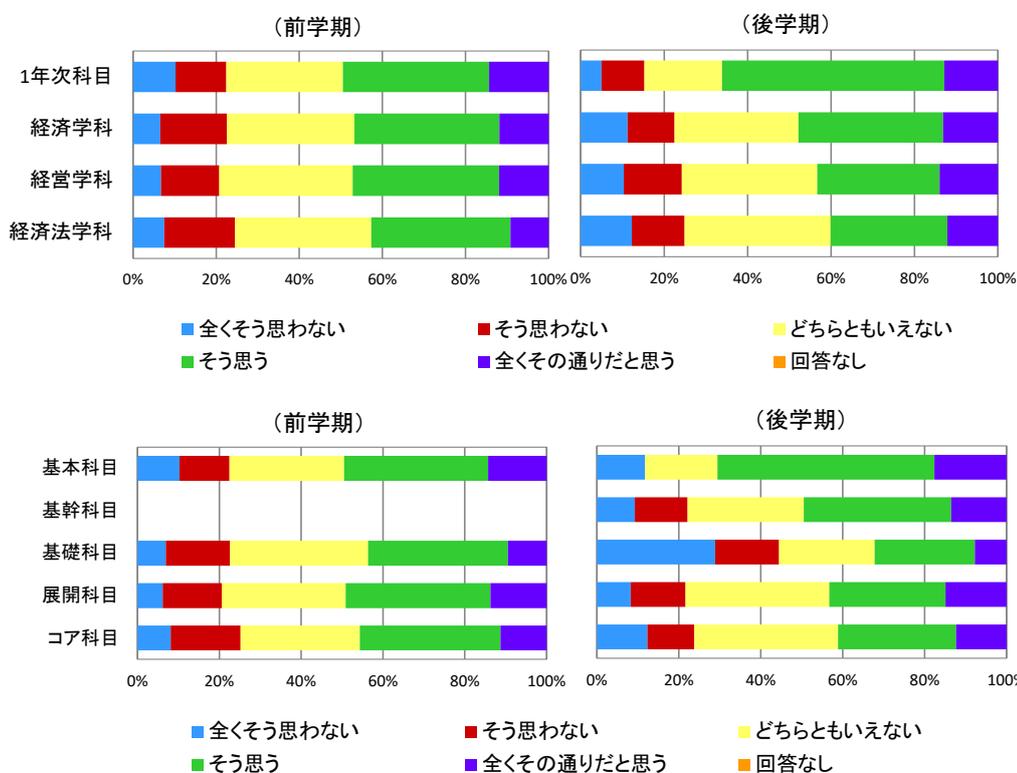
### C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



#### 【コメント】

前学期は 80%ほどの学生が「工夫がされている」と回答している。後学期もほぼ同様であるが、「基礎科目・後学期」は 20 ポイントほど値を下げている。

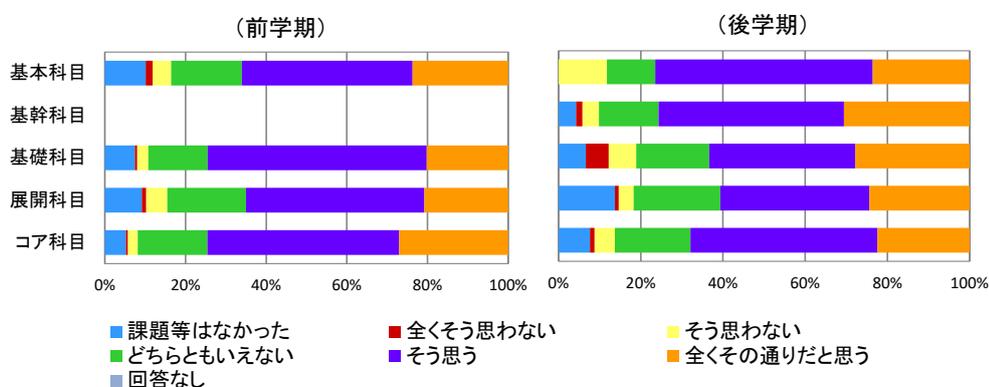
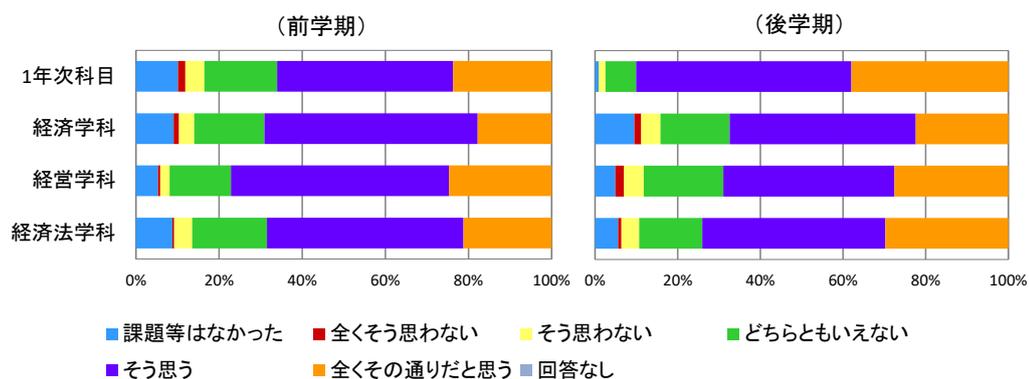
C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



【コメント】

肯定的回答は少なく 50%程度である。ただし授業特性（いわゆる座学中心の科目なのか演習科目であるか）によるものであるのかは調査結果からは不明である。ここでも「基礎科目・後学期」の数値が低い。

### C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

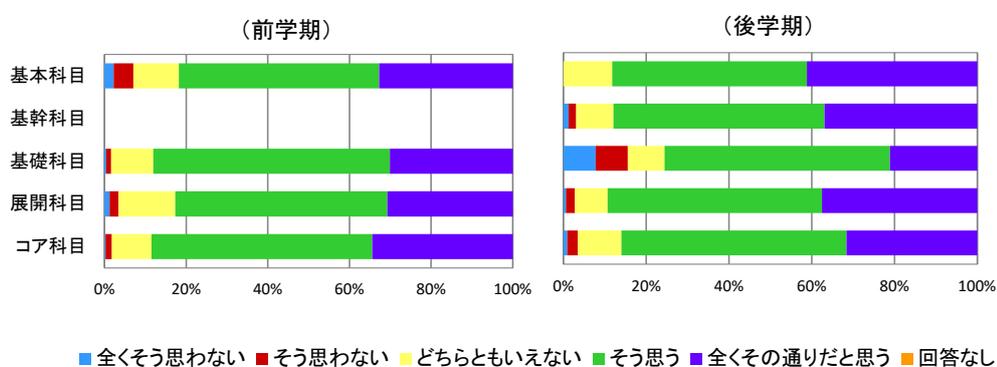
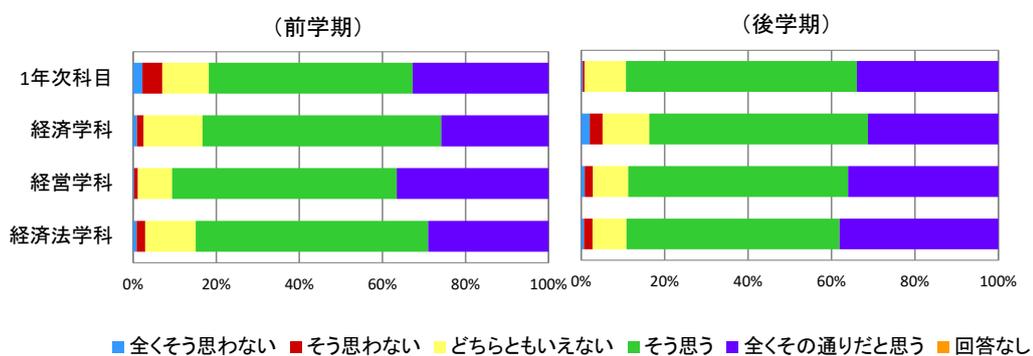


#### 【コメント】

課題等がなかったものもあるので、70%ほどは適切なフィードバックがあったと回答している。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



#### 【コメント】

全体として85%前後の学生が満足できるものと回答している。ただ、ここでも後学期の基礎科目が10ポイントほど低い。

## 2. 令和3年度授業アンケート結果からみた問題点の検討

アンケート全体から気になった2点につき若干の検討を行う。1つは、「基礎科目・後学期」のアンケート結果から見て取れる資料配布型、授業録画型授業の問題、2つに、シラバスの活用のありかた、についてである。

### (1) 「基礎科目・後学期」のアンケート結果から見て取れる資料配布型、授業録画型授業の問題

「後学期」の「基礎科目」については、他の学期、他の科目の授業満足度が85%前後あるのに対して、10ポイントほど低い(D-1)。その原因として、「授業形態」が考えられる。令和3年度後学期・基礎科目は資料配布型・授業録画型が授業全体の70%を占めている(C-1)。また「授業満足度」を構成する要素と考えられる「学習目標到達」について、到達できたとする者は55%(C-2)にすぎなかった(他の科目は70%)。また、「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていなかったとする者が比較的多いこと(C-5)も授業形態による結果と考えられる。

対面授業でこれまで培われてきた教育上の工夫が利用できなかったことが、他の科目(対面を主とする科目)と比較して、工夫しているとの評価が低くなった一因であろうが、他方で、資料型、録画型を採用する場合には、受講者との関係を密にするような教育上の工夫が間に合わなかったと思われる。

資料型、録画型授業は、レポート等の課題が多く出され、自学時間が必要となる(A-2)。課題等に対して適切なフィードバックがあったとする割合は、コア科目、展開科目と「基礎科目」とでは大差はない。しかし、授業満足度では、10ポイントほど「基礎科目」のほうが低く、また適切なフィードバックが「全くない」とする者の割合が5ポイントほどあることなどから考えると、多くの課題(自学時間)を要求される一方、それにみあうだけの適切なフィードバックが不足しているとも考えられる。「基礎科目・後学期」に対する満足度が低くなっている原因は、より丁寧なフィードバックが欠けていたことにあるかもしれない。

以上、基礎科目の問題というより、資料配布型、授業録画型の問題として、授業改善の余地が多分にあり、この形態授業を実施する場合には十分気を付けねばならない問題であると考えられる。

### (2) シラバスの活用

シラバス点検等を通して、全学的に学生の修学にとって役立つシラバスの改善が行われており、記載内容に問題のあるシラバスはほぼないと考えられる。これに対して、授業選択、予習、復習などのためにシラバスを活用していないと40%の受講者が答えており(A-3)、シラバス内容を把握していないため授業内容がシラバスに基づいていることを把握していない受講者も10%ほど存在する(C-3)。

他方で、「教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明」(B-1)について、80%以上の学生が有益であると答えている。教育理念、方法、成績評価はシラバス記載事項であることからすると、シラバス、または口頭でにより教員の授業メッセージは伝わっ

ていると考えられる。

シラバスの活用については、教員（あるいは教育課程）がシラバスを通してどのようなメッセージを受講者に伝えようと考えているのか、何のためにシラバスの充実が求められているかの検討が重要である。シラバスは、当該科目の受講選択に際しての基礎資料であるのか、授業進行の「道しるべ」であるのか、それとも教育理念、方法、到達目標の提示なのか、はたまたこれらすべてを含むものかについて共通の意識をもったうえで、学部教育におけるシラバスの活用を考えていく必要がある。

### **3 経済学部の今後の課題**

#### 1) 遠隔授業に対する学生の満足度の向上のための授業方法の検討

今後、新型コロナウイルス等の蔓延時に、授業形態として資料型や録画型を用いるべきかどうか、用いるとして、より満足度の高い授業を提供するには何が必要かの検討を行う必要がある。

#### 2) シラバスの活用の検討

学生に活用されないシラバスの作成に時間をかけても意味がない。授業改善のために、シラバスが果たす役割と活用を検討する必要がある。

# 令和3年度 組織別授業点検・評価報告書

理工学部

理工学研究科

工学系研究科

## (1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

### 理工学部，工学系研究科，理工学研究科

#### (1) 学士課程

##### 数理科学科

以前は，授業評価アンケートの「満足度」を利用して，学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが，授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く，参考にならないため，現在，学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

##### 物理科学科

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から，満足度を中心に，アンケート結果から総合的に判断する。

##### 知能情報システム学科

以前は，授業評価アンケートのD-1（満足度）を主に利用して，学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが，授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪いいため，現在，学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

##### 機能物質化学科

満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが，基本的には，卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い，在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

##### 機械システム工学科

特に実施していない

##### 電気電子工学科

特に実施していない。

##### 都市工学科

特に実施していない。

##### 理工学科共通教育

初年次共通教育においては，学生から高い評価を得ることよりも，基礎学力を涵養するための工夫に重点をおいているため，特に実施していない。

##### 理工学科数理サイエンスコース

特に実施していない。

##### 理工学科知能情報システム工学コース

特に実施していない。

##### 理工学科情報ネットワーク工学コース

特に実施していない。

##### 理工学科生命化学コース

満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い，特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。

##### 理工学科応用化学コース

満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い，特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。

##### 理工学科物理学コース

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から，満足度を中心に，アンケ

ート結果から総合的に判断する。

#### **理工学科機械エネルギー工学コース**

特に実施していない。

#### **理工学科メカニカルデザインコース**

特に実施していない。

#### **理工学科電気エネルギー工学コース**

アンケート回答数が 20 以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-4(学生自身が考えることを促す配慮)、D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム3年目のため、上位評価科目に変えて、必修科目の授業参観を実施した。

#### **理工学科電子デバイス工学コース**

アンケート回答数が 20 以上の専門科目を対象として、A-2(予習復習時間)、B-2(質問等に対する教員の対応)、C-2(目標の達成度)、C-4(学生自身が考えることを促す配慮)、D-1(満足度)の項目の上位を選出基準としている。本年度は、新カリキュラム3年目のため、上位評価科目に変えて、必修科目の授業参観を実施した。

#### **理工学科都市基盤工学コース**

特に実施していない。

#### **理工学科建築環境デザインコース**

特に実施していない。

## (2) 博士前期課程・修士課程

### **工学系研究科**

#### **数理科学専攻**

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

#### **物理科学専攻**

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。(ただし、昨年度は受講者はいなかった。)

#### **知能情報システム学専攻**

特に実施していない。

#### **循環物質化学専攻**

満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

#### **機械システム工学専攻**

特に実施していない。

#### **電気電子工学専攻**

特に実施していない。

#### **都市工学専攻**

特に実施していない。

#### **理工学研究科理工学専攻**

#### **数学コース**

Webで収集する授業評価アンケートは、回収率が悪く参考にしにくいいため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

#### **物理学コース**

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

#### **データサイエンスコース**

特に実施していない。

#### **知能情報工学コース**

特に実施していない。

#### **機能材料化学コース**

満足度を中心にアンケートしている。修了予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に終了後に役に立つと思う授業を調査している。コース会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。

#### **機械エネルギー工学コース**

特に実施していない。

#### **機械システム工学コース**

特に実施していない。

#### **電気電子工学コース**

特に実施していない。

#### **都市基盤工学コース**

特に実施していない。

#### **建築環境デザインコース**

特に実施していない。

### **(3) 博士後期課程**

#### **工学系研究科**

博士後期課程については、講座単位では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。

## (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

### 理工学部

#### (1) 学士課程

##### 数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

##### 物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

##### 知能情報システム学科

知能情報システム工学コースに準じる。

##### 機能物質化学科

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成 19 年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でその妥当性についてチェックしている。

##### 機械システム工学科

各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては、改善への取り組みを促している。

##### 電気電子工学科

JABEEの基準に従い、定期的に教育改善委員会・カリキュラム検討委員会（科目別会議を含む）・学生実験委員会を開催し、教育改善に取り組んでいる。教員各自は、共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

##### 都市工学科

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

##### 理工学科共通教育

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において改善点の抽出を行い、共通教育委員会で共有している。必要であれば、教務委員会、質保証委員会、組織運営委員会と連携して改善案の策定および実施のプロセスを踏むことにしている。具体的に理工リテラシーS1はe-learningサイトをポータルとして設けるなど学生が取り組みやすいような改善を行った。また、数理AIデータサイエンス教育の充実化のため理工リテラシーS2などのシラバス設計の見直しを行った。大学入学初年度のため、前期では出席課題提出状況をチェックし、組織運営委員会と情報共有してチューター指導に結びつけている。

なお、JABEE を実施しているコースもあるため、共通教育でもJABEE の基準に従った教育改善を進めている。

### 理工学科数理サイエンスコース

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

### 理工学科知能情報システム工学コース

#### (取り組み状況)

各教員が、以下に示すような様々な授業改善に取り組んでいる。

- 対面授業、ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業の特長を組み合わせることで、学生が対面・遠隔の受講方式を自由に選択でき、かつ、教員の手間が抑えられる改良型ハイフレックス方式を導入した。学生からも高い評価を得た。(掛下)
- 学生の細かいケアを行うため、自作の教務判定システムを活用している。
- オンライン授業用や予習・復習用の教材、オンデマンド視聴できる授業ビデオを作成し、学生に公開した。プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習環境を整備した。(福田, 中山)
- 毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映されている。(掛下)
- Moodle 小テストを活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。(掛下)
- 学習アドバイザーやTAを活用し、成績不振の学生を優先した学習支援を行った。(上田, 皆本, 福田)

#### (優れた点)

- ライブ・オンライン授業の実施により授業への学生の出席率が向上した。遅刻も減少した。また、チャットを活用することで、学生からの質問も増加した。(掛下)
- 同期型のライブ・オンライン授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下)
  - 学生のPC画面を共有した指導は、他の学生も見ることができ、学びが得られた。
  - ブレイクアウトセッションを活用することで小グループに分けて演習等ができた。
- 非同期型のオンデマンド授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下, 中山他)
  - オンデマンドビデオの繰り返し視聴や、一時停止、倍速再生等により効率化できた。
  - インターネットが低速な環境でも、各自のPCにダウンロード視聴できる。

#### (改善を要する点)

- オンライン授業が続く中で学生同士のコミュニケーションが減少した結果、孤独を感じる学生が増えたように感じる。今後、対面でも受講できる授業を提供するとともに、学生に対する精神的ケアを充実させることが望まれる。(掛下)
- 学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行ってきたい。
- グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

### 理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム工学コースに準じる。

### 理工学科生命化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している・教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。

### 理工学科応用化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教

育点検システムとして設置している。教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。

### 理工学科物理学コース

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

### 理工学科機械エネルギー工学コース

各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえて、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては、改善への取り組みを促している。

### 理工学科メカニカルデザインコース

各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえて、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」より、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて入力している。また、担当する講義の成績分布や総括、改善点等を記したFDレポートを、学期ごとに作成・提出している。提出されたFDレポートは、FD委員が取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては、改善への取り組みを促している。

### 理工学科電気エネルギー工学コース

JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。

### 理工学科電子デバイス工学コース

JABEEコースと同様に、教育改善委員会・カリキュラム検討委員会・科目別グループ会議・学生実験委員会を開催し、教育改善に努めている。

### 理工学科都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

### 理工学科建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

## (2) 博士前期課程

### 数理学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

### 物理学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。(ただし、昨年度は受講者がいなかった。)

### 知能情報システム学専攻

学士課程(知能情報システム学科)での工夫は博士前期課程でも用いられている。

### **循環物質化学専攻**

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門に近い教員グループにより授業の改善を続けている。

### **機械システム工学専攻**

各教員は、担当する科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告している。

### **電気電子工学専攻**

教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

### **都市工学専攻**

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。また、教育システム委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

### **理工学研究科理工学専攻**

#### **数学コース**

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

#### **物理学コース**

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

#### **データサイエンスコース**

知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。

#### **知能情報工学コース**

知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。

#### **機能材料化学コース**

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門に近い教員グループにより授業の改善を続けている。

#### **機械エネルギー工学コース**

各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告している。

#### **機械システム工学コース**

各教員は、担当科目の点検結果を、ライブキャンパスで提示される授業評価アンケートの結果も踏まえ、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」から、「授業の優れていた点」と「授業の改善を要する点」にわけて報告している。

#### **電気電子工学コース**

教員各自により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

#### **都市基盤工学コース**

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

#### **建築環境デザインコース**

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

### (3) 博士後期課程

優れた点として、授業アンケートに対する回答があった科目に関しては良好な評価を得ていることが挙げられる。一方、改善すべき点としては、回答率が低いことが挙げられる。

**(3) 次年度の授業改善目標 (学部・研究科等別)****理工学部****(1) 学士課程****数理科学科**

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

**物理科学科**

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

**知能情報システム学科**

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

**機能物質化学科**

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、学科全体で継続的に行う。

**機械システム工学科**

各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」と担当科目のFDレポートに、授業改善目標を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、学科全体の教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。

**電気電子工学科**

教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。

**都市工学科**

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。

**理工学科共通教育**

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において不断に改善点の抽出と点検を行っており、部会にて適切に授業改善の対応を行う。次年度は大学入門科目において課題設定・探求能力を培い、かつ、その能力をアセスメントするようルーブリック評価を導入、その他の科目で数理・データサイエンス・AI教育プログラムに対応した科目運営を実施する。2年次以上の専門教育において、基礎学力としての初年次共通教育の教育効果について、各部門・コースのフィードバックを教務委員会および教育質保証委員会にて検証し、必要であれば、共通教育委員会において改善策を実施する。

**理工学科数理サイエンスコース**

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

**理工学科知能情報システム工学コース**

知能情報システム学科に準じる。

**理工学科情報ネットワーク工学コース**

知能情報システム学科に準じる。

### 理工学科生命化学コース

教育プログラム委員会，分野別教員会議，教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき，コース全体で継続的に行う。

### 理工学科応用化学コース

教育プログラム委員会，分野別教員会議，教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき，コース全体で継続的に行う。

### 理工学科物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し，物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い，授業改善を検討する。

### 理工学科機械エネルギー工学コース

各教員は，ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」と担当科目の FD レポートに，授業改善目標を掲げている。また，教育に関わる内部質保証関連組織として，教務グループ会議，教育会議，教育 FD 委員会，教育改善委員会を設け，コース内および関連のメカニカルデザインコースと連携を取りながら教育改善課題を議論し，組織的な授業改善に取り組んでいる。

### 理工学科メカニカルデザインコース

各教員は，ポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」と担当科目の FD レポートに，授業改善目標を掲げている。また，教育に関わる内部質保証関連組織として，教務グループ会議，教育会議，教育 FD 委員会，教育改善委員会を設け，コース内および関連の機械エネルギーコースと連携を取りながら教育改善課題を議論し，組織的な授業改善に取り組んでいる。

### 理工学科電気エネルギー工学コース

教育改善委員会，カリキュラム検討委員会，科目別グループ会議，学生実験委員会において，定期的に教育改善等について検討を行う。

### 理工学科電子デバイス工学コース

教育改善委員会，カリキュラム検討委員会，科目別グループ会議，学生実験委員会において，定期的に教育改善等について検討を行う。

### 理工学科都市基盤工学コース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際，次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し，学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また，教育システム委員会を開催し，都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し，教員間で情報共有及び問題点の改善を図り，授業改善に努める。

### 理工学科建築環境デザインコース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際，次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し，学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また，教育システム委員会を開催し，建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し，教員間で情報共有及び問題点の改善を図り，授業改善に努める。

## (2) 博士前期課程

### 数理科学専攻

専攻として組織的には行っていないが，各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

### 物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し，物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検

を行い、授業改善を検討する。(ただし、昨年度は受講者がいなかった。)

### 知能情報システム学専攻

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業(ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業)の高度化を図りたい。

### 循環物質化学専攻

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

### 機械システム工学専攻

各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、専攻全体の教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。

### 電気電子工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

### 都市工学専攻

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、授業の問題点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。

### 理工学研究科理工学専攻

#### 数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

#### 物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

#### データサイエンスコース

知能情報システム学専攻に準じる。

#### 知能情報工学コース

知能情報システム学専攻に準じる。

#### 機能材料化学コース

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育FD委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

#### 機械エネルギー工学コース

各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りながら教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。

#### 機械システム工学コース

各教員は、ポートフォリオ学習支援統合システムで行っている担当科目の授業点検・改善報告に併せて、「授業改善目標」を掲げている。また、教育に関わる内部質保証関連組織として、教務グループ会議、教育会議、教育FD委員会、教育改善委員会を設け、コース内および関連の機械エネルギー工学コースと連携を取りながら教育改善課題について議論し、組織的な授業改善に取り組んでいる。

### **電気電子工学コース**

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

### **都市基盤工学コース**

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、都市基盤工学コースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。

### **建築環境デザインコース**

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も掲げる。掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会を開催し、建築環境デザインコースの科目に関する問題点及び優れた点を把握し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善に努める。

## **(3) 博士後期課程**

授業アンケートに基づいて授業改善を進める。

## 独自アンケートを実施した科目数

### (1) 学士課程

#### 理工学部

数理科学科：なし

物理科学科：なし

知能情報システム学科：なし

機能物質化学科：前年度と同様，授業評価アンケートの独自質問項目を設定した科目が3科目，独自形式のアンケートを実施した科目が4科目であった。

機械システム工学科：なし

電気電子工学科：なし

都市工学科：なし

理工学科共通教育：なし

理工学科数理サイエンスコース：なし

理工学科知能情報システム工学コース：なし

理工学科情報ネットワーク工学コース：なし

理工学科生命化学コース：なし

理工学科応用化学コース：なし

理工学科物理学コース：なし

理工学科機械エネルギー工学コース：なし

理工学科メカニカルデザインコース：なし

理工学科電気エネルギー工学コース：なし

理工学科電子デバイス工学コース：なし

理工学科都市基盤工学コース：なし

理工学科建築環境デザインコース：なし

### (2) 博士前期課程・修士課程

#### 工学系研究科

数理科学専攻：なし

物理科学専攻：なし

知能情報システム学専攻：なし

循環物質化学専攻：4科目

機械システム工学専攻：なし

電気電子工学専攻：なし

都市工学専攻：なし

理工学研究科理工学専攻

数学コース：なし

物理学コース：なし

データサイエンスコース：なし  
知能情報工学コース：なし  
機能材料化学コース：3科目  
機械エネルギー工学コース：なし  
機械システム工学コース：なし  
電気電子工学コース：なし  
都市基盤工学コース：なし  
建築環境デザインコース：なし

(3) 博士後期課程

なし

## 2021年度 理工学部・工学系研究科組織別授業評価報告書

### (4) 授業アンケート結果と分析)

#### 2021年度組織別授業評価報告書

##### (1) 学士課程

学生による授業評価は、「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に従い、共通のアンケート様式を用いて実施された。また、いくつかの科目では、共通のアンケート様式の使用が適さないとの判断から、独自様式でのアンケートが実施された。平成22年度後学期からは、Live Campusを活用した Web 形式を採用しているため、すべての科目で実施していることとなる。2021年度については、理工学部で開講している科目数が632件あり、授業アンケートが行われた科目数は544件、回答率は69.3%であった。なお、教職科目は、除外して集計している。なお、教職科目は、除外して集計している。

各学科・コースの状況は以下のとおりである。

##### 数理科学科

学生による授業評価アンケート結果は、概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。

##### 物理科学科

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、良好な結果を得ている。科目によるばらつきもとくに見られない。

##### 知能情報システム学科

授業評価の結果は、学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える。学科内の教育改善委員会により教育の改善を図っている。

##### 機能物質化学科

学生による授業評価アンケート結果は、満足度をはじめ、全ての項目で概ね良好な結果が得られている。具体的には、前期で82%、後期で84%の学生が、満足度の項目において肯定的な回答をしている。なお、否定的な回答は、前期で4%、後期で4%程度であった。あえて課題を挙げるとすれば、「B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」と「C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか」が他の学科と比べて若干低かった。学生が感じている現状を教員に伝え、学生との双方向でのやり取りする機会を増やすように喚起を促す。また、別途、学科独自の学生アンケートを実施しており、授業内容に対する要望等の情報を収集し、学科で共有している。さらに、学科内の教育FD委員会による点検と教育改善委員会による改善提案により、学習成果の向上に向けた継続的改善を図っている。

##### 機械システム工学科

2021年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、対面授業を行う。また、遠隔授業を活用する。」の活動制限指針下で講義が行われ、実際、【C-1 授業形態】の回答でも、前期67.5%、後期100%の学生が対面授業を受講している。所属学生の大半が卒業研究に着手していることを考慮する必要もあるが、対面授業に移行する中、【D-1 授業の満足度】について「そう思う」と「全くその通りだと思う」の肯定的回答が、前期92.8%、後期100%といずれも9割を越えている。また、【C-1】と【D-1】を除くほかのアンケート項目は、概ね理工学部の平均相当となっているが、【A-1 出席率】や【C-3 シラバスに基づく授業内容】、【C-6 提出物に対するフィードバックや解説】など、有意に平均を上回る項目も見られ、総じて良好な結果といえる。学士課程は、JABEE 認定のプログラムであり、厳密な出席管理や成績評価が相応に評価されたものと判断できる。こうした授業評価アンケートなどの結果を、各教員のポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」やFDレポートの改善項目に反映させ、教育の継続的な改善に取り組んでいる。

##### 電気電子工学科

(A-2) 授業時間外学習：「1 時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期で5.3%、後期で14.3%であった。昨年<sup>75</sup>に比べ、前期3%、後期3.8%改善されている。

る。

(B-2) 質問への対応：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期97.3%、後期57.1%であり、昨年度に比べ、前期29.3%増、後期0.4%減ではあるが、改善が行われている。

(C-2) 目標の達成：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期82.3%、後期71.4%であり、昨年度に比べ、前期13.7%増、後期5%増であった。

(C-5) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期93.8%、後期57.2%であり、昨年度に比べ、前期56.5%増、後期11.4%増であった。

(C-6) 適切なフィードバック：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期86.7%、後期85.7%であり、良好な結果が得られている。

(D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期93.8%、後期85.7%であり、昨年度に比べ、前期9.7%増、後期1.4%減ではあるが、良好な結果が得られている。

## 都市工学科

学生による授業評価の満足度に関して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期に78%、後期に76%となっており、高い評価を得ている。オンライン講義の影響があるにもかかわらず、教員の努力及び技術職員のサポートによって教育の質を維持することができたと考えられる。質問や相談に対して教員から適切な対応が得られたかに対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」の前期・後期の割合の平均は約70%であり、教え方や教材の工夫がなされていたかに対して「そう思う」または「全くその通りだと思う」の割合は前期・後期の平均で約80%と高い傾向にある。各教員による授業点検や教育システム委員会等による教育の点検・改善等の成果も現れている。

アンケートを回答した学生の出席率に関して、「80%以上」の割合は前期・後期の平均で90%を超えており、良好な出席状況を示している。また、授業時間外学習について、1時間程度以上と答えた学生は前期・後期の平均で72%である。学習到達目標の達成に対して、前期・後期の平均で71%の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた。一方、学生が主体的に学べるような活動の有無に関して「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期・後期の平均で56%である。オンライン講義でグループワークやディスカッションの実施が困難であることが一つの原因であり、改善の余地があると考えられる。

## 理工学科共通教育

大学入学初年度として、前期は、A-2の時間外学修時間が相対的に短い、A-3のシラバスを活用が低い、B-2の教員へ相談をしなかったが高いといった傾向があるが、後期これらの項目が改善されており、大学生としての順応が見て取れる。共通教育の性質上で授業録画型がコース配属後より多いが、達成度評価や満足度が平均的であることから教育手法上の問題とはなっていない。C-5のアクティブラーニングについては40%近く否定的であった。基礎学力を涵養するための時間配分もあって、やむを得ない部分ではあるが改善の余地はある。

### 理工学科数理サイエンスコース

学生による授業評価アンケート結果は、概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。

### 理工学科知能情報システム工学コース

知能情報システム学科に準じる。

### 理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム学科に準じる。

### 理工学科生命化学コース

学生による授業評価アンケート結果からは、ほぼ全ての項目で概ね良好な結果が得られている。具体的には、前期で75%、後期で78%の学生が、満足度の項目において肯定的な回答をしていた。前後期の否定的な満足度は5%程度であったことから概ね満足度は良好である。課題を挙げるとすれば、「C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループ

ワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか」と「C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか」が他の学科と比べて若干悪かった。学生が感じている現状を教員に伝え、学生との双方向でのやり取りする機会を増やすように喚起を促す。別途、学科独自の学生アンケートを実施しており、授業内容に対する要望等の情報を収集し、学科で共有している。さらに、学科内の教育FD委員会による点検と教育改善委員会による改善提案により、学習成果の向上に向けた継続的改善を図っている。

### 理工学科応用化学コース

学生による授業評価アンケート結果からは、ほぼ全ての項目で概ね良好な結果が得られている。具体的には、前期で75%、後期で78%の学生が、満足度の項目において肯定的な回答をしていた。前後期の否定的な満足度は5%程度であったことから概ね満足度は良好である。課題を挙げるとすれば、「C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか」と「C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか」が他の学科と比べて若干悪かった。学生が感じている現状を教員に伝え、学生との双方向でのやり取りする機会を増やすように喚起を促す。別途、学科独自の学生アンケートを実施しており、授業内容に対する要望等の情報を収集し、学科で共有している。さらに、学科内の教育FD委員会による点検と教育改善委員会による改善提案により、学習成果の向上に向けた継続的改善を図っている。

### 理工学科物理学コース

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、概ね良好な結果を得ている。科目によるばらつきもとくに見られない。

### 理工学科機械エネルギー工学コース

2021年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、対面授業を行う。また、遠隔授業を活用する。」の活動制限指針下で講義が行われ、実際、【C-1 授業形態】の回答でも、前期59.4%、後期83.9%と、機械エネルギー工学コースとメカニカルデザインコースに所属する学生は、理工学科平均に比べて高い割合で、対面授業を受講している。コース配属初年度の2年生と2年目の3年生が、アンケートの対象学生であることに留意する必要があるが、【D-1 授業の満足度】について「そう思う」と「全くその通りだと思う」の肯定的回答は、前期71.6%、後期75.2%と、理工学科の平均に近かった。引き続き、理工学科初年度入学の学生が、4年生となる2022年度の回答結果を注視していく必要がある。また、ほかのアンケート項目については、概ね理工学科平均相当となっているが、【A-1 出席率】では80%以上の出席率が前期96.2%、後期96.0%といずれも9割を超えるなど、総じて、良好な結果といえる。機械エネルギー工学コースの学士課程は、JABEE認定のプログラムである機械システム工学科のカリキュラムを継承しており、厳密な出席管理や成績評価が相応に評価されたものと判断できる。こうした授業評価アンケートなどの結果を、各教員のポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」やFDレポートの改善項目に反映させ、教育の継続的な改善に取り組んでいる。

### 理工学科メカニカルデザインコース

2021年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、対面授業を行う。また、遠隔授業を活用する。」の活動制限指針下で講義が行われ、実際、【C-1 授業形態】の回答でも、前期59.4%、後期83.9%と、機械エネルギー工学コースとメカニカルデザインコースに所属する学生は、理工学科平均に比べて高い割合で、対面授業を受講している。コース配属初年度の2年生と2年目の3年生が、アンケートの対象学生であることに留意する必要があるが、【D-1 授業の満足度】について「そう思う」と「全くその通りだと思う」の肯定的回答は、前期71.6%、後期75.2%と、理工学科の平均に近かった。引き続き、理工学科初年度入学の学生が、4年生となる2022年度の回答結果を注視していく必要がある。また、ほかのアンケート項目については、概ね理工学科平均相当となっているが、【A-1 出席率】では80%以上の出席率が前期96.2%、後期96.0%といずれも9割を超えるなど、総じて、良好な結果といえる。メカニカルデザインコースの学士課程は、JABEE認定のプログ

ラムである機械システム工学科のカリキュラムを継承しており、厳密な出席管理や成績評価が相応に評価されたものと判断できる。こうした授業評価アンケートなどの結果を、各教員のポートフォリオ学習支援統合システムの「授業点検・改善報告」やFDレポートの改善項目に反映させ、教育の継続的な改善に取り組んでいる。

### 理工学科電気エネルギー工学コース

- (A-2) 授業時間外学習：「1時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期35.4%、後期27.1%であり、ほぼ学科平均相当であった。昨年度に比べ24～30%増加しているため、改善の余地があると考えられる。
- (B-2) 質問への対応：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期52.7%、後期57.6%であった。質問無しを除くと69%～72%が肯定の評価となっている。
- (C-2) 目標の達成：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期48.1%、後期57.6%であり、学科平均を下回っていた。前年度に比べ前期12.2%減、後期0.3%増のため、改善の余地があると考えられる。
- (C-5) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期41.6%、後期52.5%であり、前年度に比べ前期1.0%減、後期2.8%増であった。
- (C-6) 適切なフィードバック：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期60.5%（課題無し5.8%）、後期65.7%（課題無し4.2%）であり、ほぼ学科平均相当であった。
- (D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期65.8%、後期74.1%であった。前年度に比べ前期2.6%増、後期1.1%減ではあるが、学科平均を下回っており、改善の余地があると考えられる。

### 理工学科電子デバイス工学コース

- (A-2) 授業時間外学習：「1時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期35.4%、後期27.1%であり、ほぼ学科平均相当であった。昨年度に比べ24～30%増加しているため、改善の余地があると考えられる。
- (B-2) 質問への対応：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期52.7%、後期57.6%であった。質問無しを除くと69%～72%が肯定の評価となっている。
- (C-2) 目標の達成：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期48.1%、後期57.6%であり、学科平均を下回っていた。前年度に比べ前期12.2%減、後期0.3%増のため、改善の余地があると考えられる。
- (C-5) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期41.6%、後期52.5%であり、前年度に比べ前期1.0%減、後期2.8%増であった。
- (C-6) 適切なフィードバック：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期60.5%（課題無し5.8%）、後期65.7%（課題無し4.2%）であり、ほぼ学科平均相当であった。
- (D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期65.8%、後期74.1%であった。前年度に比べ前期2.6%増、後期1.1%減ではあるが、学科平均を下回っており、改善の余地があると考えられる。

### 理工学科都市基盤工学コース

学生による授業評価の満足度に関して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期と後期の平均で70%となっており、高い評価を得ている。オンライン講義の影響があるにもかかわらず、教員の努力及び技術職員のサポートによって教育の質を維持することができたと考えられる。質問や相談に対して教員から適切な対応が得られたかに対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」の前期・後期の割合の平均は約60%であり、教え方や教材の工夫がなされていたかに対して「そう思う」または「全くその通りだと思う」の割合は前期・後期の平均で約70%と高い傾向にある。各教員による授業点検や教育システム委員会等による教育の点検・改善等の成果も現れている。

アンケートを回答した学生の出席率に関して、「80%以上」の割合は前期・後期の平均で

87%となっており、良好な出席状況を示している。また、授業時間外学習について、1時間程度以上と答えた学生は前期・後期の平均で約70%である。学習到達目標の達成に対して、前期・後期の平均で53%の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた。一方、学生が主体的に学べるような活動の有無に関して「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期・後期の平均で47%である。オンライン講義でグループワークやディスカッションの実施が困難であることが一つの原因であり、改善の余地があると考えられる。

### 理工学科建築環境デザインコース

学生による授業評価の満足度に関して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期と後期の平均で70%となっており、高い評価を得ている。オンライン講義の影響があるにもかかわらず、教員の努力及び技術職員のサポートによって教育の質を維持することができたと考えられる。質問や相談に対して教員から適切な対応が得られたかに対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」の前期・後期の割合の平均は約60%であり、教え方や教材の工夫がなされていたかに対して「そう思う」または「全くその通りだと思う」の割合は前期・後期の平均で約70%と高い傾向にある。各教員による授業点検や教育システム委員会等による教育の点検・改善等の成果も現れている。

アンケートを回答した学生の出席率に関して、「80%以上」の割合は前期・後期の平均で87%となっており、良好な出席状況を示している。また、授業時間外学習について、1時間程度以上と答えた学生は前期・後期の平均で約70%である。学習到達目標の達成に対して、前期・後期の平均で53%の学生が「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた。一方、学生が主体的に学べるような活動の有無に関して「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期・後期の平均で47%である。オンライン講義でグループワークやディスカッションの実施が困難であることが一つの原因であり、改善の余地があると考えられる。

## (2) 博士前期課程

2021年度については、理工学研究科で開講している科目数は330件あり、授業アンケートが行われた科目数は258件、回答率は51.8%であった。2021年度の工学系研究科博士前期課程の科目については、受講生が少ないため、授業アンケート結果の分析対象から除外されている。

各専攻・コースの状況は以下のとおりである。

### 理工学研究科理工学専攻

#### 数学コース

学生による授業評価アンケート結果は、非常に高い評価を得ている。

#### 物理学コース

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、概ね良好な結果を得ている。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないが、科目による大きなばらつきは見られない。

#### データサイエンスコース

授業評価の結果は、学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないように思われる。

#### 知能情報工学コース

授業評価の結果は、学生の満足度を含む多くの項目において概ね良好な回答が得られているように見える。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないように思われる。

#### 機能材料化学コース

専攻開講科目の満足度は良好であり、前期は92%、後期は94%が肯定的な回答をしており、問題はない。学生と教員の議論を中心とした指導形態の循環物質化学特別実習・演習等の科目を通じて、学生の要望等を組み入れた教育環境の改善に専攻独自で取り組んでいる。しかしながら、「C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促した

めの配慮がありましたか。」「C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。」「B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。」に関して、ほんの数%ではあるが否定的な回答もあったため、改善に努め、より高いレベルでの講義を展開していきたい。

### 機械エネルギー工学コース

2021年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、対面授業を行う。また、遠隔授業を活用する。」の活動制限指針下で講義が行われ、実際、【C-1授業形態】の回答では、前期62.3%、後期65.7%と、機械エネルギー工学コースの学生は、理工学専攻の平均に比べ高い割合で、対面授業に出席している。このように対面授業へ移行する中、【D-1授業の満足度】について「そう思う」と「全くその通りだと思う」の肯定的回答は、前期95.1%、後期90.0%と、いずれも9割を越えている。また、【A-1出席率】や【A-3シラバス活用】は、概ね理工学科平均相当となっており、このうち【A-1出席率】は、前期90.2%、後期94.3%が、講義の80%以上に出席している。このほか9項目は、専攻平均を上回るなど、総じて良好な結果といえる。専攻所属の大学院生とは、科目講義以外にも、研究室で行われるゼミや研究指導において、学部生よりも密接なコンタクトを取っている。したがって、授業評価アンケートなどの結果を踏まえたポートフォリオ学習支援統合システムでの「授業点検・改善報告」以外にも、このような学生との意見交換の場を通じて、教育環境を含む、継続的な授業改善に取り組んでいる。

### 機械システム工学コース

2021年度は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、対面授業を行う。また、遠隔授業を活用する。」の活動制限指針下で講義が行われ、実際、【C-1授業形態】の回答では、前期77.8%、後期89.8%と、機械システム工学コースの学生は、理工学専攻の平均に比べ高い割合で、対面授業に出席している。このように対面授業へ移行する中、【D-1授業の満足度】について「そう思う」と「全くその通りだと思う」の肯定的回答は、前期95.1%、後期93.9%と、いずれも9割を越えている。また、【A-1出席率】や【A-3シラバス活用】は、概ね理工学科平均相当となっており、このうち【A-1出席率】は、前期95.1%、後期95.9%が、講義の80%以上に出席している。このほか9項目は、専攻平均を上回るなど、総じて良好な結果といえる。専攻所属の大学院生とは、科目講義以外にも、研究室で行われるゼミや研究指導において、学部生よりも密接なコンタクトを取っている。したがって、授業評価アンケートなどの結果を踏まえたポートフォリオ学習支援統合システムでの「授業点検・改善報告」以外にも、このような学生との意見交換の場を通じて、教育環境を含む、継続的な授業改善に取り組んでいる。

### 電気電子工学コース

学生による授業評価では、いずれの科目においても高い評価が得られている。満足度では、「全くそう思う」または「そう思う」と答えた学生は前期92.9%、後期92.9%であり、良好な結果が得られている。

### 都市基盤工学コース

都市基盤工学コースの学生による授業評価の満足度において、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期と後期の平均で92%に達し、高い評価を得ている。また、質問や相談に教員から適切な対応が得られたかに対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」の割合は前期と後期の平均で90%と高く評価された。

アンケートを回答した学生の出席率に関して、「80%以上」の割合は前期と後期の平均で92%と良好な出席状況を示している。学習到達目標の達成に対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期・後期ともに80%を超えていた。また、学生が主体的に学べるような活動の有無に関して「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期・後期の平均で87%である。コロナ禍にあっても教員による工夫が学生から高い評価を得ていることが分かる。

### 建築環境デザインコース

建築環境デザインコースの学生による授業評価の満足度において、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期で94%、後期も92%に達し、高い評価を得ている。前期と後期の満足度の差がなく、どちらの期間においてもほぼ同レベルの高度な教育を維持できたことが分かった。また、質問や相談に教員から適切な対応が得られたかに対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」の割合は前期94%、後期

92%に達しており、高い評価が得られた。

アンケートを回答した学生の出席率に関して、「80%以上」の割合は前期と後期の平均で90%と良好な出席状況を示している。また、学習到達目標の達成に対して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期と後期の平均で84%となっている。また、学生が主体的に学べるような活動の有無に関して、「そう思う」または「全くその通りだと思う」と答えた学生の割合は前期・後期の平均で87%である。コロナ禍にあっても教員による工夫が学生から高い評価を得ていることが分かる。

### (3) 博士後期課程

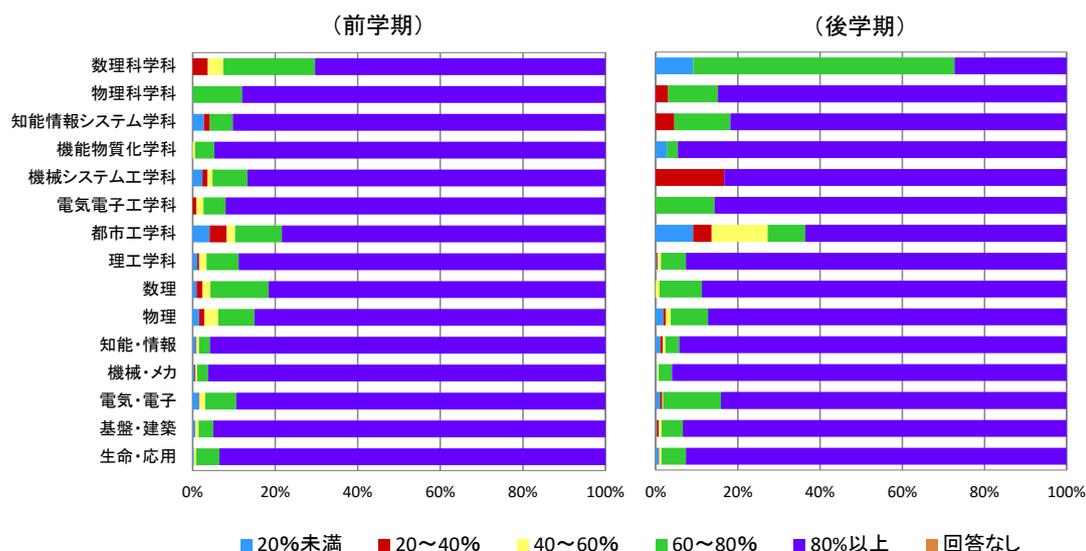
2021年度の博士後期課程の科目については、受講生が少ないため、授業アンケート結果の詳細な分析対象からは除外している。

## 理工学部の状況

2021年度については、理工学部で開講している科目数が632件あり、授業アンケートが行われた科目数は544件、回答率は69.3%であり、昨年度より15%減少した。なお、教職科目は、除外して集計している。

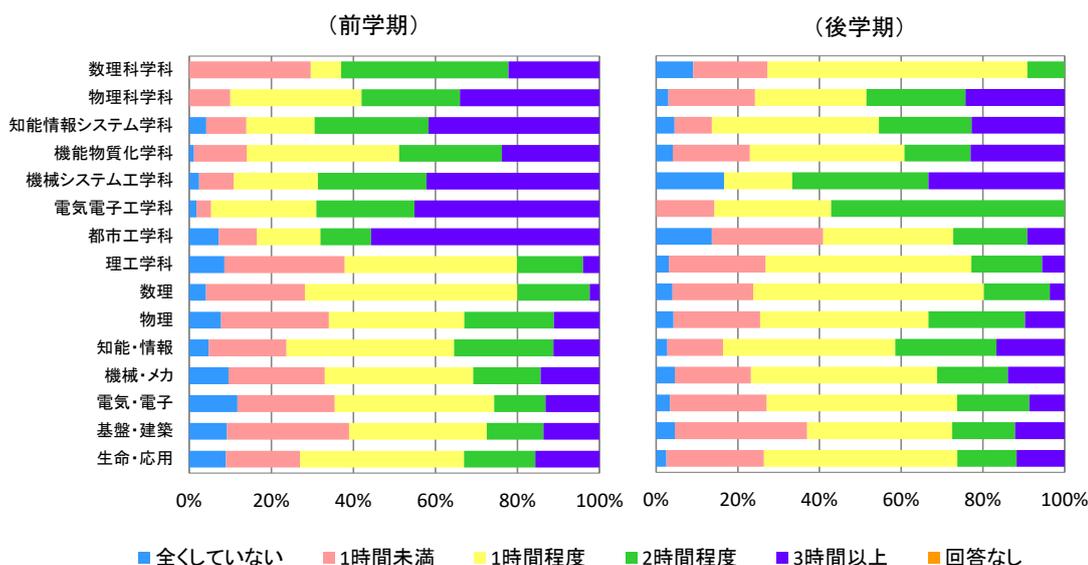
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



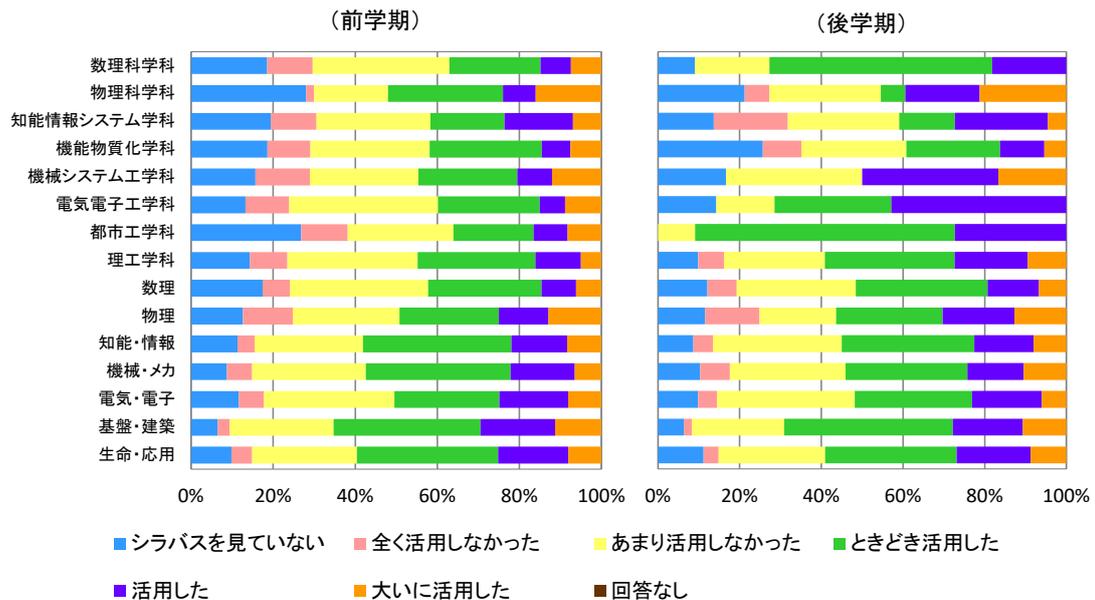
一部を除いて、出席率80以上の学生がほとんどであることがわかる。

#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



ほとんどの学科において、80%程度の学生が1時間程度授業外学習を行っている。しかしながら、1コマ2単位の授業科目に対して、予習・復習をそれぞれ1時間以上行う必要があることを考えると、かなり少ない時間数である。課題を課す方法にも工夫が必要であると考えられる。

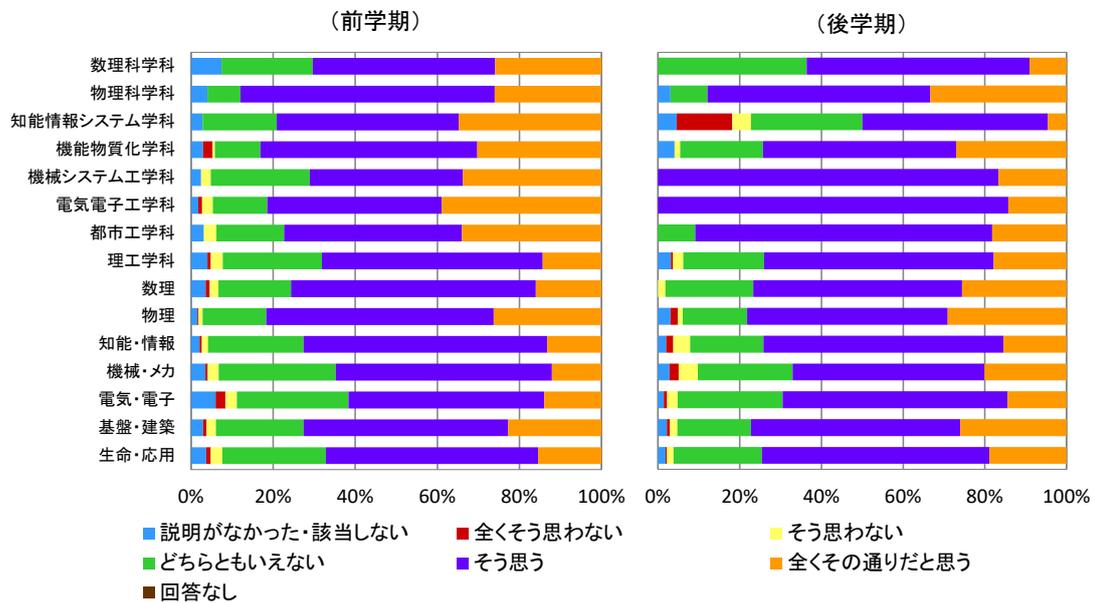
### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



ほとんどの学科において、50%以上の学生が授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用している。

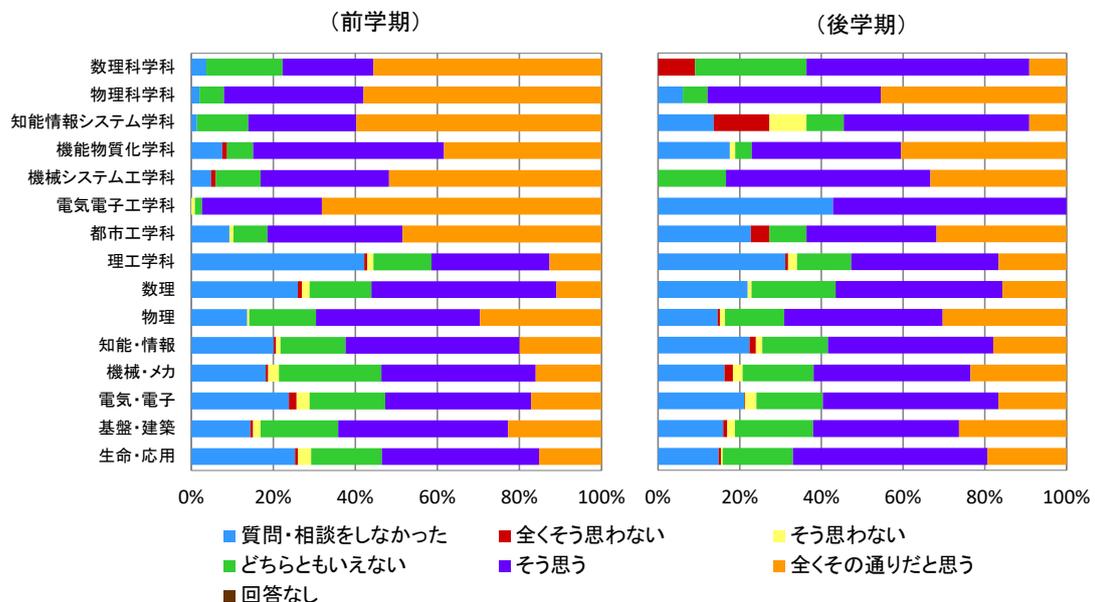
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



学科やコースによって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が教員による教育方法や成績評価方法などの説明が有益であると答えている。教員による説明が適切に行われている。

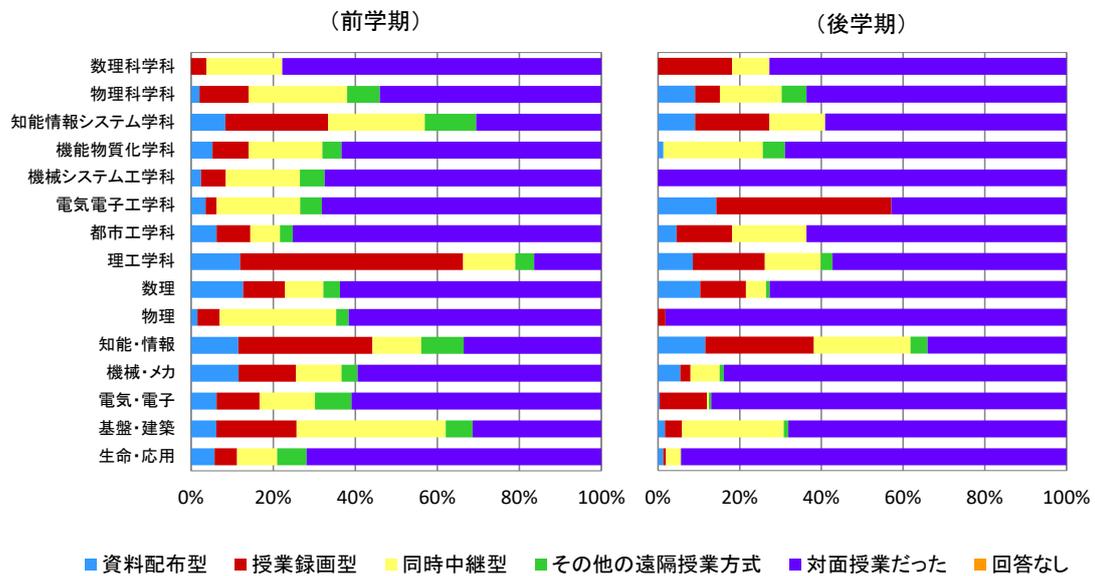
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



学科やコースによって多少ばらつきがあり、15%程度の学生は質問や相談をしていないが、60%以上の学生は質問や相談に適切に対応してくれたと回答している。したがって、教員の対応は概ね適切に行われていると判断できる。

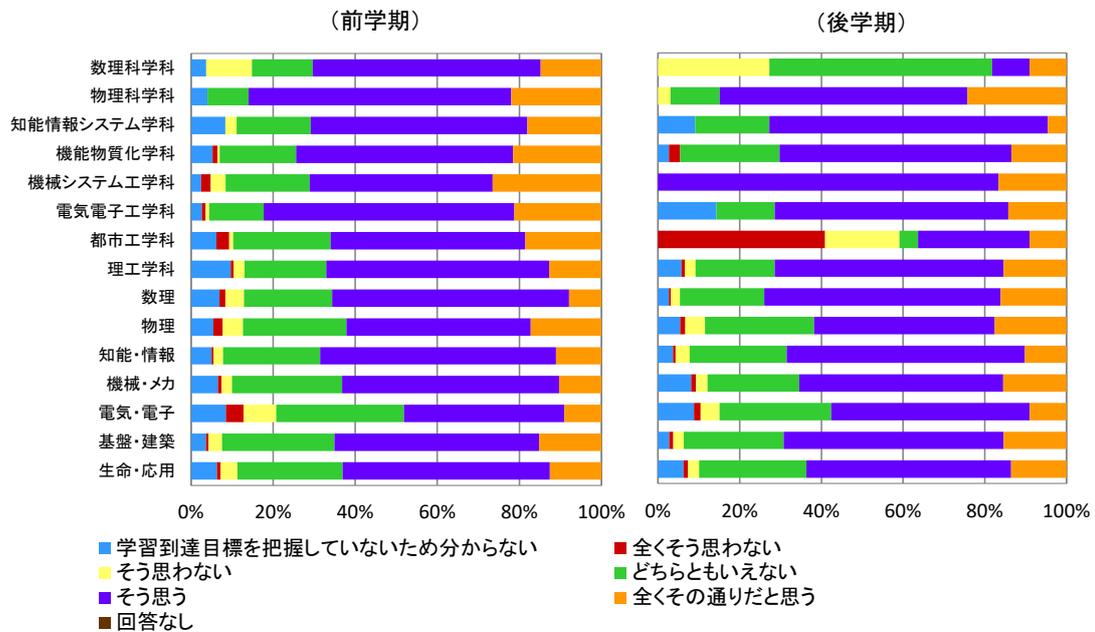
### C. 授業内容および授業方法について

#### C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



前学期では、学科・コースによってばらつきはあるが、60%以上が対面授業で実施された。後学期では、学科・コースによってばらつきはあるが、80%以上が対面授業で実施され、オンライン授業が減少した。

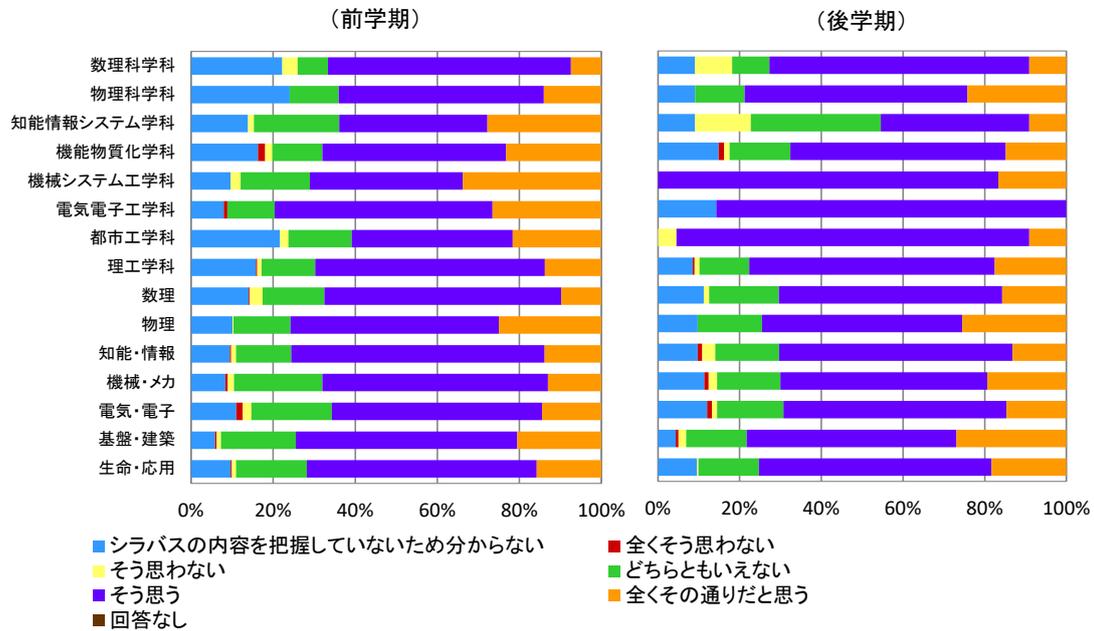
#### C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



学科・コースによってばらつきはあるが、70%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。どちらともいえないと回答している学生が20%程度はいることから、学

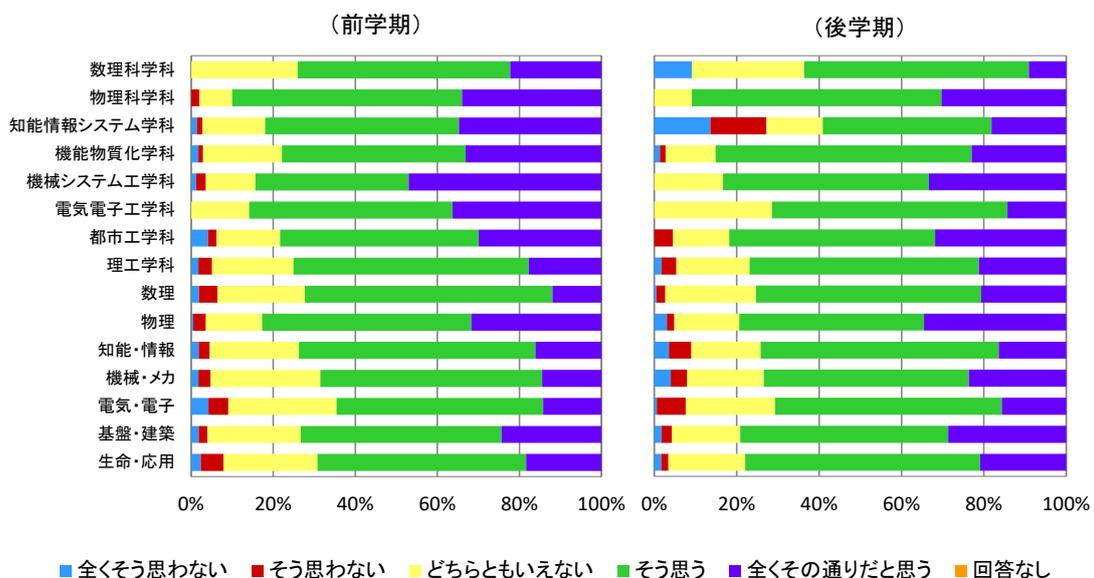
習到達目標の周知を繰り返し行う必要があると思われる。

### G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



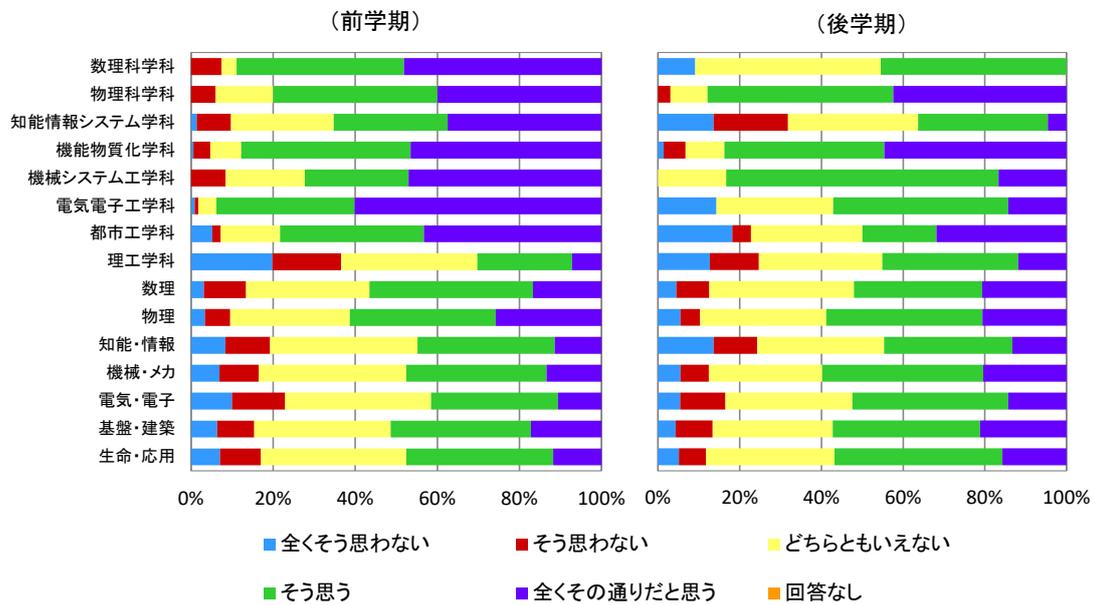
学科やコース、学期によって多少のばらつきはあるが、70%程度の学生が、授業内容がシラバスに基づいていたと回答している。

### G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



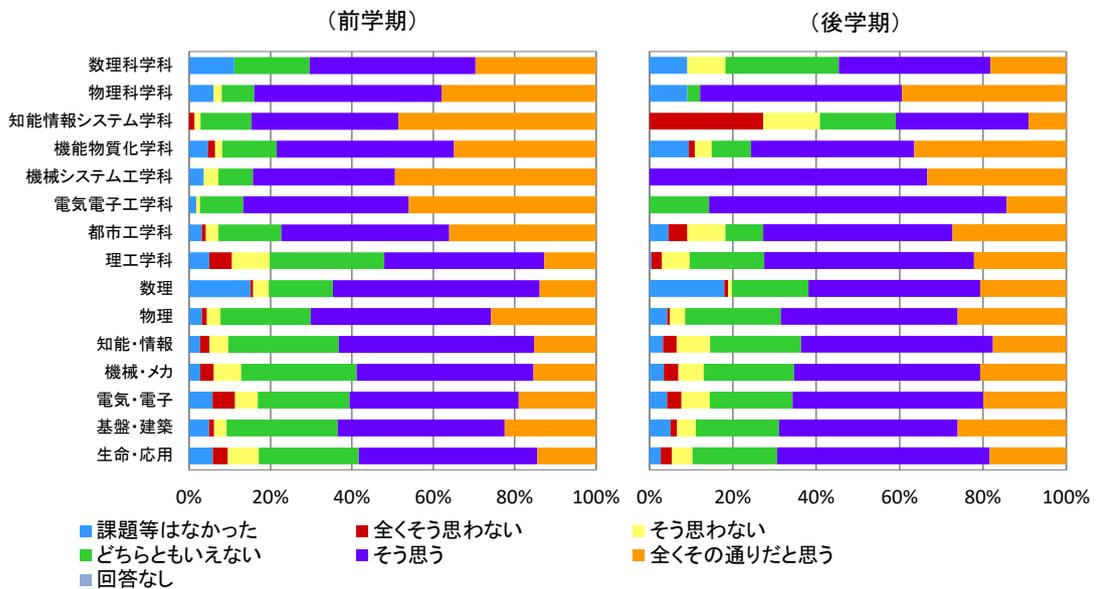
80%程度の学生が理解しやすいように教え方や教材の工夫がなされていたと回答している。概ね、適切な教え方や教材を工夫されていたといえる。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、そう思うと回答している学生が 60% 程度である。

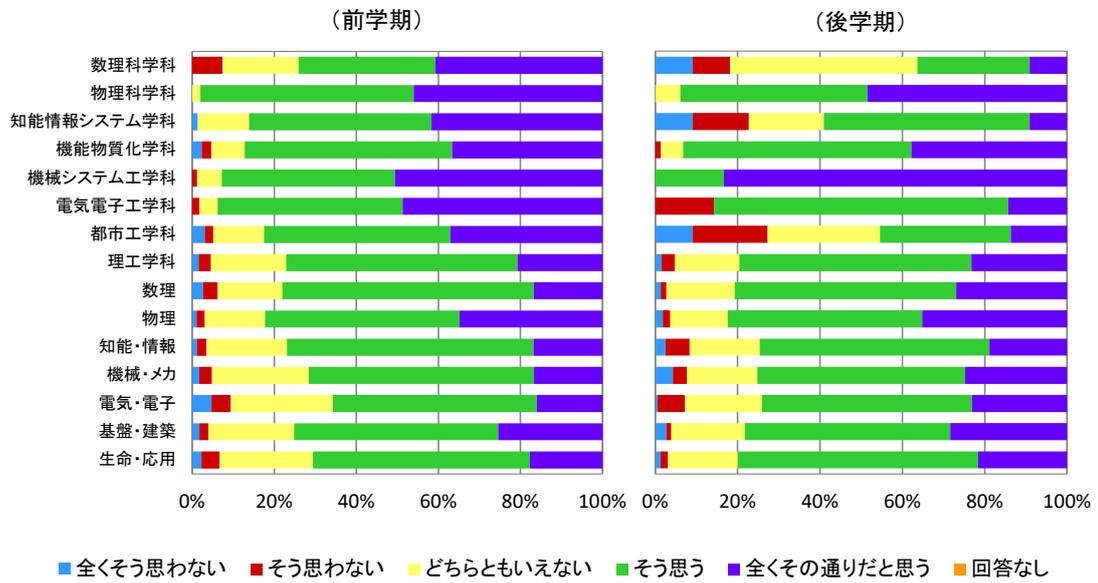
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、70%程度の学生が課題などの提出物に対して適切なフィードバックや解説があったと回答している。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



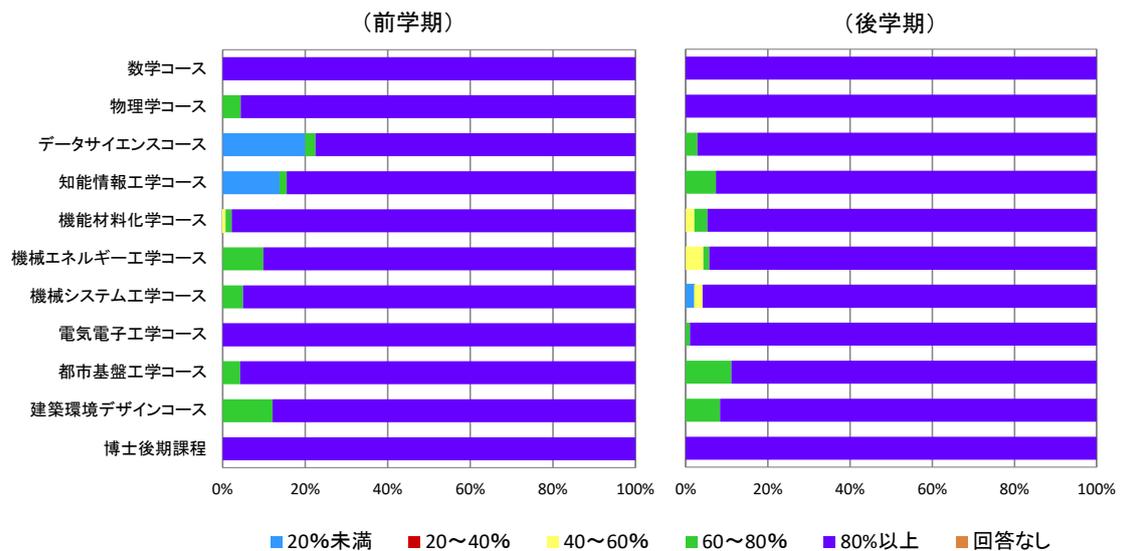
学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、80%程度の学生が授業全体に対して満足できると回答している。教員は適切に授業を行っていると考えられる。

## 理工学研究科の状況

理工学研究科で開講している科目数は 330 件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は 258 件、回答率は 51.8%であった。以下の各項目について分析を行う

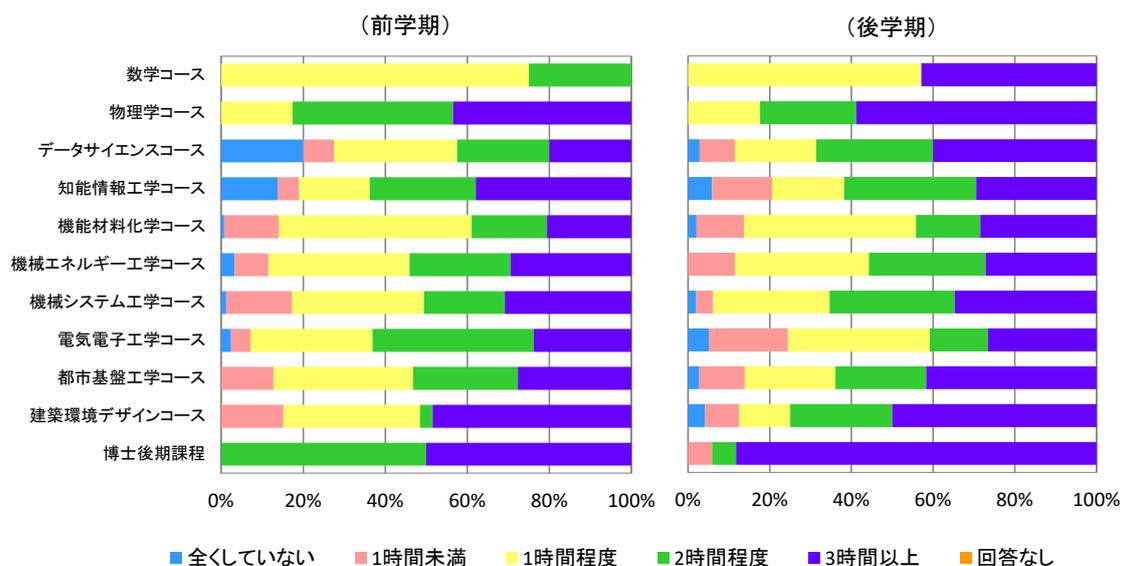
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



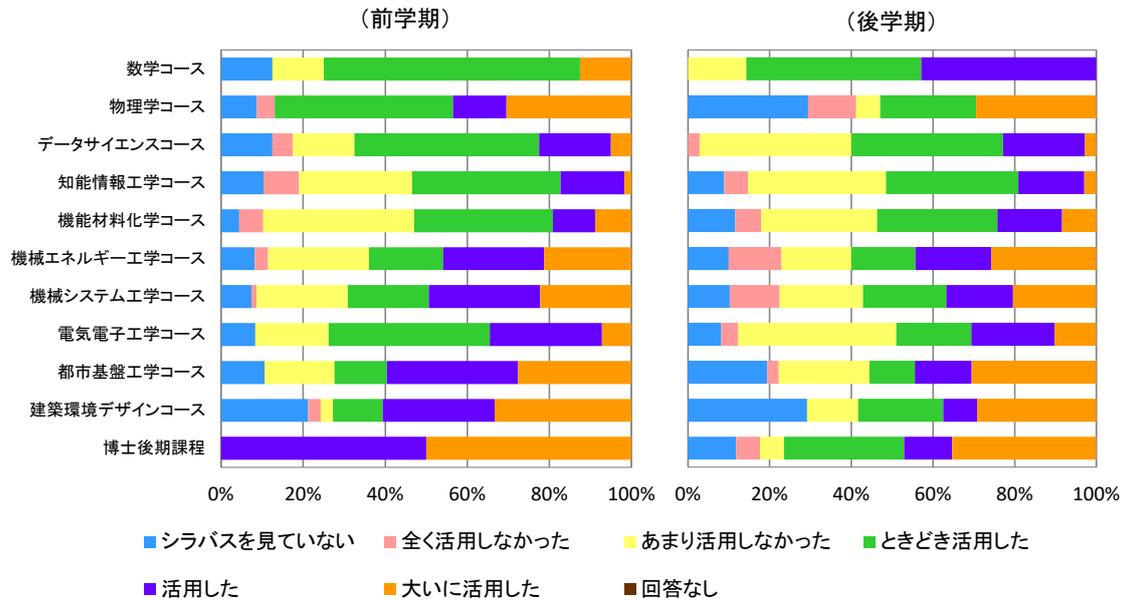
大半のコースにおいて、90%以上の学生が出席している。

#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



授業時間外学習の時間は、コースや学期によってばらつきがある。大半の場合、1時間以上を行っている学生の割合が80%以上である。特定のコースでは、学生の60%前後が年間を通じて3時間以上学習している。

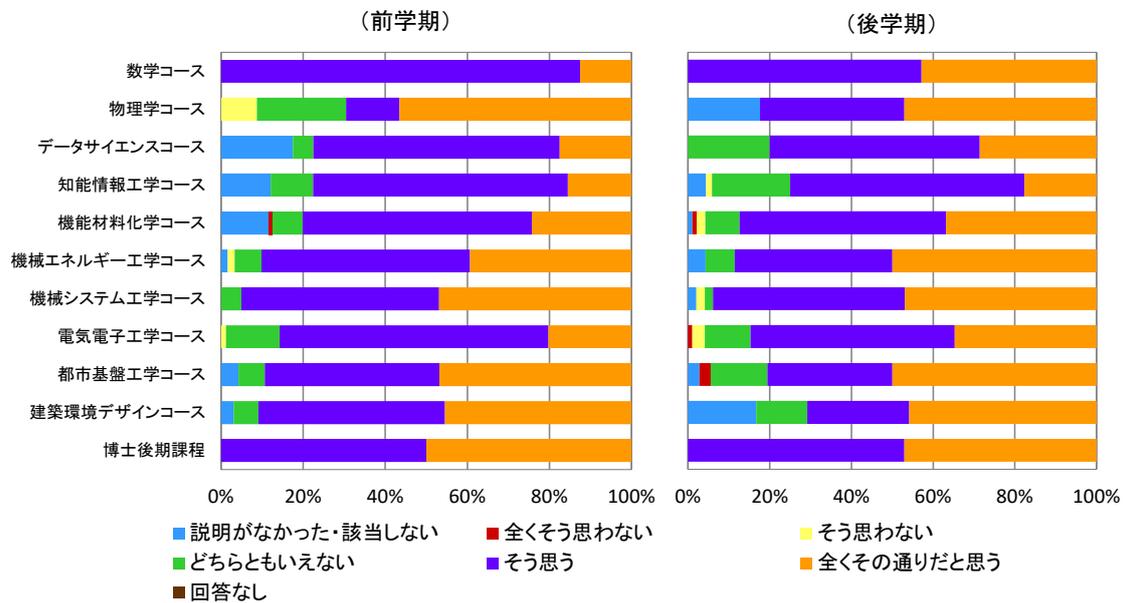
### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



一部のコースを除いて、授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用した学生は60%以上である。しかしながら、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

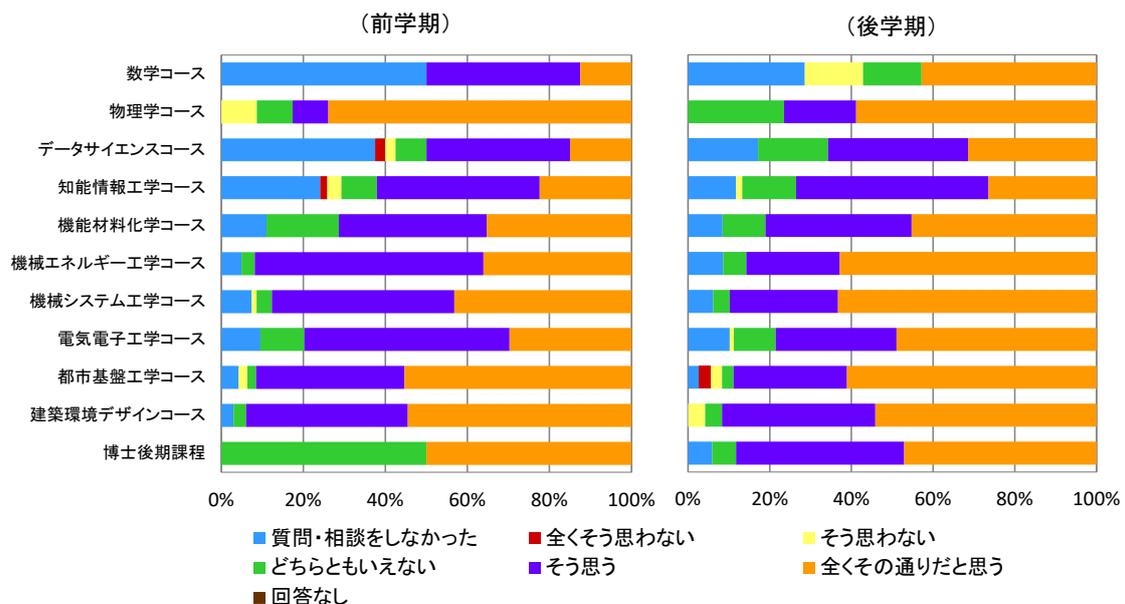
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



一部のコースを除いて、教員による教育方法や成績評価方法などの説明については、80%以上の学生が有益であったと回答しており、十分な説明がなされていると言える。博士後期課程においては、100%と有益であったと回答している。

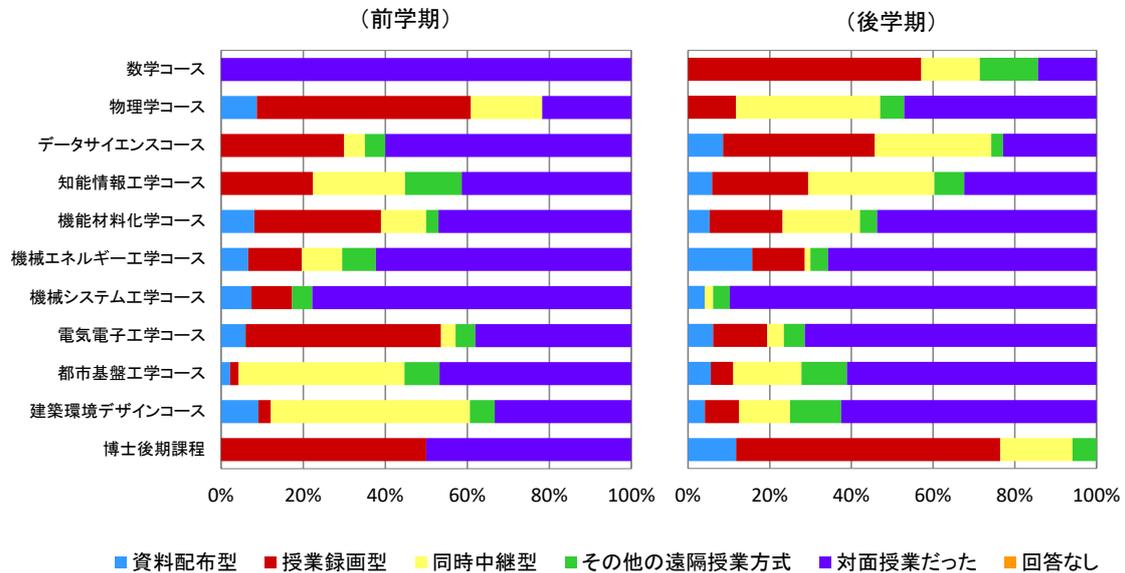
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



概ね、各コースの教員は、学生の質問や相談に対して概ね適切に対応している。

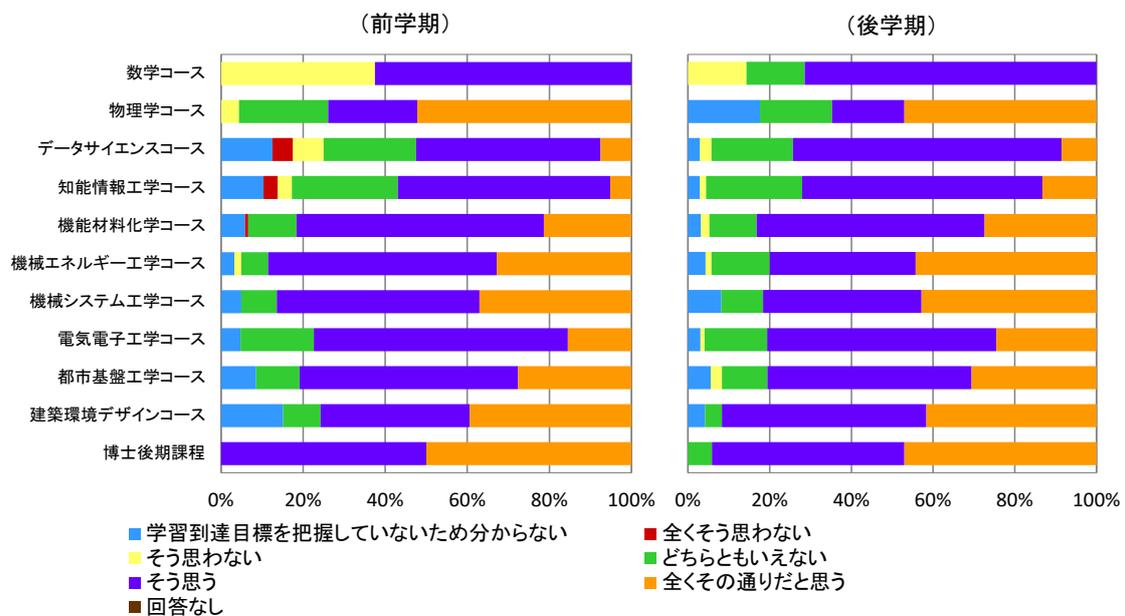
### C. 授業内容および授業方法について

#### C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



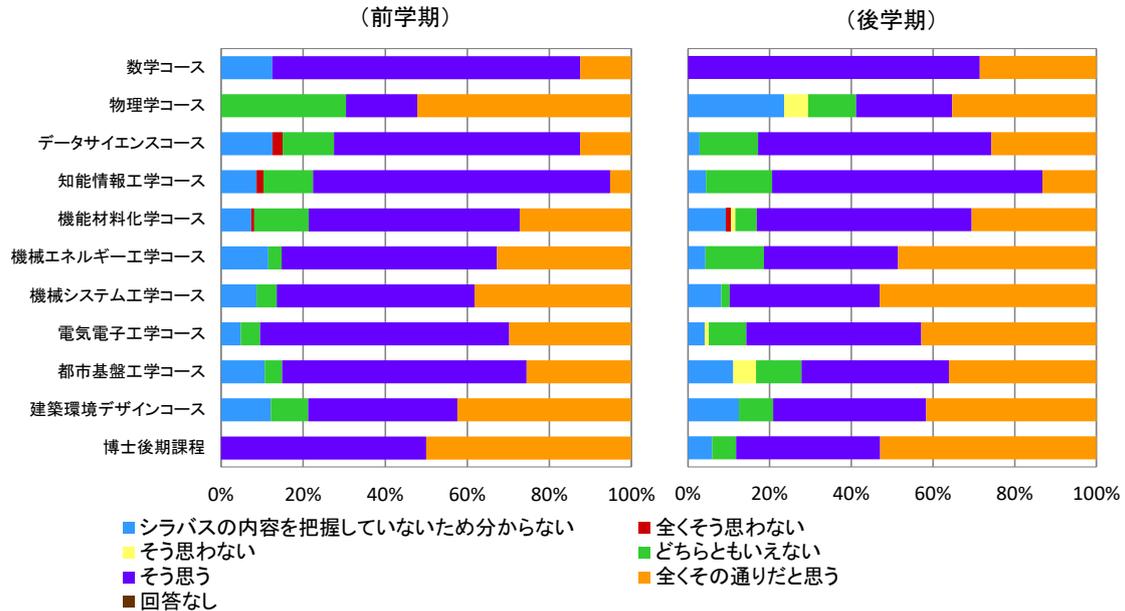
コースによって多少ばらつきがあるが、50%程度対面授業で実施された。博士後期課程の後学期では、80%程度が資料配布型・授業録画型であった。

#### C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



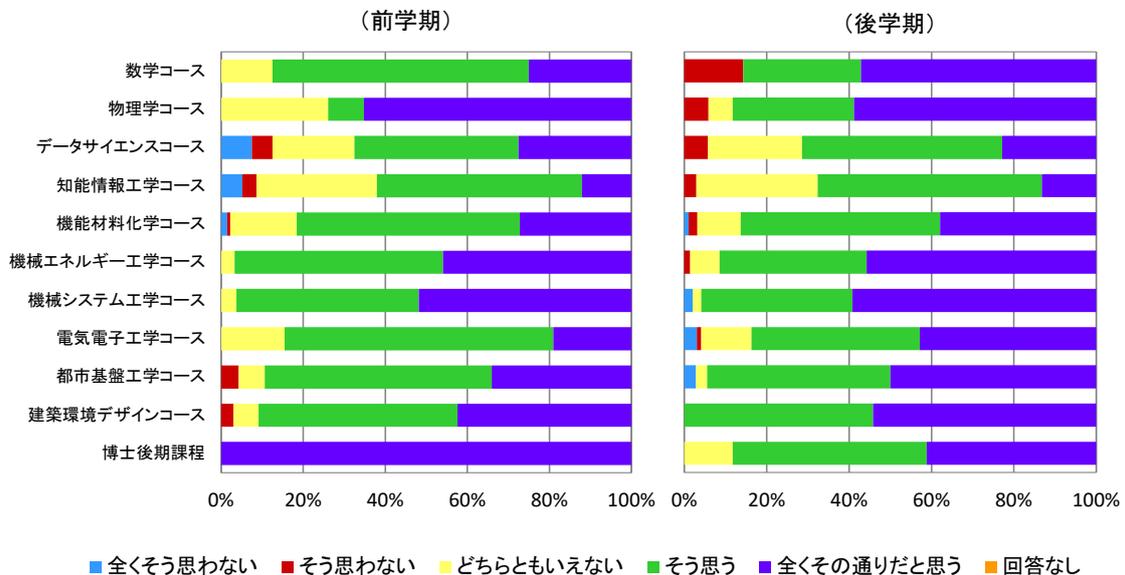
大半のコースにおいて、70%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。博士後期課程では、ほぼ100%の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。

## G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



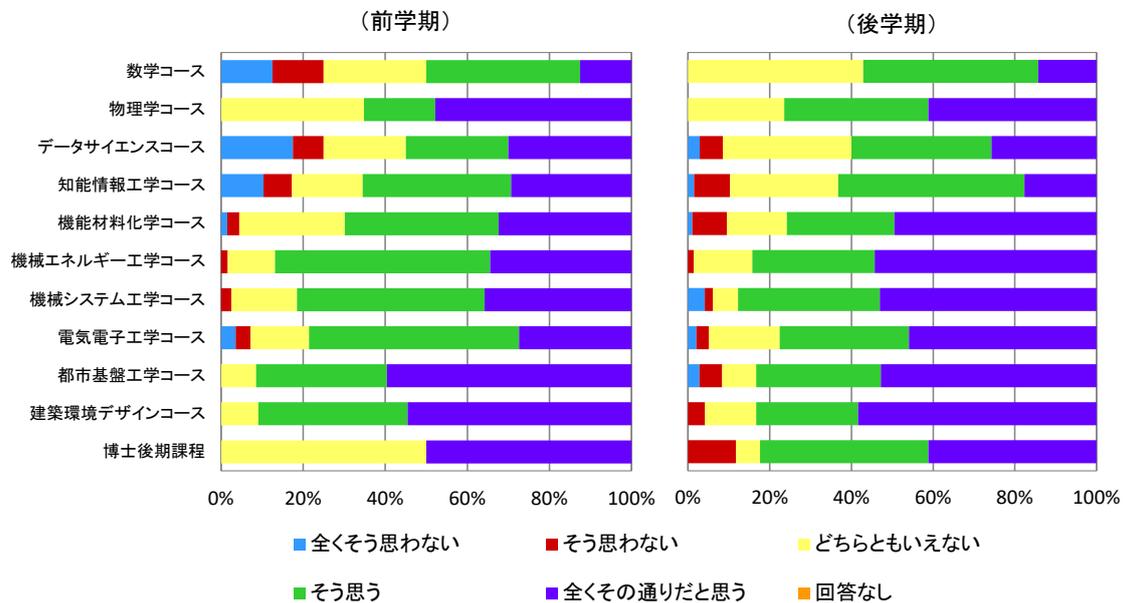
一部を除いて、80%以上の学生が授業内容はシラバスに基づいていたと回答している。博士後期課程では、ほぼ100%の学生が授業内容はシラバスに基づいていると回答している。したがって、シラバスどおりに授業が行われている。

## G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



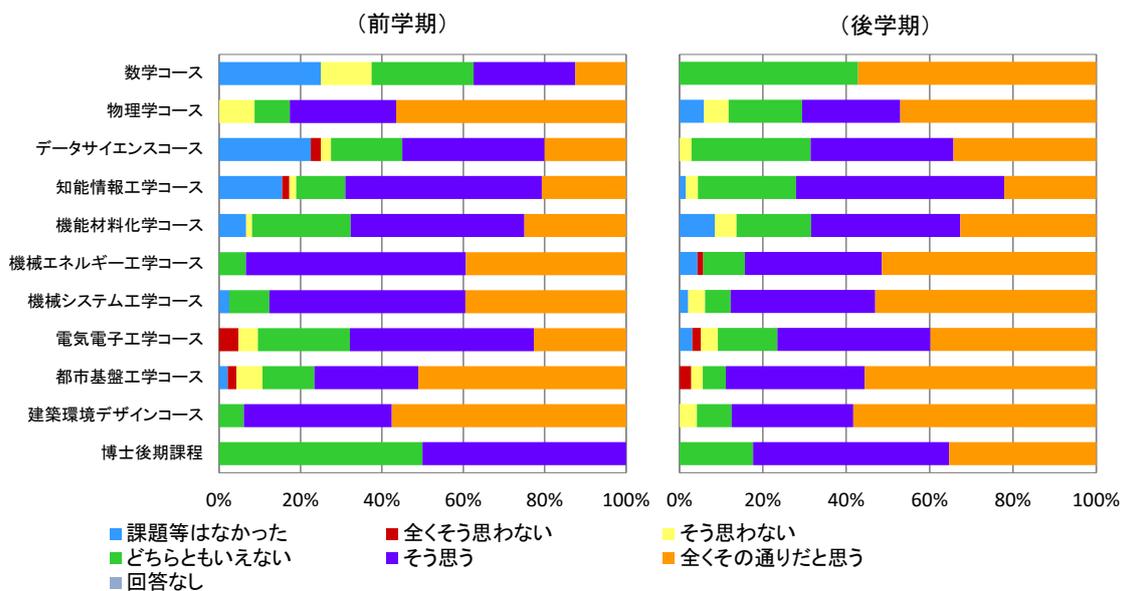
コースによって多少ばらつきがあるが、80%以上の学生が理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていたと回答している。博士後期課程ではほぼ100%の学生がそのように回答している。各教員がわかりやすく授業を行っているといえる。

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



コースによって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が主体的に学べるよう他者と一緒に活動できる取り組みがなされたと回答している。博士後期課程では前期は50%、後期は80%の学生がそのような取り組みがなされたと回答している。

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

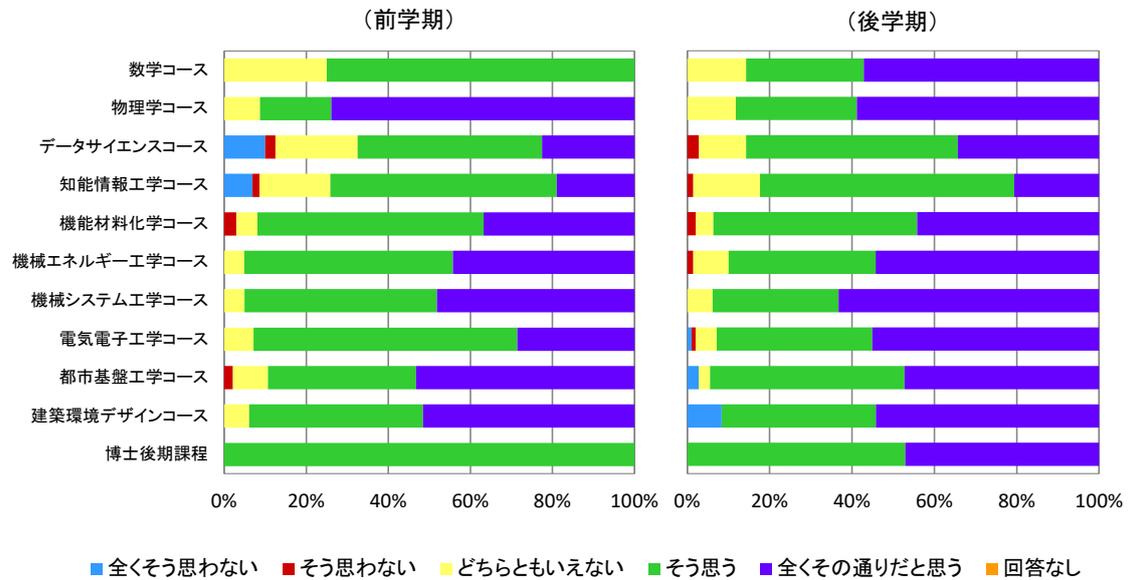


コースによって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が課題などの提出物に対するフィードバックや解説がなされたと回答している。博士後期課程では、前期が50%、後期

が80%の学生がそのように回答している。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



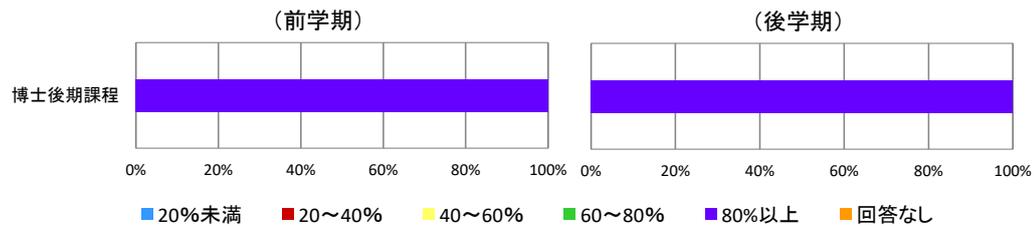
各コースとも、90%程度の学生が満足したと回答している。博士後期課程では、ほぼ100%の学生が満足したと回答している。各教員が学生に興味を聞くような授業内容や対応をしているといえる。

工学系研究科（博士後期課程）の状況

工学系研究科（博士後期課程）で開講している科目数は101件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は13件、回答率は77.8%であった。以下の各項目について分析を行う。

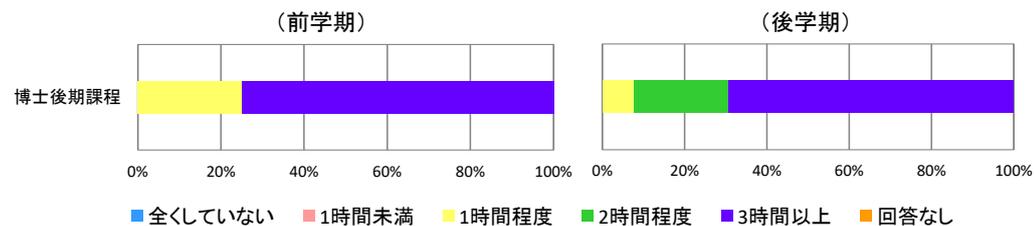
## A. あなた自身について

### A-1 出席率はどのくらいですか



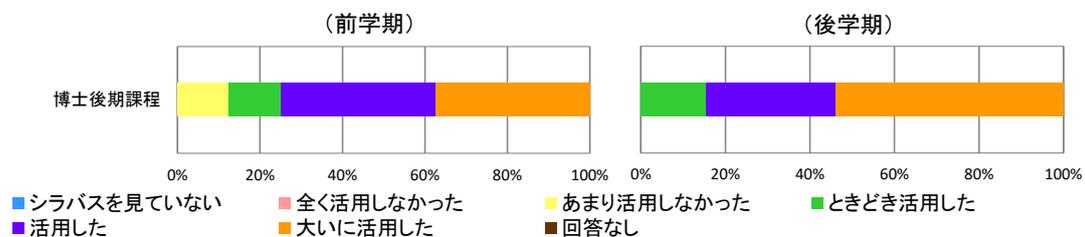
すべての学生が80%以上出席したと回答している。

### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前学期では、75%以上が3時間以上、後学期では90%以上が2時間以上授業時間外学習を行ったと回答している。

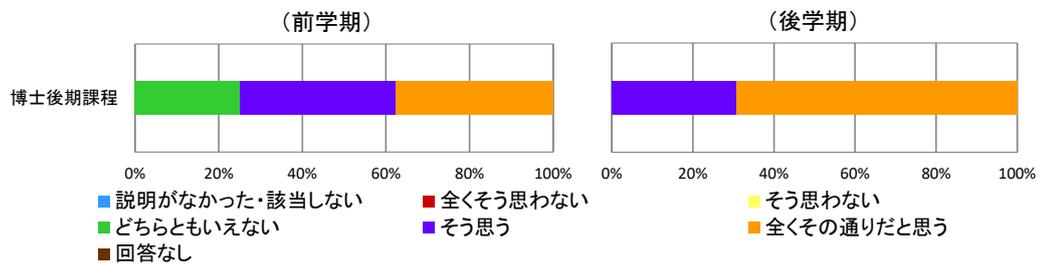
### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



前学期では、90%の学生がシラバスを活用したと回答し、後学期では100%の学生がシラバスを活用したと回答している。

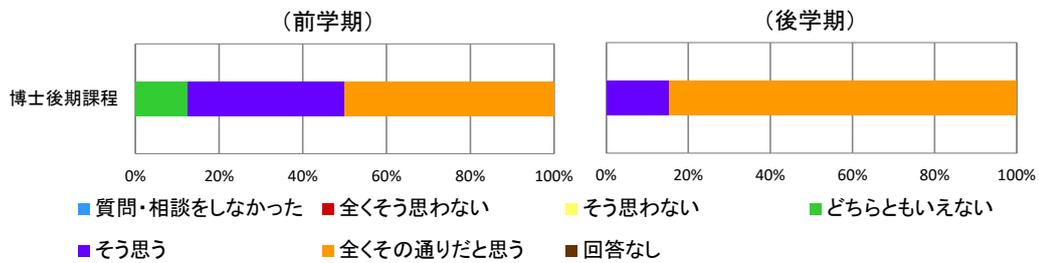
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



前学期では、80%程度の学生が教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であったと回答し、後学期では、100%の学生がそのように回答している。

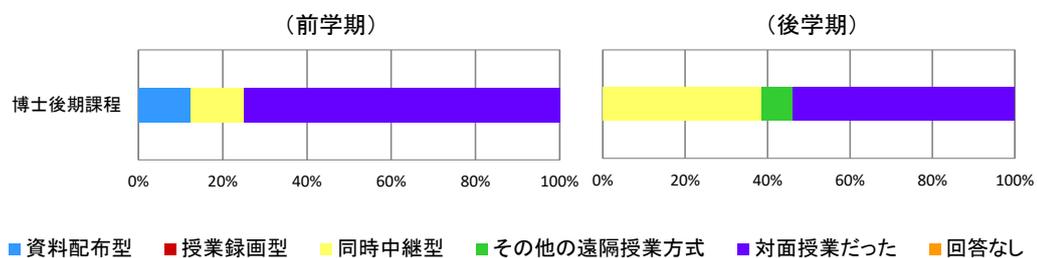
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



前学期では、90%程度の学生が質問や相談に適切に対応してくれたと回答し、後学期では、100%の学生がそのように回答している。

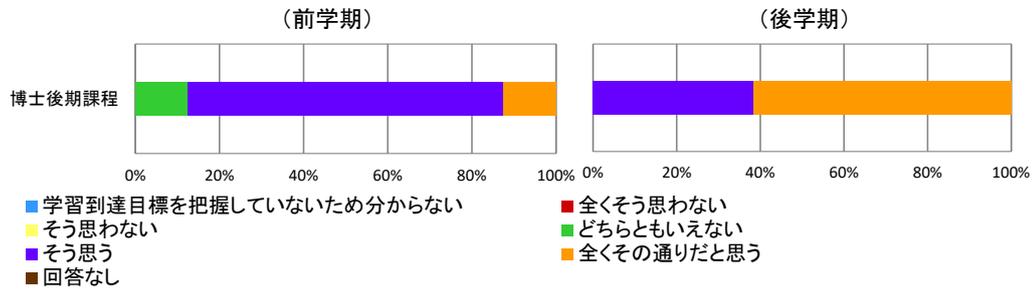
## C. 授業内容および授業方法について

## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



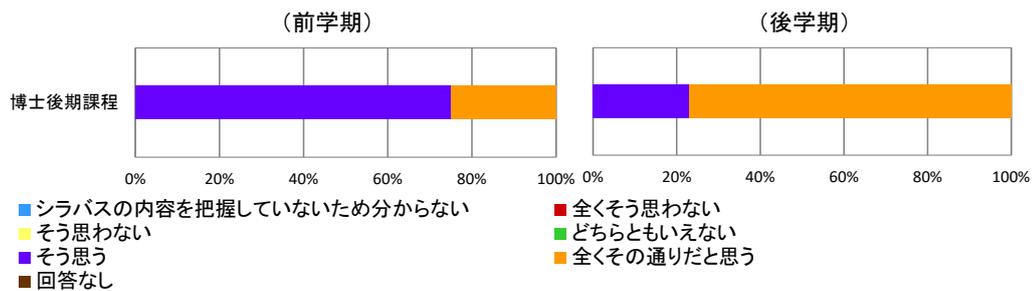
前学期では、75%以上が対面授業で実施され、後学期では、50%程度が対面授業で実施された。

### G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



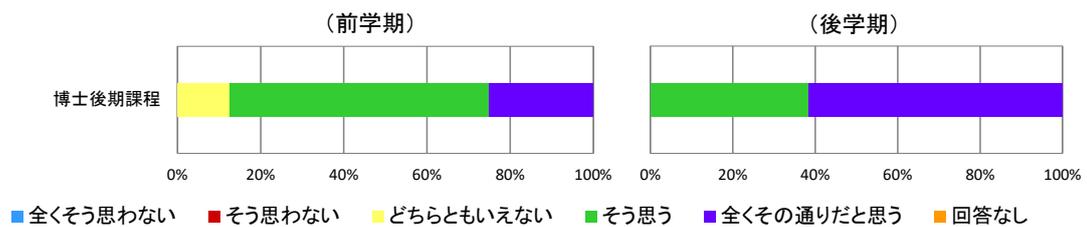
前学期では、90%程度の学生が学習到達目標を達成できたと回答し、後学期では、100%の学生がそのように回答している。

### G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



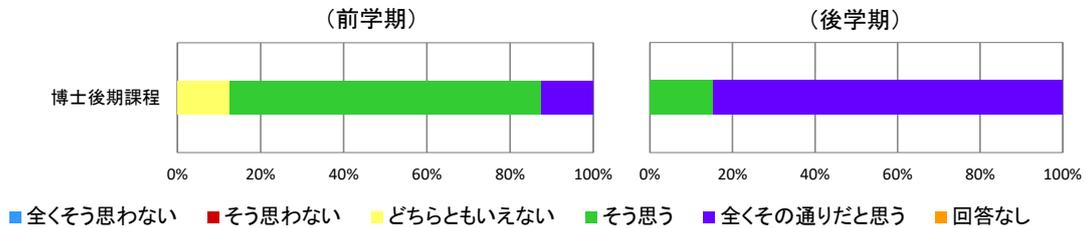
前後学期でも、100%の学生が授業の内容はシラバに基づいていたと回答している。

### G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



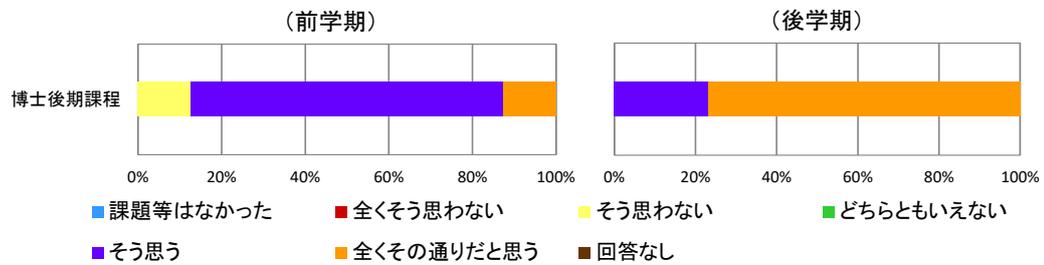
前学期では、90%程度の学生が理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていたと回答し、後学期では100%の学生がそのように回答している。

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



前学期では、90%程度の学生が主体的に学べるように他者と一緒に学習する活動がなされたと回答し、後学期では、すべての学生がそのように回答している。

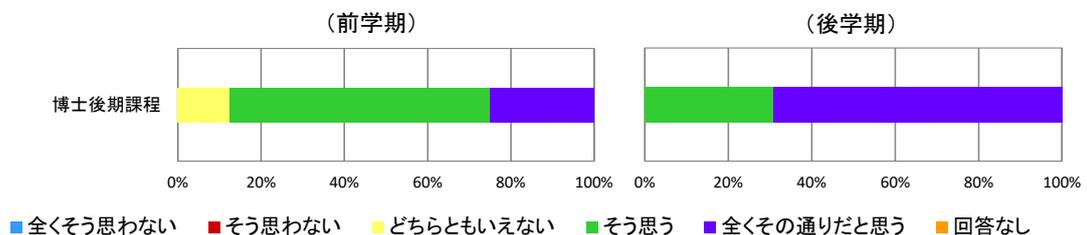
C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前学期では、90%程度の学生が課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がなされたと回答し、後学期では、すべての学生がそのように回答している。

## D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前学期では、90%の学生が全体として満足できると回答し、後学期では、すべての学生がそのように回答している。したがって、各教員が丁寧に授業を行っているといえる。

# 令和3年度 組織別授業点検・評価報告書

農学部

農学研究科

## 令和4年度 組織別授業評価報告書 (農学部)

令和4年9月 教育質保証専門委員 郡山益実

### ・学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

選考基準の1つとして、教員の対応に関する質問事項 (B-1, B-2)、授業内容および授業方法に関する質問事項 (C-4, C-5, C-6)、授業の満足度に関する質問事項 (D-1) において高い評価を得ている科目が挙げられる。一方、各授業の性質 (必須科目、選択科目、座学中心または実習・実験中心の違いなど) や受講生数の違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際は、これらの点について考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えられる。

### ・授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

アンケートのほぼ全ての項目で前年度と同程度もしくはそれ以上の高いの評価を得ており、とりわけ、授業の内容はシラバスに基づくものか、教員の授業内容の工夫、及び学生の授業全体の満足度を回答する C-3、C-4 及び D-1 においても前後期を通じて 7~9 割程度の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答しており、学生にとってシラバスに基づいた質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れていると言える。一方、授業の選択・予習・復習などのシラバスの活用は平均 4 割程度にとどまっており、また、シラバスを見ていない学生は平均 2 割程度見られ、改善を要する点と言える。

### ・「次年度の授業改善目標」

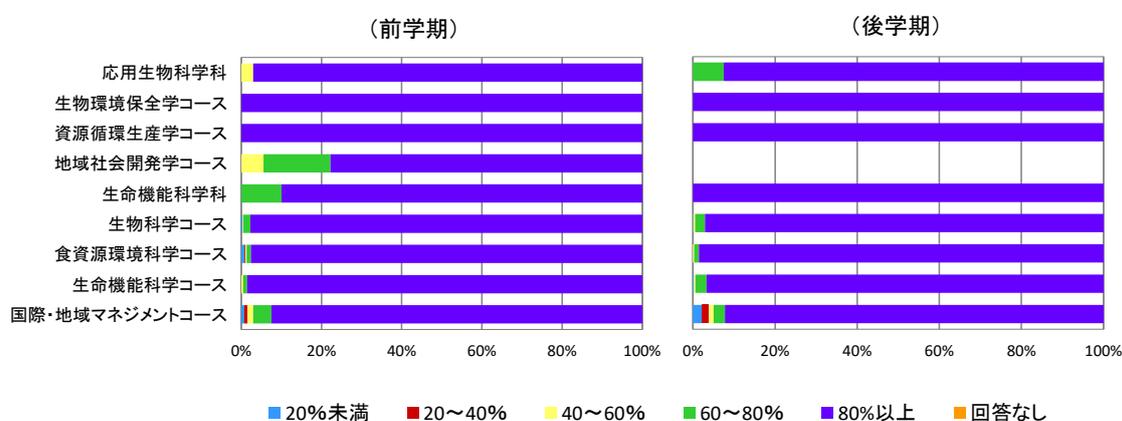
シラバスを見ていない回答の学生が平均 2 割程度見られる。授業初回などでシラバスを提示するとともに、履修中も適宜活用する資料であることを学生に周知、説明し、シラバスの活用度を促進する取り組みを行う。

## ・授業評価のアンケート結果と分析

旧カリキュラム(4年次生以上が在籍)、新カリキュラム(3年次生以下が在籍)のいずれにおいても、講義を担当の教員の所属によってデータの取りまとめを行った。

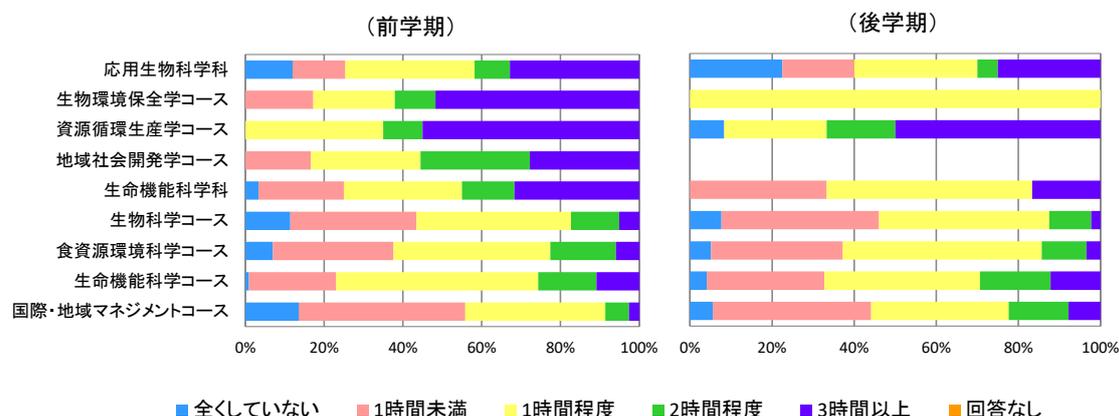
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



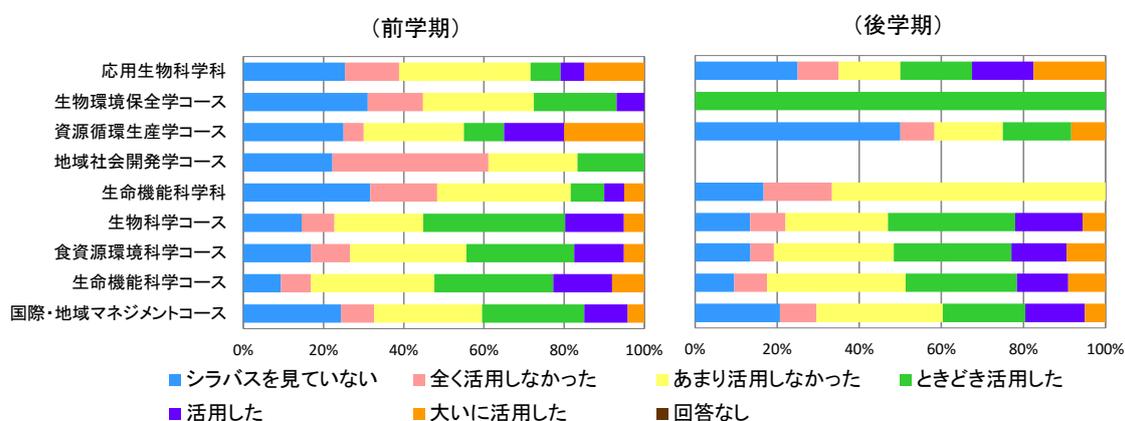
出席率が80%以上の学生が概ね90%以上であり、高い水準であるといえる。令和3年度は教員・学生ともにオンラインでの授業に慣れたため、例年と同水準の出席率に回復している。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息が不確かな状況においては、引き続き、連絡通知の徹底、手助けが必要な学生に対するケア、成績評価における配慮等、柔軟な対応を続ける必要がある。

#### A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前期の授業時間外学習は令和 2 年前期と比較して低下したが、後期は昨年後期と同程度であり、例年と比べて時間外学習時間は多かった。これは、新型コロナウイルス感染症の対策でオンデマンド型等の遠隔授業を併用していたため、視聴確認も兼ねて自己学習の証拠として毎回提出物を求める授業が一定数あったことが理由の 1 つに考えられる。それに加えて、コロナ禍で定期試験の実施を回避した授業もあったため、成績評価のために定期試験の代わりとなる課題が多く課せられたことも理由と考えられる。時間外学習は単位制度の担保、教育効果の向上のためには一定量必要であるが、それらと学生の身体的・精神的健康を配慮したバランスのとれた課題量について組織的に模索する必要があると考えられる。

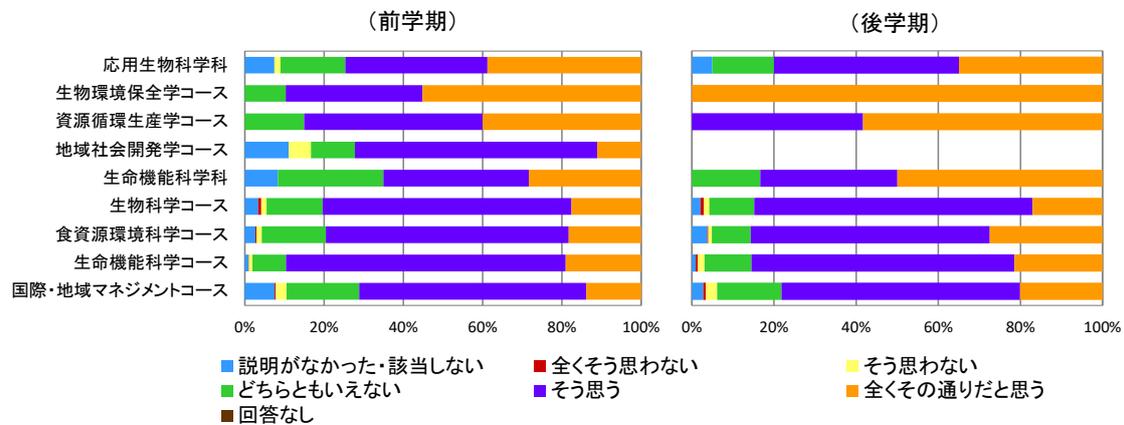
### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」割合は旧カリキュラム (3 年次生以上) では約 42% であり、新カリキュラム (3 年次生以下) では 40-55% であった。数値に関しては例年と同水準であった。シラバスの活用が低い科目は、科学英語や卒業研究などコースで共通の必須科目や研究室と関連する科目で多く見られ、学生はシラバスを見ずそのまま履修することが多いと考えられる。授業の意義や達成目標をシラバスで確認することは最大限の教育効果を生むために重要であり、今後も活用を促す取り組みが必要である。

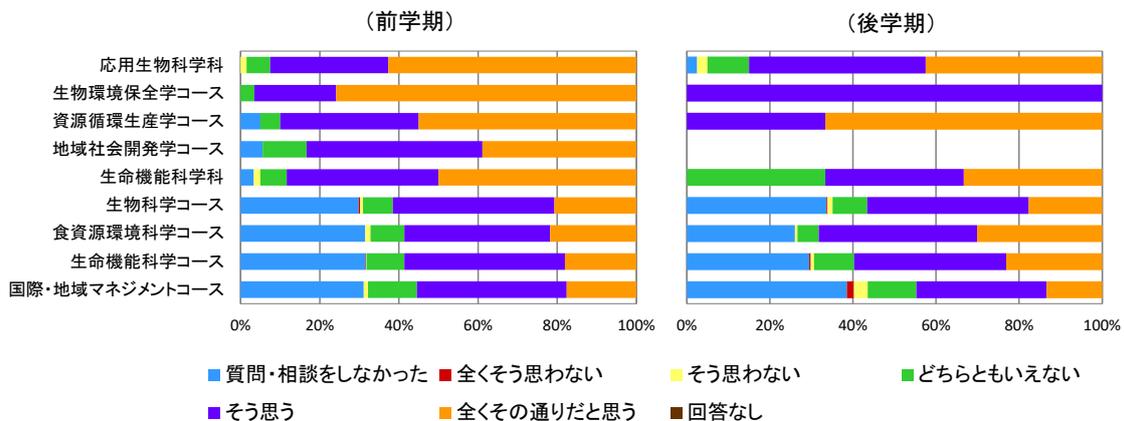
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



概ね前年度と同程度であり、約 80%の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した。前項と同様に、シラバス活用率を上回る結果が得られていることから、授業内において教員が教育方法や成績評価方法等の説明を丁寧にした結果であると判断される。

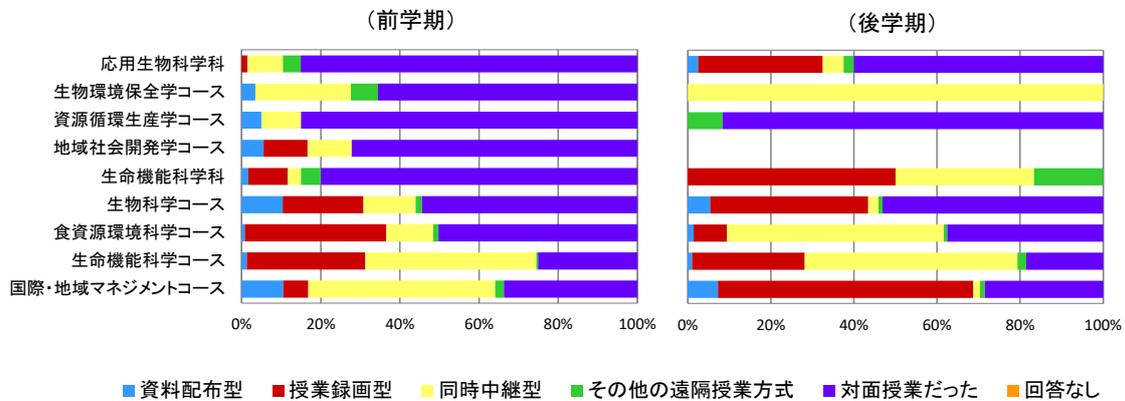
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合は、昨年と同程度であった。また、「質問・相談をしなかった」学生の割合は、旧カリキュラム（4年生以上）の学生より新カリキュラム（3年次以下）の学生でその割合が高いことがわかる。令和3年度の新カリキュラムの対面講義の割合は、前後期を通して18.5～54.4%（平均35.4%）であり、教員との面識があまりない低学年の学生にとって質問しにくかったことが原因の1つに考えられる。

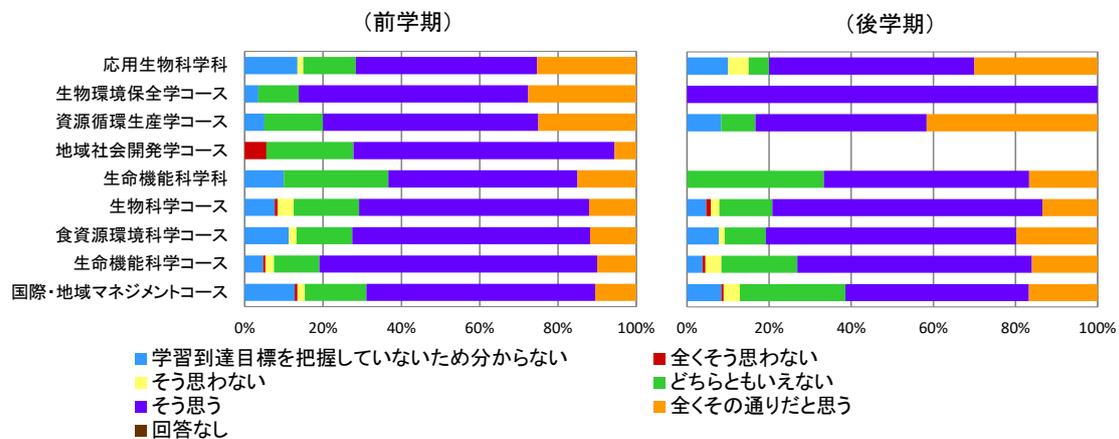
## C. 授業内容および授業方法について

## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



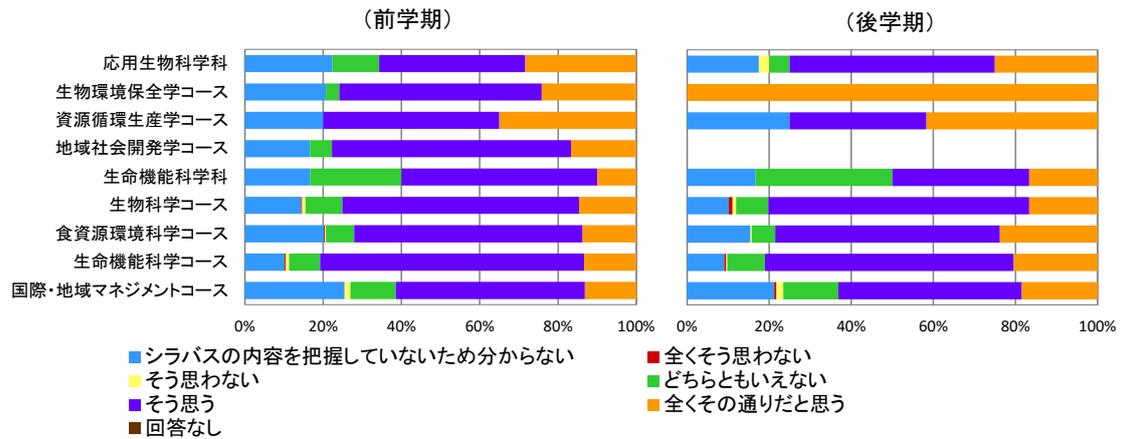
前後期を通じて、昨年度より授業録画型が減少し、対面授業が増加した。今後、対面授業が基本となるが、with コロナの状況が続くと考えられ、その時の状況に適した授業形態を選択せざるを得ない。そのため、教員は引き続き、対面・遠隔どちらでも教育の質を担保した授業が提供できるように準備に努めることが肝要である。

## C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



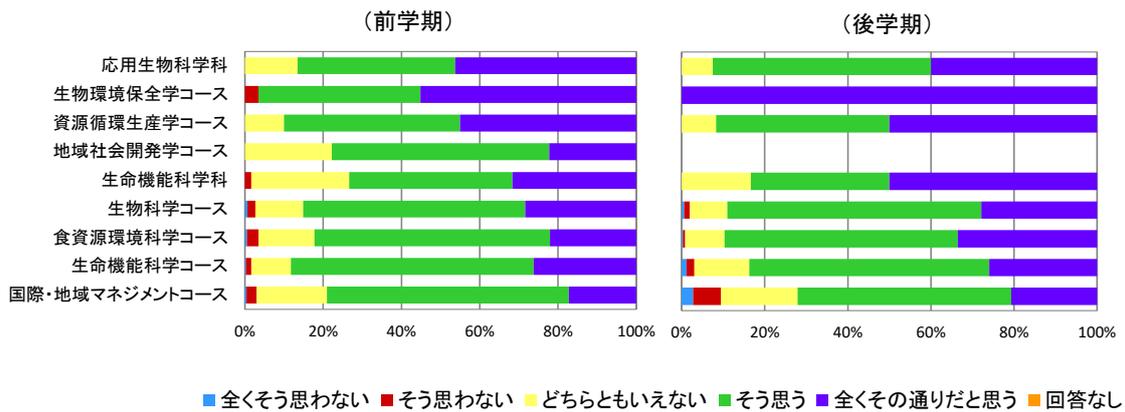
学習目標の達成度は、前期、後期ともに前年度より多くの学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した。これは、対面授業が増加したことに加え、教員・学生ともにオンライン授業への適応が進んだためと考えられる。今後、対面と遠隔授業双方の良い点を組み合わせたハイブリッド型授業であれば、更なる教育効果が期待できる可能性が考えられる。

## G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



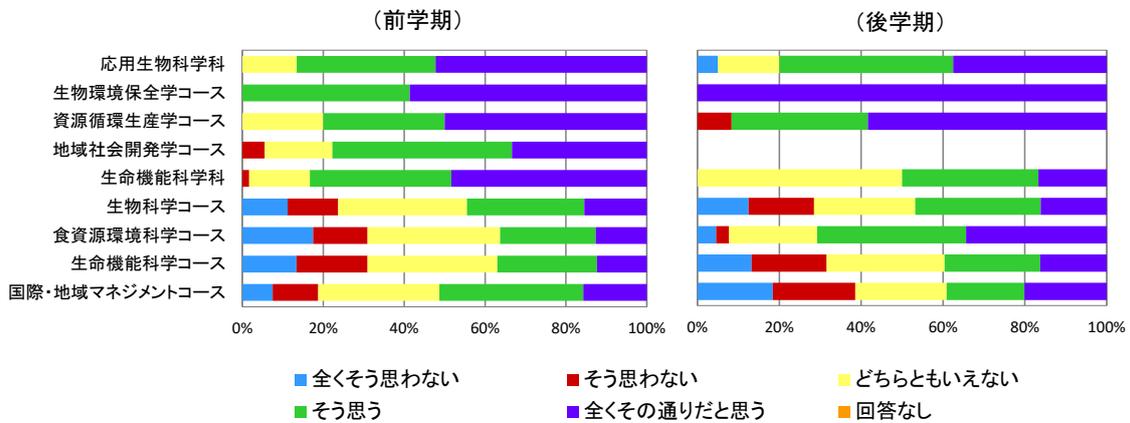
前後期を通じて、7割以上の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答していることから、シラバスに基づいた内容を提供できていると判断できる。

## G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



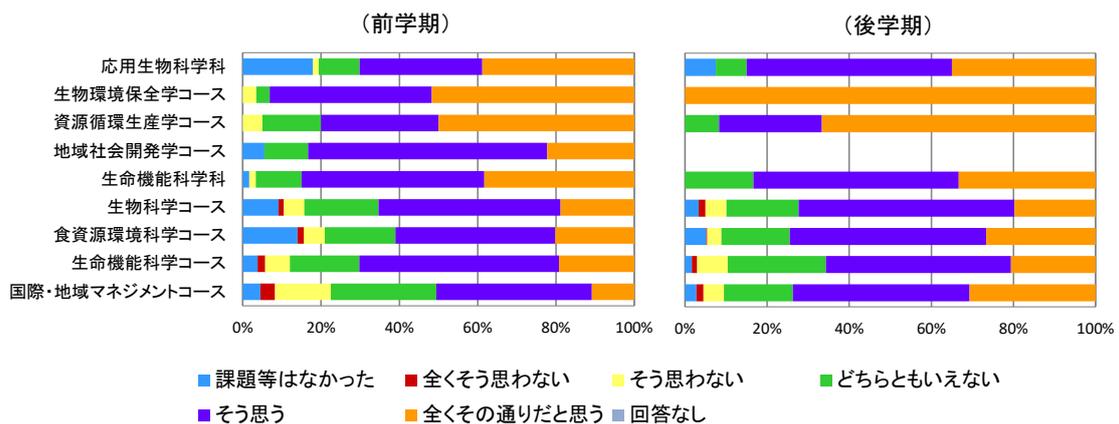
平均で8割程度の学生が、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答している。このことから、教員が学生のレベルに応じた教え方などの工夫が十分な結果と考えられる。

G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



昨年と比較して「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合は、前期、後期ともに同等かそれ以上であった。この原因としては対面授業が増えたことにより、アクティブラーニングを取り入れた講義数が増えたためと考えられる。また、教員のオンライン授業への適応が進み、遠隔授業においてもグループワークやディスカッション等を積極的に取り入れる実施例が増えている可能性がある。今後も、with コロナの状況が続くとみられることから、遠隔授業でも積極的にアクティブラーニングを実施するように努める必要がある。

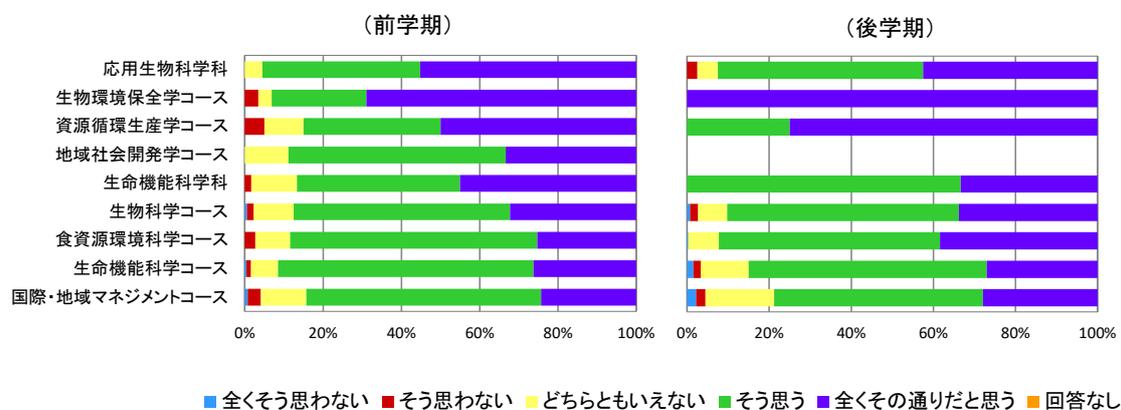
G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前後期を通じて、平均約7割の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。一方、「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生は、1つのコースを除き、1割以下であった。このことから、概ね課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がなされていたと判断されるが、学生の講義内容の理解の深化を促すうえで今後も課題等の提出物に対して適切なフィードバック等を務める必要がある。

## D. 満足度

## D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



昨年と比較して「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合は、前期、後期ともに同等かそれ以上であり、いずれも高い水準であった。アンケートの中でもこの質問は授業を評価するうえで最も重要なものと考えられ、その数値が高い水準であったことは、質の高い授業を提供できたと判断できる。

## 令和3年度 組織別授業評価報告書（農学研究科）

令和4年9月 教育質保証専門委員 郡山益実

### ・学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項B～Dにおいて高い評価を得ている科目が挙げられる。一方で、大学院のほぼすべての授業において、これらの項目は高い水準を維持しており、全体として質の高い授業を提供できている状況にある。しかし、どの授業がとりわけ高い評価を得ているのかということ判断するのは困難である。そのため、今後も、すべての授業において高い水準を維持し続けるよう教員一同、努力することが重要であると考え。

### ・授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

アンケートのほぼ全ての項目で高い評価を得ており、理解しやすい教え方・工夫を回答する質問C-4や授業全体の満足度を回答する質問D-1において、前後期通じて90%以上の学生が「満足している」と回答しており、学生にとって質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れているといえる。一方で、シラバスの活用度を回答する質問A-3は前年度より増加したが、以前「全く活用していなかった」、「シラバスを見ていない」学生の割合は2割程度であることから、シラバス活用度の促進は改善を要する点といえる。

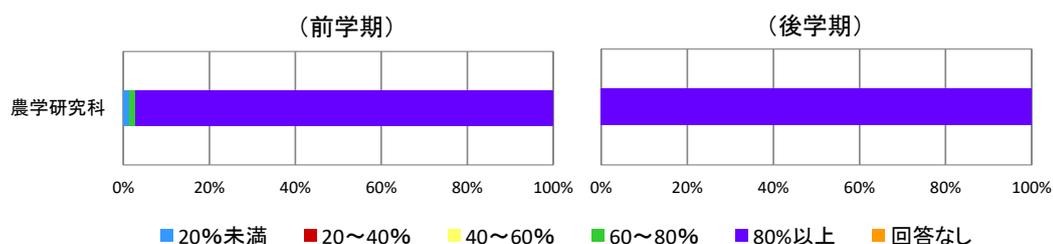
### ・「次年度の授業改善目標」

シラバス内容について講義中に周知し、シラバスの活用度を促進する。また、引き続き特別研究において、ループリック評価の導入・定着を図る。

## ・授業評価のアンケート結果と分析

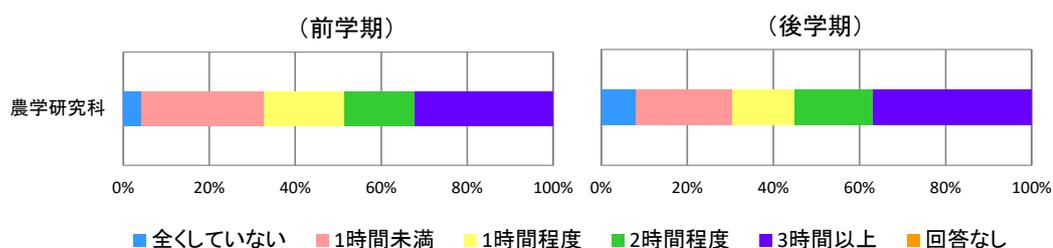
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



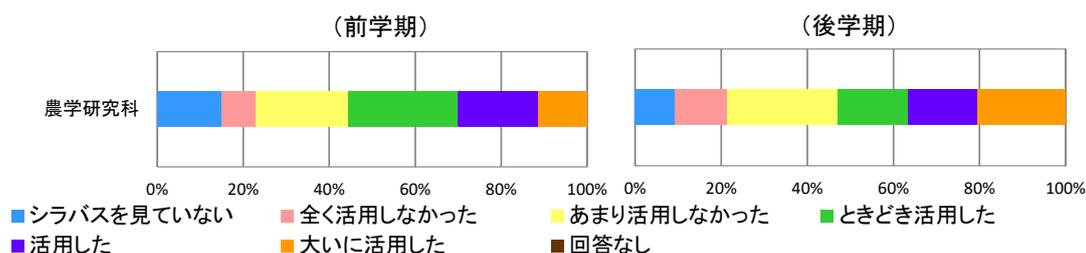
出席率が80%以上の学生が前後期を通じて97%以上であり、昨年同様高い水準であるといえる。令和3年度は、対面授業の割合が63~71%に増えたことと、大学院授業は比較的小人数による授業が大半であることから高い出席率になったと考えられる。

#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前後期通じて1時間以上の時間外学習の学生は約68%であり、昨年よりも減少傾向であった。これは、令和2年度は遠隔授業が多く、例年よりも課題提出の回数や量が多かったが、令和3年度は対面授業が増えてきたため、例年と同程度の時間外学習になったと考えられる。

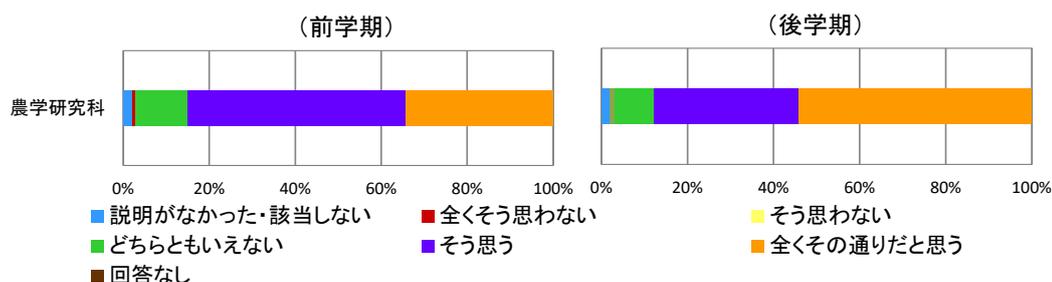
## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」割合は前期 58%程度、後期で 53%程度と、令和 2 年度よりも増加傾向であった。一方、シラバスを見ていない学生の割合は、前後期を通して 1 割程度であり、今後シラバスの意義と活用を学生に周知する必要があると考えられる。

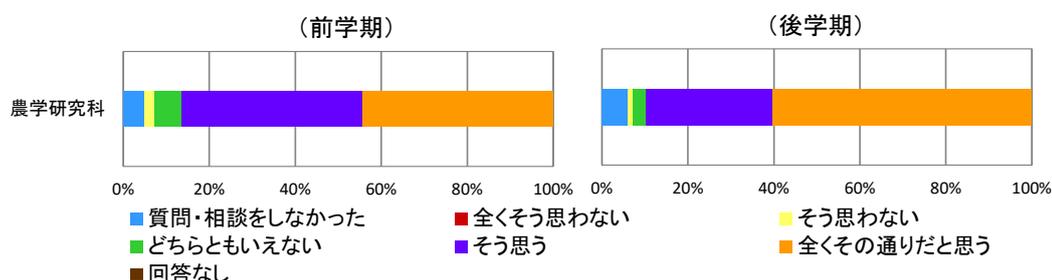
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



が得られていることから、授業内において教員が教育方法や成績評価方法等の説明を丁寧にした結果であると判断される。

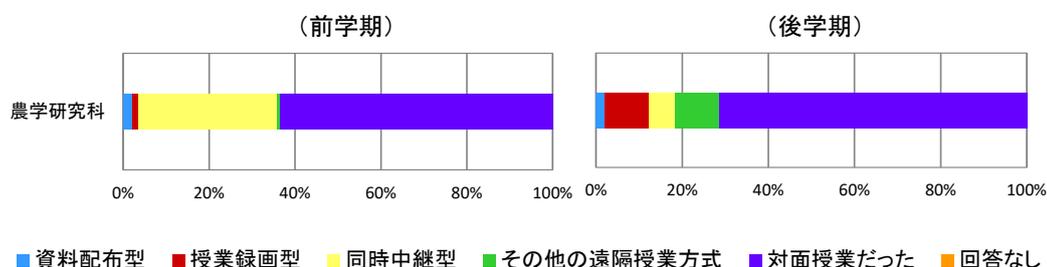
## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」と回答した学生が前期では 8.6%、後期では 4.1%であったため、質問や相談に対して適切に対応がなされたと考えられる。大学院においては、比較的少人数での授業が多いため、教員が個々の質問に対して十分な時間を使って説明していると考えられる。

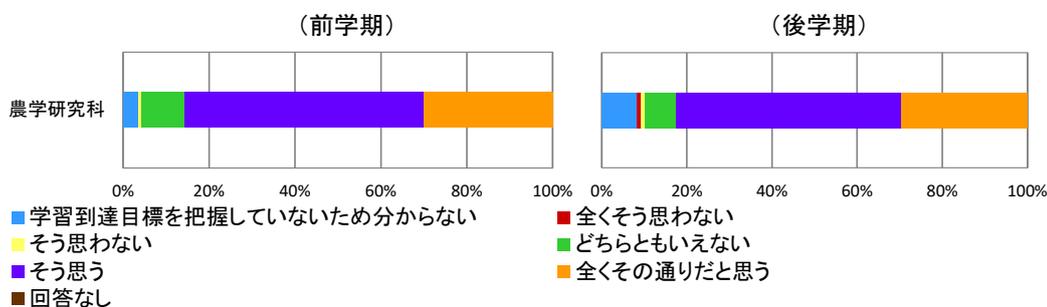
## C. 授業内容および授業方法について

## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



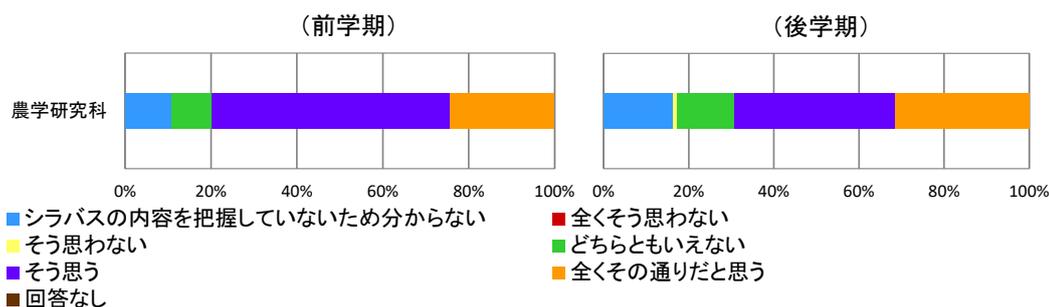
新型コロナウイルス感染症の状況の落ち着きのため、「対面授業」の割合が前期で63.6%、後期で71.4%と昨年度に比べて増加した。今後も with コロナの状況が続くと考えられ、その時の状況に適した授業形態を選択せざるを得ない。そのため、教員は引き続き、対面・遠隔どちらでも教育の質を担保した授業が提供できるように準備に努めることが肝要である。

## C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



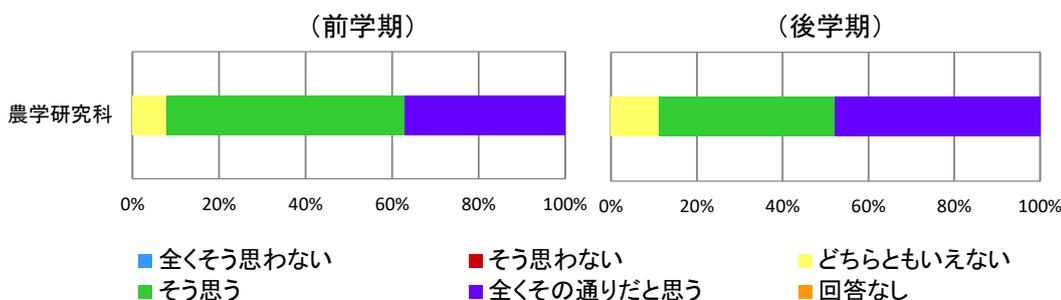
前期、後期ともに約80%以上の学生が学習目標を達成できたと回答した。教員が学生の目標達成のために十分な時間かけて工夫を行ったことによって前年度と同様の高い水準を維持することができたと考えられる。なお、「学習到達目標を把握していないため分からない」の回答が4~8%あり、シラバスの活用等をさらに進める必要があると考えられる。

## G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



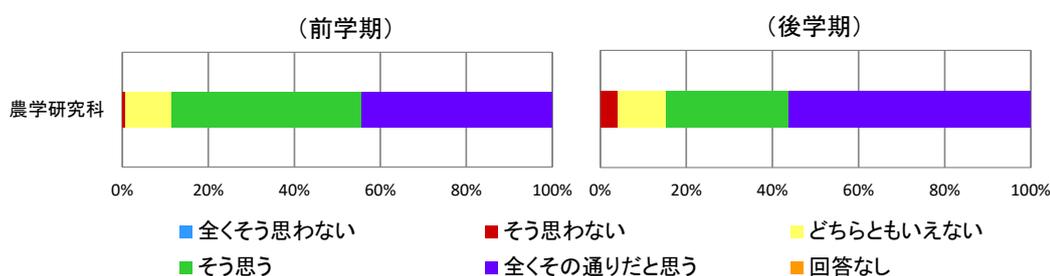
「そう思う」、「全くその通りだと思う」は、前期は80%、後期は70%であり、学生がシラバス通りに授業が進められたと回答した。このことから、授業の内容はシラバスに基づいて適切に実施されたと考えられる。

## G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



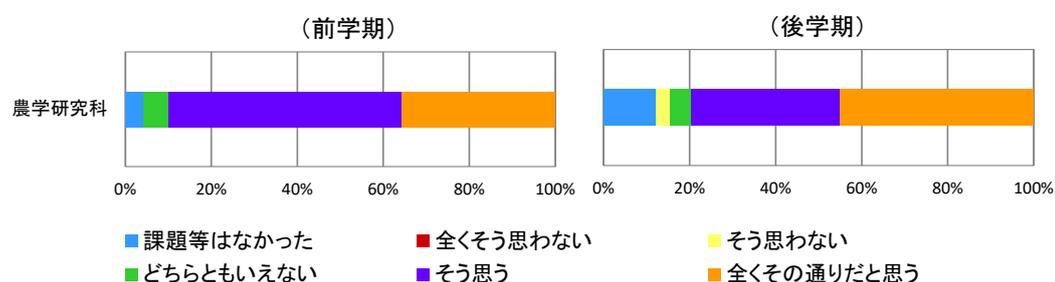
9割に近い学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。大学院は、比較的少人数での授業が多いため、教員が個々のレベルに応じた教え方などの工夫が十分なされた結果と考えられる。

## G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



前後期を通して約8割の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。大学院は、比較的少人数での授業が多く、グループワークやディスカッションなどのアクティブラーニングを促す授業が展開しやすい環境のためと考えられる。

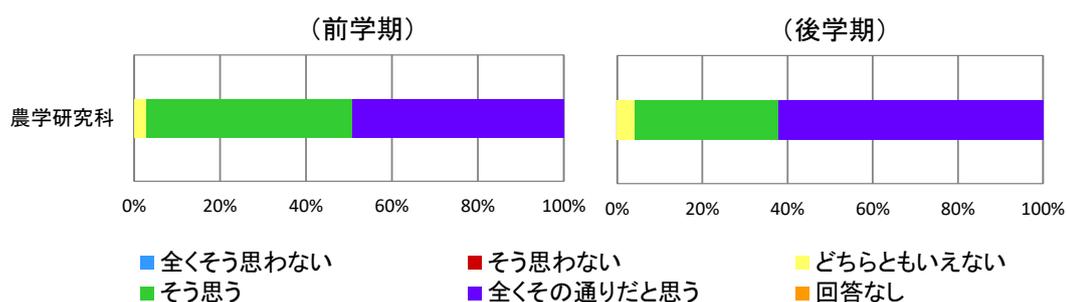
## C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



前後期を通して約7割以上の学生が「そう思う」、「全くその通りだと思う」と回答した。このことから、課題等の提出物に対して適切なフィードバック等が実施されたと考えられる。

## D. 満足度

## D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



約96%以上の学生が授業に満足できたという例年通り高い水準を維持できた。授業はwith コロナの対応に伴い様々な形態で実施されたが、例年と同様に学生が満足できる授業を提供できたと考える。

**令和3年度  
組織別授業点検・評価報告書**

**令和4年9月**

**佐賀大学大学院地域デザイン研究科**

## 令和3年度 地域デザイン研究科組織別授業評価報告書

### 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

地域デザイン研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

### 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

(地域デザイン研究科)

授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第1に、修士論文最終試験である。コロナ感染症防止対策で対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド形式で行ない、主査・副査に限らない多くの教員の参加を実現し、専門外の視点からの口頭試問を行った。

第2に、修士1年第2学期(4月入学生は後期、10月入学生は前期)に行っている研究進捗状況報告会である。入学から短期間であるので研究成果は期待されていないが、早期から研究プレゼンテーションを行うことによる、締め切りに合わせた研究の取りまとめとプレゼンテーションへの習熟を指導できる。また、授業評価アンケートでわかるように少数であるが受け身の学習態度の学生が存在する。こういった学生の学習態度の改善に研究進捗状況報告会が役立っている。

改善すべき点としては、第1に研究指導体制の不満足への対応である。修了予定者アンケートで研究指導体制に不満足という回答があった。大学院教育の大きな問題として改善しなくてはならない。

第2に研究設備への不満足への対応である。同じく、修了予定者アンケートで図書等資料の不満足の回答があった。他大学や研究機関等の各種資料を学生自ら発見し、取り寄せたり閲覧したりする研究手法の指導不足が2つ目の改善すべき点である。

### 次年度の授業改善目標

(地域デザイン研究科)

上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。

第1の研究指導体制の不満足への対応として、2022年8月4日に大学院生ガイダンスを実施した。学位取得までのスケジュールを再確認し、入学時オリエンテーションでは話していない研究の遅れへの対応方法や指導教員との研究方針の不一致の場合の対応、アカデミック・ハラスメントへの対応を説明し、質疑応答を行った。

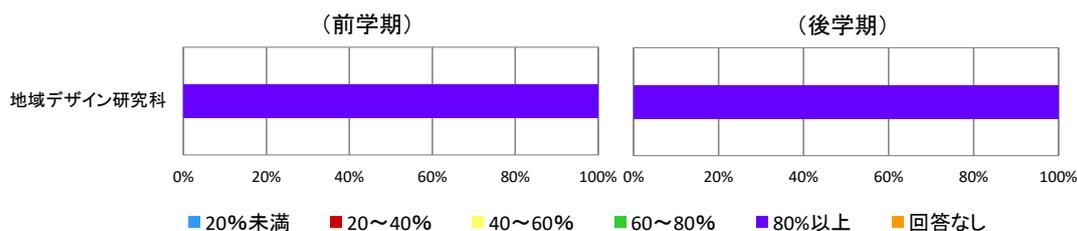
第2の研究設備への不満足への対応としては、研究科教員全員に対して基本的な研究手法の指導の再確認によって改善することを目標とする。

## 地域デザイン研究科組織別授業評価分析結果

以下では令和3年度（以下、今年度）の授業評価アンケートの回答結果について、令和2年度と比較も含め、評価すべき点と改善すべき点を明らかにする。

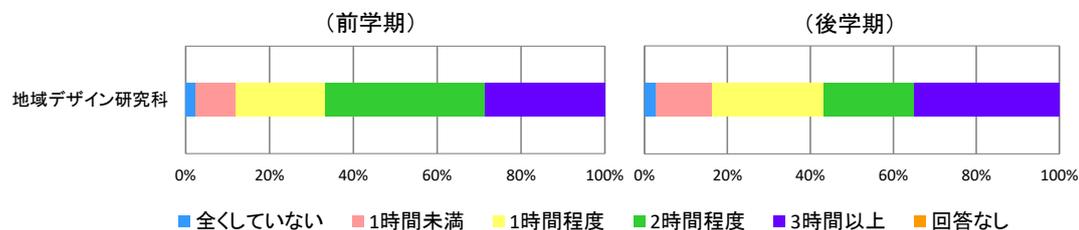
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



良好な出席率であり、研究科の教育が良好であることを示す。

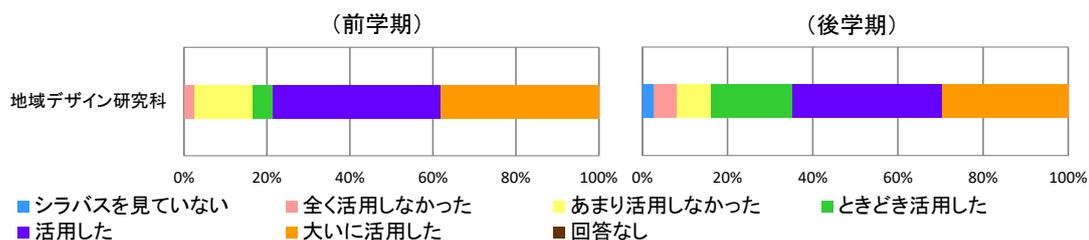
#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



56%~66%の学生が2時間程度以上の時間を授業時間外学習にあてていて、研究科の教育が良好なことを示す。

授業時間外学習を全くしていないという回答が2パーセントある。研究科の教育として少数であるが受け身の受講態度の学生が存在するのは改善を要する。また、本研究科は芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。修士論文執筆とともに、芸術デザインコースの学生は卒業制作の作成、地域マネジメントコースの学生はフィールド調査・アンケート調査なども授業時間外学習の時間となる。大きく特徴の異なる研究方法の学生の混在が上記のような結果となったと考えられる。

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

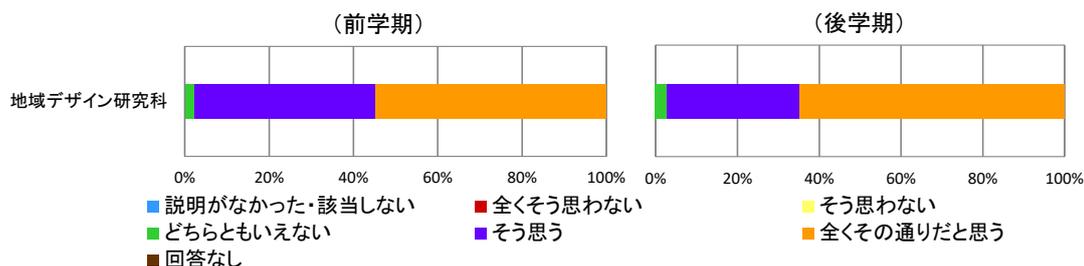


80%以上の学生がシラバスを活用したと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

シラバスを見ていない、全く活用しなかったという回答が数パーセントある。シラバスは科目選択の重要な情報源であり、履修中の学習内容の位置づけの重要な情報源であるので、シラバスを活用しない学生が存在するのは改善を要する。

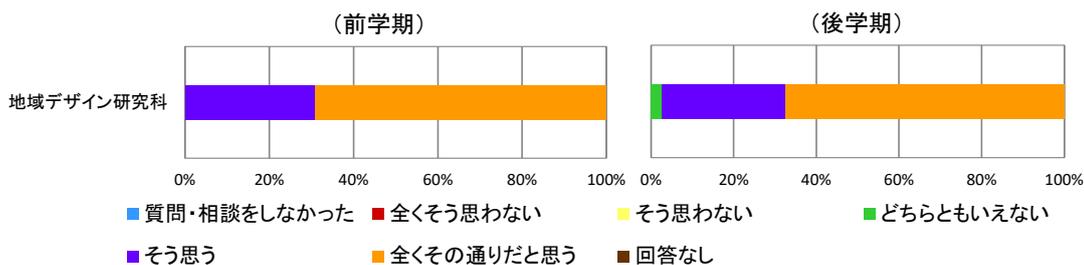
## B. 教員の対応

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



ほとんどの学生が教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であると回答しており、教育を通じた教員と学生とのコミュニケーションが良好なことを示す。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

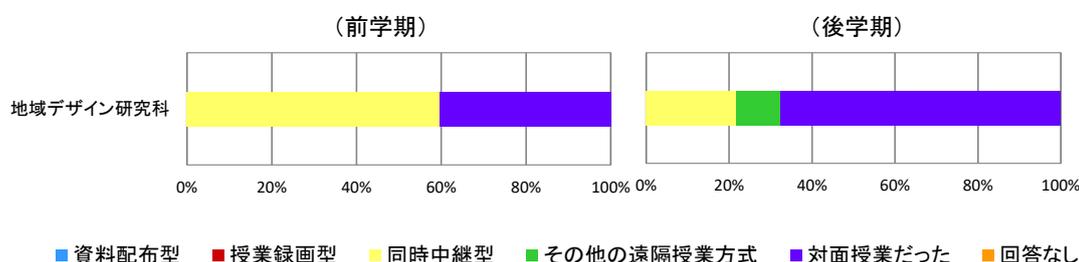


ほとんどの学生が質問や相談に適切に対応したと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

後期に、「どちらともいえない」という回答が数パーセントある。「そう思わない」ではないため質問や相談に応じなかったというわけではないと考えられるが、期待した回答を得られなかったと推定され改善を要する。

## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



今年度は全期間にわたって活動制限が課せられた（表 1）。特に、前学期は開講の週の活動制限がレベル5だったので60%の科目が遠隔授業となった。また、後学期も講義の最後の3週間、修士論文最終試験（口頭試問）や修士論文発表会（公聴会）の時期に活動制限がレベル4であり、感染防止対策に配慮した授業形態となった。

昨年度（令和2年度）前学期には35%、後学期でも13%が資料配布型や授業録画型の講義であった。これら非同期型の授業形態は学生の理解度の把握が間接的であったり、学生からの質問や意見が減ったりして、学生とのコミュニケーションが希薄となるなど教育効果がおとることがわかっている。

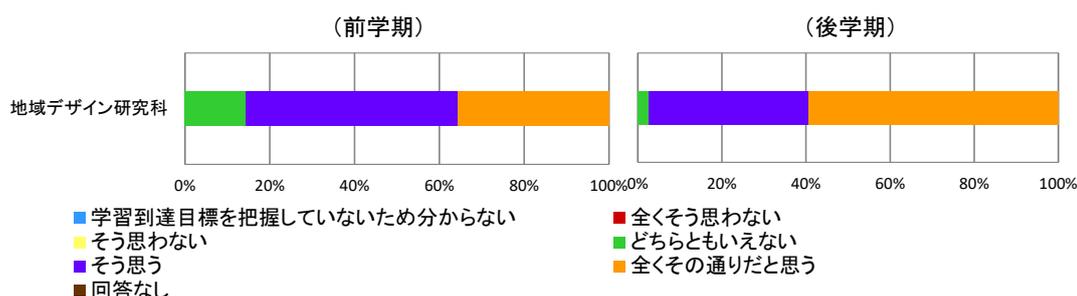
今年度は資料配布型や授業録画型の講義の実施がひとつもなく、すべての講義が同期型対話型の講義を実現した。これは研究科の教員が昨年度以降にITスキルや重症化リスクなどの阻害要因を解決した活動の結果であり、教員全員が良好な教育効果の実現に真摯に取り組んだことの証拠である。

表 1 令和3年度の活動制限

前年度3月1日	レベル5	遠隔授業のみを実施
4月23日	レベル1	対面授業の実施、遠隔授業の活用
4月27日	レベル3	対面と遠隔の併用
7月12日	レベル1	対面授業の実施、遠隔授業の活用
8月2日	レベル3	対面と遠隔の併用
10月1日	レベル1	対面授業の実施、遠隔授業の活用

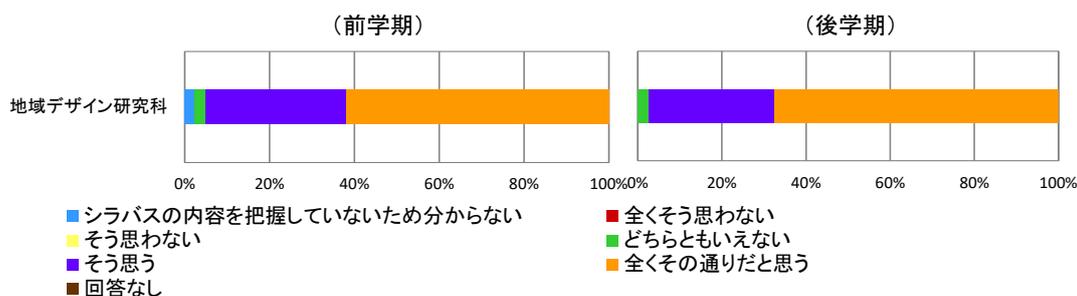
1月14日	レベル2	対面と遠隔の併用
1月19日	レベル4	対面と遠隔の併用
3月8日	レベル3	対面と遠隔の併用
3月23日	レベル2	対面と遠隔の併用

## G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



前学期で 85%、後学期で 97% の学生が学習到達目標を達成できたと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

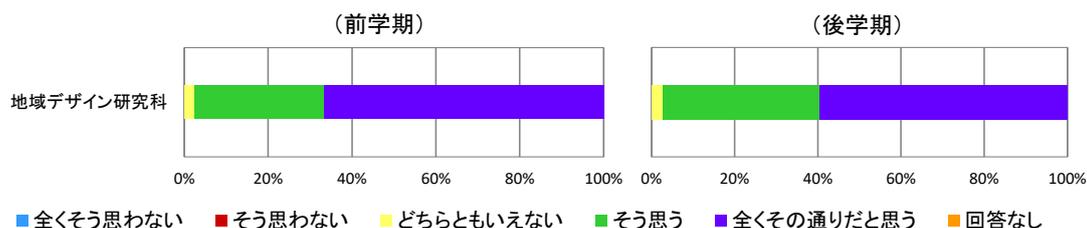
## G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



前学期で 95%、後学期で 97% の学生がシラバスに基づいた授業だったと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

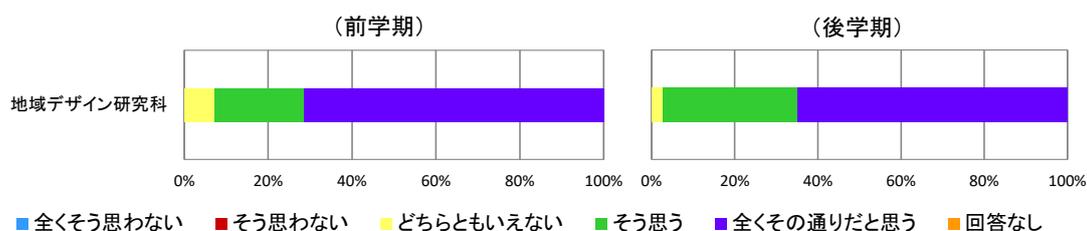
前学期に、シラバス内容を把握していないとの回答が 2% ほどある。A-3 (この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか) での回答のように、シラバスを見ていない、全く活用しなかったという回答が数パーセントある。シラバスは科目選択の重要な情報源であり、履修中の学習内容の位置づけの重要な情報源であるので、シラバスを活用しない学生が存在するのは改善を要する。

## C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



ほとんどの学生が、教え方や教材が工夫され授業の理解の役立つと回答しているため、研究科の教育が良好なことを示す。

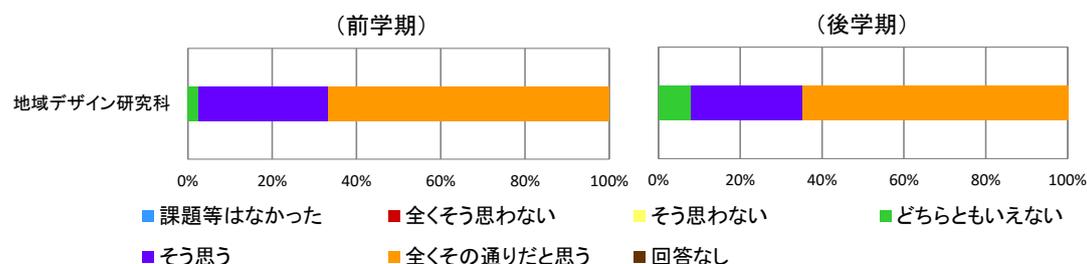
## C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



ほとんどの学生が、主体的に学べるような活動があったと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

特に、令和3年度は新型コロナウイルス感染症防止対策で遠隔授業が前学期で60%、後学期で32%でコミュニケーション手段の制約のある状況での上記の回答結果は研究科の教育がとても良好なことを示している。

## C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



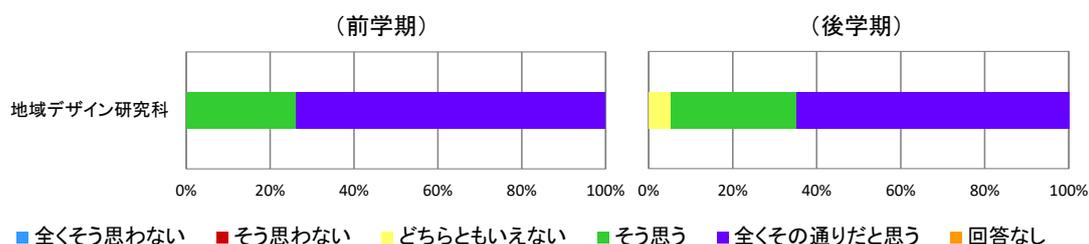
ほとんどの学生が、主体的に学べるような活動があったと回答しており、研究科の教育が

良好なことを示す。

特に、令和3年度は新型コロナウイルス感染症防止対策で遠隔授業が前学期で60%、後学期で32%でコミュニケーション手段の制約のある状況での上記の回答結果は研究科の教育がとても良好なことを示している。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



ほとんどの学生が、全体として満足できると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前学期の「全くその通りだと思う」と答えた割合を令和2年度と比べると15ポイント増と大きく増加している。新型コロナウイルス感染症防止対策のなかった令和元年度の「全くその通りだと思う」と答えた割合は70%だったので平常時に戻ったと考えられる。したがって、昨年度の満足度減少の原因は、研究科の教育に改善すべき点が生じたというよりも、学生の入学前の予定と異なるための不満足と考えられ、緊急に改善を要する現象ではないことがわかった。なお、後学期の「全くその通りだと思う」は、令和元年度、令和2年度、今年度と大きな変化はない。

また、令和2年度には前学期と後学期とともに「そう思わない」の回答があったが、今年度はなくなった。令和2年度の授業評価分析の結果を研究科教員内で共有することが、教員個人の振り返りをうながし、教育効果が改善されたものと考えられる。

# 令和3年度 組織別授業点検・評価報告書

先進健康科学研究科

## はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果すことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

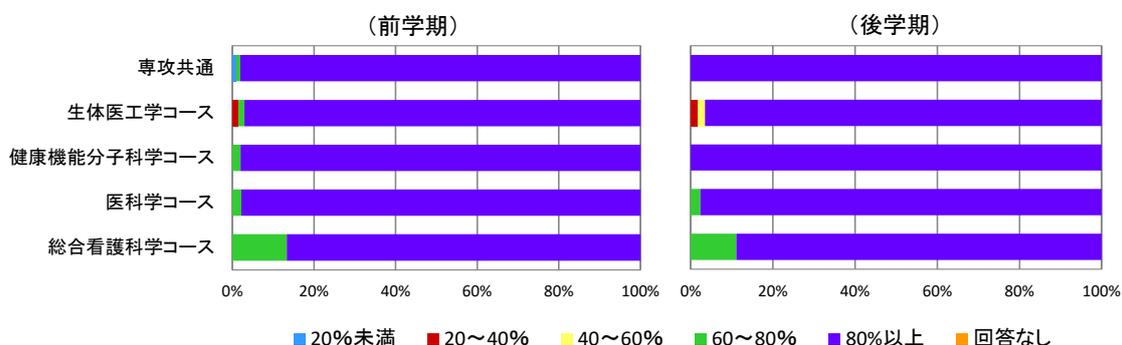
先進健康科学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、令和3年度先進健康科学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、先進健康科学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

令和4年9月  
大学院先進健康科学研究科

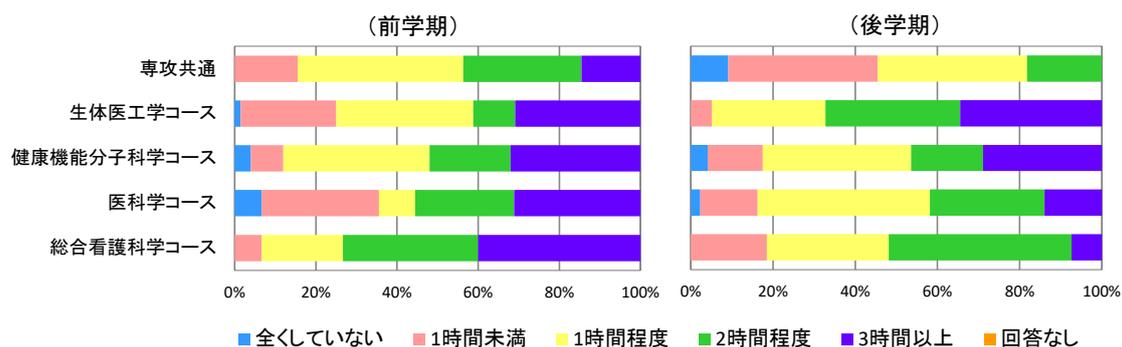
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



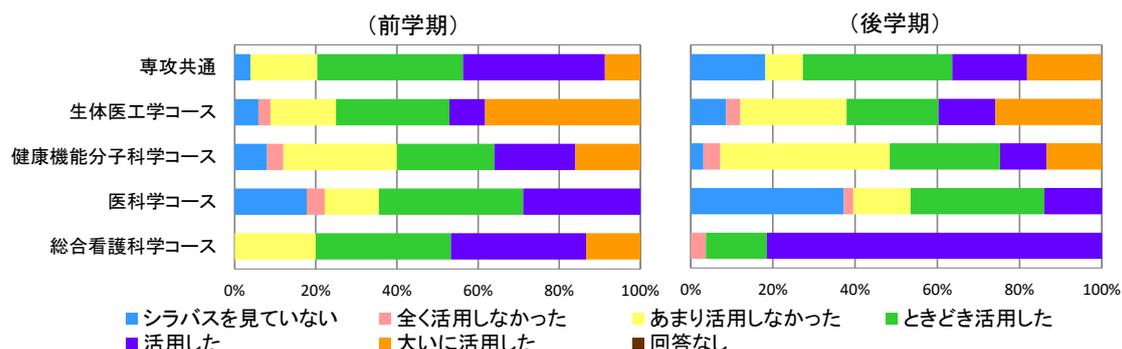
全体として概ね高い出席率であった。総合看護科学コースは少し出席率の低い学生が見られたが、社会人学生が多いためだと考えられ問題はないと考えられる。

#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



全体として概ねしっかりした授業時間外学習の時間をとっていると考えられる。僅かではあるが全く授業時間外学習をしていない学生が見られたことから、学生に時間外学習を促す周知をすることも考えられる。

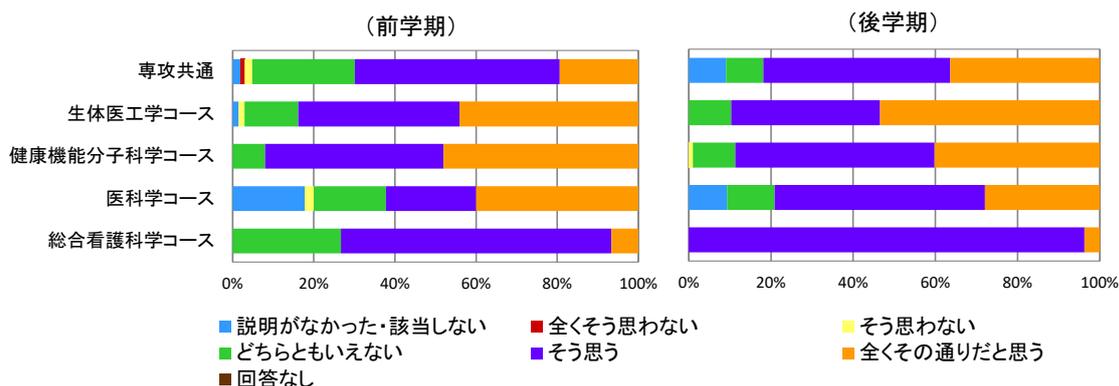
#### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



全体として概ねシラバスを活用していると考えられる。シラバスを見ていないもしくは全く活用しなかった学生も見られたことから、シラバスを活用するように周知することも考えられる。

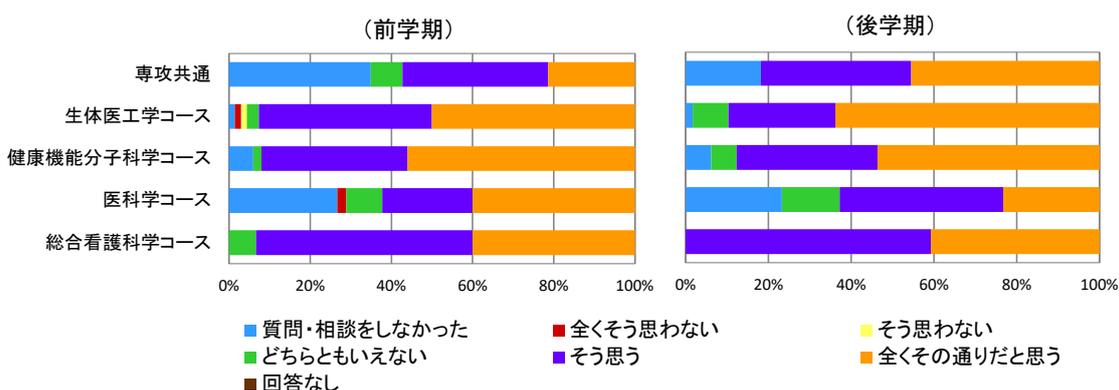
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



全体として概ね有益であるとの回答が得られている。説明がなかった・該当しないと回答した学生も見られ、これは A-3 のシラバスの活用にも関連しているため、シラバスを活用するように周知することも考えられる。

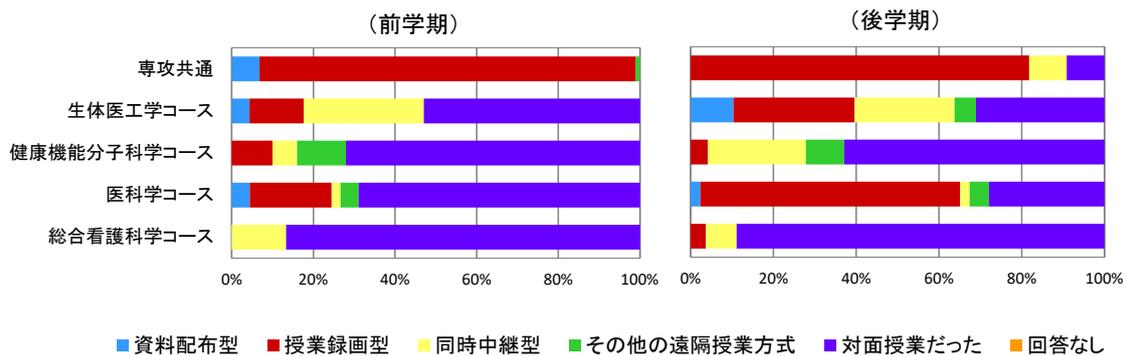
### B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



全体として概ね適切に対応してくれたとの回答が得られている。一部のコースで質問や相談をしなかった学生が見られ、オフィスアワーの活用などを周知することも考えられる。

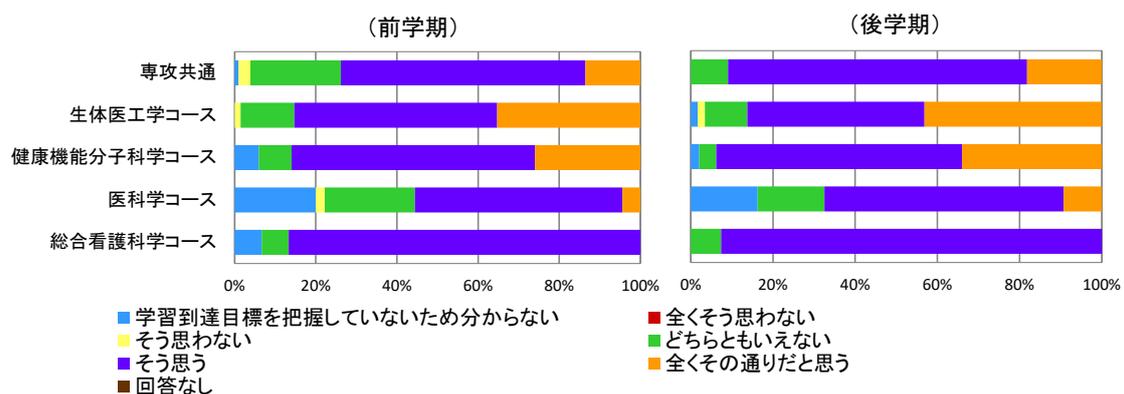
## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか



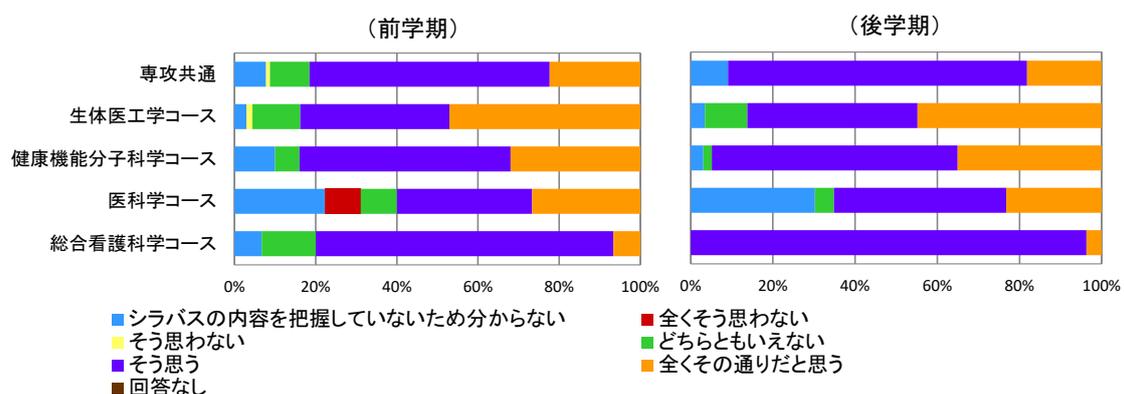
新型コロナウイルス蔓延防止、また、キャンパスが異なるため、資料配布型や授業録画型、同時中継型の遠隔方式の授業も多いことがわかる。

### G-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか



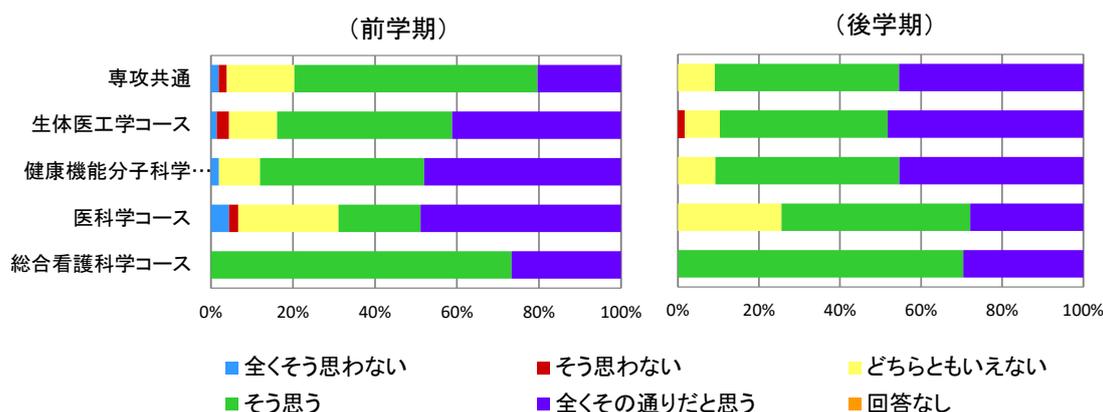
全体として概ね達成できたとの回答が得られている。学習到達目標を把握していないためわからないと回答した学生も見られ、これはA-3のシラバスの活用にも関連しているため、シラバスを活用するように周知することも考えられる。

### G-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



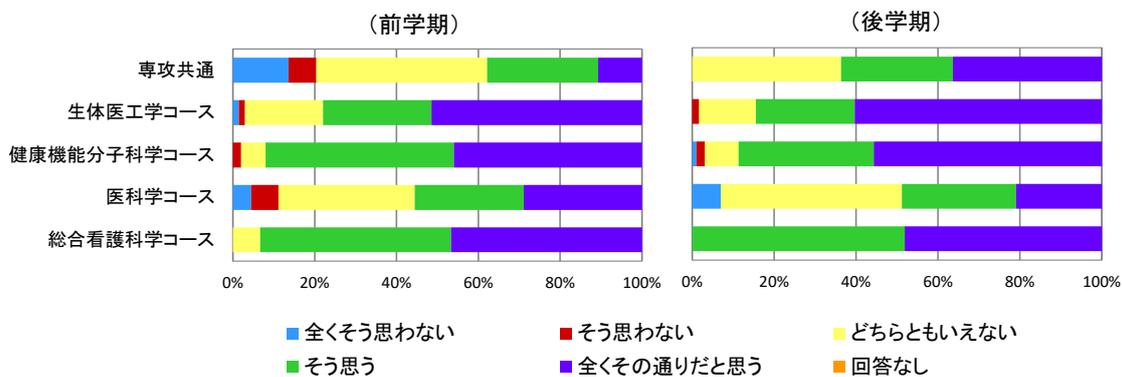
全体として概ねシラバスに基づいているとの回答が得られている。シラバスの内容を把握していないためわからないと回答した学生も見られ、これは A-3 のシラバスの活用にも関連しているため、シラバスを活用するように周知することも考えられる。

#### G-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか



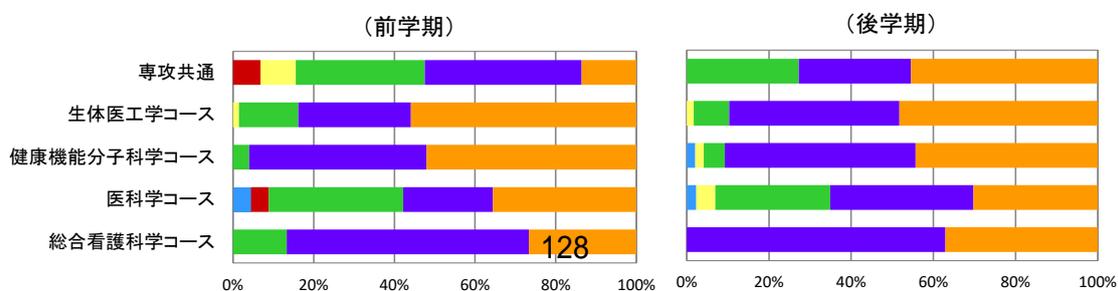
全体として概ね工夫がされているとの回答が得られており、問題ないと考えられる。

#### G-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか



全体として概ね学生が主体的に学ぶための活動が行われているとの回答が得られており、問題ないと考えられる。

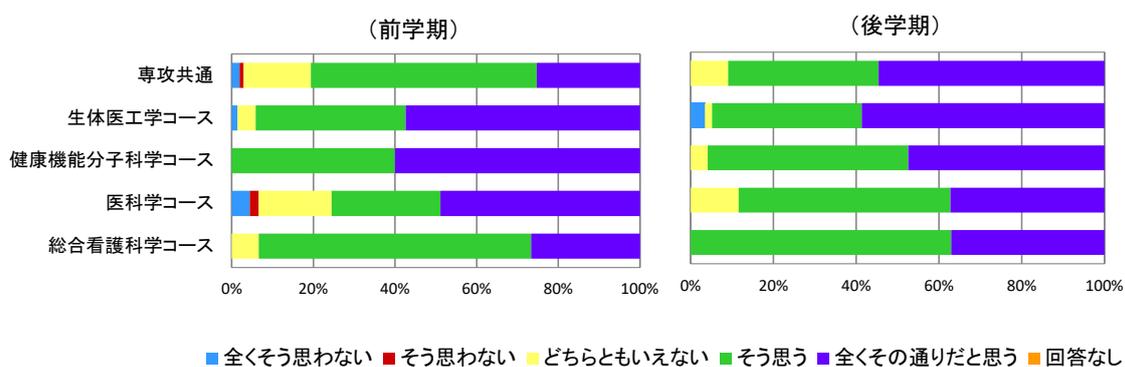
#### G-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか



全体として概ね適切なフィードバックや解説があったとの回答が得られており、問題ないと考えられる。

#### D. 満足度

##### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



全体として概ね満足できるとの回答が得られており、問題ないと考えられる。

## 総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難と考えられる。先進健康科学研究科では、コースにより授業内容、授業方法が大幅に異なるため、統一的な比較は適切ではないと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

授業の満足度が高く、概ね良好に授業が実施されていると考えられる。

一方、シラバスを見ておらず学習到達目標や成績評価の方法を把握していない学生、質問や相談をしなかった学生もいるため、改善を要すると思われる。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。すなわち、シラバスの周知徹底やオフィスアワーなどの活用を図る。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。

**令和3年度  
組織別授業点検・評価報告書**

**令和4年9月**

**佐賀大学 全学教育機構**

## 1. 全学教育機構の状況

全学教育機構が開講する授業科目の授業評価と分析は、学期毎に行われた学生の授業アンケートを集計し下記の表に記載された分類に基づいて実施した。また、科目群毎の授業アンケートの回答数及び回答総数並びに延べ履修者数と回答率は以下のとおりである。

	科目群	回答数	
		前学期	後学期
共通基礎科目	・外国語科目	2238	1878
	・健康・スポーツ科目 (現：共通教職科目 体育実技)	192	167
	・情報リテラシー科目	1606	2
基本教養科目	・自然科学と技術の分野	1093	948
	・文化の分野	1336	1003
	・現代社会の分野	1575	1636
インターフェース科目	・環境コース	264	244
	・文化と共生コース	146	105
	・生活と科学コース	339	298
	・医療・福祉と社会コース	287	262
	・地域・佐賀学コース	246	229
	・サブスペシャリティコース	282	257
	・人間と社会コース	230	204
大学院教養科目	・大学院教養科目	259	155
回答総数		10093	7388
全科目の延べ履修者数		13973	11385
授業アンケート回答率		72.2%	64.9%

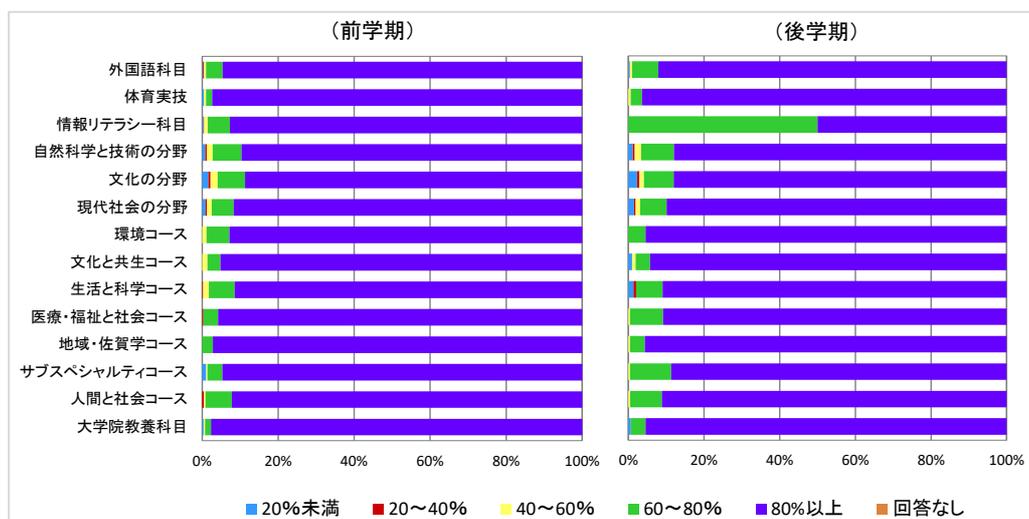
学生の授業アンケートの分析の結果、D-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の回答において全ての科目群で7割以上の回答が「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」であった。さらに、C-2「この授業の学習到達目標を達成できましたか」の回答において後学期の「情報リテラシー科目」以外の科目群で（後学期の「情報リテラシー科目」の授業アンケートの回答数が2であり1つの回答の影響が大きく反映された結果と考えられるため、この結果のみから授業科目に問題があると判断することは適切ではないと考えられる。）概ね7割の回答が「全くその通りだと思う」もしくは「そう思う」であった。これらの結果から全学教育機構の授業科目全体として学習目標が達成できる満足度の高い授業が展開されたものと判断する。

## 2. 授業アンケート結果と分析

### A. あなた自身について

#### A-1. 出席率はどのくらいですか

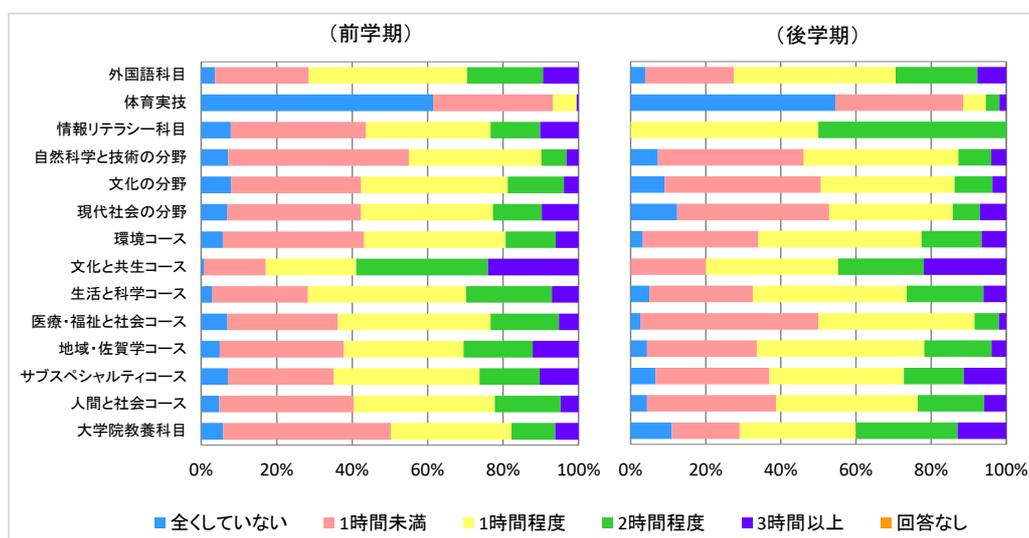
後学期の「情報リテラシー科目」以外の科目群において A-1 (出席率) の回答が「80%以上」の割合が8割以上を占めた。学生の出席率には問題がないと判断できる。また、後学期の「情報リテラシー科目」では、他科目群と比較して「60-80%」の回答が半数を占めているが「1. 全学教育機構の状況」



の表中に示すようにこの科目群の授業アンケートの回答数が2であり1つの回答の影響が大きく反映された結果と考えられる。これらの結果から出席に関して授業科目の内容等の問題があるとは判断できない。

#### A-2. 授業時間外学習 (予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など) は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

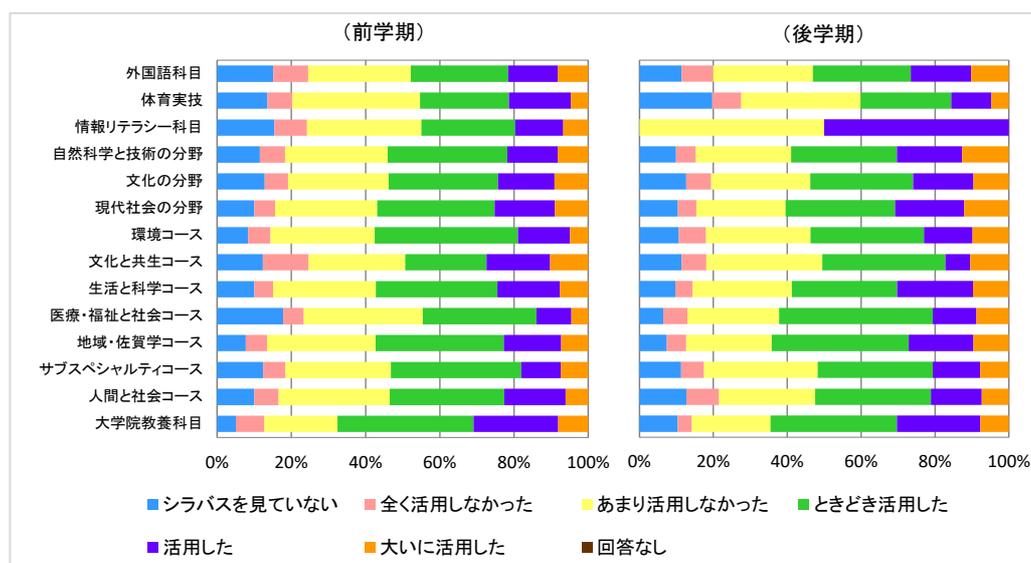
講義・演習科目であれば2単位 90 時間の学習時間のうち時間外学習は 60 時間必要と考えられる。また、実験、実習及び実技であれば1単位 45 時間の学習時間のうち時間外学習は 15 時間必要と考えられる。全学教育機構の開講する授業科目のうち外国語科目と体育実技を除く科目群は講



義・演習が中心であり「3時間以上」の回答が多くを占める必要がある。また、実験、実習及び実技では「1時間程度」の回答が多くを占める必要がある。これらを基に判断すると前・後学期の外国語科目以外の科目群に分類される授業科目には時間外学習を促すための授業内容の改善が求められる。

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

活用の度合いは異なるものの全体的に8割程度の方がシラバスを授業の選択や予習・復習に活用した経験があると判断できる。一方でシラバスを見ていない、全く活用しなかったと答えた学生も1割から2割程度存在した。これらの結果は、科目やコースの選択の自由がある基本教養科目やインターフェース科目でさえもシラバス

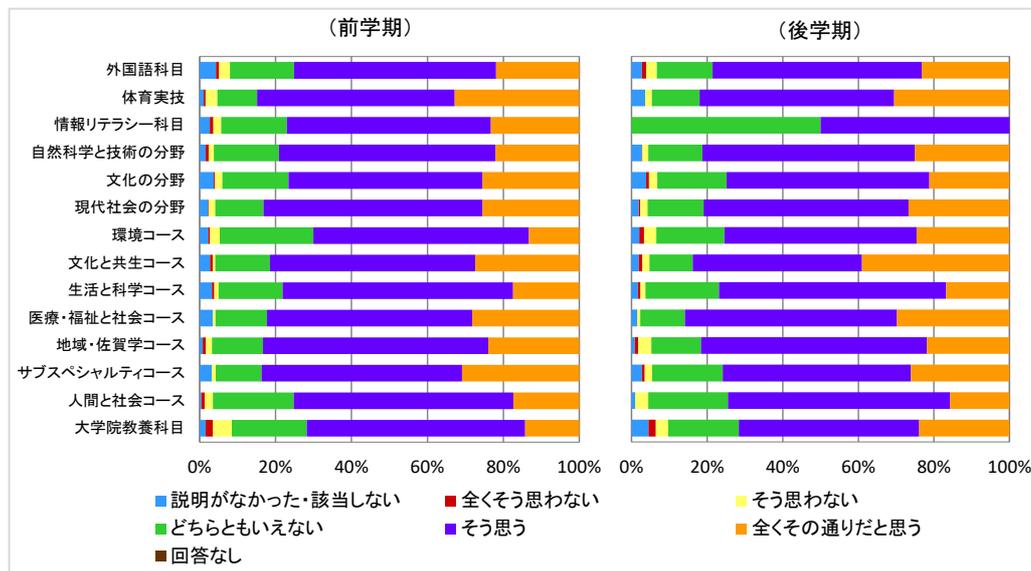


以外の情報を基に選択している学生が一定数は存在することを示している。

## B. 教員の対応

## B-1. 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

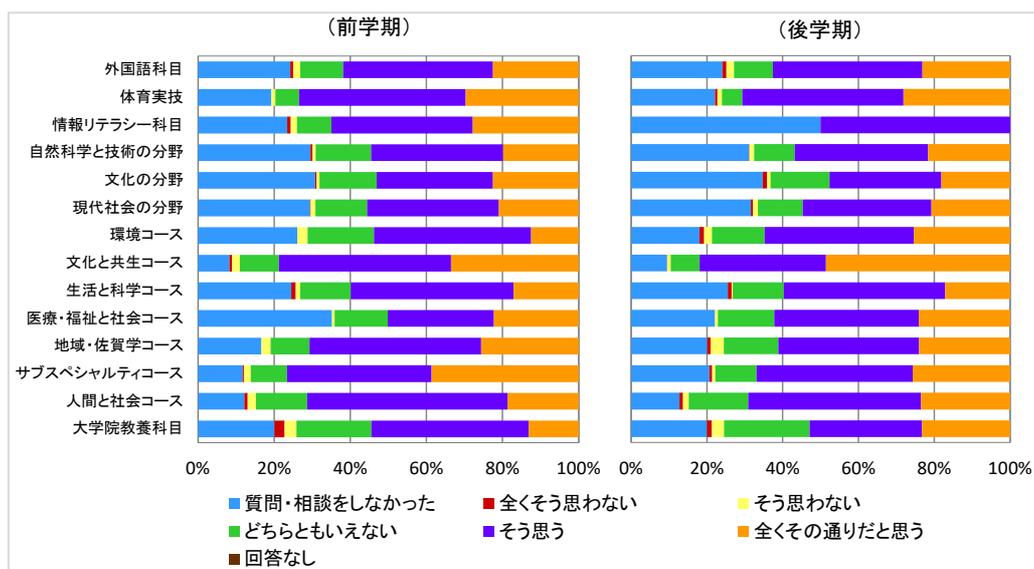
後学期の「情報リテラシー科目」以外の科目群において教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であると認識している学生が7割以上を占めた。一方で後学期の「情報リテラシー科目」は全体傾向と異なる結果を示した。「1. 全学教育機構の状況」の表中に示すようにこの科目群の授業アンケートの回答数



が2であり1つの回答の影響が大きく反映された結果と考えられる。これらの結果から多くの科目において学生にとって有益な説明が行われているものと判断できる。ただし、かなり少数ではあるものの有益ではないと認識する学生もいることは考慮すべきである。

## B-2. 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

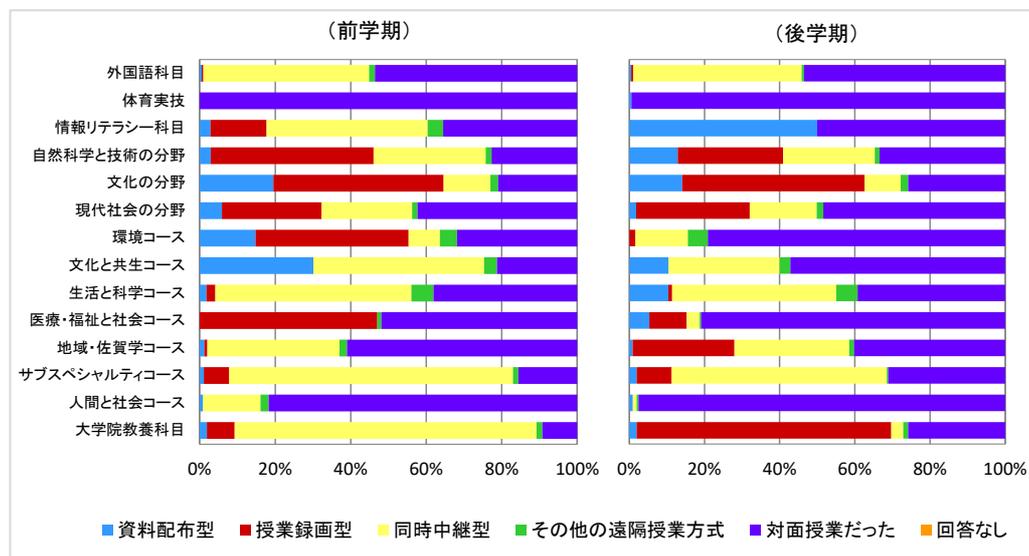
相談や質問をしなかったと答えた学生を除くと学生の質問や相談に適切には対応してくれなかったと回答した学生はかなり少数であり、全体としては適切に対応していると判断できる。ただし、少数ではあるが適切に対応してくれなかったと回答した学生がいることも考慮すべきである。



## C. 授業内容および授業方法について

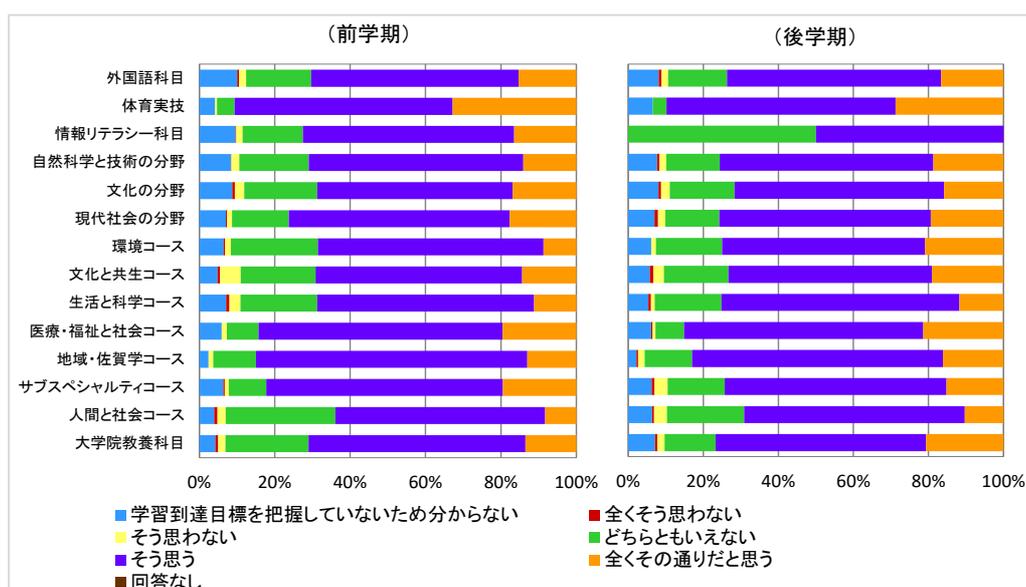
### C-1. この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

コロナウイルスの感染拡大を受けて遠隔授業が大半を占めた昨年度に比べ対面授業が大幅に増加した。2021年度までは多様な形での単位認定が認められているため各科目群の結果も大きく変動したものと考えられる。



## C-2. この授業の学習到達目標を達成できましたか

後学期の「情報リテラシー科目」以外の科目群において学習目標を達成したとの回答がおおむね7割以上を占め、学習目標が示された上で学習目標を達成できる授業内容であったことが伺える。一方で、後学期の「情報リテラシー科目」は全体傾向と異なる結果を示した。「1. 全学教育機構の状況」の表中に示すようにこの科目群の授業アンケート

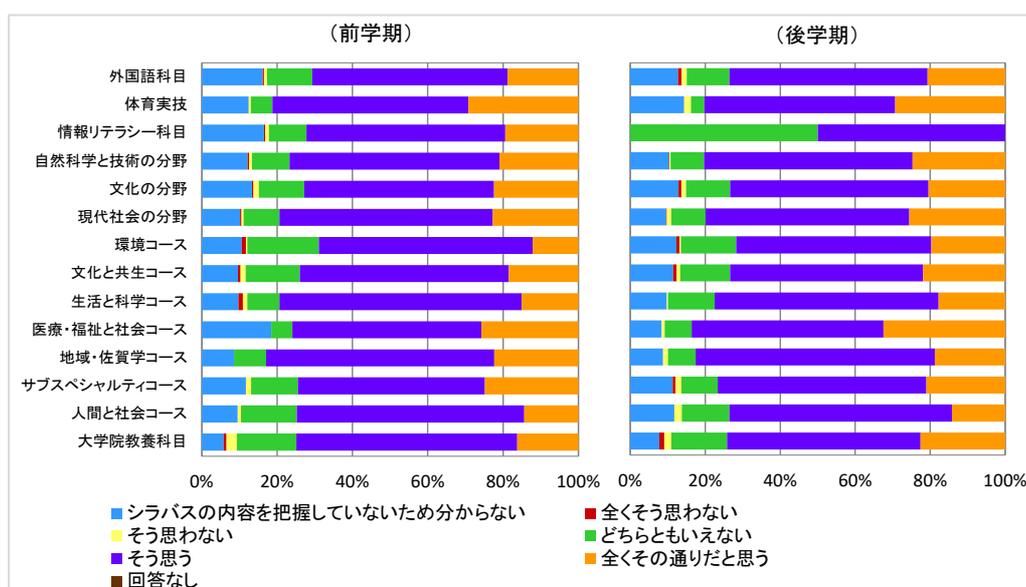


の回答数が2であり1つの回答の影響が大きく反映された結果と考えられる。この結果のみから授業科目に問題があると判断することはできない。

また、学習目標を把握していないという回答も一定数ある。何が目標で授業を受けているのか理解しないまま授業を履修する学生も全ての科目群に存在することは考慮すべきである。

## C-3. 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

後学期の「情報リテラシー科目」以外の科目群においてシラバスに基づいて実施されたとの回答がおおむね7割以上を占め、シラバスに基づいた授業内容であったことが伺える。一方で、後学期の「情報リテラシー科目」は全体傾向と異なる結果を示した。「1. 全学教育機構の状況」の表中に示すようにこの科目群の授業アンケート

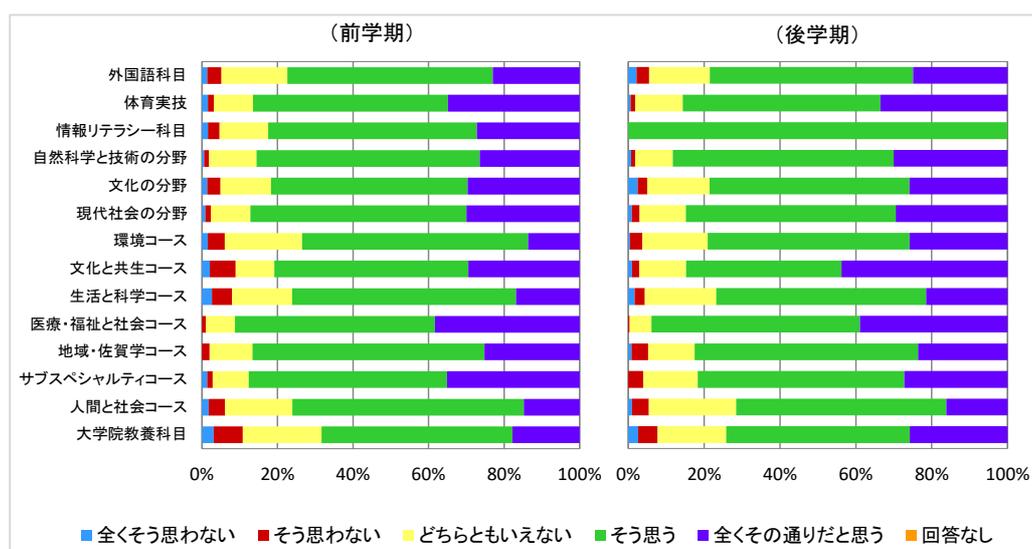


の回答の影響が大きく反映された結果と考えられる。この結果のみから授業科目に問題があると判断することはできない。

## C-4. 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

全ての科目群の回答が理解しやすいような工夫を実感したとの回答が概ね7割を占めた。多くの授業科目において、理解を促進する工夫がなされていたと判断できる。

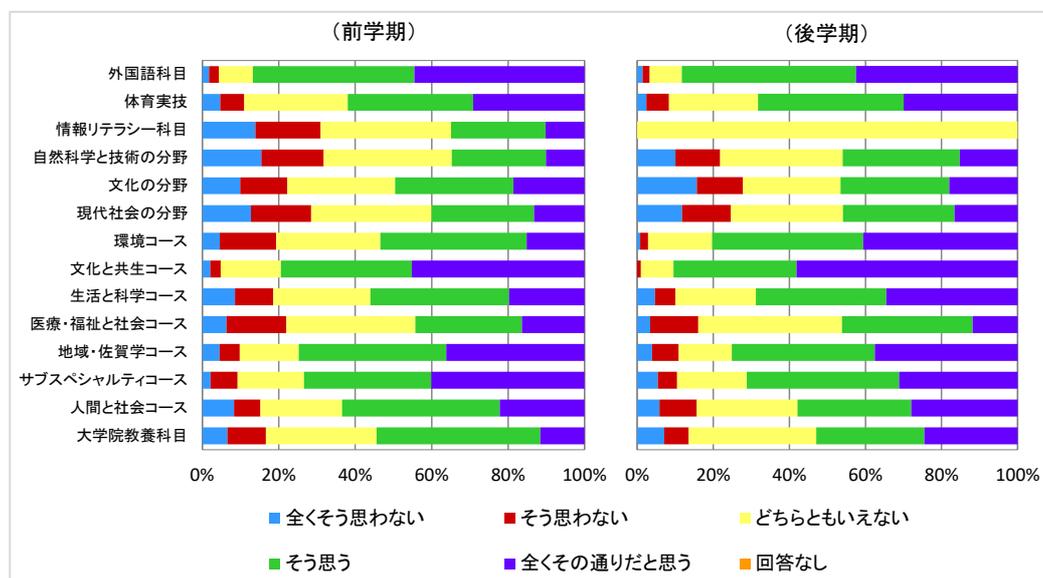
一方で工夫がないと回答する学生も少なからず存在することは考慮すべき点である。



## C-5. この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

佐賀大学では全ての授業科目でアクティブラーニングを導入することとなっているが、他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」などの活動を全ての授業科目に求めてはいないため、少なからず全くそう思わない、そう思わないという回答が一定数あることは問題ない。

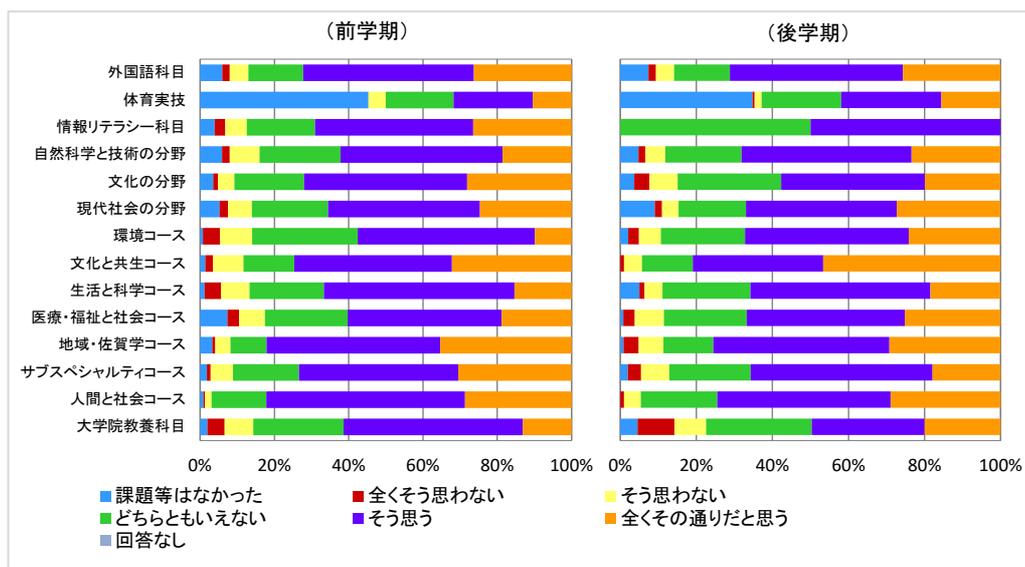
また、遠隔授業の中で他者と一緒に「書く」、「話



す」、「発表する」などの活動を取り込むことは機器の操作などの難点があるが、前学期の文化と共生コースは遠隔授業と回答した学生が8割近くいたものの、「書く」、「話す」、「発表する」などの活動も他科目群と比較しても高値であり、遠隔授業の中でも他者との「書く」、「話す」、「発表する」などの活動を行う工夫が授業内で実施されたものと推測できる。

### C-6. 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

今年度から導入された項目である。全体的に適切なフィードバックや解説がないとの回答は1割程度存在した。1割程度という値が問題となるかならないかについては判断の基準等が明確ではないため、どのように判断するのかは検討する必要があるものの、フィードバックや解説が適切ではないと認識することは授業に対する満足度の低下にもつながる

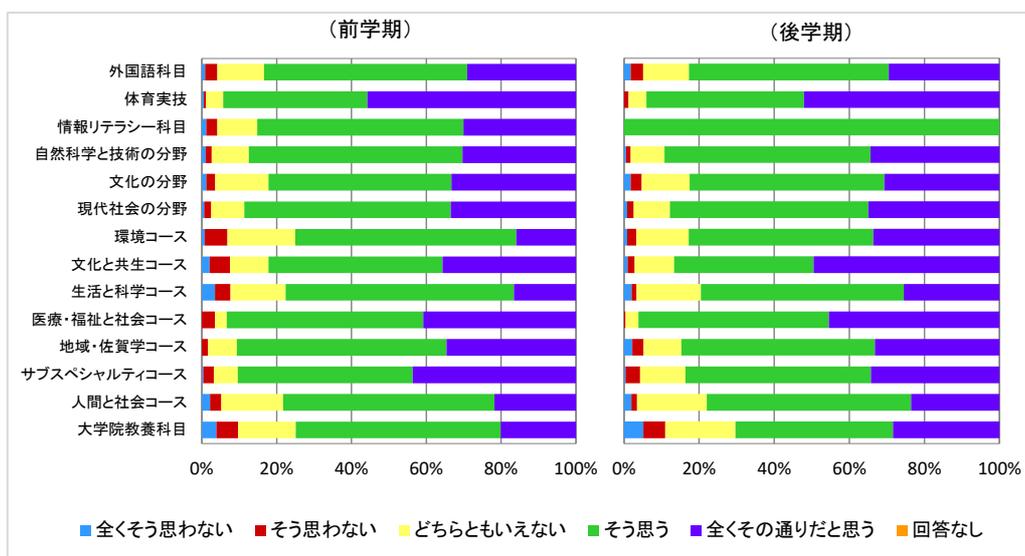


可能性があるため今後も調査を続ける必要がある。これらの回答の中で突出しているのは実技科目である体育実技の課題等の提出物がなかったと答える割合が他科目群と比較して高値であることである。実技科目であるため課題等の提出物がないとの回答が増えることは問題ないと判断する。

### D. 満足度

#### D-1. この授業は全体として満足できるものでしたか

全体的に概ね8割の回答が授業に対して満足と評価し、満足できる授業内容であったことが推測できる。一方で、満足できるものではなかったとの回答も一定数存在することは常に考慮し、この値を低下させるための授業改善は常に行うべきである。



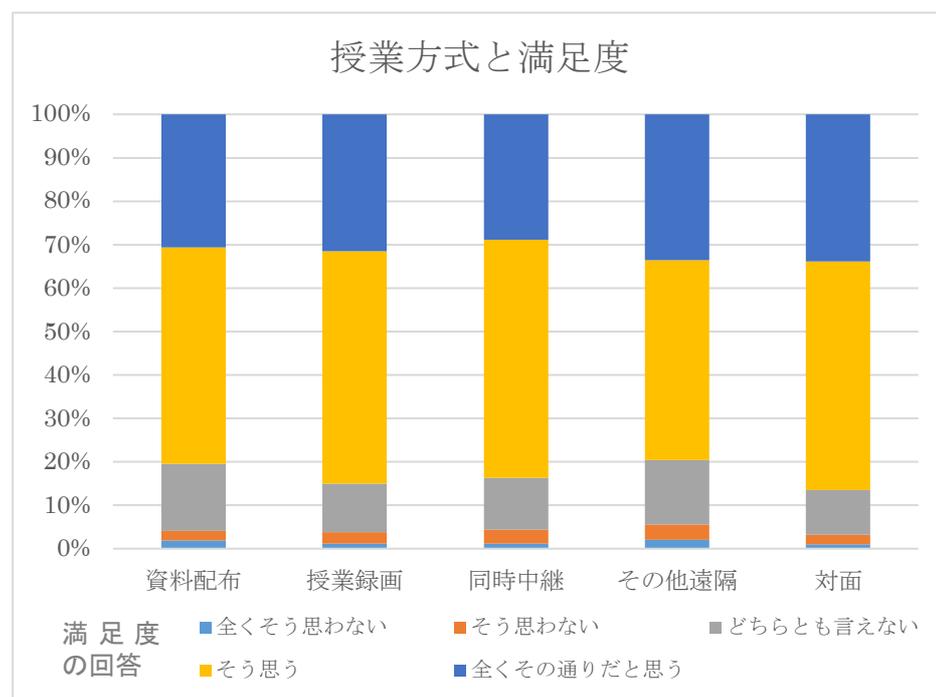
### 3. 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

全学教育機構では、この項目に対する科目の選考は行っていない。

### 4. 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

#### ・優れた点

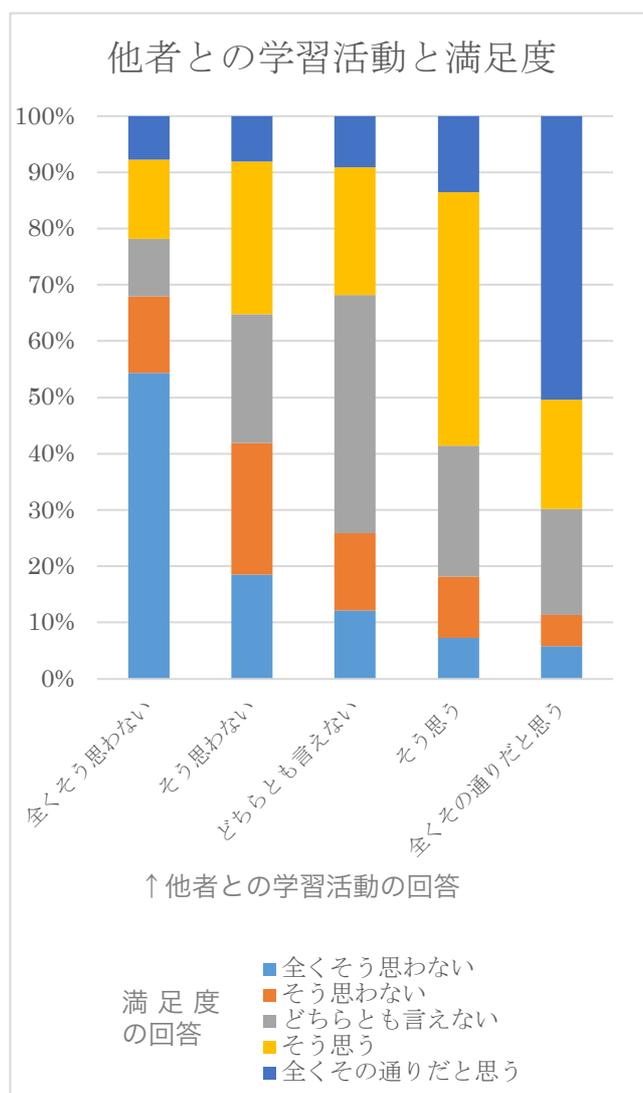
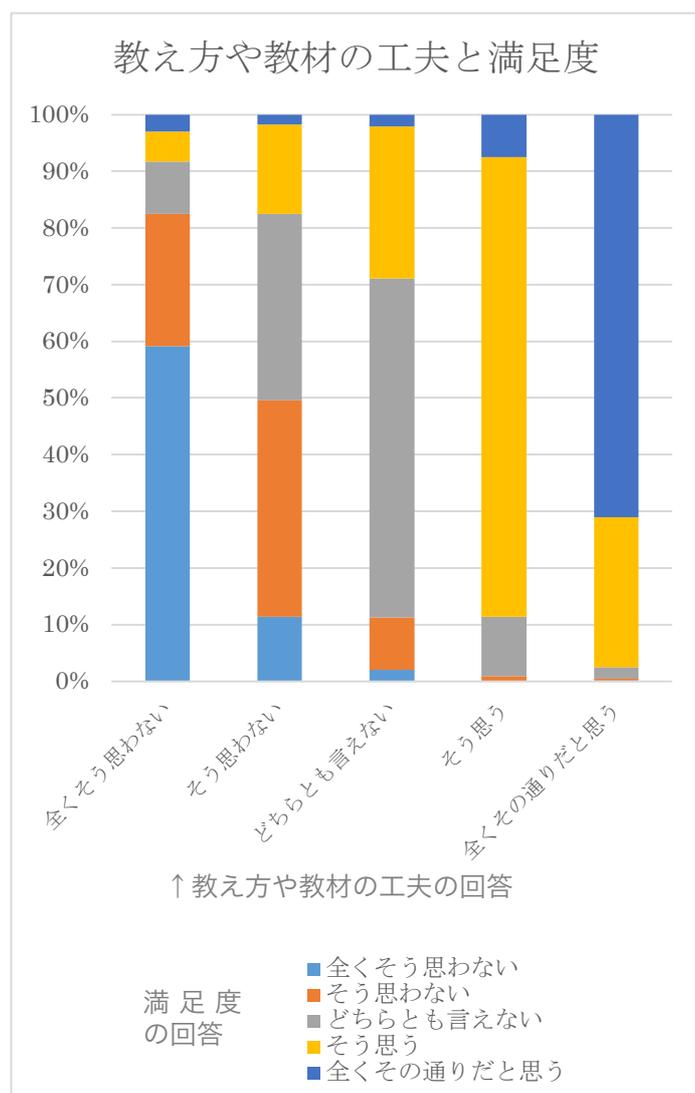
コロナウイルス発生から2年目となる2021年度は対面授業を実施することを原則として状況に応じて遠隔授業も認める形で授業が実施された。下記の図は授業アンケートのC-1「この授業を主としてどの授業形態で受講



しましたか」とD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」との回答を分析し、授業形態の違いが授業満足度に与える影響を検討した結果である。どのような形式の遠隔授業であっても対面授業と大きくは変わらない満足度であった。コロナウイルスの感染拡大の影響で遠隔授業を実施せざるを得なかった2020年度を経て、遠隔授業でも対面授業と変わらない満足度を得られる授業方法を各教員が習得した結果であると考えられる。この点が優れた点である。

#### ・改善を要する点

A-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の分析から外国語科目以外の科目群で時間外学習の時間増をする必要があることが明らかとなった。また、D-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の回答において少なからず「全くどうは思わない」の回答があることは改善すべき点である。次ページの左図がC-4「理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていきましたか」とD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の関係を分析した結果で、右図がC-5「この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか」とD-1「この授業は全体として満足できるものでしたか」の関係を分析した結果である。これらの結果からの明らかなように教え方や教材の工夫を学生が感じる程、また他者との学習活動が行われたと感じる程、授業への満足度が高まる傾向になる。履修登録をした学生が全く満足しなかったというネガティブな評価を減少させるためにも教え方や教材の工夫や他者との学習活動を各授業で積極的に実施することが改善を要する点である。



## 5. 次年度の改善目標

全学教育機構の授業評価の結果、時間外学習の時間の少なさが改善を要する点であることが明らかとなった。令和4年度の授業ではA-2「授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか」の回答の値を改善することを目標とする。

## おわりに

授業アンケートは学生の主観をまとめたものであり授業の実態を完全に反映するものではないことを考慮すべきではあるが、授業アンケートの結果からは大学全体の傾向にも記載したように大学全体の授業は健全に開講されているものと考えられる。平成20年度から義務化されたFD活動においても、単なるFD講演会の開催・聴講に留まらず、平成24年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定や参加型FDワークショップの開催などFD活動全般の改善を図っている。その結果、簡易版TPの作成率は平成28年度末時点で100%を達成し、「授業評価結果を用いた授業改善実施要項」に基づき実施される「授業点検・評価報告書」の作成率も100%となっている。今後は、これらの活動を有機的に結び付け、大学全体として教育力の向上を図る必要がある。

令和元年度には前年度に規定された教育コーディネーターを中心とした組織的な教育点検システムの構築が進められ、各教育課程では「教育課程点検・改善実施要項」を定め、教育課程の計画（P）、実行（D）、点検・評価（C）、改善（A）を担当する組織を要項に沿って規定し組織的な内部質保証体制の構築を行った。このシステムを有機的に機能させ、各教員、各部局、大学全体の教育力の向上を図ることを目指している。

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要項に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、学期毎、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げはない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、佐賀大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査項目等)

第6条 授業評価アンケートシステムを利用した調査項目等は別紙のとおりとする。

2 前項に規定する調査項目等を変更する場合（次項の規定により調査項目等を追加する場合を除く。）は、佐賀大学教育委員会において審議する。

3 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 学部が開設する授業科目

(2) 全学教育機構が開設する授業科目

(3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評価アンケートシステムを用いない授業担当者は、佐賀大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教育企画課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、佐賀大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げない。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、授業評価の実施に関して必要な事項は、佐賀大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

- 1 この要項は、平成18年10月1日から実施する。
- 2 この要項は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則（平成22年11月22日改正）

この要項は、平成22年11月22日から実施する。

附 則（平成25年2月5日改正）

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則（平成26年2月18日改正）

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

附 則（平成26年4月25日改正）

この要項は、平成26年4月25日から実施し、平成26年4月1日から適用する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は、令和元年8月21日から実施し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和3年7月9日改正）

この要項は、令和3年7月9日から実施し、令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和4年3月30日改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

別紙（第6条関係）

## 佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要項

(平成18年12月22日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要項（平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要項」という。）第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要項に定めるもののほか、この要項の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

(報告)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、学期ごとに、ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して、授業全体について又は授業科目別に報告する。

2 前項の規定にかかわらず、非常勤講師については、同項中「ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

3 学部又は学科等（以下「教育組織」という。）は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

(1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果

(2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目

(3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

(4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

(5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第3項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

2 前条第1項及び第2項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第3項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。

3 前条第3項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

1 この要項は、平成18年12月22日から実施する。

2 この要項は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない

附 則

この要項は、平成20年2月8日から実施する。

附 則（平成25年9月12日改正）

この要項は、平成25年9月12日から実施する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は、令和元年8月21日から実施し、平成31年4月1日から適用する。

別紙（第6条関係）

設問Aあなた自身について

設問A-1

出席率はどのくらいですか。/ What is the percentage of your own class attendance during the whole class?

選択肢A-1

・20%未満 (under 20%) ・20～40%未満 (20～40%) ・40～60%未満 (40～60%) ・60～80%未満 (60～80%) ・80%以上 (more than 80%)

設問A-2

授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。/How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?

選択肢A-2

・全くしていない (0 hours) ・1時間未満 (under 1 hour) ・1時間程度 (about 1 hour) ・2時間程度 (about 2 hours) ・3時間以上 (more than 3 hours)

設問A-3

この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。/ Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?

選択肢A-3

・シラバスを見ていない (no idea) ・全く活用しなかった (never) ・あまり活用しなかった (little) ・ときどき活用した (sometimes) ・活用した (to some extent) ・大いに活用した (much)

設問B教員の対応

設問B-1

教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。/The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.

選択肢B-1

説明がなかった・該当しない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問B-2

担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。/ The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.

選択肢B-2

・質問・相談をしなかった (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C授業内容および授業方法について

設問C-1

この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか。/Which of the following was closest type for this lecture?

選択肢C-1

資料配布型・・・メールやファイルサービスなどを用いて、資料が配布される方法です（資料・教材の動画や音声などによる解説を含まないもの）/Material distribution type・・・Materials distributed using email, file service, or etc.

授業録画型・・・講義自動録画システムなどを用いて録画した講義を視聴する方法です(Streamによる動画の配信、音声付きPowerPointを含む)/Video on-demand type・・・Content provided through watching a recorded lecture.

同時中継型・・・Webexなどのライブ配信ツールを用いて生放送される講義を受講する方法です/Live lecture type・・・ Content received by joining in a lecture using a live distribution tool such as Webex.

その他の遠隔授業方式/Other online lecture type.

対面授業だった/It was a face-to-face lecture type.

設問C-2

この授業の学習到達目標を達成できましたか。/ I reached the class objectives.

選択肢C-2

・学習到達目標を把握していないため分からない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-3

授業の内容はシラバスに基づいていましたか。/ The class was conducted based on the syllabus.

選択肢C-3

・シラバスの内容を把握していないため分からない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-4

理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか。/Were the classes and materials designed to be easy to understand?

選択肢C-4

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-5

この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか。/To support learning autonomy, the teacher prepared "writing", "speaking", and "presentation" activities with other students.

選択肢C-5

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-6

課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか。/Did you receive effective feedback on your assignments?

選択肢C-6

・課題等はなかった (There were no assignments) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問D 満足度

設問D-1

・この授業は全体として満足できるものでしたか。/ Overall, the class was satisfactory.

選択肢D-1

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

自由記述欄

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。/ Please give your comments about this class freely.

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.5%	0.4%	0.4%	6.1%	92.6%	0.0%
経済学部	0.5%	0.4%	1.1%	6.7%	91.3%	0.0%
理工学部	1.0%	0.4%	1.3%	6.3%	91.0%	0.0%
農学部	0.4%	0.1%	0.5%	2.0%	97.0%	0.0%
全学教育機構	0.6%	0.3%	1.0%	5.5%	92.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
教育学部	3.8%	36.1%	36.1%	18.0%	6.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	6.7%	23.5%	26.5%	23.0%	20.4%	0.0%
経済学部	8.4%	42.7%	37.3%	9.1%	2.6%	0.0%
理工学部	8.1%	24.9%	39.0%	17.2%	10.8%	0.0%
農学部	7.2%	28.6%	41.7%	13.0%	9.4%	0.0%
全学教育機構	7.2%	33.5%	36.5%	15.0%	7.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
教育学部	17.3%	6.0%	27.8%	27.8%	11.3%	9.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	11.2%	11.2%	34.9%	22.5%	15.3%	4.9%	0.0%
経済学部	12.6%	6.2%	25.5%	27.7%	20.0%	7.9%	0.0%
理工学部	12.3%	7.1%	29.3%	30.7%	13.4%	7.3%	0.0%
農学部	15.7%	8.9%	27.2%	29.0%	13.1%	6.2%	0.0%
全学教育機構	12.7%	7.4%	28.2%	29.4%	14.4%	7.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	1.5%	0.0%	0.8%	14.3%	53.4%	30.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	1.8%	0.2%	1.4%	13.5%	59.8%	23.3%	0.0%
経済学部	2.3%	0.7%	1.9%	13.2%	59.5%	22.4%	0.0%
理工学部	3.6%	0.9%	2.5%	23.5%	53.0%	16.5%	0.0%
農学部	3.2%	0.4%	1.3%	13.6%	62.2%	19.3%	0.0%
全学教育機構	2.9%	0.6%	2.1%	16.3%	54.8%	23.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	25.6%	0.0%	0.8%	6.0%	39.8%	27.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	15.8%	0.2%	0.9%	6.3%	43.0%	33.9%	0.0%
経済学部	33.1%	0.6%	1.7%	10.1%	36.3%	18.2%	0.0%
理工学部	27.6%	0.7%	1.8%	16.3%	35.2%	18.3%	0.0%
農学部	28.4%	0.2%	0.7%	8.8%	39.1%	22.9%	0.0%
全学教育機構	25.5%	0.6%	1.5%	12.5%	37.0%	22.9%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
教育学部	6.0%	44.4%	20.3%	2.3%	27.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	1.9%	2.8%	60.9%	2.6%	31.8%	0.0%
経済学部	2.0%	0.6%	42.7%	0.6%	54.1%	0.0%
理工学部	9.5%	30.3%	15.7%	5.9%	38.8%	0.0%
農学部	5.4%	22.8%	25.8%	1.5%	44.6%	0.0%
全学教育機構	5.4%	20.1%	33.1%	2.2%	39.2%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	8.3%	0.0%	0.0%	11.3%	60.2%	20.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	6.3%	0.0%	0.7%	17.0%	62.1%	13.9%	0.0%
経済学部	9.8%	0.6%	2.3%	17.1%	54.3%	15.9%	0.0%
理工学部	7.3%	1.1%	3.4%	23.4%	52.2%	12.7%	0.0%
農学部	8.1%	0.5%	2.6%	14.7%	62.1%	12.0%	0.0%
全学教育機構	8.1%	0.4%	1.9%	17.0%	56.8%	15.9%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	18.0%	0.8%	0.0%	13.5%	44.4%	23.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	12.3%	0.4%	0.7%	13.3%	55.3%	18.1%	0.0%
経済学部	14.0%	0.4%	0.9%	10.0%	56.7%	17.9%	0.0%
理工学部	12.1%	0.4%	1.3%	15.6%	55.1%	15.5%	0.0%
農学部	15.8%	0.2%	0.8%	9.1%	59.6%	14.5%	0.0%
全学教育機構	13.3%	0.4%	0.9%	11.0%	54.1%	20.4%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

教育学部	0.0%	1.5%	12.8%	48.1%	37.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.4%	2.3%	12.5%	57.2%	27.7%	0.0%
経済学部	1.5%	3.7%	11.7%	56.1%	27.0%	0.0%
理工学部	2.0%	3.3%	21.5%	54.3%	19.0%	0.0%
農学部	0.4%	1.9%	12.9%	58.3%	26.4%	0.0%
全学教育機構	1.3%	3.0%	13.8%	55.5%	26.4%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	6.0%	6.8%	25.6%	36.1%	25.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	4.0%	7.5%	14.7%	37.0%	36.7%	0.0%
経済学部	8.3%	14.2%	30.4%	34.8%	12.3%	0.0%
理工学部	11.6%	12.3%	32.7%	30.1%	13.4%	0.0%
農学部	11.5%	13.1%	30.2%	28.2%	17.0%	0.0%
全学教育機構	8.8%	11.2%	25.0%	32.3%	22.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	2.3%	2.3%	3.8%	22.6%	39.1%	30.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	5.8%	0.2%	1.1%	12.8%	47.7%	32.5%	0.0%
経済学部	8.6%	1.1%	3.9%	16.9%	47.0%	22.5%	0.0%
理工学部	4.9%	3.8%	6.5%	25.6%	42.1%	17.1%	0.0%
農学部	7.6%	1.7%	6.4%	18.6%	45.6%	20.1%	0.0%
全学教育機構	5.2%	2.2%	5.9%	18.6%	43.9%	24.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	0.0%	1.5%	9.8%	53.4%	35.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.4%	1.1%	7.0%	50.2%	41.4%	0.0%
経済学部	1.3%	2.9%	11.2%	52.9%	31.7%	0.0%
理工学部	1.9%	3.0%	19.4%	54.3%	21.4%	0.0%
農学部	0.4%	1.9%	8.9%	58.7%	30.0%	0.0%
全学教育機構	1.1%	2.8%	11.2%	54.0%	30.9%	0.0%

学部全体（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
教育学部	0.0%	0.0%	1.2%	5.8%	93.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	1.3%	0.2%	1.3%	5.4%	91.7%	0.0%
経済学部	0.9%	0.4%	0.8%	7.9%	90.0%	0.0%
理工学部	0.5%	0.3%	0.7%	6.3%	92.1%	0.0%
農学部	0.3%	0.1%	0.4%	2.4%	96.7%	0.0%
全学教育機構	1.0%	0.3%	0.9%	7.2%	90.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
教育学部	9.8%	43.9%	27.7%	12.1%	6.4%	0.0%
芸術地域デザイン学部	12.8%	23.8%	28.8%	16.7%	18.0%	0.0%
経済学部	7.6%	41.3%	39.4%	8.5%	3.3%	0.0%
理工学部	3.5%	22.9%	46.9%	17.7%	9.0%	0.0%
農学部	6.1%	33.5%	40.4%	13.0%	7.0%	0.0%
全学教育機構	8.3%	33.7%	37.9%	13.8%	6.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
教育学部	15.6%	4.0%	26.6%	27.2%	15.0%	11.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	16.7%	11.5%	29.1%	22.2%	9.5%	11.1%	0.0%
経済学部	10.0%	5.4%	24.4%	30.8%	18.5%	10.9%	0.0%
理工学部	9.9%	5.7%	26.2%	32.1%	16.9%	9.2%	0.0%
農学部	13.0%	8.1%	29.0%	28.1%	14.3%	7.6%	0.0%
全学教育機構	11.0%	6.5%	26.2%	29.2%	16.6%	10.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	2.9%	0.0%	1.2%	11.0%	59.5%	25.4%	0.0%
芸術地域デザイン学部	3.1%	0.4%	0.7%	13.4%	51.8%	30.7%	0.0%
経済学部	1.9%	0.7%	1.8%	12.2%	56.3%	27.2%	0.0%
理工学部	2.6%	0.8%	2.6%	20.2%	54.7%	19.1%	0.0%
農学部	2.0%	0.6%	1.5%	11.3%	63.7%	21.0%	0.0%
全学教育機構	2.5%	0.7%	2.2%	15.7%	54.7%	24.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	26.6%	1.2%	0.0%	8.7%	32.9%	30.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	11.6%	0.2%	0.6%	4.4%	42.6%	40.7%	0.0%
経済学部	29.5%	0.6%	1.3%	9.9%	34.3%	24.5%	0.0%
理工学部	24.3%	0.9%	1.9%	15.1%	38.5%	19.2%	0.0%
農学部	30.7%	0.3%	1.2%	8.6%	37.4%	21.8%	0.0%
全学教育機構	27.0%	0.8%	1.5%	12.2%	36.4%	22.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
教育学部	0.6%	0.6%	4.6%	1.2%	93.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.4%	1.9%	26.6%	2.8%	68.3%	0.0%
経済学部	2.6%	9.9%	66.7%	1.0%	19.8%	0.0%
理工学部	6.4%	12.9%	12.7%	2.1%	65.9%	0.0%
農学部	3.3%	31.2%	27.0%	1.5%	36.9%	0.0%
全学教育機構	5.0%	20.0%	25.6%	1.5%	47.8%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	6.9%	0.0%	0.6%	12.1%	64.2%	16.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	7.7%	0.4%	1.5%	12.1%	54.0%	24.3%	0.0%
経済学部	8.1%	0.8%	1.8%	15.6%	55.9%	17.8%	0.0%
理工学部	5.6%	1.1%	2.9%	22.0%	54.1%	14.4%	0.0%
農学部	5.2%	0.8%	2.8%	15.3%	60.0%	15.9%	0.0%
全学教育機構	7.2%	0.7%	1.9%	15.0%	57.6%	17.7%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	14.5%	0.0%	0.6%	12.1%	52.0%	20.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	13.5%	0.1%	0.7%	10.2%	49.8%	25.8%	0.0%
経済学部	11.5%	0.3%	0.8%	8.4%	55.6%	23.5%	0.0%
理工学部	9.0%	0.6%	1.4%	13.8%	57.0%	18.1%	0.0%
農学部	11.6%	0.6%	0.6%	8.4%	59.3%	19.4%	0.0%
全学教育機構	11.2%	0.5%	1.1%	10.4%	54.3%	22.5%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

教育学部	1.2%	4.0%	8.1%	59.0%	27.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.1%	0.2%	8.7%	52.8%	38.1%	0.0%
経済学部	1.2%	2.3%	10.5%	56.2%	29.8%	0.0%
理工学部	2.0%	3.7%	18.0%	54.7%	21.7%	0.0%
農学部	0.9%	1.8%	11.3%	58.2%	27.9%	0.0%
全学教育機構	1.4%	2.6%	14.2%	54.5%	27.4%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	4.0%	13.9%	19.7%	32.4%	30.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.1%	5.1%	18.0%	35.6%	39.2%	0.0%
経済学部	10.8%	12.4%	31.2%	32.5%	13.1%	0.0%
理工学部	9.5%	10.1%	30.1%	35.2%	15.1%	0.0%
農学部	11.8%	14.9%	25.3%	28.2%	19.7%	0.0%
全学教育機構	7.4%	8.2%	22.2%	35.2%	27.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	8.7%	3.5%	4.6%	13.9%	44.5%	24.9%	0.0%
芸術地域デザイン学部	9.0%	0.4%	1.1%	7.4%	43.5%	38.7%	0.0%
経済学部	6.4%	1.4%	4.4%	16.5%	44.2%	27.1%	0.0%
理工学部	2.6%	2.7%	6.1%	19.1%	47.9%	21.7%	0.0%
農学部	3.0%	1.3%	5.5%	19.4%	48.3%	22.4%	0.0%
全学教育機構	6.3%	2.4%	5.4%	19.3%	42.1%	24.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
教育学部	0.6%	2.3%	12.1%	45.7%	39.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.4%	0.8%	4.4%	46.5%	48.0%	0.0%
経済学部	1.2%	2.3%	9.4%	52.4%	34.7%	0.0%
理工学部	1.9%	3.3%	16.4%	54.5%	23.9%	0.0%
農学部	1.0%	1.6%	9.4%	55.9%	32.0%	0.0%
全学教育機構	1.3%	2.4%	11.3%	52.1%	32.9%	0.0%

教育学部（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%
幼小連携教育コース	0.3%	0.0%	0.4%	3.6%	95.7%	0.0%
小中連携教育コース	0.3%	0.1%	0.2%	3.0%	96.5%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	3.8%	36.1%	36.1%	18.0%	6.0%	0.0%
幼小連携教育コース	6.3%	27.4%	35.3%	17.3%	13.8%	0.0%
小中連携教育コース	6.6%	24.6%	33.0%	18.8%	17.1%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	17.3%	6.0%	27.8%	27.8%	11.3%	9.8%	0.0%
幼小連携教育コース	15.9%	6.2%	26.2%	22.7%	17.0%	11.9%	0.0%
小中連携教育コース	15.6%	5.6%	26.5%	21.4%	17.2%	13.6%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.5%	0.0%	0.8%	14.3%	53.4%	30.1%	0.0%
幼小連携教育コース	2.4%	0.5%	1.4%	13.3%	50.0%	32.4%	0.0%
小中連携教育コース	2.1%	0.6%	1.1%	12.2%	49.0%	35.0%	0.0%
文化教育学部	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	25.6%	0.0%	0.8%	6.0%	39.8%	27.8%	0.0%
幼小連携教育コース	26.2%	0.7%	1.2%	9.9%	31.7%	30.3%	0.0%
小中連携教育コース	20.2%	0.7%	1.1%	8.4%	33.9%	35.8%	0.0%
文化教育学部	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
全体	6.0%	44.4%	20.3%	2.3%	27.1%	0.0%
幼小連携教育コース	2.5%	25.3%	22.7%	1.8%	47.7%	0.0%
小中連携教育コース	1.4%	14.5%	20.9%	1.3%	61.9%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	8.3%	0.0%	0.0%	11.3%	60.2%	20.3%	0.0%
幼小連携教育コース	6.8%	0.2%	1.4%	13.9%	53.5%	24.2%	0.0%
小中連携教育コース	5.6%	0.2%	1.3%	13.1%	53.5%	26.3%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	18.0%	0.8%	0.0%	13.5%	44.4%	23.3%	0.0%
幼小連携教育コース	16.7%	0.4%	0.9%	11.8%	45.2%	25.1%	0.0%
小中連携教育コース	16.1%	0.3%	0.7%	11.2%	44.8%	26.9%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.0%	1.5%	12.8%	48.1%	37.6%	0.0%
幼小連携教育コース	1.0%	2.4%	12.4%	48.3%	35.9%	0.0%
小中連携教育コース	1.0%	2.2%	11.2%	46.6%	38.9%	0.0%
文化教育学部	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	6.0%	6.8%	25.6%	36.1%	25.6%	0.0%
幼小連携教育コース	7.1%	9.5%	22.6%	31.5%	29.4%	0.0%
小中連携教育コース	4.9%	6.5%	17.5%	34.1%	37.0%	0.0%
文化教育学部	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.3%	2.3%	3.8%	22.6%	39.1%	30.1%	0.0%
幼小連携教育コース	4.0%	2.2%	5.9%	16.2%	37.0%	34.8%	0.0%

小中連携教育コース	5.0%	1.7%	4.6%	13.3%	36.7%	38.7%	0.0%
文化教育学部	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.0%	1.5%	9.8%	53.4%	35.3%	0.0%
幼小連携教育コース	1.3%	2.0%	9.8%	43.7%	43.2%	0.0%
小中連携教育コース	1.2%	1.7%	8.5%	40.7%	47.9%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

教育学部（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.0%	0.0%	1.2%	5.8%	93.1%	0.0%
幼小連携教育コース	0.2%	0.0%	0.4%	2.8%	96.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.1%	0.0%	0.3%	3.6%	96.0%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	9.8%	43.9%	27.7%	12.1%	6.4%	0.0%
幼小連携教育コース	8.3%	35.1%	33.9%	15.8%	6.9%	0.0%
小中連携教育コース	8.0%	32.5%	34.3%	17.2%	8.0%	0.0%
文化教育学部	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	15.6%	4.0%	26.6%	27.2%	15.0%	11.6%	0.0%
幼小連携教育コース	14.7%	4.5%	24.8%	28.5%	16.4%	11.0%	0.0%
小中連携教育コース	13.1%	5.2%	25.3%	29.4%	16.0%	10.9%	0.0%
文化教育学部	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.9%	0.0%	1.2%	11.0%	59.5%	25.4%	0.0%
幼小連携教育コース	1.8%	0.2%	0.9%	10.8%	54.8%	31.4%	0.0%
小中連携教育コース	1.9%	0.2%	0.7%	9.7%	52.0%	35.5%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	26.6%	1.2%	0.0%	8.7%	32.9%	30.6%	0.0%
幼小連携教育コース	26.8%	0.0%	0.5%	9.1%	34.7%	28.9%	0.0%
小中連携教育コース	17.4%	0.1%	0.4%	7.5%	36.8%	37.8%	0.0%
文化教育学部	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
全体	0.6%	0.6%	4.6%	1.2%	93.1%	0.0%
幼小連携教育コース	1.8%	25.0%	2.2%	0.9%	70.0%	0.0%
小中連携教育コース	0.6%	7.3%	5.0%	0.7%	86.4%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	6.9%	0.0%	0.6%	12.1%	64.2%	16.2%	0.0%
幼小連携教育コース	8.8%	0.3%	0.7%	10.2%	59.2%	20.8%	0.0%
小中連携教育コース	6.8%	0.4%	0.8%	11.0%	57.6%	23.5%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	14.5%	0.0%	0.6%	12.1%	52.0%	20.8%	0.0%
幼小連携教育コース	15.5%	0.0%	0.4%	7.1%	51.7%	25.4%	0.0%
小中連携教育コース	13.5%	0.2%	0.6%	8.2%	49.7%	27.8%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.2%	4.0%	8.1%	59.0%	27.7%	0.0%
幼小連携教育コース	0.6%	0.7%	9.8%	51.3%	37.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.7%	1.3%	9.6%	46.7%	41.7%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	4.0%	13.9%	19.7%	32.4%	30.1%	0.0%
幼小連携教育コース	7.3%	7.5%	26.6%	32.9%	25.8%	0.0%
小中連携教育コース	3.3%	5.7%	18.2%	35.0%	37.7%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	8.7%	3.5%	4.6%	13.9%	44.5%	24.9%	0.0%
幼小連携教育コース	9.7%	0.9%	3.6%	19.4%	35.6%	30.8%	0.0%

小中連携教育コース	7.4%	0.9%	3.1%	13.9%	36.5%	38.1%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.6%	2.3%	12.1%	45.7%	39.3%	0.0%
幼小連携教育コース	0.5%	1.0%	7.8%	48.9%	41.8%	0.0%
小中連携教育コース	0.6%	1.3%	6.9%	43.0%	48.2%	0.0%
文化教育学部	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

芸術地域デザイン学部（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.5%	0.4%	0.4%	6.1%	92.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	6.7%	23.5%	26.5%	23.0%	20.4%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	11.2%	11.2%	34.9%	22.5%	15.3%	4.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.8%	0.2%	1.4%	13.5%	59.8%	23.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	15.8%	0.2%	0.9%	6.3%	43.0%	33.9%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.9%	2.8%	60.9%	2.6%	31.8%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	6.3%	0.0%	0.7%	17.0%	62.1%	13.9%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	12.3%	0.4%	0.7%	13.3%	55.3%	18.1%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.4%	2.3%	12.5%	57.2%	27.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	4.0%	7.5%	14.7%	37.0%	36.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	5.8%	0.2%	1.1%	12.8%	47.7%	32.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.4%	1.1%	7.0%	50.2%	41.4%	0.0%

芸術地域デザイン学部（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.3%	0.2%	1.3%	5.4%	91.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	12.8%	23.8%	28.8%	16.7%	18.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	16.7%	11.5%	29.1%	22.2%	9.5%	11.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	3.1%	0.4%	0.7%	13.4%	51.8%	30.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	11.6%	0.2%	0.6%	4.4%	42.6%	40.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.4%	1.9%	26.6%	2.8%	68.3%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	7.7%	0.4%	1.5%	12.1%	54.0%	24.3%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	13.5%	0.1%	0.7%	10.2%	49.8%	25.8%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.1%	0.2%	8.7%	52.8%	38.1%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.1%	5.1%	18.0%	35.6%	39.2%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	9.0%	0.4%	1.1%	7.4%	43.5%	38.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.4%	0.8%	4.4%	46.5%	48.0%	0.0%

経済学部（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次科目	0.1%	0.7%	0.8%	4.9%	93.5%	0.0%
経済学科	1.1%	0.2%	0.9%	7.8%	90.0%	0.0%
経営学科	0.3%	0.1%	0.9%	8.5%	90.3%	0.0%
経済法学科	1.0%	0.4%	2.0%	7.4%	89.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次科目	10.2%	42.5%	35.2%	8.7%	3.3%	0.0%
経済学科	7.1%	38.4%	42.4%	9.3%	2.9%	0.0%
経営学科	6.8%	42.6%	39.3%	9.6%	1.6%	0.0%
経済法学科	7.5%	46.3%	35.1%	9.1%	2.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次科目	19.6%	7.5%	22.7%	24.5%	16.4%	9.3%	0.0%
経済学科	5.8%	3.8%	27.6%	30.4%	26.0%	6.4%	0.0%
経営学科	7.6%	6.1%	27.7%	27.2%	23.9%	7.6%	0.0%
経済法学科	9.5%	5.6%	27.2%	32.6%	18.4%	6.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	3.2%	1.2%	2.9%	15.2%	52.9%	24.6%	0.0%
経済学科	1.5%	0.7%	1.3%	11.6%	65.1%	19.8%	0.0%
経営学科	1.4%	0.3%	1.1%	9.9%	65.1%	22.3%	0.0%
経済法学科	2.1%	0.1%	1.4%	14.1%	62.1%	20.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	41.6%	0.8%	1.5%	10.1%	29.2%	16.8%	0.0%
経済学科	26.5%	0.2%	2.7%	13.5%	39.8%	17.3%	0.0%
経営学科	24.8%	0.5%	1.0%	7.7%	44.5%	21.5%	0.0%
経済法学科	30.1%	0.7%	2.2%	10.2%	38.6%	18.1%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
1年次科目	3.3%	0.5%	6.3%	1.2%	88.8%	0.0%
経済学科	1.5%	0.2%	52.4%	0.2%	45.8%	0.0%
経営学科	1.0%	0.4%	77.9%	0.1%	20.6%	0.0%
経済法学科	1.0%	1.3%	69.3%	0.4%	28.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	15.1%	1.0%	3.2%	17.4%	45.2%	18.0%	0.0%
経済学科	5.8%	0.4%	2.7%	19.8%	58.2%	13.1%	0.0%
経営学科	5.4%	0.1%	0.4%	13.0%	64.6%	16.4%	0.0%
経済法学科	7.0%	0.6%	2.2%	18.8%	58.3%	13.1%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	20.6%	0.6%	1.5%	11.9%	45.8%	19.7%	0.0%
経済学科	7.5%	0.0%	0.5%	10.4%	64.5%	17.1%	0.0%
経営学科	8.3%	0.3%	0.6%	8.1%	64.6%	18.1%	0.0%
経済法学科	12.0%	0.4%	0.6%	8.2%	64.0%	14.8%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.7%	5.9%	11.9%	49.8%	29.8%	0.0%
経済学科	1.1%	2.9%	14.5%	58.7%	22.7%	0.0%
経営学科	0.5%	1.1%	8.1%	61.9%	28.3%	0.0%
経済法学科	0.8%	2.9%	13.0%	60.1%	23.2%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	10.3%	12.2%	28.1%	35.2%	14.3%	0.0%
経済学科	6.5%	16.0%	30.7%	34.9%	11.8%	0.0%
経営学科	6.7%	14.0%	32.1%	35.3%	11.9%	0.0%
経済法学科	7.5%	17.0%	32.8%	33.5%	9.2%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	10.1%	1.7%	4.6%	17.5%	42.3%	23.7%	0.0%
経済学科	9.1%	1.3%	3.6%	16.9%	51.3%	17.8%	0.0%

経営学科	5.3%	0.5%	2.3%	14.8%	52.5%	24.7%	0.0%
経済法学科	8.8%	0.4%	4.3%	18.0%	47.3%	21.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.2%	4.8%	11.2%	49.1%	32.7%	0.0%
経済学科	0.9%	1.6%	14.2%	57.5%	25.8%	0.0%
経営学科	0.3%	0.9%	8.2%	54.1%	36.5%	0.0%
経済法学科	0.8%	2.1%	12.1%	55.9%	29.0%	0.0%

経済学部（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次科目	0.8%	0.4%	0.0%	9.1%	89.7%	0.0%
経済学科	1.3%	0.3%	0.9%	8.1%	89.3%	0.0%
経営学科	0.4%	0.6%	0.6%	7.9%	90.5%	0.0%
経済法学科	1.1%	0.3%	1.1%	7.0%	90.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次科目	5.4%	39.3%	42.1%	10.7%	2.5%	0.0%
経済学科	7.0%	42.4%	38.3%	8.6%	3.7%	0.0%
経営学科	7.7%	43.0%	37.7%	8.5%	3.1%	0.0%
経済法学科	8.8%	38.1%	42.2%	7.6%	3.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次科目	7.4%	4.1%	33.5%	35.1%	12.8%	7.0%	0.0%
経済学科	11.1%	5.2%	23.1%	30.7%	19.6%	10.2%	0.0%
経営学科	8.5%	5.6%	25.1%	29.5%	18.7%	12.6%	0.0%
経済法学科	11.1%	5.7%	22.7%	31.5%	18.3%	10.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.8%	1.2%	0.4%	13.2%	55.0%	29.3%	0.0%
経済学科	2.4%	0.8%	2.2%	12.6%	57.3%	24.6%	0.0%
経営学科	1.2%	0.7%	1.6%	12.4%	56.0%	28.1%	0.0%
経済法学科	2.3%	0.2%	1.8%	11.1%	55.7%	28.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	22.7%	0.0%	0.4%	13.6%	35.1%	28.1%	0.0%
経済学科	29.6%	0.8%	1.3%	11.0%	34.1%	23.1%	0.0%
経営学科	30.6%	0.7%	1.5%	9.3%	34.4%	23.5%	0.0%
経済法学科	30.0%	0.1%	1.1%	8.2%	34.0%	26.6%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
1年次科目	0.4%	1.2%	90.1%	1.2%	7.0%	0.0%
経済学科	3.1%	13.9%	63.7%	1.7%	17.6%	0.0%
経営学科	3.6%	1.5%	78.0%	0.3%	16.7%	0.0%
経済法学科	1.4%	17.6%	49.9%	0.9%	30.2%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	7.0%	0.0%	1.7%	17.8%	61.2%	12.4%	0.0%
経済学科	9.3%	1.2%	1.9%	17.9%	54.1%	15.7%	0.0%
経営学科	7.1%	0.6%	1.2%	15.0%	56.0%	20.1%	0.0%
経済法学科	7.8%	0.7%	2.5%	12.9%	57.0%	19.1%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	12.8%	0.0%	0.0%	6.6%	56.6%	24.0%	0.0%
経済学科	13.0%	0.5%	0.6%	9.0%	55.3%	21.7%	0.0%
経営学科	10.4%	0.3%	1.2%	8.5%	55.3%	24.3%	0.0%
経済法学科	10.5%	0.0%	0.8%	7.9%	56.1%	24.7%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていきましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.4%	2.9%	9.9%	57.0%	29.8%	0.0%
経済学科	1.7%	2.7%	12.5%	55.6%	27.5%	0.0%
経営学科	1.0%	2.1%	9.4%	56.0%	31.5%	0.0%
経済法学科	0.9%	1.9%	9.2%	57.1%	30.9%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	5.0%	10.3%	18.6%	53.3%	12.8%	0.0%
経済学科	11.2%	11.3%	29.7%	34.7%	13.1%	0.0%
経営学科	10.3%	13.9%	32.4%	29.3%	14.0%	0.0%
経済法学科	12.2%	12.7%	35.0%	28.0%	12.1%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.8%	0.0%	1.7%	7.4%	52.1%	38.0%	0.0%
経済学科	9.5%	1.7%	4.7%	16.8%	45.0%	22.4%	0.0%

経営学科	4.9%	2.0%	4.8%	19.3%	41.4%	27.5%	0.0%
経済法学科	5.5%	0.8%	4.3%	15.3%	44.3%	29.8%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	0.4%	0.4%	9.9%	55.4%	33.9%	0.0%
経済学科	2.1%	3.1%	11.2%	52.4%	31.2%	0.0%
経営学科	0.9%	2.0%	8.5%	52.7%	36.0%	0.0%
経済法学科	0.7%	2.0%	8.2%	51.1%	38.1%	0.0%

経済学部（令和3年度前学期） 科目分類ごと

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
基本科目	0.1%	0.7%	0.8%	4.9%	93.5%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	0.2%	0.1%	0.7%	5.8%	93.2%	0.0%
展開科目	1.4%	0.7%	2.5%	10.3%	85.0%	0.0%
コア科目	1.3%	0.0%	1.0%	10.8%	86.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
基本科目	10.2%	42.5%	35.2%	8.7%	3.3%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	4.4%	41.9%	42.6%	10.1%	1.2%	0.0%
展開科目	11.4%	47.5%	31.6%	7.2%	2.3%	0.0%
コア科目	9.2%	38.6%	37.5%	10.2%	4.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
基本科目	19.6%	7.5%	22.7%	24.5%	16.4%	9.3%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	6.9%	6.8%	27.8%	32.3%	21.1%	5.2%	0.0%
展開科目	8.1%	3.4%	28.3%	27.6%	24.2%	8.3%	0.0%
コア科目	10.0%	3.7%	25.5%	26.2%	24.4%	10.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	3.2%	1.2%	2.9%	15.2%	52.9%	24.6%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	1.0%	0.4%	1.2%	11.7%	65.8%	19.9%	0.0%
展開科目	2.0%	0.2%	1.1%	13.0%	61.7%	22.0%	0.0%
コア科目	3.1%	0.3%	1.8%	10.5%	62.2%	22.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	41.6%	0.8%	1.5%	10.1%	29.2%	16.8%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	24.1%	0.4%	1.9%	11.0%	43.8%	18.9%	0.0%
展開科目	28.5%	1.1%	1.3%	10.1%	39.7%	19.3%	0.0%
コア科目	33.9%	0.0%	2.9%	7.6%	35.7%	19.9%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
基本科目	3.3%	0.5%	6.3%	1.2%	88.8%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	0.4%	0.5%	76.7%	0.1%	22.4%	0.0%
展開科目	2.0%	0.7%	55.4%	0.4%	41.5%	0.0%
コア科目	2.1%	0.8%	61.2%	0.5%	35.4%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	15.1%	1.0%	3.2%	17.4%	45.2%	18.0%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	5.2%	0.1%	1.4%	17.9%	61.4%	14.1%	0.0%
展開科目	5.8%	0.9%	2.5%	16.4%	59.6%	14.8%	0.0%
コア科目	9.2%	0.3%	1.0%	14.4%	60.4%	14.7%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	20.6%	0.6%	1.5%	11.9%	45.8%	19.7%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	8.8%	0.2%	0.6%	8.5%	67.9%	14.0%	0.0%
展開科目	8.3%	0.5%	0.5%	9.0%	62.1%	19.5%	0.0%
コア科目	12.6%	0.0%	0.5%	9.2%	57.2%	20.5%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	2.7%	5.9%	11.9%	49.8%	29.8%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	0.7%	1.2%	10.2%	64.3%	23.5%	0.0%
展開科目	1.1%	3.2%	15.2%	55.4%	25.1%	0.0%
コア科目	0.5%	3.7%	10.0%	56.4%	29.4%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

基本科目	10.3%	12.2%	28.1%	35.2%	14.3%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	6.9%	15.7%	33.7%	34.2%	9.4%	0.0%
展開科目	6.1%	14.4%	30.3%	35.4%	13.7%	0.0%
コア科目	8.1%	17.1%	29.1%	34.4%	11.3%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	10.1%	1.7%	4.6%	17.5%	42.3%	23.7%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	7.5%	0.5%	2.8%	14.7%	54.3%	20.2%	0.0%
展開科目	9.2%	1.1%	5.2%	19.5%	44.2%	20.8%	0.0%
コア科目	5.2%	0.5%	2.4%	17.3%	47.5%	27.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	2.2%	4.8%	11.2%	49.1%	32.7%	0.0%
基幹科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
基礎科目	0.4%	1.2%	10.3%	58.0%	30.1%	0.0%
展開科目	1.3%	2.2%	13.9%	52.0%	30.7%	0.0%
コア科目	0.3%	1.6%	9.7%	54.1%	34.4%	0.0%

経済学部（令和3年度後学期） 科目分類ごと

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	82.4%	0.0%
基幹科目	0.8%	0.4%	0.6%	6.9%	91.3%	0.0%
基礎科目	11.1%	0.0%	0.0%	2.2%	86.7%	0.0%
展開科目	0.9%	0.9%	1.2%	14.3%	82.6%	0.0%
コア科目	0.4%	0.3%	1.1%	7.8%	90.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
基本科目	0.0%	17.6%	41.2%	35.3%	5.9%	0.0%
基幹科目	7.8%	42.3%	39.8%	6.7%	3.3%	0.0%
基礎科目	8.9%	13.3%	21.1%	36.7%	20.0%	0.0%
展開科目	9.1%	50.9%	29.6%	7.3%	3.0%	0.0%
コア科目	6.7%	39.5%	42.7%	9.0%	2.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
基本科目	11.8%	0.0%	17.6%	17.6%	29.4%	23.5%	0.0%
基幹科目	10.4%	5.1%	24.6%	28.9%	19.4%	11.6%	0.0%
基礎科目	21.1%	5.6%	21.1%	28.9%	23.3%	0.0%	0.0%
展開科目	7.3%	5.5%	24.4%	34.8%	15.5%	12.5%	0.0%
コア科目	9.3%	5.9%	24.4%	33.0%	17.5%	10.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	47.1%	0.0%
基幹科目	1.9%	0.6%	1.8%	13.0%	55.1%	27.6%	0.0%
基礎科目	3.3%	1.1%	5.6%	14.4%	55.6%	20.0%	0.0%
展開科目	1.5%	0.9%	0.9%	10.7%	56.7%	29.3%	0.0%
コア科目	1.8%	0.7%	1.8%	11.3%	58.2%	26.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	17.6%	0.0%	0.0%	11.8%	35.3%	35.3%	0.0%
基幹科目	28.9%	0.6%	1.4%	9.3%	34.1%	25.7%	0.0%
基礎科目	20.0%	3.3%	3.3%	14.4%	32.2%	26.7%	0.0%
展開科目	25.3%	0.6%	0.6%	11.9%	32.0%	29.6%	0.0%
コア科目	32.6%	0.3%	1.1%	9.9%	35.3%	20.9%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
基幹科目	1.0%	7.1%	80.9%	0.9%	10.0%	0.0%
基礎科目	24.4%	45.6%	5.6%	14.4%	10.0%	0.0%
展開科目	0.6%	1.2%	43.0%	0.0%	55.2%	0.0%
コア科目	4.0%	14.0%	57.0%	0.4%	24.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%	58.8%	17.6%	0.0%
基幹科目	9.6%	0.6%	1.7%	13.9%	55.7%	18.5%	0.0%
基礎科目	6.7%	7.8%	3.3%	27.8%	40.0%	14.4%	0.0%
展開科目	6.7%	0.0%	1.5%	18.0%	54.6%	19.2%	0.0%
コア科目	6.1%	0.8%	2.0%	16.8%	57.9%	16.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	41.2%	0.0%
基幹科目	12.4%	0.4%	1.0%	8.2%	55.0%	22.9%	0.0%
基礎科目	17.8%	1.1%	2.2%	12.2%	51.1%	15.6%	0.0%
展開科目	8.8%	0.0%	0.6%	8.8%	54.6%	27.1%	0.0%
コア科目	10.3%	0.0%	0.3%	8.4%	57.4%	23.6%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	47.1%	0.0%
基幹科目	1.2%	2.5%	9.2%	56.6%	30.5%	0.0%
基礎科目	5.6%	7.8%	20.0%	43.3%	23.3%	0.0%
展開科目	0.9%	1.8%	8.8%	56.7%	31.7%	0.0%
コア科目	0.8%	1.9%	12.3%	56.4%	28.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

基本科目	11.8%	0.0%	17.6%	52.9%	17.6%	0.0%
基幹科目	9.3%	12.8%	28.4%	35.9%	13.6%	0.0%
基礎科目	28.9%	15.6%	23.3%	24.4%	7.8%	0.0%
展開科目	8.2%	13.4%	35.1%	28.4%	14.9%	0.0%
コア科目	12.3%	11.5%	35.1%	28.8%	12.3%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%	52.9%	23.5%	0.0%
基幹科目	4.3%	1.5%	4.0%	14.5%	45.1%	30.6%	0.0%
基礎科目	6.7%	5.6%	6.7%	17.8%	35.6%	27.8%	0.0%
展開科目	13.7%	0.9%	3.7%	21.0%	36.3%	24.4%	0.0%
コア科目	7.6%	1.2%	4.9%	18.3%	45.5%	22.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
基本科目	0.0%	0.0%	11.8%	47.1%	41.2%	0.0%
基幹科目	1.2%	1.9%	9.0%	51.0%	36.9%	0.0%
基礎科目	7.8%	7.8%	8.9%	54.4%	21.1%	0.0%
展開科目	0.6%	2.1%	7.9%	51.8%	37.5%	0.0%
コア科目	0.9%	2.5%	10.6%	54.4%	31.6%	0.0%

理工学部（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	0.0%	3.7%	3.7%	22.2%	70.4%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	88.0%	0.0%
知能情報システム学科	2.8%	1.4%	0.0%	5.6%	90.3%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	0.0%	0.6%	4.7%	94.8%	0.0%
機械システム工学科	2.4%	1.2%	1.2%	8.4%	86.7%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.9%	1.8%	5.3%	92.0%	0.0%
都市工学科	4.1%	4.1%	2.1%	11.3%	78.4%	0.0%
理工学科	1.2%	0.4%	1.8%	7.7%	88.9%	0.0%
数理	1.0%	1.4%	1.9%	14.1%	81.6%	0.0%
物理	1.5%	1.3%	3.4%	8.8%	85.1%	0.0%
知能・情報	0.7%	0.2%	0.6%	2.7%	95.8%	0.0%
機械・メカ	0.4%	0.3%	0.4%	2.7%	96.2%	0.0%
電気・電子	1.5%	0.1%	1.4%	7.5%	89.4%	0.0%
基盤・建築	0.6%	0.1%	0.8%	3.6%	95.0%	0.0%
生命・応用	0.3%	0.0%	0.6%	5.6%	93.5%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	0.0%	29.6%	7.4%	40.7%	22.2%	0.0%
物理科学科	0.0%	10.0%	32.0%	24.0%	34.0%	0.0%
知能情報システム学科	4.2%	9.7%	16.7%	27.8%	41.7%	0.0%
機能物質化学科	1.2%	12.8%	37.2%	25.0%	23.8%	0.0%
機械システム工学科	2.4%	8.4%	20.5%	26.5%	42.2%	0.0%
電気電子工学科	1.8%	3.5%	25.7%	23.9%	45.1%	0.0%
都市工学科	7.2%	9.3%	15.5%	12.4%	55.7%	0.0%
理工学科	8.6%	29.3%	41.9%	16.1%	4.0%	0.0%
数理	4.1%	24.1%	51.8%	17.7%	2.4%	0.0%
物理	7.7%	26.3%	33.0%	21.9%	11.1%	0.0%
知能・情報	4.7%	18.9%	40.9%	24.2%	11.2%	0.0%
機械・メカ	9.6%	23.5%	36.2%	16.4%	14.4%	0.0%
電気・電子	11.7%	23.7%	38.8%	12.6%	13.1%	0.0%
基盤・建築	9.2%	29.7%	33.6%	13.8%	13.7%	0.0%
生命・応用	9.0%	18.0%	40.0%	17.4%	15.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	18.5%	11.1%	33.3%	22.2%	7.4%	7.4%	0.0%
物理科学科	28.0%	2.0%	18.0%	28.0%	8.0%	16.0%	0.0%
知能情報システム学科	19.4%	11.1%	27.8%	18.1%	16.7%	6.9%	0.0%
機能物質化学科	18.6%	10.5%	29.1%	27.3%	7.0%	7.6%	0.0%
機械システム工学科	15.7%	13.3%	26.5%	24.1%	8.4%	12.0%	0.0%
電気電子工学科	13.3%	10.6%	36.3%	24.8%	6.2%	8.8%	0.0%
都市工学科	26.8%	11.3%	25.8%	19.6%	8.2%	8.2%	0.0%
理工学科	14.3%	9.1%	31.8%	28.7%	11.1%	5.0%	0.0%
数理	17.4%	6.7%	33.7%	27.7%	8.4%	6.2%	0.0%
物理	12.6%	12.1%	26.0%	24.2%	12.1%	12.9%	0.0%
知能・情報	11.3%	4.2%	26.4%	36.2%	13.6%	8.4%	0.0%
機械・メカ	8.7%	6.2%	27.7%	35.3%	15.6%	6.5%	0.0%
電気・電子	11.6%	6.1%	31.8%	25.6%	16.8%	8.1%	0.0%
基盤・建築	6.4%	2.9%	25.4%	35.8%	18.2%	11.3%	0.0%
生命・応用	9.9%	5.0%	25.5%	34.4%	17.1%	8.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	7.4%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	25.9%	0.0%
物理科学科	4.0%	0.0%	0.0%	8.0%	62.0%	26.0%	0.0%
知能情報システム学科	2.8%	0.0%	0.0%	18.1%	44.4%	34.7%	0.0%
機能物質化学科	2.9%	2.3%	0.6%	11.0%	52.9%	30.2%	0.0%
機械システム工学科	2.4%	0.0%	2.4%	24.1%	37.3%	33.7%	0.0%
電気電子工学科	1.8%	0.9%	2.7%	13.3%	42.5%	38.9%	0.0%
都市工学科	3.1%	0.0%	3.1%	16.5%	43.3%	34.0%	0.0%
理工学科	4.0%	0.8%	3.0%	24.2%	53.8%	14.3%	0.0%
数理	3.6%	1.0%	2.1%	17.7%	59.7%	16.0%	0.0%
物理	1.5%	0.3%	1.0%	15.5%	55.4%	26.3%	0.0%
知能・情報	2.0%	0.6%	1.5%	23.3%	59.4%	13.2%	0.0%
機械・メカ	3.5%	0.5%	2.7%	28.5%	52.7%	12.1%	0.0%
電気・電子	6.0%	2.3%	2.8%	27.2%	47.7%	14.0%	0.0%
基盤・建築	2.9%	0.8%	2.3%	21.4%	49.9%	22.7%	0.0%
生命・応用	3.7%	1.1%	2.8%	25.2%	51.7%	15.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	-------------	----------	--------	-----------	------	------------	------

数理科学科	3.7%	0.0%	0.0%	18.5%	22.2%	55.6%	0.0%
物理科学科	2.0%	0.0%	0.0%	6.0%	34.0%	58.0%	0.0%
知能情報システム学科	1.4%	0.0%	0.0%	12.5%	26.4%	59.7%	0.0%
機能物質化学科	7.6%	1.2%	0.0%	6.4%	46.5%	38.4%	0.0%
機械システム工学科	4.8%	1.2%	0.0%	10.8%	31.3%	51.8%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	29.2%	68.1%	0.0%
都市工学科	9.3%	0.0%	1.0%	8.2%	33.0%	48.5%	0.0%
理工学科	42.2%	0.7%	1.5%	14.1%	28.8%	12.7%	0.0%
数理	26.0%	1.0%	1.9%	15.0%	45.1%	11.0%	0.0%
物理	13.7%	0.0%	0.5%	16.2%	39.9%	29.6%	0.0%
知能・情報	20.1%	0.6%	1.0%	15.9%	42.4%	20.0%	0.0%
機械・メカ	18.1%	0.6%	2.6%	25.0%	37.6%	16.0%	0.0%
電気・電子	23.8%	1.9%	3.2%	18.4%	35.6%	17.1%	0.0%
基盤・建築	14.4%	0.7%	1.8%	18.9%	41.4%	22.8%	0.0%
生命・応用	25.3%	0.7%	3.2%	17.2%	38.3%	15.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数理科学科	0.0%	3.7%	18.5%	0.0%	77.8%	0.0%
物理科学科	2.0%	12.0%	24.0%	8.0%	54.0%	0.0%
知能情報システム学科	8.3%	25.0%	23.6%	12.5%	30.6%	0.0%
機能物質化学科	5.2%	8.7%	18.0%	4.7%	63.4%	0.0%
機械システム工学科	2.4%	6.0%	18.1%	6.0%	67.5%	0.0%
電気電子工学科	3.5%	2.7%	20.4%	5.3%	68.1%	0.0%
都市工学科	6.2%	8.2%	7.2%	3.1%	75.3%	0.0%
理工学科	11.9%	54.3%	12.7%	4.6%	16.4%	0.0%
数理	12.6%	10.3%	9.3%	4.1%	63.7%	0.0%
物理	1.5%	5.4%	28.4%	3.1%	61.6%	0.0%
知能・情報	11.5%	32.7%	11.9%	10.3%	33.6%	0.0%
機械・メカ	11.6%	13.9%	11.1%	3.9%	59.4%	0.0%
電気・電子	6.2%	10.4%	13.5%	8.9%	60.9%	0.0%
基盤・建築	6.1%	19.6%	36.3%	6.5%	31.4%	0.0%
生命・応用	5.7%	5.5%	9.7%	7.2%	71.9%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	<small>学習到達目標を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	3.7%	0.0%	11.1%	14.8%	55.6%	14.8%	0.0%
物理科学科	4.0%	0.0%	0.0%	10.0%	64.0%	22.0%	0.0%
知能情報システム学科	8.3%	0.0%	2.8%	18.1%	52.8%	18.1%	0.0%
機能物質化学科	5.2%	1.2%	0.6%	18.6%	52.9%	21.5%	0.0%
機械システム工学科	2.4%	2.4%	3.6%	20.5%	44.6%	26.5%	0.0%
電気電子工学科	2.7%	0.9%	0.9%	13.3%	61.1%	21.2%	0.0%
都市工学科	6.2%	3.1%	1.0%	23.7%	47.4%	18.6%	0.0%
理工学科	9.6%	0.7%	2.7%	19.9%	54.3%	12.8%	0.0%
数理	6.9%	1.4%	4.5%	21.5%	57.8%	7.9%	0.0%
物理	5.4%	2.3%	4.9%	25.3%	44.8%	17.3%	0.0%
知能・情報	5.0%	0.5%	2.3%	23.7%	57.5%	11.0%	0.0%
機械・メカ	6.6%	0.9%	2.5%	26.8%	52.8%	10.3%	0.0%
電気・電子	8.5%	4.3%	8.0%	31.1%	39.1%	9.0%	0.0%
基盤・建築	3.6%	0.7%	3.3%	27.4%	49.9%	15.2%	0.0%
生命・応用	6.3%	0.9%	4.1%	25.6%	50.5%	12.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	<small>シラバスの内容を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	22.2%	0.0%	3.7%	7.4%	59.3%	7.4%	0.0%
物理科学科	24.0%	0.0%	0.0%	12.0%	50.0%	14.0%	0.0%
知能情報システム学科	13.9%	0.0%	1.4%	20.8%	36.1%	27.8%	0.0%
機能物質化学科	16.3%	1.7%	1.7%	12.2%	44.8%	23.3%	0.0%
機械システム工学科	9.6%	0.0%	2.4%	16.9%	37.3%	33.7%	0.0%
電気電子工学科	8.0%	0.9%	0.0%	11.5%	53.1%	26.5%	0.0%
都市工学科	21.6%	0.0%	2.1%	15.5%	39.2%	21.6%	0.0%
理工学科	15.8%	0.3%	1.0%	13.1%	56.0%	13.8%	0.0%
数理	14.1%	0.2%	3.1%	15.0%	57.8%	9.8%	0.0%
物理	10.1%	0.0%	0.3%	13.9%	50.8%	25.0%	0.0%
知能・情報	9.5%	0.3%	1.2%	13.5%	61.7%	13.8%	0.0%
機械・メカ	8.3%	0.6%	1.5%	21.6%	55.0%	13.1%	0.0%
電気・電子	11.0%	1.5%	2.1%	19.6%	51.3%	14.4%	0.0%
基盤・建築	5.9%	0.3%	1.1%	18.3%	53.9%	20.5%	0.0%
生命・応用	9.6%	0.3%	1.0%	17.2%	56.0%	15.8%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	25.9%	51.9%	22.2%	0.0%
物理科学科	0.0%	2.0%	8.0%	56.0%	34.0%	0.0%

知能情報システム学科	1.4%	1.4%	15.3%	47.2%	34.7%	0.0%
機能物質化学科	1.7%	1.2%	19.2%	44.8%	33.1%	0.0%
機械システム工学科	1.2%	2.4%	12.0%	37.3%	47.0%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	14.2%	49.6%	36.3%	0.0%
都市工学科	4.1%	2.1%	15.5%	48.5%	29.9%	0.0%
理工学科	1.8%	3.3%	19.8%	57.3%	17.7%	0.0%
数理	1.9%	4.5%	21.2%	60.4%	11.9%	0.0%
物理	0.5%	3.1%	13.7%	51.0%	31.7%	0.0%
知能・情報	1.9%	2.7%	21.7%	57.7%	16.1%	0.0%
機械・メカ	1.8%	3.0%	26.7%	54.1%	14.5%	0.0%
電気・電子	4.2%	4.8%	26.4%	50.4%	14.2%	0.0%
基盤・建築	1.8%	2.1%	22.8%	48.9%	24.4%	0.0%
生命・応用	2.4%	5.5%	23.0%	50.8%	18.4%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	7.4%	3.7%	40.7%	48.1%	0.0%
物理科学科	0.0%	6.0%	14.0%	40.0%	40.0%	0.0%
知能情報システム学科	1.4%	8.3%	25.0%	27.8%	37.5%	0.0%
機能物質化学科	0.6%	4.1%	7.6%	41.3%	46.5%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	8.4%	19.3%	25.3%	47.0%	0.0%
電気電子工学科	0.9%	0.9%	4.4%	33.6%	60.2%	0.0%
都市工学科	5.2%	2.1%	14.4%	35.1%	43.3%	0.0%
理工学科	19.8%	16.8%	33.2%	23.1%	7.1%	0.0%
数理	3.1%	10.3%	30.1%	39.9%	16.7%	0.0%
物理	3.4%	6.2%	29.1%	35.6%	25.8%	0.0%
知能・情報	8.4%	10.9%	35.9%	33.4%	11.4%	0.0%
機械・メカ	6.9%	9.6%	35.9%	34.2%	13.4%	0.0%
電気・電子	10.0%	12.9%	35.6%	31.0%	10.6%	0.0%
基盤・建築	6.4%	9.0%	33.2%	34.2%	17.2%	0.0%
生命・応用	7.1%	10.0%	35.4%	35.8%	11.8%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	11.1%	0.0%	0.0%	18.5%	40.7%	29.6%	0.0%
物理科学科	6.0%	0.0%	2.0%	8.0%	46.0%	38.0%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	1.4%	1.4%	12.5%	36.1%	48.6%	0.0%
機能物質化学科	4.7%	1.7%	1.7%	13.4%	43.6%	34.9%	0.0%
機械システム工学科	3.6%	0.0%	3.6%	8.4%	34.9%	49.4%	0.0%
電気電子工学科	1.8%	0.0%	0.9%	10.6%	40.7%	46.0%	0.0%
都市工学科	3.1%	1.0%	3.1%	15.5%	41.2%	36.1%	0.0%
理工学科	5.0%	5.6%	9.2%	28.2%	39.3%	12.7%	0.0%
数理	15.0%	0.7%	3.8%	15.8%	50.8%	13.8%	0.0%
物理	3.1%	1.3%	3.4%	22.2%	44.3%	25.8%	0.0%
知能・情報	2.7%	2.3%	4.5%	27.2%	48.0%	15.2%	0.0%
機械・メカ	2.7%	3.3%	6.7%	28.4%	43.5%	15.3%	0.0%
電気・電子	5.8%	5.5%	5.6%	22.5%	41.5%	19.0%	0.0%
基盤・建築	4.9%	1.3%	3.1%	27.3%	41.0%	22.4%	0.0%
生命・応用	5.8%	3.7%	7.6%	24.5%	43.9%	14.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	7.4%	18.5%	33.3%	40.7%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	2.0%	52.0%	46.0%	0.0%
知能情報システム学科	1.4%	0.0%	12.5%	44.4%	41.7%	0.0%
機能物質化学科	2.3%	2.3%	8.1%	50.6%	36.6%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	1.2%	6.0%	42.2%	50.6%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	1.8%	4.4%	45.1%	48.7%	0.0%
都市工学科	3.1%	2.1%	12.4%	45.4%	37.1%	0.0%
理工学科	1.5%	3.0%	18.3%	56.4%	20.7%	0.0%
数理	2.6%	3.6%	15.8%	61.3%	16.7%	0.0%
物理	1.0%	2.1%	14.7%	47.4%	34.8%	0.0%
知能・情報	1.1%	2.3%	19.7%	60.1%	16.8%	0.0%
機械・メカ	1.7%	3.2%	23.6%	54.9%	16.7%	0.0%
電気・電子	4.7%	4.7%	24.9%	49.8%	16.0%	0.0%
基盤・建築	1.8%	2.2%	20.9%	49.7%	25.4%	0.0%
生命・応用	2.2%	4.5%	22.7%	52.9%	17.7%	0.0%

理工学部（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	9.1%	0.0%	0.0%	63.6%	27.3%	0.0%
物理科学科	0.0%	3.0%	0.0%	12.1%	84.8%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	4.5%	0.0%	13.6%	81.8%	0.0%
機能物質化学科	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	94.6%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
都市工学科	9.1%	4.5%	13.6%	9.1%	63.6%	0.0%
理工学科	0.3%	0.2%	0.8%	6.0%	92.6%	0.0%
数理	0.0%	0.0%	0.9%	10.3%	88.8%	0.0%
物理	1.8%	0.6%	1.2%	9.1%	87.3%	0.0%
知能・情報	1.1%	0.6%	0.6%	3.4%	94.3%	0.0%
機械・メカ	0.3%	0.0%	0.4%	3.2%	96.0%	0.0%
電気・電子	1.0%	0.6%	0.2%	14.1%	84.1%	0.0%
基盤・建築	0.3%	0.4%	0.7%	5.2%	93.4%	0.0%
生命・応用	0.7%	0.1%	0.6%	5.9%	92.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	9.1%	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
物理科学科	3.0%	21.2%	27.3%	24.2%	24.2%	0.0%
知能情報システム学科	4.5%	9.1%	40.9%	22.7%	22.7%	0.0%
機能物質化学科	4.1%	18.9%	37.8%	16.2%	23.0%	0.0%
機械システム工学科	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%
都市工学科	13.6%	27.3%	31.8%	18.2%	9.1%	0.0%
理工学科	3.1%	23.7%	50.4%	17.3%	5.5%	0.0%
数理	4.0%	19.7%	56.5%	16.1%	3.6%	0.0%
物理	4.2%	21.2%	41.2%	23.6%	9.7%	0.0%
知能・情報	2.8%	13.6%	42.2%	24.7%	16.7%	0.0%
機械・メカ	4.6%	18.6%	45.6%	17.3%	13.9%	0.0%
電気・電子	3.4%	23.7%	46.6%	17.7%	8.6%	0.0%
基盤・建築	4.6%	32.4%	35.5%	15.4%	12.1%	0.0%
生命・応用	2.5%	23.9%	47.3%	14.5%	11.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	9.1%	0.0%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%
物理科学科	21.2%	6.1%	27.3%	6.1%	18.2%	21.2%	0.0%
知能情報システム学科	13.6%	18.2%	27.3%	13.6%	22.7%	4.5%	0.0%
機能物質化学科	25.7%	9.5%	25.7%	23.0%	10.8%	5.4%	0.0%
機械システム工学科	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%
電気電子工学科	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	9.1%	63.6%	27.3%	0.0%	0.0%
理工学科	9.8%	6.4%	24.7%	31.8%	17.9%	9.5%	0.0%
数理	12.1%	7.2%	29.1%	32.3%	12.6%	6.7%	0.0%
物理	11.5%	13.3%	18.8%	26.1%	17.6%	12.7%	0.0%
知能・情報	8.7%	4.8%	31.5%	32.5%	14.5%	8.0%	0.0%
機械・メカ	10.3%	7.2%	28.4%	29.8%	13.7%	10.5%	0.0%
電気・電子	9.8%	4.6%	33.7%	28.7%	17.1%	6.0%	0.0%
基盤・建築	6.3%	2.0%	22.6%	41.3%	17.1%	10.6%	0.0%
生命・応用	11.2%	3.7%	26.1%	32.2%	18.1%	8.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%
物理科学科	3.0%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	33.3%	0.0%
知能情報システム学科	4.5%	13.6%	4.5%	27.3%	45.5%	4.5%	0.0%
機能物質化学科	4.1%	0.0%	1.4%	20.3%	47.3%	27.0%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%
理工学科	3.2%	0.5%	2.5%	19.8%	56.3%	17.8%	0.0%
数理	0.0%	0.0%	1.8%	21.5%	51.1%	25.6%	0.0%
物理	3.0%	1.8%	1.2%	15.8%	49.1%	29.1%	0.0%
知能・情報	2.0%	1.7%	4.2%	17.9%	58.7%	15.5%	0.0%
機械・メカ	2.8%	2.2%	4.7%	23.2%	47.0%	20.1%	0.0%
電気・電子	1.4%	0.8%	2.6%	25.7%	55.0%	14.5%	0.0%
基盤・建築	2.2%	0.7%	1.9%	18.0%	51.2%	26.0%	0.0%
生命・応用	1.8%	0.3%	1.7%	21.6%	55.6%	18.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	-------------	----------	--------	-----------	------	------------	------

数理科学科	0.0%	9.1%	0.0%	27.3%	54.5%	9.1%	0.0%
物理科学科	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	42.4%	45.5%	0.0%
知能情報システム学科	13.6%	13.6%	9.1%	9.1%	45.5%	9.1%	0.0%
機能物質化学科	17.6%	0.0%	1.4%	4.1%	36.5%	40.5%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
電気電子工学科	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%
都市工学科	22.7%	4.5%	0.0%	9.1%	31.8%	31.8%	0.0%
理工学科	31.1%	0.7%	2.2%	13.3%	36.1%	16.6%	0.0%
数理	22.0%	0.0%	0.9%	20.6%	40.8%	15.7%	0.0%
物理	14.5%	0.6%	1.2%	14.5%	38.8%	30.3%	0.0%
知能・情報	22.4%	1.5%	1.5%	16.1%	40.5%	17.9%	0.0%
機械・メカ	16.2%	2.1%	2.4%	17.4%	38.4%	23.5%	0.0%
電気・電子	21.1%	0.2%	2.8%	16.3%	43.0%	16.7%	0.0%
基盤・建築	16.0%	1.0%	1.9%	19.1%	35.7%	26.3%	0.0%
生命・応用	14.8%	0.6%	0.4%	17.2%	47.6%	19.4%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数理科学科	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	72.7%	0.0%
物理科学科	9.1%	6.1%	15.2%	6.1%	63.6%	0.0%
知能情報システム学科	9.1%	18.2%	13.6%	0.0%	59.1%	0.0%
機能物質化学科	1.4%	0.0%	24.3%	5.4%	68.9%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学科	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
都市工学科	4.5%	13.6%	18.2%	0.0%	63.6%	0.0%
理工学科	8.5%	17.6%	13.7%	2.9%	57.3%	0.0%
数理	10.3%	11.2%	4.9%	0.9%	72.6%	0.0%
物理	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	98.2%	0.0%
知能・情報	11.6%	26.6%	23.6%	4.2%	34.0%	0.0%
機械・メカ	5.5%	2.5%	7.1%	1.0%	83.9%	0.0%
電気・電子	0.4%	11.6%	0.4%	0.6%	86.9%	0.0%
基盤・建築	1.7%	4.2%	24.9%	1.2%	68.1%	0.0%
生命・応用	1.3%	0.7%	3.5%	0.1%	94.4%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	<small>学習到達目標を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	0.0%	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	3.0%	12.1%	60.6%	24.2%	0.0%
知能情報システム学科	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	68.2%	4.5%	0.0%
機能物質化学科	2.7%	2.7%	0.0%	24.3%	56.8%	13.5%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
電気電子工学科	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%
都市工学科	0.0%	40.9%	18.2%	4.5%	27.3%	9.1%	0.0%
理工学科	5.8%	0.8%	2.6%	19.5%	56.0%	15.4%	0.0%
数理	2.7%	0.4%	2.2%	20.6%	57.8%	16.1%	0.0%
物理	5.5%	1.2%	4.8%	26.7%	44.2%	17.6%	0.0%
知能・情報	3.7%	0.6%	3.4%	23.8%	58.3%	10.2%	0.0%
機械・メカ	8.1%	1.2%	2.8%	22.5%	49.9%	15.5%	0.0%
電気・電子	8.8%	1.6%	4.6%	27.3%	48.6%	9.0%	0.0%
基盤・建築	2.7%	1.0%	2.6%	24.5%	53.8%	15.4%	0.0%
生命・応用	6.2%	1.1%	2.7%	26.3%	50.1%	13.6%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	<small>シラバスの内容を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	63.6%	9.1%	0.0%
物理科学科	9.1%	0.0%	0.0%	12.1%	54.5%	24.2%	0.0%
知能情報システム学科	9.1%	0.0%	13.6%	31.8%	36.4%	9.1%	0.0%
機能物質化学科	14.9%	1.4%	1.4%	14.9%	52.7%	14.9%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
電気電子工学科	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	86.4%	9.1%	0.0%
理工学科	8.5%	0.4%	1.1%	12.2%	60.1%	17.5%	0.0%
数理	11.2%	0.0%	1.3%	17.0%	54.7%	15.7%	0.0%
物理	9.7%	0.0%	0.0%	15.8%	49.1%	25.5%	0.0%
知能・情報	9.7%	1.1%	3.2%	15.6%	57.2%	13.1%	0.0%
機械・メカ	11.4%	1.0%	2.1%	15.5%	50.7%	19.4%	0.0%
電気・電子	12.0%	1.2%	1.2%	16.3%	54.6%	14.7%	0.0%
基盤・建築	4.3%	0.7%	1.9%	14.8%	51.4%	26.9%	0.0%
生命・応用	9.6%	0.0%	0.3%	14.8%	56.9%	18.4%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.1%	0.0%	27.3%	54.5%	9.1%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	9.1%	60.6%	30.3%	0.0%

知能情報システム学科	13.6%	13.6%	13.6%	40.9%	18.2%	0.0%
機能物質化学科	1.4%	1.4%	12.2%	62.2%	23.0%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%
都市工学科	0.0%	4.5%	13.6%	50.0%	31.8%	0.0%
理工学科	1.7%	3.6%	17.8%	55.6%	21.2%	0.0%
数理	0.4%	2.2%	22.0%	54.7%	20.6%	0.0%
物理	3.0%	1.8%	15.8%	44.8%	34.5%	0.0%
知能・情報	3.6%	5.4%	16.8%	57.8%	16.4%	0.0%
機械・メカ	4.0%	4.0%	18.6%	49.8%	23.6%	0.0%
電気・電子	0.6%	7.0%	21.7%	55.0%	15.7%	0.0%
基盤・建築	1.7%	2.6%	16.5%	50.5%	28.6%	0.0%
生命・応用	1.7%	1.7%	18.6%	57.1%	20.9%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.1%	0.0%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	3.0%	9.1%	45.5%	42.4%	0.0%
知能情報システム学科	13.6%	18.2%	31.8%	31.8%	4.5%	0.0%
機能物質化学科	1.4%	5.4%	9.5%	39.2%	44.6%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
電気電子工学科	14.3%	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
都市工学科	18.2%	4.5%	27.3%	18.2%	31.8%	0.0%
理工学科	12.7%	12.0%	30.2%	33.3%	11.8%	0.0%
数理	4.5%	8.1%	35.4%	31.4%	20.6%	0.0%
物理	5.5%	4.8%	30.9%	38.2%	20.6%	0.0%
知能・情報	13.6%	10.7%	31.1%	31.4%	13.3%	0.0%
機械・メカ	5.5%	6.9%	27.8%	39.4%	20.4%	0.0%
電気・電子	5.4%	11.0%	31.1%	38.2%	14.3%	0.0%
基盤・建築	4.3%	9.1%	29.4%	36.1%	21.2%	0.0%
生命・応用	5.1%	6.6%	31.5%	41.1%	15.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%
物理科学科	9.1%	0.0%	0.0%	3.0%	48.5%	39.4%	0.0%
知能情報システム学科	0.0%	27.3%	13.6%	18.2%	31.8%	9.1%	0.0%
機能物質化学科	9.5%	1.4%	4.1%	9.5%	39.2%	36.5%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
都市工学科	4.5%	4.5%	9.1%	9.1%	45.5%	27.3%	0.0%
理工学科	0.4%	2.6%	6.6%	17.9%	50.4%	22.1%	0.0%
数理	17.9%	0.9%	0.9%	18.4%	41.3%	20.6%	0.0%
物理	4.2%	0.6%	3.6%	23.0%	42.4%	26.1%	0.0%
知能・情報	3.2%	3.2%	8.0%	21.8%	46.1%	17.6%	0.0%
機械・メカ	3.4%	3.5%	6.1%	21.7%	44.6%	20.7%	0.0%
電気・電子	4.2%	3.4%	6.8%	19.9%	45.8%	19.9%	0.0%
基盤・建築	5.0%	1.6%	4.5%	20.0%	42.9%	26.0%	0.0%
生命・応用	2.7%	2.7%	4.9%	20.3%	51.0%	18.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.1%	9.1%	45.5%	27.3%	9.1%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.0%	6.1%	45.5%	48.5%	0.0%
知能情報システム学科	9.1%	13.6%	18.2%	50.0%	9.1%	0.0%
機能物質化学科	0.0%	1.4%	5.4%	55.4%	37.8%	0.0%
機械システム工学科	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%
電気電子工学科	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%
都市工学科	9.1%	18.2%	27.3%	31.8%	13.6%	0.0%
理工学科	1.5%	3.2%	15.7%	56.3%	23.2%	0.0%
数理	1.3%	1.3%	16.6%	53.8%	26.9%	0.0%
物理	1.8%	1.8%	13.9%	47.3%	35.2%	0.0%
知能・情報	2.5%	5.9%	17.0%	55.8%	18.9%	0.0%
機械・メカ	4.3%	3.4%	17.1%	50.4%	24.8%	0.0%
電気・電子	0.6%	6.6%	18.7%	51.0%	23.1%	0.0%
基盤・建築	2.7%	1.2%	17.8%	49.9%	28.3%	0.0%
生命・応用	1.3%	1.8%	16.9%	58.3%	21.6%	0.0%

農学部（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	97.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	77.8%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%
生物科学コース	0.4%	0.0%	0.1%	1.7%	97.7%	0.0%
食資源環境科学コース	0.8%	0.3%	0.3%	1.1%	97.6%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.4%	1.0%	98.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.7%	0.7%	1.5%	4.5%	92.5%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	11.9%	13.4%	32.8%	9.0%	32.8%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	17.2%	20.7%	10.3%	51.7%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	35.0%	10.0%	55.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	16.7%	27.8%	27.8%	27.8%	0.0%
生命機能科学科	3.3%	21.7%	30.0%	13.3%	31.7%	0.0%
生物科学コース	11.4%	32.0%	39.2%	12.2%	5.1%	0.0%
食資源環境科学コース	7.0%	30.6%	39.8%	16.7%	5.9%	0.0%
生命機能科学コース	0.9%	22.1%	51.3%	14.8%	10.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	13.5%	42.3%	35.6%	6.0%	2.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	25.4%	13.4%	32.8%	7.5%	6.0%	14.9%	0.0%
生物環境保全学コース	31.0%	13.8%	27.6%	20.7%	6.9%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	25.0%	5.0%	25.0%	10.0%	15.0%	20.0%	0.0%
地域社会開発学コース	22.2%	38.9%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	31.7%	16.7%	33.3%	8.3%	5.0%	5.0%	0.0%
生物科学コース	14.5%	8.2%	22.2%	35.3%	14.7%	5.1%	0.0%
食資源環境科学コース	16.9%	9.7%	29.0%	26.9%	12.4%	5.1%	0.0%
生命機能科学コース	9.4%	7.5%	30.8%	29.6%	14.7%	8.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	24.3%	8.2%	27.0%	25.5%	10.9%	4.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	7.5%	0.0%	1.5%	16.4%	35.8%	38.8%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	34.5%	55.2%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	45.0%	40.0%	0.0%
地域社会開発学コース	11.1%	0.0%	5.6%	11.1%	61.1%	11.1%	0.0%
生命機能科学科	8.3%	0.0%	0.0%	26.7%	36.7%	28.3%	0.0%
生物科学コース	3.4%	0.8%	1.3%	14.1%	62.8%	17.6%	0.0%
食資源環境科学コース	2.7%	0.3%	1.3%	16.1%	61.3%	18.3%	0.0%
生命機能科学コース	0.9%	0.1%	0.9%	8.5%	70.5%	19.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.5%	0.4%	2.6%	18.4%	57.3%	13.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	1.5%	6.0%	29.9%	62.7%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	20.7%	75.9%	0.0%
資源循環生産学コース	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	35.0%	55.0%	0.0%
地域社会開発学コース	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%	44.4%	38.9%	0.0%
生命機能科学科	3.3%	0.0%	1.7%	6.7%	38.3%	50.0%	0.0%
生物科学コース	29.8%	0.4%	0.7%	7.5%	40.9%	20.7%	0.0%
食資源環境科学コース	31.5%	0.0%	1.3%	8.6%	36.8%	21.8%	0.0%
生命機能科学コース	31.5%	0.1%	0.1%	9.5%	40.6%	18.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	31.1%	0.0%	1.1%	12.4%	37.8%	17.6%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
応用生物科学科	0.0%	1.5%	9.0%	4.5%	85.1%	0.0%
生物環境保全学コース	3.4%	0.0%	24.1%	6.9%	65.5%	0.0%
資源循環生産学コース	5.0%	0.0%	10.0%	0.0%	85.0%	0.0%
地域社会開発学コース	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	72.2%	0.0%
生命機能科学科	1.7%	10.0%	3.3%	5.0%	80.0%	0.0%
生物科学コース	10.3%	20.4%	13.2%	1.6%	54.4%	0.0%
食資源環境科学コース	0.8%	35.8%	11.8%	1.3%	50.3%	0.0%
生命機能科学コース	1.3%	29.9%	43.3%	0.4%	25.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	10.5%	6.4%	47.2%	2.2%	33.7%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・あからずい	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

応用生物科学科	13.4%	0.0%	1.5%	13.4%	46.3%	25.4%	0.0%
生物環境保全学コース	3.4%	0.0%	0.0%	10.3%	58.6%	27.6%	0.0%
資源循環生産学コース	5.0%	0.0%	0.0%	15.0%	55.0%	25.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	5.6%	0.0%	22.2%	66.7%	5.6%	0.0%
生命機能科学科	10.0%	0.0%	0.0%	26.7%	48.3%	15.0%	0.0%
生物科学コース	7.7%	0.7%	4.2%	16.7%	58.7%	12.1%	0.0%
食資源環境科学コース	11.3%	0.0%	1.9%	14.2%	60.8%	11.8%	0.0%
生命機能科学コース	4.7%	0.6%	2.2%	11.6%	71.0%	10.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	12.7%	0.7%	1.9%	15.7%	58.4%	10.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	<small>シラバスの内容を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし	
応用生物科学科		22.4%	0.0%	0.0%	11.9%	37.3%	28.4%	0.0%
生物環境保全学コース		20.7%	0.0%	0.0%	3.4%	51.7%	24.1%	0.0%
資源循環生産学コース		20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	35.0%	0.0%
地域社会開発学コース		16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	61.1%	16.7%	0.0%
生命機能科学科		16.7%	0.0%	0.0%	23.3%	50.0%	10.0%	0.0%
生物科学コース		14.4%	0.3%	0.8%	9.4%	60.5%	14.7%	0.0%
食資源環境科学コース		20.2%	0.3%	0.3%	7.3%	58.3%	13.7%	0.0%
生命機能科学コース		10.1%	0.3%	0.9%	7.9%	67.4%	13.3%	0.0%
国際・地域マネジメントコース		25.5%	0.0%	1.5%	11.6%	48.3%	13.1%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	13.4%	40.3%	46.3%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	3.4%	0.0%	41.4%	55.2%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	10.0%	45.0%	45.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	1.7%	25.0%	41.7%	31.7%	0.0%
生物科学コース	0.7%	2.0%	12.2%	56.7%	28.4%	0.0%
食資源環境科学コース	0.5%	3.0%	14.2%	60.2%	22.0%	0.0%
生命機能科学コース	0.3%	1.3%	10.1%	62.0%	26.2%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.4%	2.6%	18.0%	61.8%	17.2%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	13.4%	34.3%	52.2%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	41.4%	58.6%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	20.0%	30.0%	50.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	5.6%	16.7%	44.4%	33.3%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	1.7%	15.0%	35.0%	48.3%	0.0%
生物科学コース	11.2%	12.5%	31.9%	29.0%	15.5%	0.0%
食資源環境科学コース	17.5%	13.4%	32.8%	23.7%	12.6%	0.0%
生命機能科学コース	13.3%	17.6%	32.1%	24.6%	12.3%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.5%	11.2%	30.0%	35.6%	15.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	<small>課題等はなかった</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	17.9%	0.0%	1.5%	10.4%	31.3%	38.8%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	41.4%	51.7%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	5.0%	15.0%	30.0%	50.0%	0.0%
地域社会開発学コース	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%	61.1%	22.2%	0.0%
生命機能科学科	1.7%	0.0%	1.7%	11.7%	46.7%	38.3%	0.0%
生物科学コース	9.1%	1.3%	5.2%	19.0%	46.5%	18.8%	0.0%
食資源環境科学コース	14.0%	1.6%	5.4%	18.0%	40.9%	20.2%	0.0%
生命機能科学コース	3.8%	1.9%	6.3%	17.7%	51.0%	19.2%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	4.5%	3.7%	14.2%	27.0%	39.7%	10.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	4.5%	40.3%	55.2%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	3.4%	3.4%	24.1%	69.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	5.0%	10.0%	35.0%	50.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	1.7%	11.7%	41.7%	45.0%	0.0%
生物科学コース	0.5%	1.7%	10.2%	55.2%	32.3%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	2.7%	8.9%	63.2%	25.3%	0.0%
生命機能科学コース	0.4%	1.2%	6.9%	65.2%	26.2%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.7%	3.4%	11.6%	59.9%	24.3%	0.0%

農学部（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	92.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	0.0%	0.3%	1.1%	98.6%	0.0%
生命機能科学コース	0.2%	0.0%	0.4%	2.7%	96.7%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	2.2%	1.7%	1.1%	2.8%	92.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	22.5%	17.5%	30.0%	5.0%	25.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	8.3%	0.0%	25.0%	16.7%	50.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	5.2%	32.1%	48.4%	10.9%	3.4%	0.0%
生命機能科学コース	4.1%	28.7%	37.9%	17.2%	12.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	5.6%	38.5%	33.5%	14.5%	7.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	25.0%	10.0%	15.0%	17.5%	15.0%	17.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	50.0%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	13.5%	5.7%	29.2%	28.7%	13.5%	9.5%	0.0%
生命機能科学コース	9.6%	8.0%	33.7%	27.1%	12.5%	9.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	20.7%	8.9%	30.7%	20.1%	14.5%	5.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	5.0%	0.0%	0.0%	15.0%	45.0%	35.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.7%	58.3%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	3.7%	0.3%	0.9%	9.5%	58.2%	27.5%	0.0%
生命機能科学コース	0.9%	0.5%	1.7%	11.4%	64.0%	21.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	2.8%	0.6%	2.8%	15.6%	58.1%	20.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.5%	0.0%	2.5%	10.0%	42.5%	42.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	26.1%	0.0%	0.6%	5.2%	38.1%	30.1%	0.0%
生命機能科学コース	29.5%	0.4%	0.8%	9.7%	36.6%	23.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	38.5%	1.7%	3.4%	11.7%	31.3%	13.4%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
応用生物科学科	2.5%	30.0%	5.0%	2.5%	60.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	1.4%	8.0%	52.1%	0.9%	37.5%	0.0%
生命機能科学コース	1.1%	27.1%	51.2%	2.1%	18.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.3%	61.5%	1.7%	1.1%	28.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし

応用生物科学科	10.0%	0.0%	5.0%	5.0%	50.0%	30.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
資源循環生産学コース	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	41.7%	41.7%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	7.7%	0.0%	1.4%	10.0%	61.0%	19.8%	0.0%
生命機能科学コース	3.8%	0.7%	3.9%	18.5%	57.1%	16.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	8.4%	0.6%	3.9%	25.7%	44.7%	16.8%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	<small>シラバスの内容を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし	
応用生物科学科		17.5%	0.0%	2.5%	5.0%	50.0%	25.0%	0.0%
生物環境保全学コース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	41.7%	0.0%
地域社会開発学コース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
生命機能科学科		16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%
生物科学コース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
食資源環境科学コース		15.5%	0.0%	0.3%	5.7%	54.7%	23.8%	0.0%
生命機能科学コース		9.1%	0.5%	0.2%	9.2%	60.6%	20.4%	0.0%
国際・地域マネジメントコース		21.2%	0.6%	1.7%	13.4%	44.7%	18.4%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.0%	7.5%	52.5%	40.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	8.3%	41.7%	50.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	0.3%	0.6%	9.5%	56.2%	33.5%	0.0%
生命機能科学コース	1.2%	1.9%	13.2%	57.8%	25.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	2.8%	6.7%	18.4%	51.4%	20.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	5.0%	0.0%	15.0%	42.5%	37.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	8.3%	0.0%	33.3%	58.3%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	4.6%	3.2%	21.5%	36.4%	34.4%	0.0%
生命機能科学コース	13.2%	18.4%	28.8%	23.3%	16.3%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	18.4%	20.1%	22.3%	19.0%	20.1%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	<small>課題等はなかった</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	7.5%	0.0%	0.0%	7.5%	50.0%	35.0%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	66.7%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
食資源環境科学コース	5.2%	0.3%	3.4%	16.6%	47.9%	26.6%	0.0%
生命機能科学コース	1.7%	1.3%	7.4%	23.9%	45.0%	20.6%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	2.8%	1.7%	5.0%	16.8%	43.0%	30.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	2.5%	5.0%	50.0%	42.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	0.3%	0.0%	7.4%	53.9%	38.4%	0.0%
生命機能科学コース	1.5%	1.8%	11.7%	58.0%	27.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	2.2%	2.2%	16.8%	50.8%	27.9%	0.0%

学校教育学研究科（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	99.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	13.7%	44.3%	32.8%	9.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	22.9%	33.6%	23.7%	19.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	49.6%	48.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	2.3%	0.0%	0.0%	3.1%	37.4%	57.3%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
学校教育学研究科	3.8%	0.0%	5.3%	0.0%	90.8%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	59.5%	35.9%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	50.4%	48.1%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	3.8%	48.1%	47.3%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	5.3%	33.6%	61.1%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	2.3%	9.2%	34.4%	54.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	2.3%	46.6%	51.1%	0.0%

学校教育学研究科（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	18.8%	56.3%	25.0%	0.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	25.0%	43.8%	12.5%	18.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	68.8%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	43.8%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	68.8%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	12.5%	81.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

地域デザイン研究科（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	2.4%	9.5%	21.4%	38.1%	28.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.4%	14.3%	4.8%	40.5%	38.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	42.9%	54.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%	69.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	59.5%	0.0%	40.5%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	50.0%	35.7%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	33.3%	61.9%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.4%	31.0%	66.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	71.4%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	31.0%	66.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	26.2%	73.8%	0.0%

地域デザイン研究科（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	2.7%	13.5%	27.0%	21.6%	35.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	2.7%	5.4%	8.1%	18.9%	35.1%	29.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	32.4%	64.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	29.7%	67.6%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	21.6%	10.8%	67.6%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	37.8%	59.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	29.7%	67.6%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.7%	37.8%	59.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.7%	32.4%	64.9%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	27.0%	64.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	5.4%	29.7%	64.9%	0.0%

先進健康科学研究科（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
専攻共通	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	98.1%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	1.5%	0.0%	1.5%	97.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	98.0%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	97.8%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	86.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
専攻共通	0.0%	15.5%	40.8%	29.1%	14.6%	0.0%
生体医工学コース	1.5%	23.5%	33.8%	10.3%	30.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	4.0%	8.0%	36.0%	20.0%	32.0%	0.0%
医科学コース	6.7%	28.9%	8.9%	24.4%	31.1%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	6.7%	20.0%	33.3%	40.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
専攻共通	3.9%	0.0%	16.5%	35.9%	35.0%	8.7%	0.0%
生体医工学コース	5.9%	2.9%	16.2%	27.9%	8.8%	38.2%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.0%	4.0%	28.0%	24.0%	20.0%	16.0%	0.0%
医科学コース	17.8%	4.4%	13.3%	35.6%	28.9%	0.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	20.0%	33.3%	33.3%	13.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.9%	1.0%	1.9%	25.2%	50.5%	19.4%	0.0%
生体医工学コース	1.5%	0.0%	1.5%	13.2%	39.7%	44.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	44.0%	48.0%	0.0%
医科学コース	17.8%	0.0%	2.2%	17.8%	22.2%	40.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	66.7%	6.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	35.0%	0.0%	0.0%	7.8%	35.9%	21.4%	0.0%
生体医工学コース	1.5%	1.5%	1.5%	2.9%	42.6%	50.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	6.0%	0.0%	0.0%	2.0%	36.0%	56.0%	0.0%
医科学コース	26.7%	2.2%	0.0%	8.9%	22.2%	40.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	53.3%	40.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
専攻共通	6.8%	92.2%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
生体医工学コース	4.4%	13.2%	29.4%	0.0%	52.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	10.0%	6.0%	12.0%	72.0%	0.0%
医科学コース	4.4%	20.0%	2.2%	4.4%	68.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	86.7%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.0%	0.0%	2.9%	22.3%	60.2%	13.6%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	1.5%	13.2%	50.0%	35.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	6.0%	0.0%	0.0%	8.0%	60.0%	26.0%	0.0%
医科学コース	20.0%	0.0%	2.2%	22.2%	51.1%	4.4%	0.0%
総合看護科学コース	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	86.7%	0.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	7.8%	0.0%	1.0%	9.7%	59.2%	22.3%	0.0%
生体医工学コース	2.9%	0.0%	1.5%	11.8%	36.8%	47.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	10.0%	0.0%	0.0%	6.0%	52.0%	32.0%	0.0%
医科学コース	22.2%	8.9%	0.0%	8.9%	33.3%	26.7%	0.0%
総合看護科学コース	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	73.3%	6.7%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.9%	1.9%	16.5%	59.2%	20.4%	0.0%
生体医工学コース	1.5%	2.9%	11.8%	42.6%	41.2%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.0%	0.0%	10.0%	40.0%	48.0%	0.0%
医科学コース	4.4%	2.2%	24.4%	20.0%	48.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	73.3%	26.7%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

専攻共通	13.6%	6.8%	41.7%	27.2%	10.7%	0.0%
生体医工学コース	1.5%	1.5%	19.1%	26.5%	51.5%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	2.0%	6.0%	46.0%	46.0%	0.0%
医科学コース	4.4%	6.7%	33.3%	26.7%	28.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	6.7%	46.7%	46.7%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	6.8%	8.7%	32.0%	38.8%	13.6%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	1.5%	14.7%	27.9%	55.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	44.0%	52.0%	0.0%
医科学コース	4.4%	4.4%	0.0%	33.3%	22.2%	35.6%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	60.0%	26.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.9%	1.0%	16.5%	55.3%	25.2%	0.0%
生体医工学コース	1.5%	0.0%	4.4%	36.8%	57.4%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
医科学コース	4.4%	2.2%	17.8%	26.7%	48.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	6.7%	66.7%	26.7%	0.0%

先進健康科学研究科（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	96.6%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
専攻共通	9.1%	36.4%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	5.2%	27.6%	32.8%	34.5%	0.0%
健康機能分子科学コース	4.1%	13.4%	36.1%	17.5%	28.9%	0.0%
医科学コース	2.3%	14.0%	41.9%	27.9%	14.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	18.5%	29.6%	44.4%	7.4%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
専攻共通	18.2%	0.0%	9.1%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%
生体医工学コース	8.6%	3.4%	25.9%	22.4%	13.8%	25.9%	0.0%
健康機能分子科学コース	3.1%	4.1%	41.2%	26.8%	11.3%	13.4%	0.0%
医科学コース	37.2%	2.3%	14.0%	32.6%	14.0%	0.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	3.7%	0.0%	14.8%	81.5%	0.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	45.5%	36.4%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	36.2%	53.4%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	1.0%	10.3%	48.5%	40.2%	0.0%
医科学コース	9.3%	0.0%	0.0%	11.6%	51.2%	27.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.3%	3.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	45.5%	0.0%
生体医工学コース	1.7%	0.0%	0.0%	8.6%	25.9%	63.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	6.2%	0.0%	0.0%	6.2%	34.0%	53.6%	0.0%
医科学コース	23.3%	0.0%	0.0%	14.0%	39.5%	23.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.3%	40.7%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
専攻共通	0.0%	81.8%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
生体医工学コース	10.3%	29.3%	24.1%	5.2%	31.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	4.1%	23.7%	9.3%	62.9%	0.0%
医科学コース	2.3%	62.8%	2.3%	4.7%	27.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	3.7%	7.4%	0.0%	88.9%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%
生体医工学コース	1.7%	0.0%	1.7%	10.3%	43.1%	43.1%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.1%	0.0%	0.0%	4.1%	59.8%	34.0%	0.0%
医科学コース	16.3%	0.0%	0.0%	16.3%	58.1%	9.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	92.6%	0.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	18.2%	0.0%
生体医工学コース	3.4%	0.0%	0.0%	10.3%	41.4%	44.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	3.1%	0.0%	0.0%	2.1%	59.8%	35.1%	0.0%
医科学コース	30.2%	0.0%	0.0%	4.7%	41.9%	23.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.3%	3.7%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	1.7%	8.6%	41.4%	48.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	9.3%	45.4%	45.4%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	25.6%	46.5%	27.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	70.4%	29.6%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

専攻共通	0.0%	0.0%	36.4%	27.3%	36.4%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	1.7%	13.8%	24.1%	60.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	1.0%	2.1%	8.2%	33.0%	55.7%	0.0%
医科学コース	7.0%	0.0%	44.2%	27.9%	20.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	51.9%	48.1%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%	45.5%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	1.7%	8.6%	41.4%	48.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.1%	0.0%	2.1%	5.2%	46.4%	44.3%	0.0%
医科学コース	2.3%	0.0%	4.7%	27.9%	34.9%	30.2%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.0%	37.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%
生体医工学コース	3.4%	0.0%	1.7%	36.2%	58.6%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	4.1%	48.5%	47.4%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	11.6%	51.2%	37.2%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	63.0%	37.0%	0.0%

工学系研究科（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
博士後期課程	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	75.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%

工学系研究科（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%	69.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	30.8%	53.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	38.5%	7.7%	53.8%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	76.9%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	76.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%

理工学研究科（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	95.7%	0.0%
データサイエンスコース	20.0%	0.0%	0.0%	2.5%	77.5%	0.0%
知能情報工学コース	13.8%	0.0%	0.0%	1.7%	84.5%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	0.7%	1.5%	97.8%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	90.2%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	95.1%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	95.7%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	12.1%	87.9%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	17.4%	39.1%	43.5%	0.0%
データサイエンスコース	20.0%	7.5%	30.0%	22.5%	20.0%	0.0%
知能情報工学コース	13.8%	5.2%	17.2%	25.9%	37.9%	0.0%
機能材料化学コース	0.7%	13.2%	47.1%	18.4%	20.6%	0.0%
機械エネルギー工学コース	3.3%	8.2%	34.4%	24.6%	29.5%	0.0%
機械システム工学コース	1.2%	16.0%	32.1%	19.8%	30.9%	0.0%
電気電子工学コース	2.4%	4.8%	29.8%	39.3%	23.8%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	12.8%	34.0%	25.5%	27.7%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	15.2%	33.3%	3.0%	48.5%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数学コース	12.5%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%
物理学コース	8.7%	4.3%	0.0%	43.5%	13.0%	30.4%	0.0%
データサイエンスコース	12.5%	5.0%	15.0%	45.0%	17.5%	5.0%	0.0%
知能情報工学コース	10.3%	8.6%	27.6%	36.2%	15.5%	1.7%	0.0%
機能材料化学コース	4.4%	5.9%	36.8%	33.8%	10.3%	8.8%	0.0%
機械エネルギー工学コース	8.2%	3.3%	24.6%	18.0%	24.6%	21.3%	0.0%
機械システム工学コース	7.4%	1.2%	22.2%	19.8%	27.2%	22.2%	0.0%
電気電子工学コース	8.3%	0.0%	17.9%	39.3%	27.4%	7.1%	0.0%
都市基盤工学コース	10.6%	0.0%	17.0%	12.8%	31.9%	27.7%	0.0%
建築環境デザインコース	21.2%	3.0%	3.0%	12.1%	27.3%	33.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.7%	21.7%	13.0%	56.5%	0.0%
データサイエンスコース	17.5%	0.0%	0.0%	5.0%	60.0%	17.5%	0.0%
知能情報工学コース	12.1%	0.0%	0.0%	10.3%	62.1%	15.5%	0.0%
機能材料化学コース	11.8%	0.7%	0.0%	7.4%	55.9%	24.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	1.6%	0.0%	1.6%	6.6%	50.8%	39.3%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	48.1%	46.9%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	1.2%	13.1%	65.5%	20.2%	0.0%
都市基盤工学コース	4.3%	0.0%	0.0%	6.4%	42.6%	46.8%	0.0%
建築環境デザインコース	3.0%	0.0%	0.0%	6.1%	45.5%	45.5%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.7%	8.7%	8.7%	73.9%	0.0%
データサイエンスコース	37.5%	2.5%	2.5%	7.5%	35.0%	15.0%	0.0%
知能情報工学コース	24.1%	1.7%	3.4%	8.6%	39.7%	22.4%	0.0%
機能材料化学コース	11.0%	0.0%	0.0%	17.6%	36.0%	35.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	4.9%	0.0%	0.0%	3.3%	55.7%	36.1%	0.0%
機械システム工学コース	7.4%	0.0%	1.2%	3.7%	44.4%	43.2%	0.0%
電気電子工学コース	9.5%	0.0%	0.0%	10.7%	50.0%	29.8%	0.0%
都市基盤工学コース	4.3%	0.0%	2.1%	2.1%	36.2%	55.3%	0.0%
建築環境デザインコース	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	39.4%	54.5%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
物理学コース	8.7%	52.2%	17.4%	0.0%	21.7%	0.0%

データサイエンスコース	0.0%	30.0%	5.0%	5.0%	60.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	22.4%	22.4%	13.8%	41.4%	0.0%
機能材料化学コース	8.1%	30.9%	11.0%	2.9%	47.1%	0.0%
機械エネルギー工学コース	6.6%	13.1%	9.8%	8.2%	62.3%	0.0%
機械システム工学コース	7.4%	9.9%	0.0%	4.9%	77.8%	0.0%
電気電子工学コース	6.0%	47.6%	3.6%	4.8%	38.1%	0.0%
都市基盤工学コース	2.1%	2.1%	40.4%	8.5%	46.8%	0.0%
建築環境デザインコース	9.1%	3.0%	48.5%	6.1%	33.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	<small>学習到達目標を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	4.3%	21.7%	21.7%	52.2%	0.0%
データサイエンスコース	12.5%	5.0%	7.5%	22.5%	45.0%	7.5%	0.0%
知能情報工学コース	10.3%	3.4%	3.4%	25.9%	51.7%	5.2%	0.0%
機能材料化学コース	5.9%	0.7%	0.0%	11.8%	60.3%	21.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	3.3%	0.0%	1.6%	6.6%	55.7%	32.8%	0.0%
機械システム工学コース	4.9%	0.0%	0.0%	8.6%	49.4%	37.0%	0.0%
電気電子工学コース	4.8%	0.0%	0.0%	17.9%	61.9%	15.5%	0.0%
都市基盤工学コース	8.5%	0.0%	0.0%	10.6%	53.2%	27.7%	0.0%
建築環境デザインコース	15.2%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	39.4%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	<small>シラバスの内容を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	30.4%	17.4%	52.2%	0.0%
データサイエンスコース	12.5%	2.5%	0.0%	12.5%	60.0%	12.5%	0.0%
知能情報工学コース	8.6%	1.7%	0.0%	12.1%	72.4%	5.2%	0.0%
機能材料化学コース	7.4%	0.7%	0.0%	13.2%	51.5%	27.2%	0.0%
機械エネルギー工学コース	11.5%	0.0%	0.0%	3.3%	52.5%	32.8%	0.0%
機械システム工学コース	8.6%	0.0%	0.0%	4.9%	48.1%	38.3%	0.0%
電気電子工学コース	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	60.7%	29.8%	0.0%
都市基盤工学コース	10.6%	0.0%	0.0%	4.3%	59.6%	25.5%	0.0%
建築環境デザインコース	12.1%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	42.4%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	26.1%	8.7%	65.2%	0.0%
データサイエンスコース	7.5%	5.0%	20.0%	40.0%	27.5%	0.0%
知能情報工学コース	5.2%	3.4%	29.3%	50.0%	12.1%	0.0%
機能材料化学コース	1.5%	0.7%	16.2%	54.4%	27.2%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	3.3%	50.8%	45.9%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	3.7%	44.4%	51.9%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	15.5%	65.5%	19.0%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	4.3%	6.4%	55.3%	34.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	3.0%	6.1%	48.5%	42.4%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	34.8%	17.4%	47.8%	0.0%
データサイエンスコース	17.5%	7.5%	20.0%	25.0%	30.0%	0.0%
知能情報工学コース	10.3%	6.9%	17.2%	36.2%	29.3%	0.0%
機能材料化学コース	1.5%	2.9%	25.7%	37.5%	32.4%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	1.6%	11.5%	52.5%	34.4%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	2.5%	16.0%	45.7%	35.8%	0.0%
電気電子工学コース	3.6%	3.6%	14.3%	51.2%	27.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	8.5%	31.9%	59.6%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	<small>課題等はなかった</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.7%	8.7%	26.1%	56.5%	0.0%
データサイエンスコース	22.5%	2.5%	2.5%	17.5%	35.0%	20.0%	0.0%
知能情報工学コース	15.5%	1.7%	1.7%	12.1%	48.3%	20.7%	0.0%
機能材料化学コース	6.6%	0.0%	1.5%	24.3%	42.6%	25.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%	54.1%	39.3%	0.0%

機械システム工学コース	2.5%	0.0%	0.0%	9.9%	48.1%	39.5%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	4.8%	4.8%	22.6%	45.2%	22.6%	0.0%
都市基盤工学コース	2.1%	2.1%	6.4%	12.8%	25.5%	51.1%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	36.4%	57.6%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.7%	17.4%	73.9%	0.0%
データサイエンスコース	10.0%	2.5%	20.0%	45.0%	22.5%	0.0%
知能情報工学コース	6.9%	1.7%	17.2%	55.2%	19.0%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	2.9%	5.1%	55.1%	36.8%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	4.9%	50.8%	44.3%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	4.9%	46.9%	48.1%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	7.1%	64.3%	28.6%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	2.1%	8.5%	36.2%	53.2%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	6.1%	42.4%	51.5%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

理工学研究科（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	97.1%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	92.6%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	2.1%	3.2%	94.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	4.3%	1.4%	94.3%	0.0%
機械システム工学コース	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	95.9%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	99.0%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	17.6%	23.5%	58.8%	0.0%
データサイエンスコース	2.9%	8.6%	20.0%	28.6%	40.0%	0.0%
知能情報工学コース	5.9%	14.7%	17.6%	32.4%	29.4%	0.0%
機能材料化学コース	2.1%	11.6%	42.1%	15.8%	28.4%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	11.4%	32.9%	28.6%	27.1%	0.0%
機械システム工学コース	2.0%	4.1%	28.6%	30.6%	34.7%	0.0%
電気電子工学コース	5.1%	19.4%	34.7%	14.3%	26.5%	0.0%
都市基盤工学コース	2.8%	11.1%	22.2%	22.2%	41.7%	0.0%
建築環境デザインコース	4.2%	8.3%	12.5%	25.0%	50.0%	0.0%
博士後期課程	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	88.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%
物理学コース	29.4%	11.8%	5.9%	23.5%	0.0%	29.4%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	2.9%	37.1%	37.1%	20.0%	2.9%	0.0%
知能情報工学コース	8.8%	5.9%	33.8%	32.4%	16.2%	2.9%	0.0%
機能材料化学コース	11.6%	6.3%	28.4%	29.5%	15.8%	8.4%	0.0%
機械エネルギー工学コース	10.0%	12.9%	17.1%	15.7%	18.6%	25.7%	0.0%
機械システム工学コース	10.2%	12.2%	20.4%	20.4%	16.3%	20.4%	0.0%
電気電子工学コース	8.2%	4.1%	38.8%	18.4%	20.4%	10.2%	0.0%
都市基盤工学コース	19.4%	2.8%	22.2%	11.1%	13.9%	30.6%	0.0%
建築環境デザインコース	29.2%	0.0%	12.5%	20.8%	8.3%	29.2%	0.0%
博士後期課程	11.8%	5.9%	5.9%	29.4%	11.8%	35.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
物理学コース	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	47.1%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	51.4%	28.6%	0.0%
知能情報工学コース	4.4%	0.0%	1.5%	19.1%	57.4%	17.6%	0.0%
機能材料化学コース	1.1%	1.1%	2.1%	8.4%	50.5%	36.8%	0.0%
機械エネルギー工学コース	4.3%	0.0%	0.0%	7.1%	38.6%	50.0%	0.0%
機械システム工学コース	2.0%	0.0%	2.0%	2.0%	46.9%	46.9%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	1.0%	3.1%	11.2%	50.0%	34.7%	0.0%
都市基盤工学コース	2.8%	2.8%	0.0%	13.9%	30.6%	50.0%	0.0%
建築環境デザインコース	16.7%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	45.8%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.9%	47.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	17.6%	58.8%	0.0%
データサイエンスコース	17.1%	0.0%	0.0%	17.1%	34.3%	31.4%	0.0%
知能情報工学コース	11.8%	0.0%	1.5%	13.2%	47.1%	26.5%	0.0%
機能材料化学コース	8.4%	0.0%	0.0%	10.5%	35.8%	45.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	8.6%	0.0%	0.0%	5.7%	22.9%	62.9%	0.0%
機械システム工学コース	6.1%	0.0%	0.0%	4.1%	26.5%	63.3%	0.0%
電気電子工学コース	10.2%	0.0%	1.0%	10.2%	29.6%	49.0%	0.0%
都市基盤工学コース	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	27.8%	61.1%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	37.5%	54.2%	0.0%
博士後期課程	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	41.2%	47.1%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
数学コース	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
物理学コース	0.0%	11.8%	35.3%	5.9%	47.1%	0.0%

データサイエンスコース	8.6%	37.1%	28.6%	2.9%	22.9%	0.0%
知能情報工学コース	5.9%	23.5%	30.9%	7.4%	32.4%	0.0%
機能材料化学コース	5.3%	17.9%	18.9%	4.2%	53.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	15.7%	12.9%	1.4%	4.3%	65.7%	0.0%
機械システム工学コース	4.1%	0.0%	2.0%	4.1%	89.8%	0.0%
電気電子工学コース	6.1%	13.3%	4.1%	5.1%	71.4%	0.0%
都市基盤工学コース	5.6%	5.6%	16.7%	11.1%	61.1%	0.0%
建築環境デザインコース	4.2%	8.3%	12.5%	12.5%	62.5%	0.0%
博士後期課程	11.8%	64.7%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	<small>学習到達目標を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%
物理学コース	17.6%	0.0%	0.0%	17.6%	17.6%	47.1%	0.0%
データサイエンスコース	2.9%	0.0%	2.9%	20.0%	65.7%	8.6%	0.0%
知能情報工学コース	2.9%	0.0%	1.5%	23.5%	58.8%	13.2%	0.0%
機能材料化学コース	3.2%	0.0%	2.1%	11.6%	55.8%	27.4%	0.0%
機械エネルギー工学コース	4.3%	0.0%	1.4%	14.3%	35.7%	44.3%	0.0%
機械システム工学コース	8.2%	0.0%	0.0%	10.2%	38.8%	42.9%	0.0%
電気電子工学コース	3.1%	0.0%	1.0%	15.3%	56.1%	24.5%	0.0%
都市基盤工学コース	5.6%	0.0%	2.8%	11.1%	50.0%	30.6%	0.0%
建築環境デザインコース	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	50.0%	41.7%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	47.1%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	<small>シラバスの内容を把握していないため分からない</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%
物理学コース	23.5%	0.0%	5.9%	11.8%	23.5%	35.3%	0.0%
データサイエンスコース	2.9%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	25.7%	0.0%
知能情報工学コース	4.4%	0.0%	0.0%	16.2%	66.2%	13.2%	0.0%
機能材料化学コース	9.5%	1.1%	1.1%	5.3%	52.6%	30.5%	0.0%
機械エネルギー工学コース	4.3%	0.0%	0.0%	14.3%	32.9%	48.6%	0.0%
機械システム工学コース	8.2%	0.0%	0.0%	2.0%	36.7%	53.1%	0.0%
電気電子工学コース	4.1%	0.0%	1.0%	9.2%	42.9%	42.9%	0.0%
都市基盤工学コース	11.1%	0.0%	5.6%	11.1%	36.1%	36.1%	0.0%
建築環境デザインコース	12.5%	0.0%	0.0%	8.3%	37.5%	41.7%	0.0%
博士後期課程	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	35.3%	52.9%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%
物理学コース	0.0%	5.9%	5.9%	29.4%	58.8%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	5.7%	22.9%	48.6%	22.9%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	2.9%	29.4%	54.4%	13.2%	0.0%
機能材料化学コース	1.1%	2.1%	10.5%	48.4%	37.9%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	1.4%	7.1%	35.7%	55.7%	0.0%
機械システム工学コース	2.0%	0.0%	2.0%	36.7%	59.2%	0.0%
電気電子工学コース	3.1%	1.0%	12.2%	40.8%	42.9%	0.0%
都市基盤工学コース	2.8%	0.0%	2.8%	44.4%	50.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	45.8%	54.2%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	11.8%	47.1%	41.2%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	23.5%	35.3%	41.2%	0.0%
データサイエンスコース	2.9%	5.7%	31.4%	34.3%	25.7%	0.0%
知能情報工学コース	1.5%	8.8%	26.5%	45.6%	17.6%	0.0%
機能材料化学コース	1.1%	8.4%	14.7%	26.3%	49.5%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	1.4%	14.3%	30.0%	54.3%	0.0%
機械システム工学コース	4.1%	2.0%	6.1%	34.7%	53.1%	0.0%
電気電子工学コース	2.0%	3.1%	17.3%	31.6%	45.9%	0.0%
都市基盤工学コース	2.8%	5.6%	8.3%	30.6%	52.8%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	4.2%	12.5%	25.0%	58.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	11.8%	5.9%	41.2%	41.2%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	<small>課題等はなかった</small>	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%
物理学コース	5.9%	0.0%	5.9%	17.6%	23.5%	47.1%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	2.9%	28.6%	34.3%	34.3%	0.0%
知能情報工学コース	1.5%	0.0%	2.9%	23.5%	50.0%	22.1%	0.0%
機能材料化学コース	8.4%	0.0%	5.3%	17.9%	35.8%	32.6%	0.0%
機械エネルギー工学コース	4.3%	1.4%	0.0%	10.0%	32.9%	51.4%	0.0%

機械システム工学コース	2.0%	0.0%	4.1%	6.1%	34.7%	53.1%	0.0%
電気電子工学コース	3.1%	2.0%	4.1%	14.3%	36.7%	39.8%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	2.8%	2.8%	5.6%	33.3%	55.6%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	4.2%	8.3%	29.2%	58.3%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	47.1%	35.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	11.8%	29.4%	58.8%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	2.9%	11.4%	51.4%	34.3%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	1.5%	16.2%	61.8%	20.6%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	2.1%	4.2%	49.5%	44.2%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	1.4%	8.6%	35.7%	54.3%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	6.1%	30.6%	63.3%	0.0%
電気電子工学コース	1.0%	1.0%	5.1%	37.8%	55.1%	0.0%
都市基盤工学コース	2.8%	0.0%	2.8%	47.2%	47.2%	0.0%
建築環境デザインコース	8.3%	0.0%	0.0%	37.5%	54.2%	0.0%
博士後期課程	0.0%	0.0%	0.0%	52.9%	47.1%	0.0%

農学研究科（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	97.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	4.3%	28.6%	18.6%	16.4%	32.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	15.0%	7.9%	21.4%	25.7%	18.6%	11.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.1%	0.7%	0.0%	12.1%	50.7%	34.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	5.0%	0.0%	2.1%	6.4%	42.1%	44.3%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
農学研究科	2.1%	1.4%	32.1%	0.7%	63.6%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.6%	0.0%	0.7%	10.0%	55.7%	30.0%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	10.7%	0.0%	0.0%	9.3%	55.7%	24.3%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	7.9%	55.0%	37.1%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.7%	10.7%	44.3%	44.3%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	4.3%	0.0%	0.0%	5.7%	54.3%	35.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	2.9%	47.9%	49.3%	0.0%

農学研究科（令和3年度後学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	8.2%	22.4%	14.3%	18.4%	36.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	9.2%	12.2%	25.5%	16.3%	16.3%	20.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.0%	0.0%	1.0%	9.2%	33.7%	54.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	6.1%	0.0%	1.0%	3.1%	29.6%	60.2%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
農学研究科	2.0%	10.2%	6.1%	10.2%	71.4%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	8.2%	1.0%	1.0%	7.1%	53.1%	29.6%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	16.3%	0.0%	1.0%	13.3%	37.8%	31.6%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	11.2%	40.8%	48.0%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	4.1%	11.2%	28.6%	56.1%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	12.2%	0.0%	3.1%	5.1%	34.7%	44.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	4.1%	33.7%	62.2%	0.0%

全学教育機構（令和3年度前学期）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.2%	0.3%	0.5%	4.3%	94.6%	0.0%
体育実技	0.5%	0.0%	0.5%	1.6%	97.4%	0.0%
情報リテラシー科目	0.3%	0.2%	0.9%	5.9%	92.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.8%	0.4%	1.6%	7.6%	89.7%	0.0%
文化の分野	1.6%	0.5%	1.9%	7.3%	88.7%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	0.4%	1.3%	5.8%	91.7%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	1.1%	6.1%	92.8%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	1.4%	3.4%	95.2%	0.0%
生活と科学コース	0.0%	0.3%	1.5%	6.8%	91.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.3%	0.0%	3.8%	95.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	97.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.1%	0.0%	0.4%	3.9%	94.7%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.4%	0.4%	7.0%	92.2%	0.0%
大学院教養科目	0.4%	0.0%	0.4%	1.5%	97.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	3.7%	24.8%	42.0%	20.1%	9.4%	0.0%
体育実技	61.5%	31.8%	6.3%	0.0%	0.5%	0.0%
情報リテラシー科目	7.8%	35.8%	33.1%	13.1%	10.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	7.1%	47.8%	35.1%	6.7%	3.2%	0.0%
文化の分野	7.9%	34.5%	38.8%	14.9%	3.9%	0.0%
現代社会の分野	6.9%	35.4%	35.0%	13.0%	9.7%	0.0%
環境コース	5.7%	37.5%	37.5%	13.3%	6.1%	0.0%
文化と共生コース	0.7%	16.4%	24.0%	34.9%	24.0%	0.0%
生活と科学コース	2.9%	25.4%	41.9%	22.7%	7.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.0%	29.3%	40.4%	18.1%	5.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.9%	32.9%	31.7%	18.3%	12.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	7.1%	28.0%	38.7%	16.0%	10.3%	0.0%
人間と社会コース	4.8%	35.7%	37.4%	17.4%	4.8%	0.0%
大学院教養科目	5.8%	44.4%	32.0%	11.6%	6.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	15.1%	9.4%	27.7%	26.2%	13.4%	8.2%	0.0%
体育実技	13.5%	6.8%	34.4%	24.0%	16.7%	4.7%	0.0%
情報リテラシー科目	15.4%	8.8%	30.8%	25.3%	13.0%	6.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	11.5%	6.8%	27.6%	32.3%	13.5%	8.2%	0.0%
文化の分野	12.8%	6.3%	27.1%	29.5%	15.2%	9.1%	0.0%
現代社会の分野	10.0%	5.6%	27.5%	31.7%	16.3%	9.0%	0.0%
環境コース	8.3%	6.1%	28.0%	38.6%	14.0%	4.9%	0.0%
文化と共生コース	12.3%	12.3%	26.0%	21.9%	17.1%	10.3%	0.0%
生活と科学コース	10.0%	5.0%	27.7%	32.7%	16.8%	7.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	17.8%	5.6%	32.1%	30.7%	9.4%	4.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	7.7%	5.7%	29.3%	34.6%	15.4%	7.3%	0.0%
サブスペシャルティコース	12.4%	6.0%	28.4%	35.1%	10.6%	7.4%	0.0%
人間と社会コース	10.0%	6.5%	30.0%	30.9%	16.5%	6.1%	0.0%
大学院教養科目	5.0%	7.7%	19.7%	36.7%	22.8%	8.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	4.3%	0.8%	2.9%	16.8%	53.2%	21.9%	0.0%
体育実技	1.0%	0.5%	3.1%	10.4%	52.1%	32.8%	0.0%
情報リテラシー科目	2.7%	0.9%	2.1%	17.3%	53.7%	23.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.6%	0.8%	1.4%	17.2%	57.0%	22.0%	0.0%
文化の分野	3.7%	0.3%	1.9%	17.4%	51.1%	25.4%	0.0%
現代社会の分野	2.2%	0.2%	1.7%	12.7%	57.7%	25.5%	0.0%
環境コース	2.3%	0.4%	2.7%	24.6%	56.8%	13.3%	0.0%
文化と共生コース	2.7%	0.7%	0.7%	14.4%	54.1%	27.4%	0.0%
生活と科学コース	3.2%	0.6%	1.2%	16.8%	60.8%	17.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	3.5%	0.0%	0.7%	13.6%	54.0%	28.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.8%	0.8%	1.6%	13.4%	59.3%	24.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	3.2%	0.0%	1.1%	12.1%	52.8%	30.9%	0.0%
人間と社会コース	0.4%	0.9%	2.2%	21.3%	57.8%	17.4%	0.0%
大学院教養科目	1.5%	1.9%	5.0%	19.7%	57.5%	14.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	24.2%	0.8%	1.8%	11.3%	39.3%	22.5%	0.0%
体育実技	19.3%	0.0%	1.0%	6.3%	43.8%	29.7%	0.0%
情報リテラシー科目	23.4%	0.9%	1.6%	9.0%	37.2%	27.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	29.6%	0.5%	0.8%	14.5%	34.7%	19.9%	0.0%

文化の分野	30.8%	0.4%	0.7%	15.0%	30.5%	22.5%	0.0%
現代社会の分野	29.4%	0.2%	1.3%	13.6%	34.6%	21.0%	0.0%
環境コース	26.1%	0.0%	2.7%	17.4%	41.3%	12.5%	0.0%
文化と共生コース	8.2%	0.7%	2.1%	10.3%	45.2%	33.6%	0.0%
生活と科学コース	24.5%	1.2%	1.2%	13.3%	42.8%	17.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	35.2%	0.0%	0.7%	13.9%	27.9%	22.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	16.7%	0.0%	2.4%	10.2%	45.1%	25.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.7%	0.4%	1.8%	9.6%	37.9%	38.7%	0.0%
人間と社会コース	12.2%	0.9%	2.2%	13.5%	52.6%	18.7%	0.0%
大学院教養科目	20.1%	2.7%	3.1%	19.7%	41.3%	13.1%	0.0%

C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
外国語科目	0.5%	0.4%	43.9%	1.6%	53.6%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
情報リテラシー科目	2.9%	14.9%	42.7%	4.1%	35.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.9%	43.1%	29.7%	1.6%	22.7%	0.0%
文化の分野	19.5%	45.1%	12.4%	2.0%	21.0%	0.0%
現代社会の分野	5.9%	26.4%	23.9%	1.5%	42.3%	0.0%
環境コース	14.8%	40.5%	8.3%	4.5%	31.8%	0.0%
文化と共生コース	30.1%	0.0%	45.2%	3.4%	21.2%	0.0%
生活と科学コース	1.8%	2.4%	51.9%	5.9%	38.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	47.0%	0.0%	1.0%	51.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	0.8%	35.0%	2.0%	61.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.1%	6.7%	75.2%	1.4%	15.6%	0.0%
人間と社会コース	0.9%	0.0%	15.2%	2.2%	81.7%	0.0%
大学院教養科目	1.9%	7.3%	79.9%	1.5%	9.3%	0.0%

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	10.0%	0.5%	1.8%	17.2%	55.0%	15.3%	0.0%
体育実技	4.2%	0.0%	0.5%	4.7%	57.8%	32.8%	0.0%
情報リテラシー科目	9.6%	0.2%	1.7%	16.0%	56.0%	16.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	8.3%	0.2%	2.1%	18.4%	56.9%	14.1%	0.0%
文化の分野	8.8%	0.7%	2.5%	19.4%	51.9%	16.8%	0.0%
現代社会の分野	7.0%	0.3%	1.3%	15.1%	58.6%	17.7%	0.0%
環境コース	6.4%	0.4%	1.5%	23.1%	59.8%	8.7%	0.0%
文化と共生コース	4.8%	0.7%	5.5%	19.9%	54.8%	14.4%	0.0%
生活と科学コース	7.1%	0.9%	2.9%	20.4%	57.5%	11.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	5.9%	0.0%	1.4%	8.4%	64.8%	19.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.4%	0.0%	1.2%	11.4%	72.0%	13.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	6.4%	0.4%	1.1%	9.9%	62.8%	19.5%	0.0%
人間と社会コース	3.9%	0.9%	2.2%	29.1%	55.7%	8.3%	0.0%
大学院教養科目	4.2%	0.8%	1.9%	22.0%	57.5%	13.5%	0.0%

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	16.2%	0.3%	0.8%	12.0%	51.9%	18.8%	0.0%
体育実技	12.5%	0.0%	0.5%	5.7%	52.1%	29.2%	0.0%
情報リテラシー科目	16.5%	0.3%	1.0%	10.0%	52.8%	19.4%	0.0%
自然科学と技術の分野	12.2%	0.4%	0.8%	10.0%	55.7%	21.0%	0.0%
文化の分野	13.3%	0.4%	1.4%	12.1%	50.4%	22.4%	0.0%
現代社会の分野	10.2%	0.4%	0.6%	9.5%	56.6%	22.7%	0.0%
環境コース	10.6%	1.1%	0.4%	18.9%	56.8%	12.1%	0.0%
文化と共生コース	9.6%	0.7%	1.4%	14.4%	55.5%	18.5%	0.0%
生活と科学コース	9.7%	1.2%	1.2%	8.6%	64.3%	15.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	18.5%	0.0%	0.0%	5.6%	50.2%	25.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	8.5%	0.0%	0.0%	8.5%	60.6%	22.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.7%	0.0%	1.4%	12.4%	49.6%	24.8%	0.0%
人間と社会コース	9.6%	0.0%	0.9%	14.8%	60.4%	14.3%	0.0%
大学院教養科目	5.8%	0.8%	2.7%	15.8%	58.7%	16.2%	0.0%

C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.4%	3.8%	17.4%	54.4%	23.0%	0.0%
体育実技	1.6%	1.6%	10.4%	51.6%	34.9%	0.0%
情報リテラシー科目	1.6%	3.1%	12.9%	55.2%	27.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.5%	1.4%	12.5%	59.1%	26.4%	0.0%
文化の分野	1.4%	3.5%	13.3%	52.1%	29.6%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	1.5%	10.5%	57.2%	30.0%	0.0%
環境コース	1.5%	4.5%	20.5%	59.8%	13.6%	0.0%
文化と共生コース	2.1%	6.8%	10.3%	51.4%	29.5%	0.0%
生活と科学コース	2.7%	5.3%	15.9%	59.3%	16.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	1.0%	7.7%	53.0%	38.3%	0.0%

地域・佐賀学コース	0.0%	2.0%	11.4%	61.4%	25.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.4%	1.4%	9.6%	52.5%	35.1%	0.0%
人間と社会コース	1.7%	4.3%	17.8%	61.3%	14.8%	0.0%
大学院教養科目	3.1%	7.7%	20.8%	50.6%	17.8%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.7%	2.5%	8.9%	42.3%	44.5%	0.0%
体育実技	4.7%	6.3%	27.1%	32.8%	29.2%	0.0%
情報リテラシー科目	13.9%	17.1%	34.1%	24.7%	10.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	15.5%	16.3%	33.5%	24.7%	10.1%	0.0%
文化の分野	9.9%	12.4%	28.2%	30.9%	18.6%	0.0%
現代社会の分野	12.7%	15.7%	31.5%	26.9%	13.2%	0.0%
環境コース	4.5%	14.8%	27.3%	38.3%	15.2%	0.0%
文化と共生コース	2.1%	2.7%	15.8%	34.2%	45.2%	0.0%
生活と科学コース	8.6%	10.0%	25.4%	36.3%	19.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	6.3%	15.7%	33.8%	27.9%	16.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.5%	5.3%	15.4%	38.6%	36.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	2.1%	7.1%	17.4%	33.3%	40.1%	0.0%
人間と社会コース	8.3%	7.0%	21.3%	41.3%	22.2%	0.0%
大学院教養科目	6.6%	10.0%	29.0%	42.9%	11.6%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	5.9%	2.0%	5.0%	14.8%	46.0%	26.3%	0.0%
体育実技	45.3%	0.0%	4.7%	18.2%	21.4%	10.4%	0.0%
情報リテラシー科目	3.9%	2.9%	5.7%	18.4%	42.6%	26.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	5.9%	2.1%	8.1%	21.8%	43.6%	18.6%	0.0%
文化の分野	3.5%	1.3%	4.4%	18.8%	43.9%	28.1%	0.0%
現代社会の分野	5.2%	2.3%	6.4%	20.6%	40.9%	24.6%	0.0%
環境コース	0.8%	4.5%	8.7%	28.4%	47.7%	9.8%	0.0%
文化と共生コース	1.4%	2.1%	8.2%	13.7%	42.5%	32.2%	0.0%
生活と科学コース	1.2%	4.4%	7.7%	20.1%	51.3%	15.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.3%	3.1%	7.0%	22.3%	41.5%	18.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	3.3%	0.8%	4.1%	9.8%	46.7%	35.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.8%	1.1%	6.0%	17.7%	42.9%	30.5%	0.0%
人間と社会コース	0.9%	0.4%	1.7%	14.8%	53.5%	28.7%	0.0%
大学院教養科目	1.9%	4.6%	7.7%	24.3%	48.3%	13.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.8%	3.3%	12.5%	54.3%	29.0%	0.0%
体育実技	0.5%	0.5%	4.7%	38.5%	55.7%	0.0%
情報リテラシー科目	1.2%	2.9%	10.7%	55.1%	30.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.0%	1.6%	9.9%	57.2%	30.3%	0.0%
文化の分野	1.2%	2.4%	14.2%	49.0%	33.2%	0.0%
現代社会の分野	0.6%	1.8%	8.9%	55.2%	33.5%	0.0%
環境コース	0.8%	6.1%	18.2%	59.1%	15.9%	0.0%
文化と共生コース	2.1%	5.5%	10.3%	46.6%	35.6%	0.0%
生活と科学コース	3.5%	4.1%	14.7%	61.1%	16.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	3.5%	3.1%	52.6%	40.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	1.6%	7.7%	56.1%	34.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.4%	2.8%	6.4%	46.8%	43.6%	0.0%
人間と社会コース	2.2%	3.0%	16.5%	56.5%	21.7%	0.0%
大学院教養科目	3.9%	5.8%	15.4%	54.8%	20.1%	0.0%

## 全学教育機構（令和3年度後学期）

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.4%	0.1%	0.5%	7.0%	92.1%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	0.6%	3.0%	96.4%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.2%	0.5%	1.7%	8.6%	88.0%	0.0%
文化の分野	2.3%	0.6%	1.2%	7.9%	88.0%	0.0%
現代社会の分野	1.5%	0.4%	1.2%	7.0%	89.9%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	95.5%	0.0%
文化と共生コース	1.0%	0.0%	1.0%	3.8%	94.3%	0.0%
生活と科学コース	1.3%	0.7%	0.0%	7.0%	90.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.4%	8.8%	90.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	0.4%	3.9%	95.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	0.0%	0.4%	10.9%	88.7%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.0%	0.5%	8.3%	91.2%	0.0%
大学院教養科目	0.6%	0.0%	0.0%	3.9%	95.5%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	3.9%	23.6%	43.0%	21.8%	7.7%	0.0%
体育実技	54.5%	34.1%	6.0%	3.6%	1.8%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	7.3%	38.8%	41.1%	8.8%	4.0%	0.0%
文化の分野	9.1%	41.6%	35.6%	10.1%	3.7%	0.0%
現代社会の分野	12.4%	40.5%	32.9%	7.3%	7.0%	0.0%
環境コース	3.3%	30.7%	43.4%	16.0%	6.6%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	20.0%	35.2%	22.9%	21.9%	0.0%
生活と科学コース	5.0%	27.5%	40.9%	20.5%	6.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	2.7%	47.3%	41.6%	6.5%	1.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.4%	29.3%	44.5%	17.9%	3.9%	0.0%
サブスペシャルティコース	6.6%	30.4%	35.8%	16.0%	11.3%	0.0%
人間と社会コース	4.4%	34.3%	37.7%	17.6%	5.9%	0.0%
大学院教養科目	11.0%	18.1%	31.0%	27.1%	12.9%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	11.4%	8.5%	27.1%	26.5%	16.3%	10.2%	0.0%
体育実技	19.8%	7.8%	32.3%	24.6%	10.8%	4.8%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.9%	5.4%	25.7%	28.7%	17.6%	12.7%	0.0%
文化の分野	12.7%	6.8%	26.8%	27.8%	16.4%	9.6%	0.0%
現代社会の分野	10.4%	5.0%	24.1%	29.6%	18.7%	12.1%	0.0%
環境コース	10.7%	7.4%	28.3%	30.7%	13.1%	9.8%	0.0%
文化と共生コース	11.4%	6.7%	31.4%	33.3%	6.7%	10.5%	0.0%
生活と科学コース	9.7%	4.7%	26.8%	28.5%	20.5%	9.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	6.5%	6.5%	24.8%	41.6%	11.8%	8.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	7.4%	5.2%	23.1%	37.1%	17.5%	9.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.3%	6.2%	30.7%	31.1%	12.8%	7.8%	0.0%
人間と社会コース	12.7%	8.8%	26.0%	31.4%	13.7%	7.4%	0.0%
大学院教養科目	10.3%	3.9%	21.3%	34.2%	22.6%	7.7%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.7%	1.2%	2.8%	14.8%	55.3%	23.2%	0.0%
体育実技	3.6%	0.0%	1.8%	12.6%	51.5%	30.5%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.7%	0.1%	1.6%	14.3%	56.2%	25.0%	0.0%
文化の分野	3.9%	0.7%	2.2%	18.3%	53.6%	21.2%	0.0%
現代社会の分野	1.9%	0.4%	1.9%	14.9%	54.2%	26.7%	0.0%
環境コース	2.0%	1.2%	3.3%	18.0%	50.8%	24.6%	0.0%
文化と共生コース	1.9%	1.0%	1.9%	11.4%	44.8%	39.0%	0.0%
生活と科学コース	1.7%	0.7%	1.3%	19.5%	60.1%	16.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.5%	0.0%	0.8%	11.8%	56.1%	29.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.9%	0.9%	3.5%	13.1%	59.8%	21.8%	0.0%
サブスペシャルティコース	2.7%	0.8%	1.9%	18.7%	49.8%	26.1%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	0.0%	3.4%	21.1%	58.8%	15.7%	0.0%
大学院教養科目	4.5%	1.9%	3.2%	18.7%	47.7%	23.9%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	24.1%	1.1%	2.0%	10.2%	39.5%	23.1%	0.0%
体育実技	22.2%	0.6%	1.2%	5.4%	42.5%	28.1%	0.0%
情報リテラシー科目	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	31.1%	0.1%	1.3%	10.7%	35.2%	21.6%	0.0%

文化の分野	34.7%	1.2%	0.9%	15.6%	29.5%	18.1%	0.0%
現代社会の分野	31.6%	0.6%	1.3%	11.9%	34.0%	20.7%	0.0%
環境コース	18.0%	1.2%	2.0%	13.9%	39.3%	25.4%	0.0%
文化と共生コース	9.5%	0.0%	1.0%	7.6%	33.3%	48.6%	0.0%
生活と科学コース	25.5%	1.0%	0.3%	13.4%	42.6%	17.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	22.1%	0.0%	0.8%	14.9%	38.2%	24.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	20.1%	0.9%	3.5%	14.4%	37.1%	24.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	20.6%	0.8%	0.8%	10.9%	41.2%	25.7%	0.0%
人間と社会コース	12.7%	1.0%	1.5%	15.7%	45.6%	23.5%	0.0%
大学院教養科目	20.0%	1.3%	3.2%	22.6%	29.7%	23.2%	0.0%

## C-1 この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	対面授業だった	回答なし
外国語科目	0.5%	0.5%	44.8%	0.6%	53.5%	0.0%
体育実技	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	99.4%	0.0%
情報リテラシー科目	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	12.9%	28.1%	24.4%	1.3%	33.4%	0.0%
文化の分野	14.1%	48.6%	9.6%	2.0%	25.8%	0.0%
現代社会の分野	1.8%	30.2%	17.8%	1.7%	48.4%	0.0%
環境コース	0.0%	1.6%	13.9%	5.3%	79.1%	0.0%
文化と共生コース	10.5%	0.0%	29.5%	2.9%	57.1%	0.0%
生活と科学コース	10.4%	1.0%	43.6%	5.7%	39.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	5.3%	9.9%	3.4%	0.4%	80.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.9%	27.1%	30.6%	1.3%	40.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.9%	9.3%	57.2%	0.4%	31.1%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	0.0%	1.0%	0.5%	97.5%	0.0%
大学院教養科目	1.9%	67.7%	3.2%	1.3%	25.8%	0.0%

## C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	8.1%	0.8%	1.8%	15.7%	57.1%	16.6%	0.0%
体育実技	6.6%	0.0%	0.0%	3.6%	61.1%	28.7%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	7.7%	0.6%	1.8%	14.2%	57.0%	18.7%	0.0%
文化の分野	8.1%	0.7%	2.3%	17.2%	55.8%	15.9%	0.0%
現代社会の分野	7.0%	1.0%	2.0%	14.4%	56.4%	19.4%	0.0%
環境コース	6.1%	0.0%	1.2%	17.6%	54.1%	20.9%	0.0%
文化と共生コース	5.7%	1.0%	2.9%	17.1%	54.3%	19.0%	0.0%
生活と科学コース	5.4%	0.7%	1.0%	17.8%	63.4%	11.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	6.1%	0.4%	0.8%	7.6%	63.7%	21.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.2%	0.4%	1.7%	12.7%	66.8%	16.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	6.2%	0.8%	3.5%	15.2%	59.1%	15.2%	0.0%
人間と社会コース	6.4%	0.5%	3.4%	20.6%	58.8%	10.3%	0.0%
大学院教養科目	7.1%	0.6%	1.9%	13.5%	56.1%	20.6%	0.0%

## C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	12.8%	0.9%	1.4%	11.4%	52.8%	20.7%	0.0%
体育実技	14.4%	0.0%	1.8%	3.6%	50.9%	29.3%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	10.3%	0.1%	0.3%	9.0%	55.6%	24.7%	0.0%
文化の分野	12.9%	0.8%	1.2%	11.8%	52.9%	20.4%	0.0%
現代社会の分野	9.5%	0.2%	1.2%	9.1%	54.4%	25.6%	0.0%
環境コース	12.3%	0.8%	0.4%	14.8%	52.0%	19.7%	0.0%
文化と共生コース	11.4%	1.0%	1.0%	13.3%	51.4%	21.9%	0.0%
生活と科学コース	9.7%	0.0%	0.3%	12.4%	59.7%	17.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	8.4%	0.0%	0.8%	7.3%	51.1%	32.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	8.7%	0.0%	1.3%	7.4%	63.8%	18.8%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.3%	0.8%	1.6%	9.7%	55.6%	21.0%	0.0%
人間と社会コース	11.8%	0.0%	2.0%	12.7%	59.3%	14.2%	0.0%
大学院教養科目	7.7%	1.3%	1.9%	14.8%	51.6%	22.6%	0.0%

## C-4 理解しやすいように教え方や教材の工夫がされていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.2%	3.3%	16.0%	53.6%	24.9%	0.0%
体育実技	0.6%	1.2%	12.6%	52.1%	33.5%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.7%	1.1%	9.9%	58.2%	30.1%	0.0%
文化の分野	2.5%	2.5%	16.5%	52.7%	25.8%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	2.1%	12.2%	55.4%	29.5%	0.0%
環境コース	0.4%	3.3%	17.2%	53.3%	25.8%	0.0%
文化と共生コース	1.0%	1.9%	12.4%	41.0%	43.8%	0.0%
生活と科学コース	1.7%	2.7%	18.8%	55.4%	21.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.4%	5.7%	55.0%	38.9%	0.0%

地域・佐賀学コース	0.9%	4.4%	12.2%	59.0%	23.6%	0.0%
サブスペシヤルティコース	0.0%	3.9%	14.4%	54.5%	27.2%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	4.4%	23.0%	55.4%	16.2%	0.0%
大学院教養科目	2.6%	5.2%	18.1%	48.4%	25.8%	0.0%

C-5 この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.4%	1.9%	8.5%	45.7%	42.5%	0.0%
体育実技	2.4%	6.0%	23.4%	38.3%	29.9%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	10.0%	11.8%	32.2%	30.8%	15.2%	0.0%
文化の分野	15.7%	12.2%	25.6%	28.6%	17.9%	0.0%
現代社会の分野	11.8%	12.8%	29.5%	29.3%	16.6%	0.0%
環境コース	0.8%	2.0%	16.8%	39.8%	40.6%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	1.0%	8.6%	32.4%	58.1%	0.0%
生活と科学コース	4.7%	5.4%	21.1%	34.2%	34.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	3.4%	12.6%	37.8%	34.4%	11.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	3.9%	7.0%	14.0%	37.6%	37.6%	0.0%
サブスペシヤルティコース	5.4%	5.1%	18.3%	40.1%	31.1%	0.0%
人間と社会コース	5.9%	9.8%	26.5%	29.9%	27.9%	0.0%
大学院教養科目	7.1%	6.5%	33.5%	28.4%	24.5%	0.0%

C-6 課題等の提出物に対して適切なフィードバックや解説がありましたか

	課題等はなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	7.4%	2.0%	4.8%	14.6%	45.5%	25.7%	0.0%
体育実技	34.7%	0.6%	1.8%	21.0%	26.3%	15.6%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	4.7%	1.8%	5.3%	20.0%	44.7%	23.4%	0.0%
文化の分野	3.7%	4.0%	7.4%	27.2%	37.8%	19.9%	0.0%
現代社会の分野	9.0%	1.9%	4.4%	17.7%	39.7%	27.3%	0.0%
環境コース	2.0%	2.9%	5.7%	22.1%	43.0%	24.2%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	1.0%	4.8%	13.3%	34.3%	46.7%	0.0%
生活と科学コース	5.0%	1.3%	4.7%	23.2%	47.3%	18.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.8%	3.1%	7.6%	21.8%	41.6%	25.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.9%	3.9%	6.6%	13.1%	46.3%	29.3%	0.0%
サブスペシヤルティコース	1.9%	3.5%	7.4%	21.4%	47.9%	17.9%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	1.0%	4.4%	20.1%	45.6%	28.9%	0.0%
大学院教養科目	4.5%	9.7%	8.4%	27.7%	29.7%	20.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.8%	3.3%	12.2%	53.2%	29.5%	0.0%
体育実技	0.0%	1.2%	4.8%	41.9%	52.1%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.5%	1.3%	9.0%	54.9%	34.4%	0.0%
文化の分野	1.8%	2.9%	12.8%	51.8%	30.7%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	1.7%	9.7%	52.9%	34.9%	0.0%
環境コース	0.8%	2.5%	13.9%	49.2%	33.6%	0.0%
文化と共生コース	1.0%	1.9%	10.5%	37.1%	49.5%	0.0%
生活と科学コース	2.0%	1.3%	17.1%	54.0%	25.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.4%	3.4%	50.8%	45.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.2%	3.1%	10.0%	51.5%	33.2%	0.0%
サブスペシヤルティコース	0.4%	3.9%	12.1%	49.4%	34.2%	0.0%
人間と社会コース	2.0%	1.5%	18.6%	54.4%	23.5%	0.0%
大学院教養科目	5.2%	5.8%	18.7%	41.9%	28.4%	0.0%